令 和 ２ 年 １ ２ 月 １ 日
八 王 子 市 生 涯 学 習 審 議 会
生涯学習政策課　報告事項資料③

令和元年度(2019 年度）八王子市生涯学習関連事業評価の結果について

１ 報告趣旨

八王子市生涯学習関連事業評価（以下「関連事業評価」という。）は、「八王子市生涯学習プラン（平成 27～31 年度)」(以下「プラン」という。）を総合的かつ計画的に展開していくため、プランに基づく施策の実施に対して、その取組状況を確認、評価している。このたび、八王子市生涯学習審議会の意見聴取及び評価を経て、令和元年度（2019 年度）の関連事業評価がまとまったため、報告する。

２ 報告内容

(1) 令和元年度（2019 年度）の関連事業評価について

ア　各所管においては、生涯学習に関連する事業（全 533 事業）ごとにＡ－Ｄの４段階で評価した。

評価	評価の基準	令和元年度 (2019 年度) 事業数	(参考) 平成 30 年度 (2018 年度) 事業数
A	目標以上の評価があった	１０２	９４
B	計画・目標通りに達成できた	３４１	３６５
C	計画・目標の一部が達成できなかった	５２	３５
D	達成できず困難な課題がある	１	２
－	評価なし（天候・感染症による中止等）	３７	５
合　計		５３３	５０１

イ　基本施策ごとに事業をまとめ、八王子市生涯学習審議会においては事業及び基本施策の評価を実施した。基本施策ごとの評価については審議資料①－２のとおり。

(2) 評価の経過

日　程	内　容
令和２年(2020 年) ６月	令和元年度（2019 年度）生涯学習関連事業について所管評価を依頼
令和２年(2020 年) ７月～９月	八王子市生涯学習審議会に生涯学習関連事業のまとめを提出、評価意見を聴取
令和２年(2020 年) ９月	八王子市生涯学習推進会議幹事会委員から意見を聴取し反映
令和２年(2020 年)10 月	八王子市生涯学習審議会の評価を決定 令和元年度（2019 年度）生涯学習関連事業評価を決定 教育委員会定例会で報告
令和２年(2020 年)12 月	市ホームページで公開（予定）

（裏面に続く）

(3) 八王子市生涯学習審議会による評価について（概要）

・タイムリーなテーマを扱う講座を始め、多岐にわたる事業を展開しており、参加者の学習意欲の向上が図られる有意義な学びが提供されている。

・ＮＰＯや共催、実行委員会による実施を検討し、より多様な市民が生涯学習の場づくりに参加できる体制となることを期待する。

・誰でも参加できる事業は、特に子どもたちにとっては得難い異年齢の方々との触れ合いの機会になるため拡充を期待する。

・感染予防対策と並行しながら、いかに生涯学習活動を進めていくのかということが今後の課題であり、各事業実施団体が精力的に取り組むことを期待する。

八王子市生涯学習プラン（平成 27～31 年度）
令和元年度（2019 年度）生涯学習関連事業評価

○生涯学習プランの進行と管理について

生涯学習プランに掲げる生涯学習施策を推進するには、教育部門だけではなく、福祉、保健、医療、子ども、環境、産業振興など、様々な分野の計画・事業実施所管と連携し、学習提供、啓発活動、市民協働の取組を行っていく必要があります。

本市では、庁内に「生涯学習推進会議」を設置し、全庁的な体制のもとにプランを推進し、本市における生涯学習社会の実現を目指すとともに、市民委員や学識経験者等で構成する「八王子市生涯学習審議会」を開催し、市民感覚を反映した生涯学習の振興に関する施策の審議、生涯学習に関連する事業の評価を行っています。

○基本施策ごとの生涯学習関連事業評価

八王子市生涯学習プラン（平成 27～31 年度）の5年間の計画期間のうち、最終年度となる令和元年度（2019 年度）において実施した、生涯学習に関連する事業は、全 533事業になりました。

これらの事業について、実施所管課が事業ごとに自己評価を行ったうえで、八王子市生涯学習審議会により、生涯学習プランの「基本施策」ごとに評価を行いました。

基本施策１　子どもの頃から始める学びの基礎づくり	生涯学習関連事業 113 件

■施策の方向性（旧生涯学習プラン）

子どもは成長過程のさまざまな機会でさまざまな人々と関わり、人間関係や社会での経験を積み重ねることで、生きる力を育みます。市民が生涯にわたって学び続け、学んだ成果を社会で活かすことができる生涯学習社会の実現のため、人間形成の基礎となる幼児期や学齢期のうちから、学びの基礎・学ぶ習慣を身に付けることが重要です。

子どもたちが健やかに育ち、豊かな人生を歩むための基礎づくりとして、家庭での教育を支援し、今まで以上に学校と地域が連携し、多様な学習機会を提供していきます。

■令和元年度（2019 年度）の主な取組

１－１　生きる力を育む子どもの学びと体験の充実（57 事業）	
8.ひとり親家庭親子ふれあい事業	子どもの体験活動の充実に寄与するとともに、親子間やひとり親家庭同士のコミュニケーションを深める機会を提供した。元年度は初めての試みとしてバスツアーを開催し、満足度は 91.7%と非常に高い結果となった。
30.北海道白糠町小学生交流事業	歴史的に関係の深い白糠町と本市の小学生に、様々な体験活動を通じて両市の歴史や文化を理解し合う学びの機会を提供した。元年度は白糠町の小学生 14 人を受け入れ、本市小学生 15 人との交流の中で友情を育み、親善を深めることができ、全員から高い満足度を得た。
41.八王子城跡まつり【新規】	地元町会や関連団体と協力し、元年度は初めて大規模なイベントとした。八王子開市の日に合わせ、子どもたちを対象としたイベントとすることで、歴史への理解と郷土愛の醸成を図った。想定の４倍を超える来場者数となり、協力団体や来場者からも高い評価を得た。

１－２　家庭教育の支援の充実（31 事業）	
62.家庭教育啓発リーフレット等の配布	内容を大幅に刷新したリーフレットを、元年度は配布対象を保護者だけでなく、町会や行政委員などにも広げた。世相にあった内容と配布対象の拡大により、家庭内における社会のマナーや基本的な生活習慣等の定着に対する支援を充実させることができた。
67.75.83.プレママ（パパ）料理教室	食事に対する興味が出る妊娠期に妊産婦の食事、離乳食の理解、家族の食事の見直しの機会を提供するとともに、子育ての仲間づくりの促進に寄与した。元年度は、生活習慣病の講話を追加し、家族の健康づくりへの関心を高めることができた。
80.ブックスタート	親の前で子どもへの読み聞かせを行い、読書に親しむきっかけとするとともに子育てに役立つ情報を伝えた。読書を通じた親と子のふれあいのひと時を応援することにより乳児が健やかに育ち、保護者が安心して子育てのできる環境づくりに寄与した。
１－３　学校教育活動の支援（10 事業）	
90.八王子「宇宙の学校」	こども科学教室（スクーリング）と日常の家庭学習を組み合わせ、宇宙や科学と家庭・地域を結び付けることで探究心の強い子どもたちの育成に寄与した。市民、事業者、学校、市が協働する実行委員会形式で実施しており、毎年人気がある。
92.劇団四季　こころの劇場	目標の 55 校を超える 58 校が参加した。児童に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供した。（公財）八王子市学園都市文化ふれあい財団のノウハウを校長会に引き継ぐことで、校長会が主導して運営することができ、劇団四季との連携が一層合理化された。
１－４　地域の教育力を活かす・高める（15 事業）	
99.冒険イベント里山で遊ぼう	公園の指定管理者と市民団体「長池野外活動クラブ」の共催で冒険プログラムを行い、小学生の野外体験活動を促進した。フィールドの活動が活発化することで市民団体ボランティアの加入が増えるとともに、人材育成ができた。
113.放課後子ども教室	平日の放課後や週末、夏休み等に小学校内の施設を活用し、地域の人材、ボランティアの参画を得て子どもたちに安全で安心な居場所を提供した。元年度は新たに 1 か所で開始した。地域や学校、学童保育所担当所管と連携を図り、実施日数の増加や学習プログラムの拡充を行うことができた。

■令和元年度(2019 年度）生涯学習審議会評価

乳幼児や親子などを含め、子どもを対象とした講座数は、全事業のうち 20%を占め、多種多様な子どもの学習機会を提供している。子どもの好奇心をかきたてる内容が多く、充実した経験の機会を提供することで、多くの学びに結びつけることができている点が評価できる。

どんな環境におかれた子どもでも、文化芸術にアクセスできることが理想である。そのために学校行事、放課後はもとより、親が働いている休日等にも子どもだけで参加できる体験事業の拡充、またはそれを担う市民団体への補助の充実が望まれる。

「67.75.83.プレママ（パパ）料理教室」など、初めての育児の不安に具体的に応えられる講座の充実は、子育て世帯の自信となると共に、将来にわたる食生活の基礎になり、親の健康にとっても見直しの良い機会となる。

子育てが始まると、社会とのつながりを今までと別の視点から意識し始めることになる。そのため、「80.ブックスタート」のように、子育ての始まるタイミングで生涯学習のきっかけを提供し、その大切さを伝えることは、親はもちろん、子どものその後の人生の学びや生きがいにつながる点でとても重要である。また、絵本は子どもだけのものでなく、大人にとっても支

えや救いになる認識が広がれば、読書文化の下支えにもなる。

事業内容については、性教育、ＬＧＢＴ、ローンや保険の仕組みなど、時代に合わせた新しいテーマを多様な観点から考えられる講座を積極的に提供してほしい。

「90.八王子『宇宙の学校』」や「92.劇団四季　こころの劇場」のように、他の団体と協働して実施する事業も展開されている一方で、「基本施策１」の事業の過半数は市単独事業となっている。経費を掛けずに事業の実施をしている点は評価できるが、今後、NPO や共催、実行委員会による実施を検討し、より多様な市民が生涯学習の場づくりに参加できる体制となることを期待したい。

基本施策２　誰もがいつでもどこでも学べるしくみづくり	生涯学習関連事業 296 件

■施策の方向性（旧生涯学習プラン）

誰もが、いつでも、どこでも生涯にわたり学ぶことができるよう、読書やスポーツ・レクリエーションをはじめ、多様な学習の機会をさまざまな場所で提供します。市民が持っている知識と経験が活かされるよう、市はコーディネーターとしての役割を果たし、学習の内容を充実させていきます。

■令和元年度(2019 年度）の主な取組

２－１　身近で多様な学習機会の提供（60 事業）	
119.再生可能エネルギー(木質バイオマスボイラー･足湯併設）の普及啓発	小学生の施設見学の際にも活用し、再生可能エネルギーの普及啓発に大きく貢献した。新型コロナウイルス感染症の影響で３月は全休したものの、利用者数は前年を上回った。
125.工作イベント	日本庭園が眺められる旧民家で、高尾の特徴である多種多様な動植物を題材とした工作を行うことで、地域や生物への学習意欲向上の機会を提供するとともに、憩いの場として庭園に親しんでもらうことができた。
155.156.八王子学園都市大学（いちょう塾）	大学等の高度で専門的な学習機会として、元年度は一般講座 250 講座で受講者 2,652 人、公開講座 58 講座で受講者 4,367 人に提供し、市民の生きがいづくりや地域の活性化に貢献した。ニーズの分析を行い、満足度の高い講座や八王子学など本市の特性を生かした講座等を行い、学習機会の充実につながった。
２－２　読書のまち八王子の推進　（26 事業）	
176.としょかんたんけんたい	元年度は予定以上の応募があったが、受け入れ可能な範囲で柔軟に対応し、子どもたちに図書館や読書に親しみを持ってもらうきっかけを提供することができた。
183.対面朗読	視力障害等で読書に親しむ機会の少ない市民に対し、図書館の対面朗読室で図書の朗読を行うなど、読書環境を整備した。蔵書点検中に他館の対面朗読室が利用できるようしたり、ボランティアと連携したりすることで、実施回数を増やし、読書に親しむ機会を拡充することができた。
190.おはなし会	親と子を対象に本に親しむ機会を提供するとともに、読書習慣の育成を支援した。「０歳児向けおはなし会」を開始し、生後３・４か月（ブックスタート受診時）から生後 12 か月（ぴよぴよえほんのじかんの対象は１歳～)までの子どもを対象としたおはなし会を企画し、参加者から好評を得た。

２－３　八王子の特色を活かした文化芸術の振興　（52 事業）	
200.オリンパスホール八王子で化石を探そう！（新規）	元年度から新たに行った事業であるが、ワークショップの参加者は 100％の満足度だった。さらに、ホワイエ部分の化石を見るための一般開放を行い、ホールをより身近に感じてもらうきっかけを提供することができた。
201.伝承のたまてばこ～多摩伝統文化フェスティバル 2019～	まちなか等の身近な場所で、八王子や多摩地域の伝統文化・芸能に親しむ機会を提供した。八王子車人形等をまちなかで披露することで、目標値を上回る 36,602 人の来場者があり、事業の認知度向上へと繋がり、市民が文化に親しむきっかけづくりに貢献した。
237.避難訓練コンサート（南大沢文化会館）	防災意識を高めるとともに、児童にホールで生演奏を体感する機会を提供し、９割以上の児童から満足の評価を得た。目標の一つである複数小学校との協働実施は、１校増えて３校となり、小学生の防災意識を高めることができた。小学校、ビル管理者、施設の連携を深めることができた。
２－４　生涯スポーツ・レクリエーションの推進（57 事業）	
252.あったかホール健康教室	複合施設として、環境以外に健康増進のための講座を年間を通して開催し、子どもから高齢者まで、それぞれのニーズに合った健康教室で、市民の健康づくり、健康増進に寄与した。述べ参加者数は 13,000 人以上で、身近な運動習慣の場として定着している。
253.健康フェスタ　食育フェスタ	体験型ニュースポーツや体力測定・ゲームなどを通じ、健康づくりのきっかけづくりの場となった。参加者が楽しみながら体験できるイベントにしているため、若い世代が増えた。
264.ボッチャ体験会	パラリンピック正式種目である障害者スポーツ「ボッチャ」の体験会を開催した。目標を大幅に超えて依頼があり、広く普及することができた。
２－５　高齢者の生きがいづくり　（51 事業）	
321.シニア向けいきいき健康講座	法政クラブ（法政大学）と連携し、高齢者向けの講座を定期的に実施した結果、大変好評を博し、募集定員を倍増することになり、より多くの高齢者の健康増進に寄与することができた。
341.シニア元気塾　コーディネーター養成講座	高齢者活動コーディネーターを養成し、高齢者の社会参加促進を図った。参加者に対しての修了者見込率 94％と高い数値で高齢者の社会参加促進を図ることができた。
２－６　共同参画・共生社会の実現（50 事業）	
382.パソコン訪問相談	来所が困難な視覚障害、難病指定の疾患をお持ちの方のご自宅に訪問して実施した。依頼者の状況に合わせた丁寧な対応ができたため満足度が高かった。障害者の情報収集手段として IT の有効活用が重要であり、障害者の情報不足の改善に寄与した。
396.外国人介護従事者等に対する日本語学習支援事業（新規）	市内介護事業所に就労している、又は就労する意欲のある在日外国人等に対し、日本語教室を実施した。元年度からの取組であるが、市内大学への周知や外国人向け情報誌「Ginkgo」に掲載など、多方面に周知することで、目標以上の参加者数となった。
399.男女共同参画の啓発	男女共同参画に理解を深めてもらうため、広く一般の方を対象に講座を実施した。アンケート集計結果における満足度は 96％を達成できた。

■令和元年度(2019 年度）生涯学習審議会評価

市民全体を対象にした事業展開となっており、子どもから高齢者、障害者へと学習の機会が提供されている点が評価できる。

「157.八王子市地球温暖化防止活動推進センターにおける講座の実施」、「158.地球温暖化防止普及啓発イベント」のようなタイムリーなテーマを扱う講座を始め、多岐にわたる事業を展開しており、参加者の学習意欲の向上が図られる有意義な学びを提供している。

「２－２読書のまち八王子」は、幅広い世代に向けて多様な事業が展開されている。今後もより多くの市民に図書館を利用してほしい。特に親が率先して子どもと一緒に利用できる環境が大切であり、まず低学年のころから親が子どもと一緒に図書館を利用する習慣をつけるような取組を期待したい。

図書館の利用者を増やすとともに、今後は「読み」の質向上を目指す事業の展開も検討してほしい。いわゆる「深い読み」を身につけることで、人の資質として大事な「共感」や「洞察」などが育まれるため、こうした「読み」の技術向上を積極的に目指す事業の展開を期待する。

誰でも参加できる事業は、特に子どもたちにとっては得難い異年齢の方々との触れ合いの機会にもなる。「245.文化財見て歩き」のような町歩きイベントは、世代間交流が期待できるほか、八王子の文化を実際に歩きながら学べる点で評価できるため、今後も充実を期待したい。

また、「330.勉強お助けサポーター養成講座」は、地域の子どもに対してシニア世代が学習を支援することで、多世代が学びを介して交流できる場となっており、今後の発展を期待したい。

誰でも安心して生涯学習に取り組むことができるように、施設・会場のバリアフリーや、緊急時の対応を決めておくなど、イベントや講座の提供を継続可能とする環境の整備も必要である。

基本施策３　学習成果を活かし市民がつながる生涯学習の推進　生涯学習関連事業 85 件

■施策の方向性（旧生涯学習プラン）

生涯学習を通じて得た知識や経験が、自己の学びにとどまらず、社会や地域での学習活動に活かされることにより、人とひととの交流が生まれ、その交流が新たな学びや生きがいをもたらすという学習成果の循環をめざします。

この循環の実現のため、ボランティアや指導者の育成、そしてイベントの実施を通じて市民のネットワークづくりを支援し、市民団体や NPO 法人などと連携・協働した、新たな生涯学習のしくみづくりに取り組みます。

■令和元年度(2019 年度）の主な取組

３－１　人材の育成と活躍の場の提供　（37 事業）	
427.八王子城跡ガイドボランティア	郷土の歴史を学んだ市民に実践の場を提供し、郷土愛の醸成を図るとともに、市民との協働による史跡の活用に寄与した。八王子城跡まつりをはじめ、各講座等においてもガイドが主となり活躍する機会が増えた。
437.市民活動入門講座（アクティブ市民塾）	市民活動に対する理解を深め、市民活動を促進する。目標参加者を上回る 180 人の参加があり、好評を得た。引き続き、市内で活動する市民活動団体を紹介し、市民活動に対する理解を深める。例年、多数の参加者がある事業であり、市民活動団体の周知、市民への市民活動への理解につながっている。
３－２　学びの成果を活かす機会の充実（23 事業）	

458.八王子市立小中学校合同作品展「おおるり展」	児童・生徒の作品の発表を通して、豊かな心情を培い、創造的な能力の向上を図った。配置の工夫を求める声が多数あったため、次年度に向けて、工夫し、参加者からの改善を求める声が少なくなるようにしたい。
468.青少年のための南大沢音楽祭	地域団体の協力により、地域の児童・学生に日頃の音楽活動の発表の場を提供するとともに、地域住民に音楽を鑑賞する機会を提供することができた。また、ホール舞台上での演奏体験を行うことにより文化芸術への意識醸成を図ることができた。
469.八王子地域合同学園祭学生天国	大学コンソーシアム八王子加盟 25 大学等の学生で構成する八王子学生委員会が、学生同士や市民との交流を目的として開催した。コンソーシアムの Web サイトやフェイスブック、各部会等での案内のほか、加盟校、市関係施設、町会、商店街等にポスター・チラシを配布するなど積極的な周知を行った。
３－３　市民との協働による地域の活性化　（25 事業）	
470.南大沢総合センターまつり	生涯学習センター南大沢分館を利用している団体と協働して日頃の学習の成果を発表することで、地域の活性化につなげた。新たな取組として、子どもたちが製作した作品を展示することなどで、前年を大きく上回る延べ 1,756 人の来館者数となった。

■令和元年度(2019 年度）生涯学習審議会評価

「459. スマホ・タブレットとパソコン祭り」は、不慣れなユーザーが現代社会をより便利にする良い取組である。オンラインの世界を知ることで、新たな趣味や学習などに足を踏み入れるきっかけになるだけでなく、新型コロナウイルス感染症の影響で途切れがちな人的交流をつなぎとめることにもつながり、これからもパソコンやスマホ・タブレット講習の充実に期待したい。

生涯学習の大切さ、面白さ、意義を最も強く理解し、体現されている人たちが、「基本施策３」に掲げる事業に、多く参加されているものと考えられる。そうした人たちが、上記の「基本施策１」や「基本施策２」に、運営側として参加することで、新規参加者を「基本施策３」にも関わりを持つことができるのではないか。市民の学習が「やらせられる学習」にならないよう、市民の自由で主体的な生涯学習に対して市は条件整備を進めていく姿勢が重要である。横断的な工夫を期待したい。

基本施策４　生涯学習環境の充実　　生涯学習関連事業 39 件

■施策の方向性（旧生涯学習プラン）

生涯学習活動を始めたい市民、学習をより深めたい市民などに対し、講座、サークル活動、ボランティア参加などの情報を分かりやすく提供するとともに、相談体制を拡充させます。また、生涯学習施設、市民センター、各種スポーツ施設、学校施設など、市の有する施設を積極的に市民に提供するとともに、大学や企業などと連携し、市民の学習の場がさらに広がるよう、生涯学習環境の充実を図ります。

■令和元年度(2019 年度）の主な取組

４－１　生涯学習情報の収集と発信　（26 事業）	
499.「SUPPORT802」の発行	市民活動に関する情報発信を行った。様々な分野の市民活動団体への取材、助成金情報や市民活動イベントの掲載など、読み手が興味を持つ紙面づくりができた。

500.生活支援体制整備事業：地域包括ケア情報サイトの公開（H30.8.1～）【新規】	関係者や地域活動団体への周知や研修会等で本ウェブサイトについて情報提供を積極的に行った結果、月間のアクセス数は増加傾向となり、69,895 アクセスとなった。掲載情報について、高齢者の社会参加に資する多様な情報を随時追加し、サイト利用者の利便性を高めた。
510.夏休みイベントカレンダー	各所管で夏休み期間中に実施する小学生を対象とした事業について集約した小冊子を作成し、各市立小学校を通じて児童へ配布した。市の所管だけではなく、外部団体の催しも掲載し、夏休み期間における催し情報を一元化することで、子どもたちの学びの支援ができたとともに、広報に必要な資源の削減に貢献できた。
４－２　相談体制の拡充（9 事業）	
521.524.527.保健福祉・栄養・歯科相談	健康でいきいきした生活が送れるよう、市内３か所の保健福祉センターで、個別相談に応じ健康づくり支援し、相談者の生活改善・意識向上につなげた。生活習慣病予防に重要な 40～64 歳の成人期層の相談数が増加し、高齢期に至る前の年齢層から健康づくり支援につなげることができた。
522.生涯学習相談	生涯学習情報を提供するほか、個々の学習要望に対して団体の紹介や施設利用法を助言した。新設サークルに対する利用案内、市内のイベント講座情報等の相談に対応した。
４－３　施設の有効活用と開放　（4 事業）	
530.姫木平自然の家運営	恵まれた自然環境の中で、自然探究や様々な野外活動と集団生活を通じて、青少年の心身の健全な育成を図った。小中学校の移動教室を中心に、引き続き施設利用を促すことが必要となる。
533.フリースペース	空き学習室を自習スペースとして活用し、学生の学習を支援した。今年度は、土日祝日に加え平日夜間においても開催し、日数を拡大することで大幅な利用者の増につながり、学生の学習需要にこたえることができた。

■令和元年度(2019 年度）生学習審議会評価

「533.フリースペース」は生徒や学生が対象となっているが、若い頃に市の施設を利用したという経験が、長い目で見れば、将来的に、例えば 30 年後に、生涯学習に参加してみようというきっかけにつながるはずである。そういう点で、この事業は何か具体的に学びのプログラムを提供するものではないが、非常に大事にしていただきたい。

現在の状況や昨今の情報収集方法の変化などを鑑み、「518.SNS による『八王子市の生涯学習講座・イベント情報』の発信」は必要な手段と考えられ、継続・発展を期待したい。SNS との連動は全ての事業に必要になると思われ、また重要性も一層増していくと思われる。それにより若年層が生涯学習に馴染んでいくという形を作り上げていくのが一番望ましい。即効性はないが、長い目で見れば効果が出てくる方法であるため、今後も根気強く SNS での情報発信を継続し充実させてほしい。

重要性が増す情報発信だが、その一方で費用対効果の評価について課題があるように感じている。実際はマンパワー(人件費)がかかっていても、事業の予算としては０と計上されているものについては、評価としても不自然なものになる。

また、情報発信の手段として SNS の活用が進む一方で、ポスター等の紙媒体の情報発信も、デジタル媒体を利活用していない人々への広報としては依然として重要な手段である。予算を計上し、質の高い情報発信・広報を期待したい。

講座やイベントの模様を、許可を得たうえで録画し、YouTube にアップしておけば、立派なアーカイブズになる。仕事や療養中で会場に行けない人も参加可能となるだけでなく、コロナ禍で会場での集合開催が困難な現状でも参加者増につなげることができる。今後、生涯学習ポータルサイトを作るのであれば、アーカイブズとリンクさせることを検討してほしい。

基本施策１～４　全体にわたる評価	生涯学習関連事業 533 件

■令和元年度(2019 年度) 生涯学習審議会評価

関連事業 533 件のうち 83.1%がＡ評価またはＢ評価の高い評価を受けている。また、Ｃ評価でも、ＰＤＣＡを踏まえた上での今後の積極的な取組が期待できる。コロナ禍にあって事業開催そのものが難しい状況だが、いろいろ工夫し、無理のない範囲で事業継続に挑戦してほしい。

新型コロナウイルス感染症の流行が終息しない中で生涯学習活動を継続することは、今後数年に渡り、大きな課題となるだろう。つまり、感染予防対策と並行しながら、いかに生涯学習活動を進めていくのかということが今問われている。コロナや社会変化が大きく生活を変える中で、新しい課題が次々と生じている。今後の課題として各事業実施団体にも精力的にこの問題に取り組んでほしい。

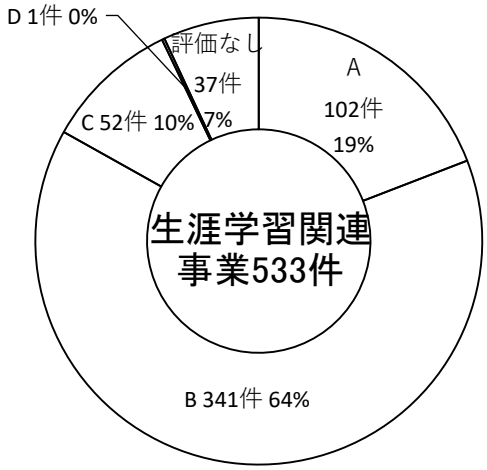
また、新型コロナウイルス感染症の影響で、今後あるいは既に中止が決まっている事業に対して、今度どのように評価するか、ということが大きな課題になる。当初計画していた事業を中止した場合でも、代替の内容を実施して次年度以降につなげられたケースを評価することが重要である。

令和元年度(2019年度)八王子市生涯学習関連事業評価シート

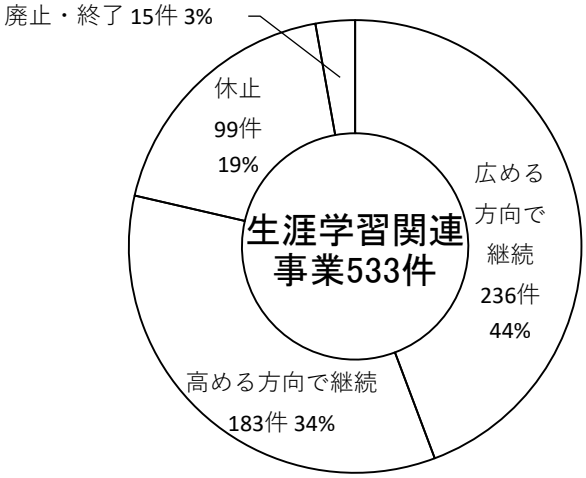
全　体

生涯学習関連事業533件

所　管　評　価

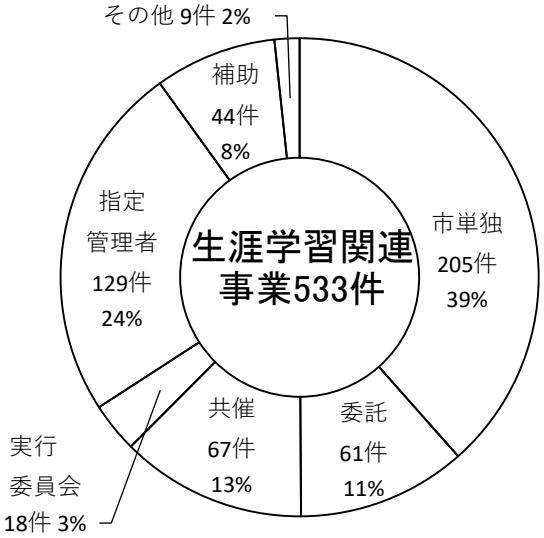


方　向　性

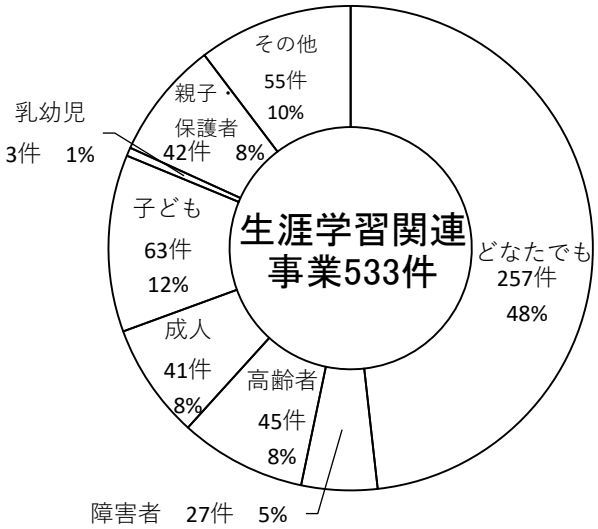


評価	評価の基準
A	目標以上の成果があった
B	計画・目標どおりに達成できた
C	計画・目標の一部が達成できなかった
D	達席できず困難な課題がある
評価なし	天候・感染症等の不可抗力による中止

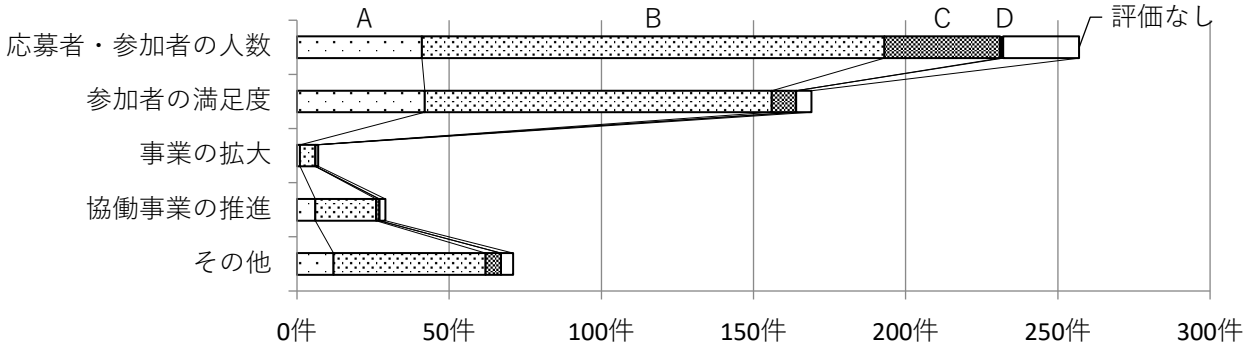
事業の実施形態



対　象　者

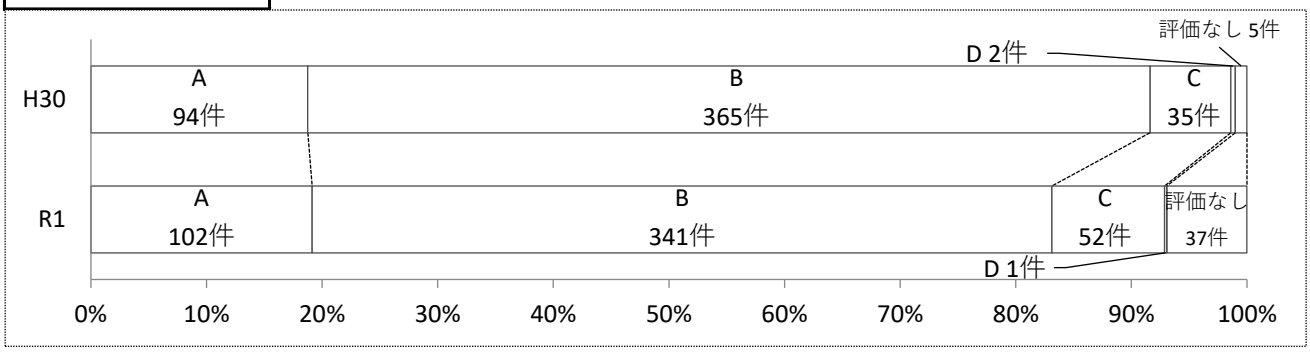


評価指標項目

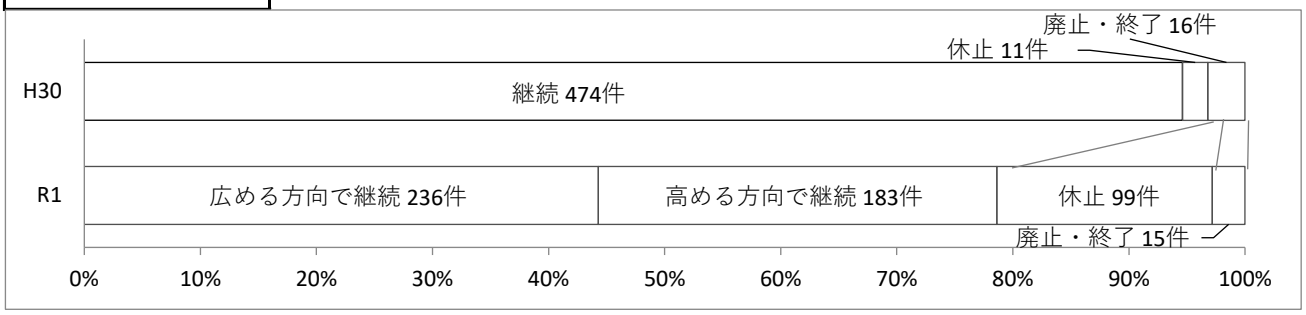


全体（昨年度事業評価との比較）

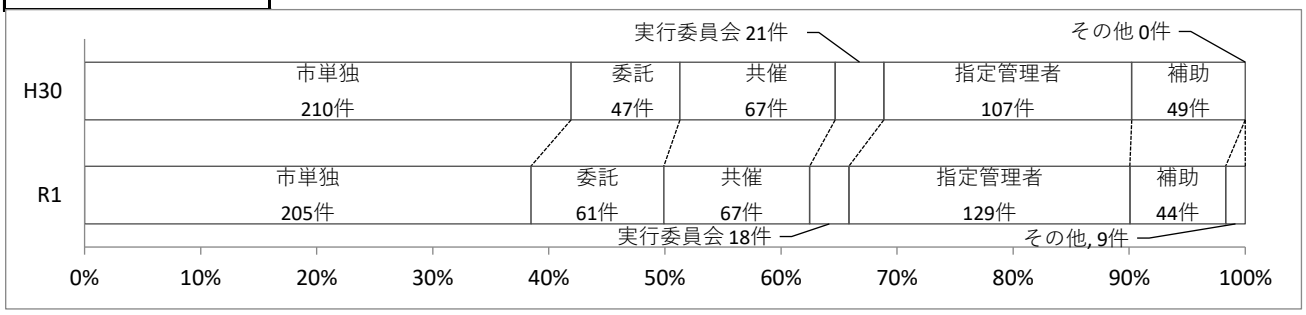
所　管　評　価



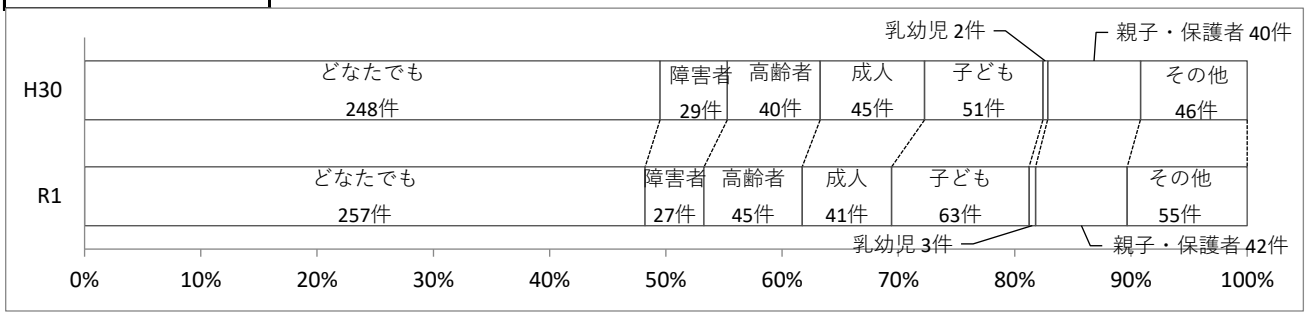
今 後 の 方 向 性



事 業 の 実 施 形 態

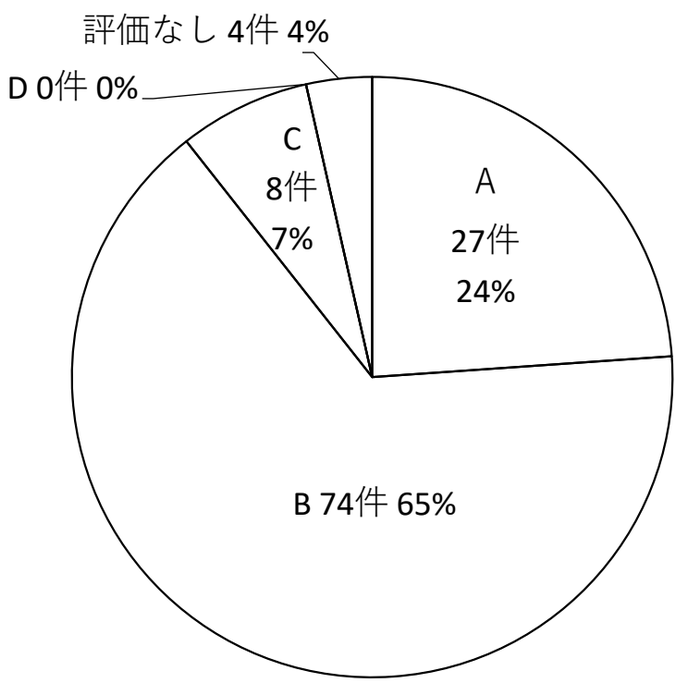


対　　象　　者

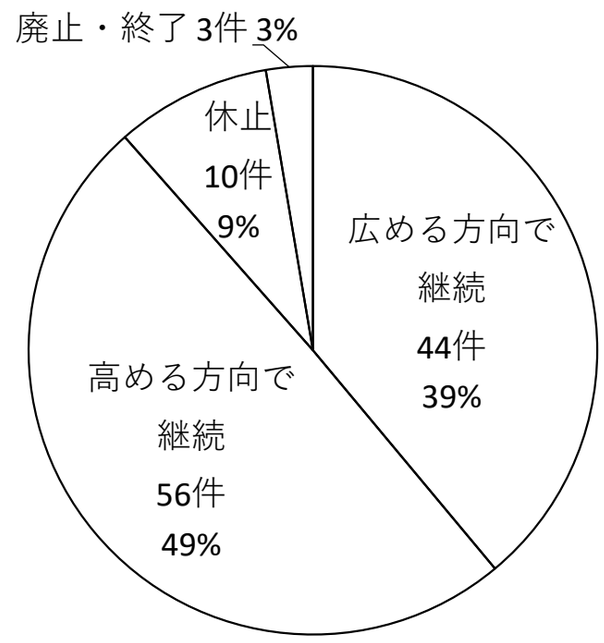


基本施策1　子どもの頃から始める学びの基礎づくり　113 件

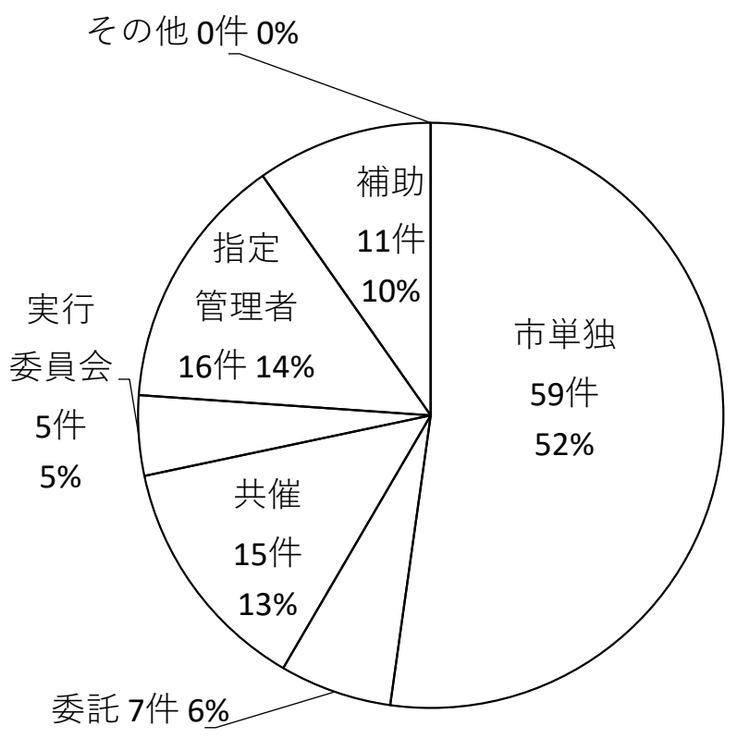
所管評価



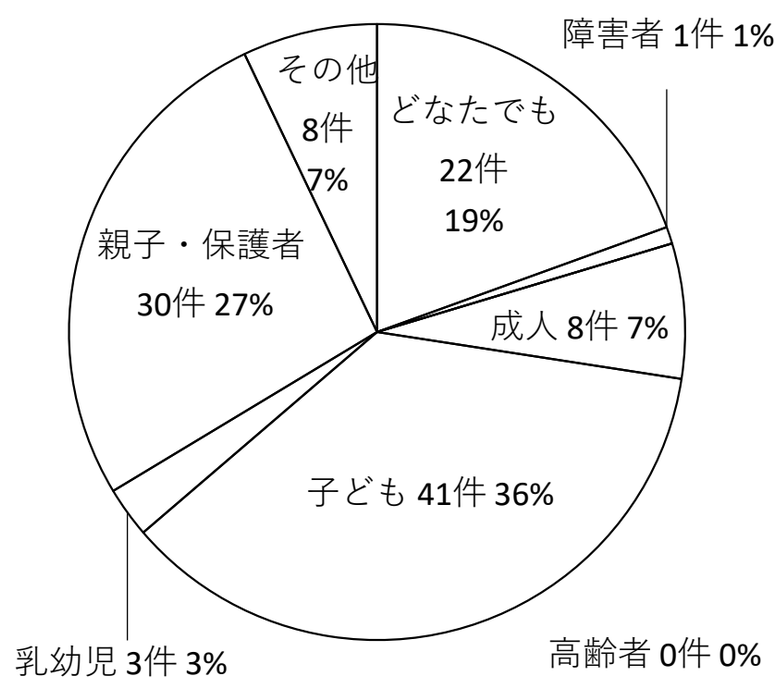
方向性



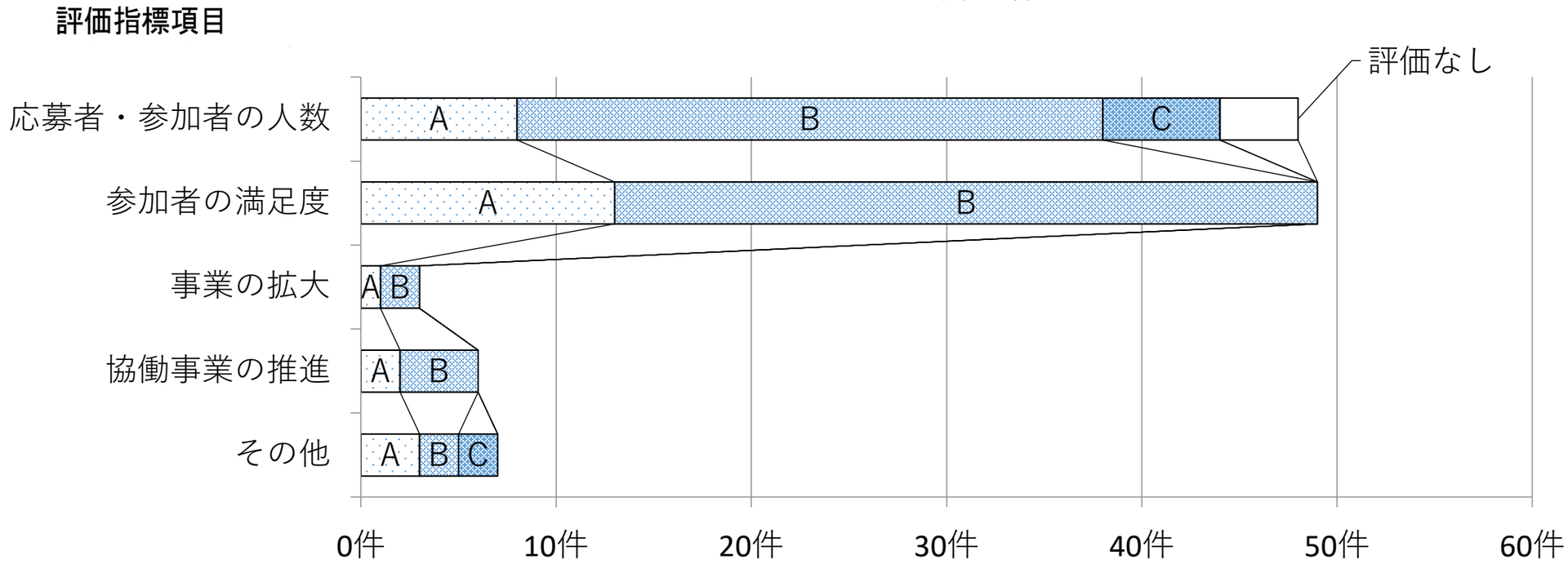
事業の実施形態



対象者

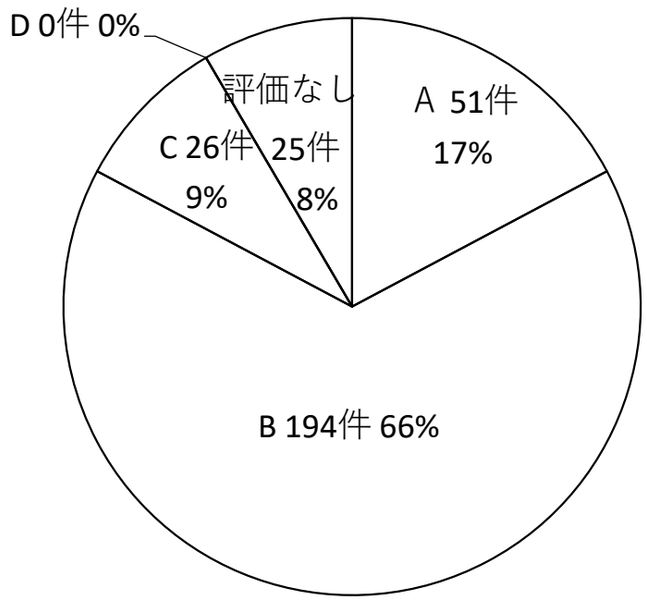


評価指標項目

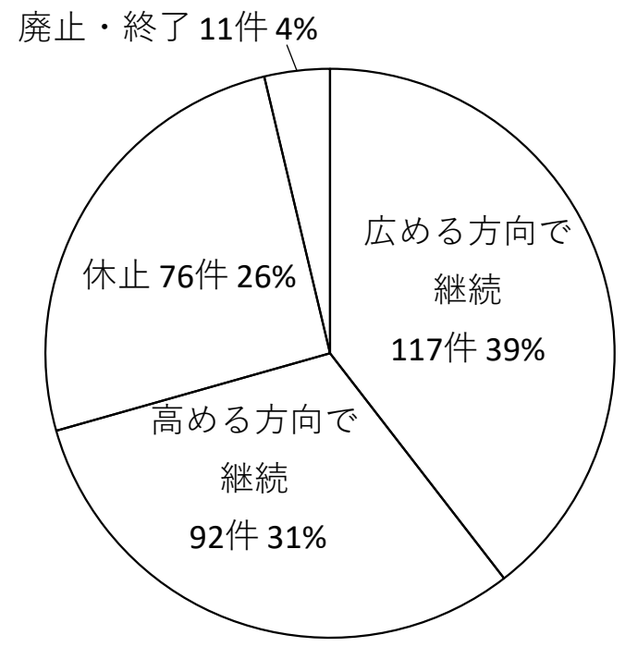


基本施策2　誰もがいつでもどこでも学べるしくみづくり　296 件

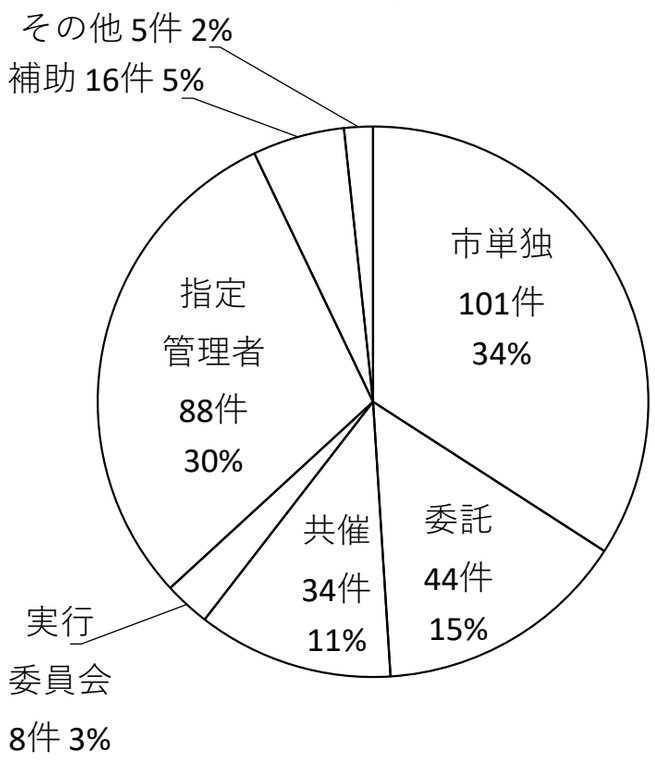
所管評価



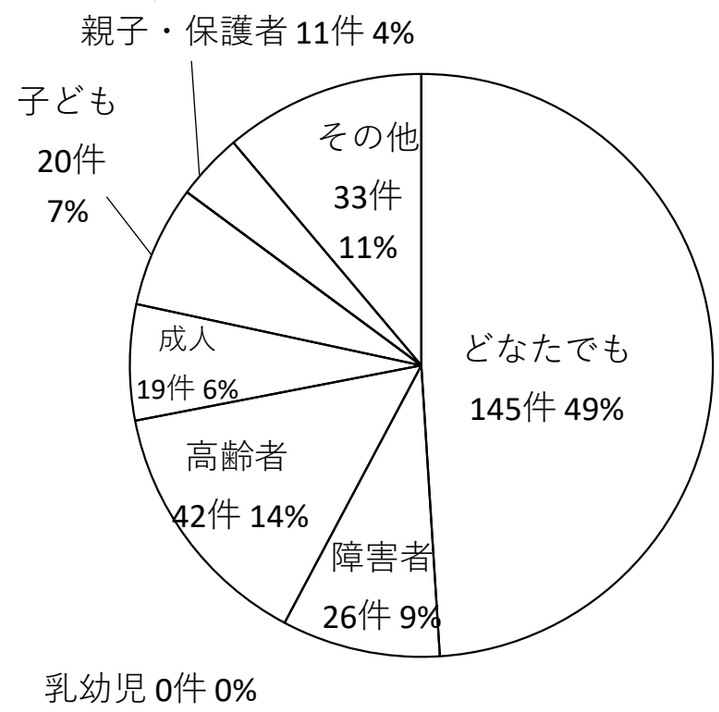
方向性



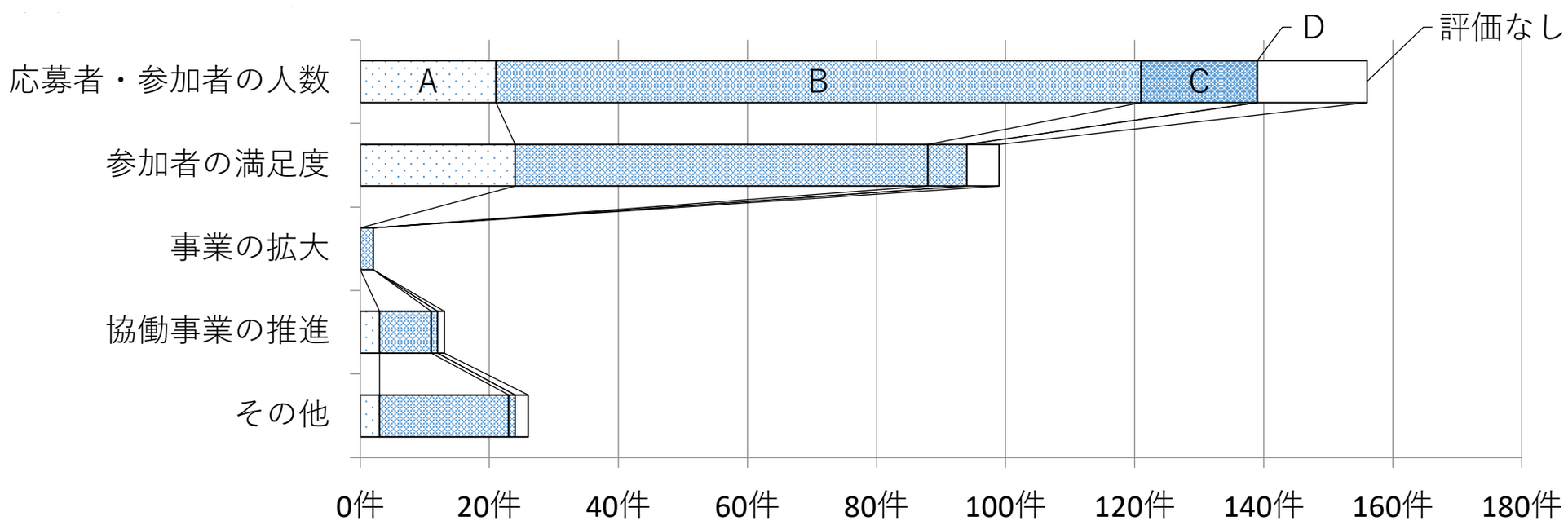
事業の実施形態



対象者

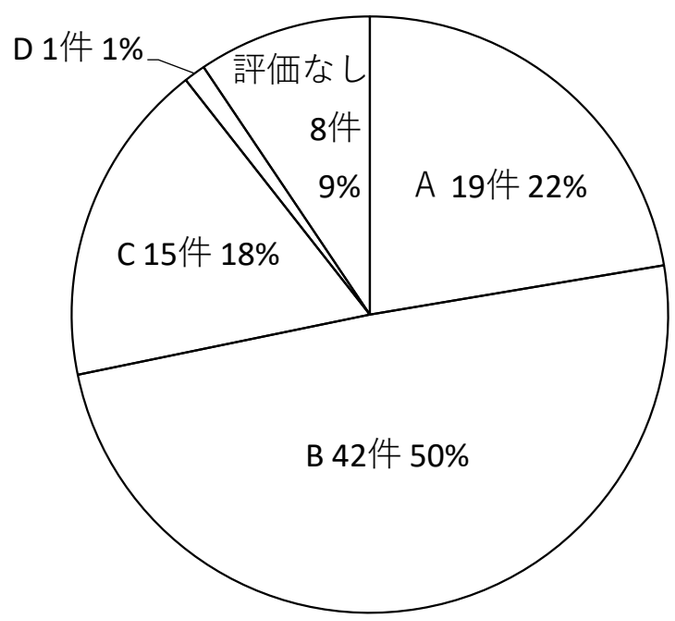


評価指標項目

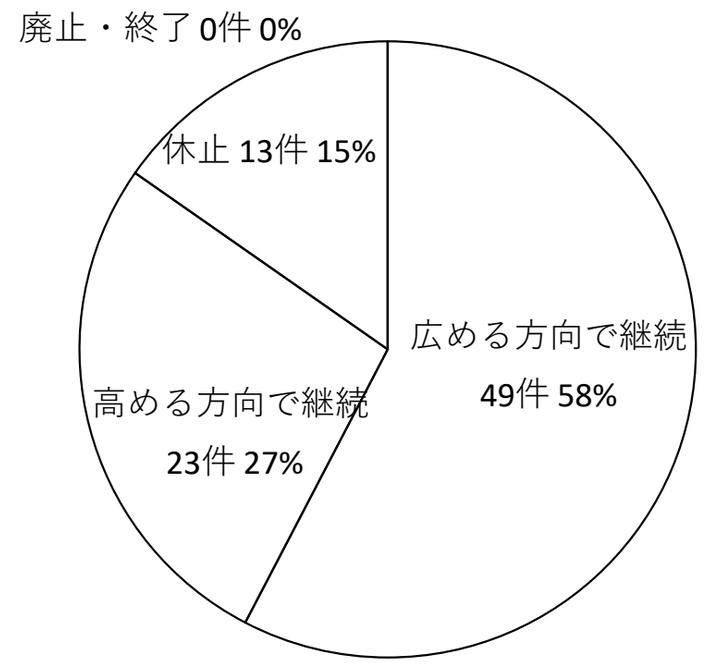


基本施策3　学習成果を活かし市民がつながる生涯学習の推進　85 件

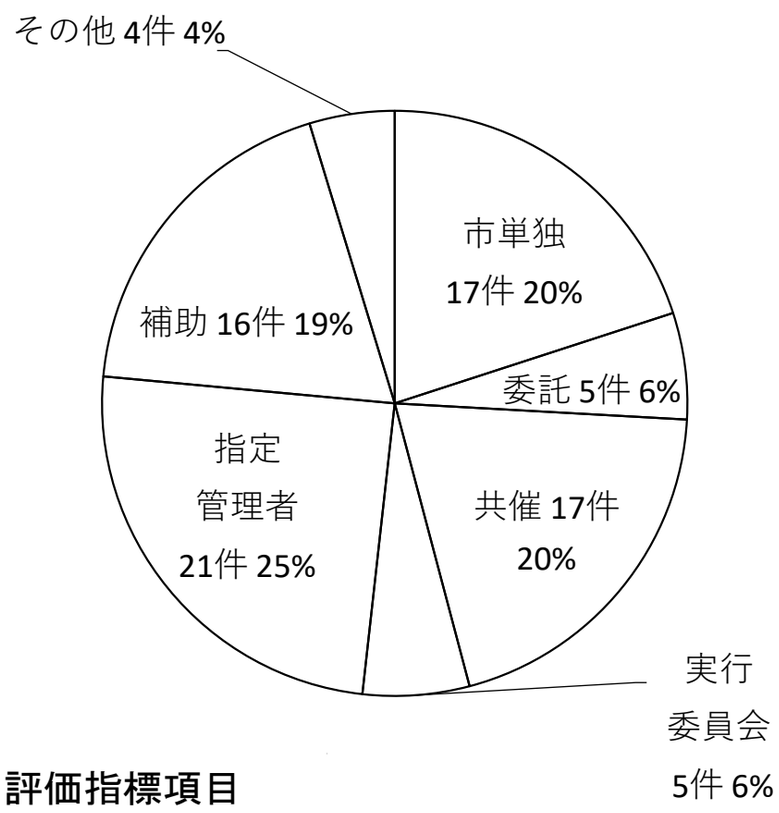
所管評価



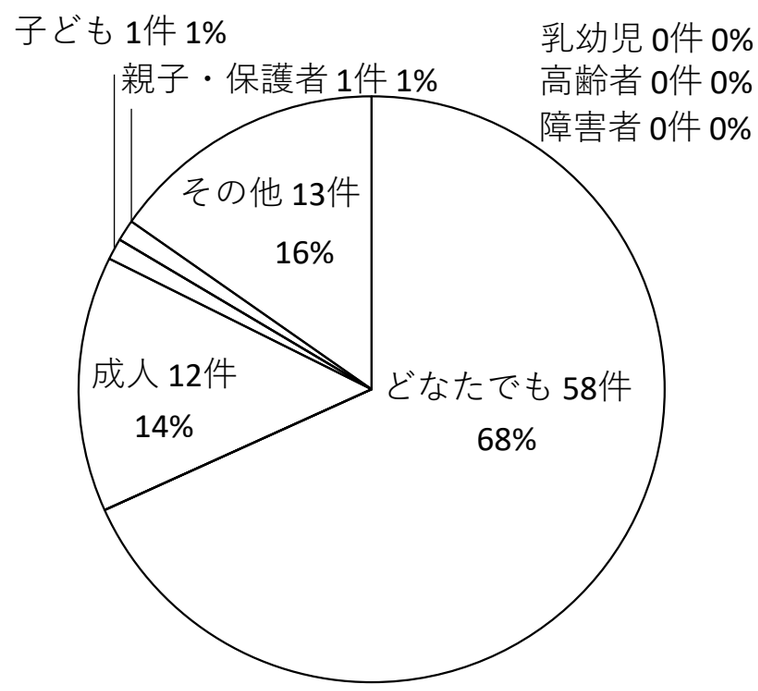
方向性



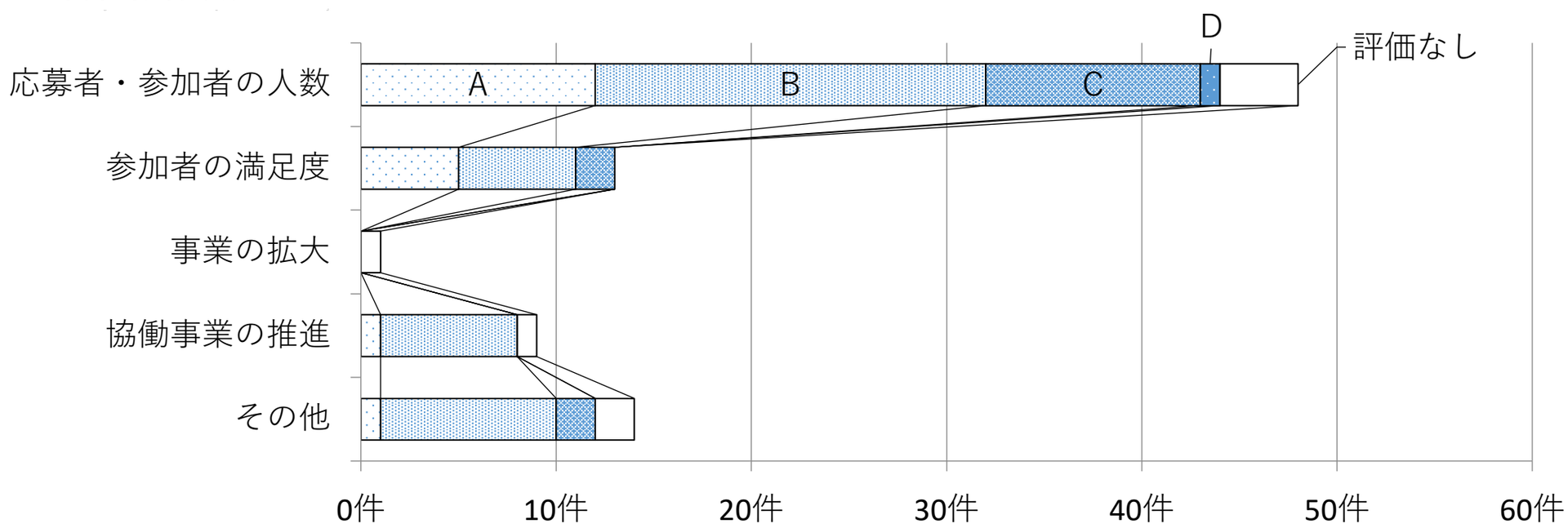
事業の実施形態



対象者

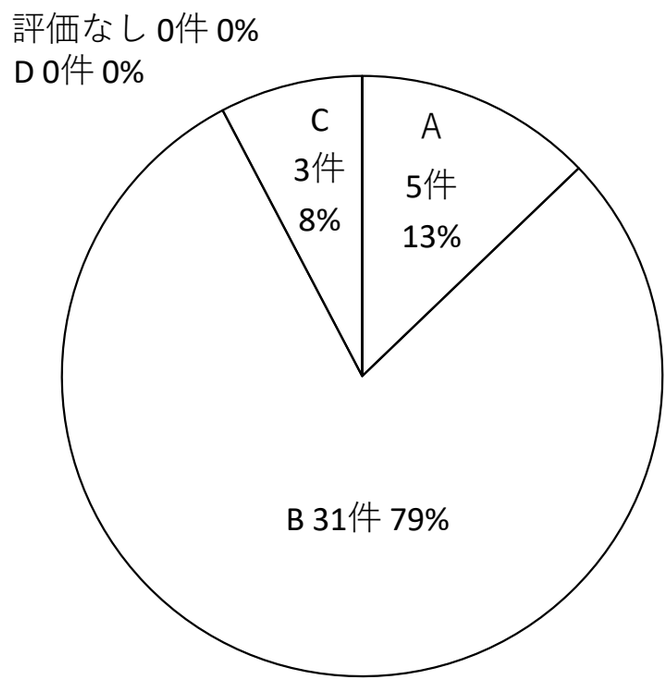


評価指標項目

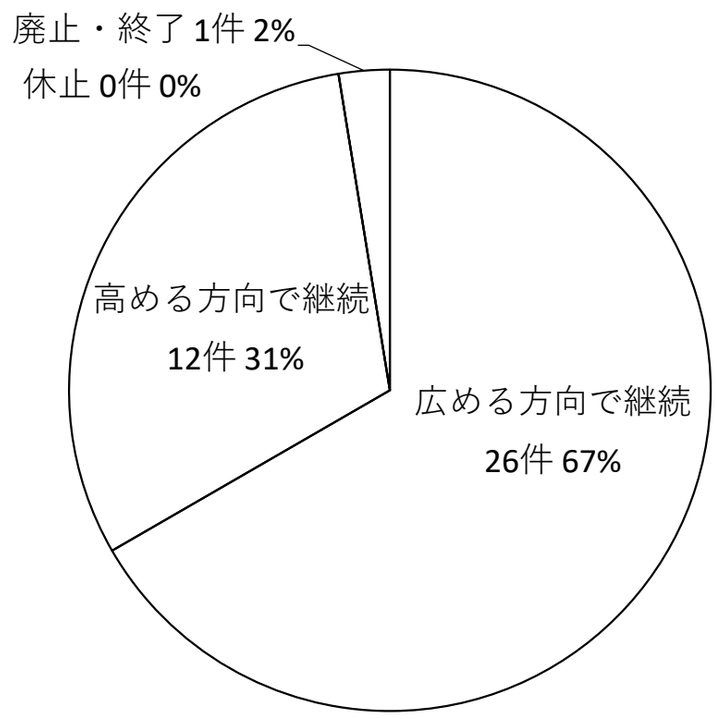


基本施策4　生涯学習環境の充実　39 件

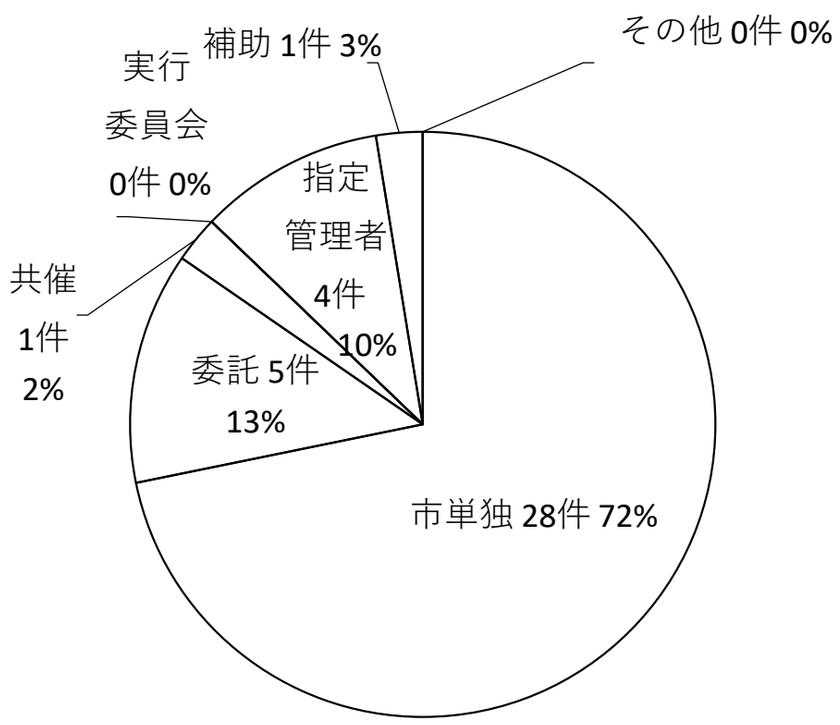
所管評価



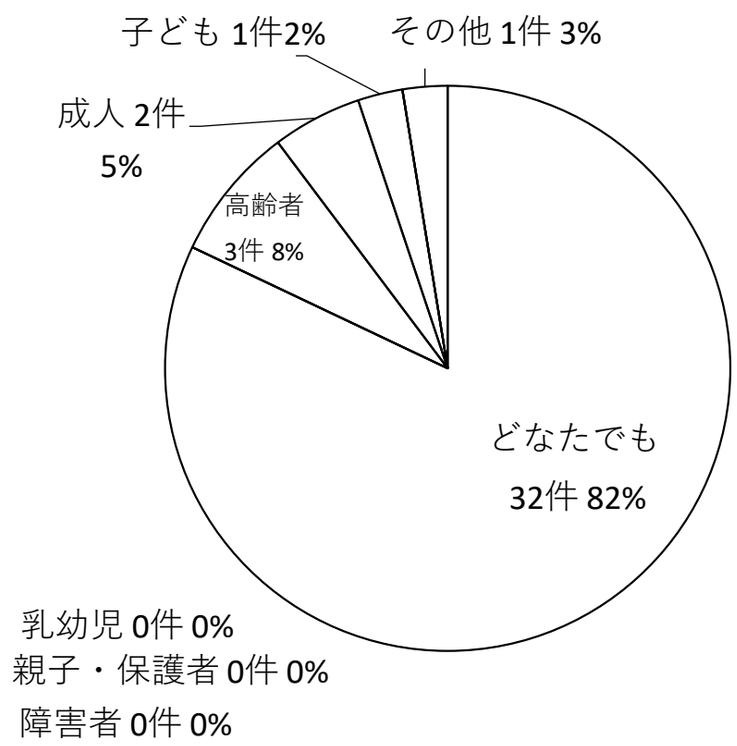
方向性



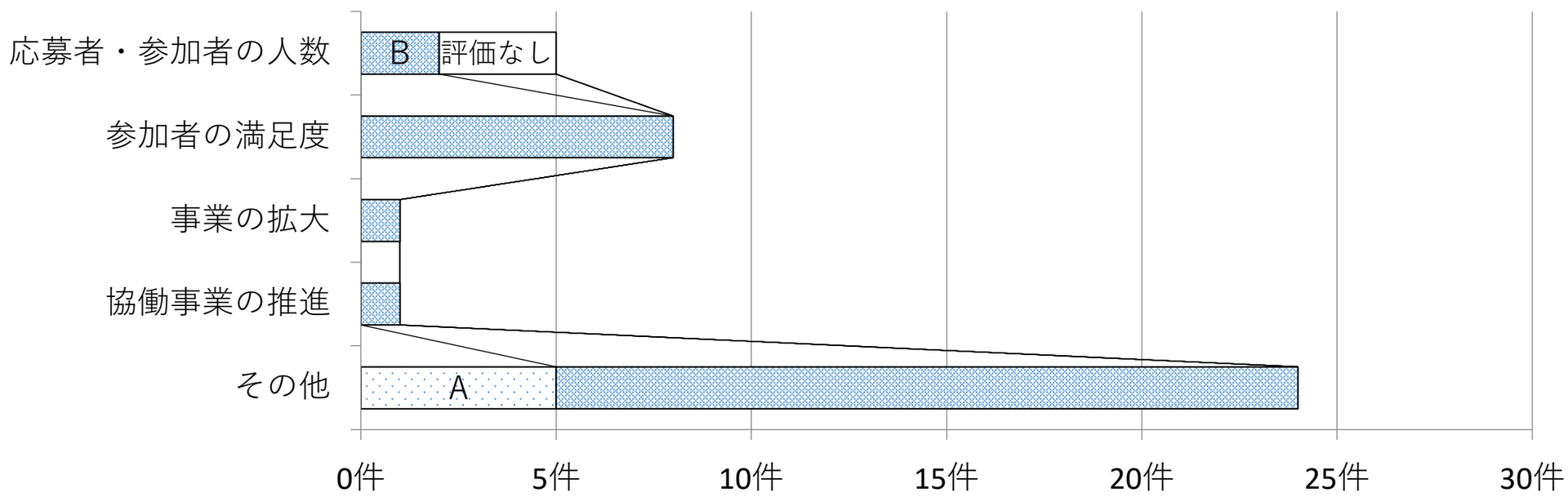
事業の実施形態



対象者



評価指標項目



補足

■所管課評価の動向（令和元年度・平成30年度）

令和元年度		平成30年度所管課評価					
評価	総数	A	B	C	D	評価なし	（前年度該当事業なし）
A	102	23	61	1	0	0	17
B	341	42	246	23	1	0	29
C	52	9	25	5	0	0	13
D	1	0	0	1	0	0	0
評価なし	37	10	14	1	1	2	9
合計	533	84	345	31	2	2	68

■新型コロナウイルス感染症による影響

令和元年度		令和元年度コロナの影響			
評価	総数	コロナに言及	完全中止・延期	一部中止	その他の影響
A	102	22	0	8	0
B	341	106	1	43	6
C	52	18	2	9	0
D	1	1	0	0	1
評価なし	37	24	22	0	0
合計	533	171	25	60	7

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
1		講座・教室	育児・教育	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	青少年講座	学校教育では体験できない学習機会を提供し、自発的・主体的な学習活動の基礎をつくる。	子ども	24	674	市単独	参加者の満足度	満足度85%以上	受講者アンケートでの「大変満足」「満足」の割合95.4%	B	企業・大学と連携したプログラミング講座をはじめ多様な体験を提供し、高い満足度を得られた。	広める方向で継続		5年間継続して満足度の高い講座を実施し、子どもたちに学校教育で体験できない学習機会を充実させることができた。	756	432	466	学習支援課
2		講座・教室	育児・教育	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	親子里山保全体験講座	自然体験を通して里山の文化を知るとともに、里山保全の普及啓発を図る。	親子・保護者	2	58	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度90%以上	アンケート集計結果における満足度93%	B	参加者は58人と目標を達成し、特に7月開催の講座は、募集人数を大きく上回る参加者であった。事業目標についても、子どもたちから、大きくなったら虫を捕まえたい、など将来に自然を残したいと思われる意見があり、達成することができた。	高める方向で継続		開催の回数を増やすなど事業の拡充により、参加者数は5年間で増加した 。また、参加者から里山保全の理解や自然への関心がみられる意見もあり、意識を高めることができた。	69	47	99	環境保全課
3		イベント等	趣味的なもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	ふれあいこどもまつり	子どもたちが楽しみながら、様々な文化・芸術に身近に触れ、体験することを通して、豊かな感性を育む。	子ども・保護者	1	2,248	実行委員会	応募者・参加者の人数	2,000	2,248人	B	令和元年度(2019年度)も目標値を上回る参加者があり、多くの子どもに芸術文化の体験・参加・鑑賞の機会を提供することができた。引き続き、子どもの体験機会の充実を図る。	広める方向で継続		地域の子育て支援団体等により、子どもの体験を重視したプログラムを提供できた。また、アンケート結果も高評価であった。	0	0	0	子どものしあわせ課（学園都市文化ふれあい財団）
4		イベント等	趣味的なもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	子ども体験塾「オーケストラ・ワンダーランドへようこそ！」	身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞し、子どもたちに感動体験を提供する。	子ども・保護者	1	1,113	実行委員会	参加者の満足度	アンケートで5段階評価を行い、「大変良かった」または「良かった」の合計割合を、80%以上を目標とする。	参加者（592名分）の合計割合は84.0%指揮者等の体験者（54名分）の合計割合は98.1%	B	参加者の満足度が高く、リピーターも多いことから、今後も高度で大規模な感動体験を提供できるプログラムを行う。また、指揮者体験や楽器体験等の体験活動に参加した子どもの満足度が特に高いことから、対象者を拡大し、引き続き子どもの体験機会の充実を図る。	高める方向で継続		子どもへのアウトリーチ活動（現地指導）や子ども向け音楽体験プログラムを提供できた。小中学校等との共演により、質・参加者数ともに充実した事業を実施できた。	0	0	0	子どものしあわせ課（学園都市文化ふれあい財団）
5		講座・教室	教養的なもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	観察会	アウトドアプログラムの骨格的なイベントとして、親子を中心に自然を観察・体験してもらう。	親子・保護者	4	延べ62	指定管理者	参加者の満足度	参加者アンケートにおいて「満足」の回答8割以上	4回62人満足の回答9割以上	A	全体満足度9割以上であった。加えて事業目標についても、子供たちから大人までが楽しめる新たな昆虫写真セミナーや土壌動物をピックアップしたイベントを企画し実施した。満足度100%を目指し、事業を継続する。	高める方向で継続		アンケートや利用者満足度調査結果を取り入れ、昆虫や野鳥観察を拡充したことで、参加者から例年8割以上の満足度評価を得られ、評価指標目標を達成した。	48	36	15	公園課（ひとまちみどり由木）
6		講座・教室	教養的なもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	こども科学教室	株式会社アジレントテクノロジーによる実験、ものづくりイベントとして、小学生の科学教育を推進する。	親子・保護者	4	延べ84	共催	参加者の満足度	参加者アンケートにおいて「満足」の回答8割以上	4回84人各回満足の回答8割以上	A	全体満足度8割以上であり、目標を達成できたものの、例年通りの企画となり工夫した点が見られなかったことが課題となった。	廃止・終了	アジレントテクノロジーの学習支援事業が廃止となったことに伴い、当教室も廃止となった。	アジレントテクノロジーと連携し共催事業を継続したことにより、子供たちの自然科学への興味関心を高められ、宇宙講座等他のプログラムを学ぶ子も増えた。	13	7	－	公園課（ひとまちみどり由木）

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
7		イベント等	育児・教育	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	みどりのあそび市	グッド･トイを利用し、地域の親子に世界のおもちゃの魅力を伝え、「出会い･ふれあい･育ち合う」遊びの広場を開催すると同時に地域のあそびを取り入れたひろばを展開する。	どなたでも	2	延べ246	共催	協働事業の推進	八王子市こども家庭部保育幼稚園課との協働事業を推進する。	達成度100%	A	八王子市子ども家庭部保育幼稚園課のイベントと同時開催を行った。加えて事業目標については今年度も「こもれびひろば」を継続して支援したことで育ちあいの場を提供することができ達成したといえる。	広める方向で継続		平成29年に開始し、当初「おもちゃとえほんの広場」のみだったが、近隣教育機関や地域団体、NPO団体との連携によって規模を拡充したことで参加者数が3年間で173%増加した。	40	66	50	公園課（ひとまちみどり由木）
8		イベント等	育児・教育	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	ひとり親家庭親子ふれあい事業	ひとり親家庭に対し、バスツアーを開催し、体験活動を行うとともに、親子間やひとり親家庭同士のコミュニケーションを相互に深める。	親子･保護者	1	親子20組43人	委託	参加者の満足度	参加者アンケートのうち、満足したものが90%以上とする。	参加者の91.7%が満足したとの結果になり、目標値を達成した。	A	バスツアーは今年度が初めての試みとなったが、満足度は91.7%と非常に高い結果となった。行き先については様々な選択肢があるため、ニーズをよく把握したうえで行き先を決定するとともに、このようなイベントが親同士･子同士の交流の場となるよう企画･運営していく。	広める方向で継続		平成29年･30年度にはクッキング交流会、令和元年度からはバスツアーを開始した。アンケート評価は高評価を維持している。	657	657	660	子育て支援課
9		講座・教室	教養的なもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	科学実験ショー	身近な科学的事象の体験を通じ、科学への興味を深める場を提供する。	どなたでも	27	2,123	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%以上	96.6%	B	光の三原色、酸性とアルカリ性、電気と磁石、真空などの基礎的実験から遊びの要素を取り入れたスライムや空気砲など、さまざまな実験を行い、参加者にも体験してもらうことができた。	高める方向で継続		放射線が見える霧箱の実験、ジャイロ、燃料電池、色の三原色など身の回りで見ることのできる現象や、特殊装置がないと見えない現象を解説し、理解促進に寄与できた。	－	－	－	こども科学館
10		講座・教室	教養的なもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	フリー工作広場	物を作る、触れるなど実際に体験して科学の楽しさを知る。	子ども	21	1,074	市単独	応募者･参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	1,074	B	新型コロナウィルス感染拡大防止のため3月が休館となり、3月分(3回)は開催中止となったが、目標1,000人に達した。参加費無料で開催したことで気軽に参加ができたものと考える。	高める方向で継続		身近な材料を使うことで家庭でも気軽に作ることができることから、こどもだけではなく保護者の方も一緒になって科学の楽しさを知ってもらうことができた。	－	－	－	こども科学館
11		講座・教室	教養的なもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	かんたん工作室	物を作る、触れるなど実際に体験して科学の楽しさを知る。	子ども	31	1,260	市単独	応募者･参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	1,260	B	新型コロナウィルス感染拡大防止のため3月が休館となり、3月分(3回)は開催ができなかったが、目標の1,200人に達した。	高める方向で継続		偏光板、CD、磁石などを使って、科学の原理を学びながらさまざまな工作を行った。モノづくりを通して科学の楽しさ、興味を喚起することができた	－	－	－	こども科学館
12		講座・教室	教養的なもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	科学工作教室	物を作ることを実際に体験して、科学の楽しさを知る。	子ども	11	318	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%以上	84.7%	B	手作りプラネタリウム、アンモナイト化石のレプリカ作り、ダンゴムシ迷路工作など、少し難しい、時間がかかる工作を行った。参加者全員が興味をもって制作に励み、毎回申し込みが定員オーバーとなっている。できるだけ多くの方に参加してもらえるよう講座の実施回数増を検討したい。	高める方向で継続		毎年、新たな工作を加えて、参加者に提供できるよう工夫をしてきた。中には同じ内容でも毎回定員オーバーする人気の教室もあり、引き続き魅力のある工作教室を開催していきたい。	－	－	－	こども科学館

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
13		講座・教室	教養的なもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	プラネタリウム番組の投影	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発(一般向け番組、幼児向け番組、小学校3･4･6年生学習番組、中学校3年生学習番組)	どなたでも	1,020	52,510	市単独	応募者･参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	52,510	B	新型コロナウィルス感染拡大防止のため3月が休館となり、プラネタリウムも投影中止となってしまったことから、目標の55,000人に達しなかった。	高める方向で継続		小学校･中学校番組は学習指導要領に沿った番組を投影。 一般向け番組はキャラクター番組や、宇宙開発･火星･月などタイムリーな事象をテーマとする番組を投影し、天文･宇宙について普及を行うことができた。	9,212	9,022	8,855	こども科学館
14		講座・教室	教養的なもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	夏休み科学体験	参加者は、物を作る事を通じ科学の楽しさを知り、スタッフ(中･高生)は教える事を通じ、指導方法を学ぶ。 市内児童館と共催	子ども	1	146	市単独	応募者･参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	146	B	参加者は目標の200人に達しなかったが、児童館職員と児童館に通う中学生･高校生が講師となって、保護者を含めた参加者に植物の葉に水や養分を運ぶ葉脈について講義し、標本の作成を手伝った。講師となった中学生･高校生は、人にものを教える難しさ、楽しさを体験することができた。	高める方向で継続		参加者だけでなく、講師となって参加している中学生、高校生にとっても貴重な体験ができる講座となっている。児童館、当館ともに有益な共催事業として今後も継続していきたい。	0	0	0	こども科学館
15		講座・教室	教養的なもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	化学実験教室	参加者は、化学反応等を体験し、科学の楽しさを知り、スタッフ(大学生)は教える事を通じ、指導方法を学ぶ。	子ども	1	141	共催	応募者･参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	141	B	首都大学東京の化学サークルの学生が講師となって開催。参加者が目標の140人を超えた。	高める方向で継続		毎年、夏休みの事業として都立大学と共催で実施している。現役の大学生による実験で参加者には新鮮さを感じてもらことができ、学生も指導を実地で行うことで有益となっている。引き続き実験内容を工夫しながら継続していきたい。	23	23	23	こども科学館
16		講座・教室	教養的なもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	おもしろ生きもの講座	さまざまな生きものへの関心を持つことや生物多様性の大切さなどを伝える	どなたでも	3	254	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%以上	92.8%	B	蟻と植物の関係や人間が利用している昆虫の有用特性について解説し、満足度が高かった。 電子顕微鏡で撮影した画像も使用した。 今後も、さまざまな生物について紹介する。	高める方向で継続		今までにコウモリ、モグラ、プランクトン、蚊、外来生物などを取り上げて、普及･啓発を行うことで、様々な生き物に興味をもってもらうことができた。あわせて、生物多様性についての理解促進を図ることができた。	－	－	－	こども科学館
17		講座・教室	教養的なもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	星空観望会	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発	どなたでも	6	522	市単独	応募者･参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	522	B	新型コロナウィルス感染拡大防止のため3月が休館となり、1回開催ができなかったが、522人に参加していただき、目標450人を超えた。	高める方向で継続		27年度の皆既月食観望会、30年度の火星大接近の観望会など、天文現象や惑星、季節に見られる星座などに合わせて開催し、天文･宇宙の普及を行った。	－	－	－	こども科学館
18		講座・教室	教養的なもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	昼間の天体観望会	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発	どなたでも	2	31	市単独	応募者･参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	31	評価なし	開催日2日とも曇りとなり、ほとんど太陽が見られず、参加者が31人と目標250人を大きく下回った。(評価なし)	高める方向で継続		特殊なフィルターをつけた望遠鏡で、太陽の黒点、プロミネンスを観察するなど実際に太陽の観測を行い、部分日食の折には観察会を開催し、日食の原理を知ってもらうなど天体への興味を喚起することができた。	－	－	－	こども科学館

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
19		講座・教室	教養的なもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	天文･宇宙講座	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発	どなたでも	4	147	市単独	応募者･参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	147	B	小惑星探査機はやぶさ2とブラックホールについて解説する講座と、天体望遠鏡体験講座を開催し、目標の80人を上回った。	高める方向で継続		皆既月食、流星群、七夕など、天文現象に合わせたテーマで開催し、天文･宇宙について普及を行うことができた。	－	－	－	こども科学館
20		講座・教室	教養的なもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	夏休み天文講座	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発	どなたでも	2	161	市単独	応募者･参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	161	B	目標の250人に達しなかったが、子供たちが夏休みにできる星の観察をテーマに、夏休み中の天文現象や見ることのできる惑星について解説し、夏休みの宿題の一助となった。	高める方向で継続		小学校4年生が学ぶ星の単元「星の動き」を学習する時期に合わせ教科書の内容も取り入れ、合わせて夏休みに見ることができる天文現象や月について解説した。多くの親子に参加していただき、天文･宇宙についての興味を高めその知識の普及を行うことができた。	－	－	－	こども科学館
21		講座・教室	教養的なもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	科学講演会	さまざまな科学に関する知識の普及および啓発	どなたでも	0	0	市単独	応募者･参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	0	評価なし	生涯学習センターと共催予定であった「小惑星探査機はやぶさの調査と宇宙の不思議」がコロナウイルス感染拡大防止のため、開催できなかった。(評価なし)	高める方向で継続		その時々の天文現象や宇宙開発について専門家など外部講師をお招きして、タイムリーな内容を提供することで、多くの方に宇宙への関心や興味を高めていただき、学ぶ機会を提供することができた。	90		90	こども科学館
22	◎	講座・教室	教養的なもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	大人のためのお天気入門講座	八王子の天気の特徴や気象に関する知識の普及および啓発	どなたでも	3	19	市単独	応募者･参加者の人数	アンケート集計結果による満足度80%以上	98.8%	B	八王子の気象の特徴や地球温暖化、エルニーニョ現象と天気の関係などを解説した。 満足度は目標を超えたが、参加者が少ないため、参加者の増を目指す。	高める方向で継続		春一番、夏の猛暑、台風、南関東の降雪と南岸低気圧など四季に合わせた気象も解説した。 大人のための、としているが、小学生も参加可能としている。	－	－	－	こども科学館
23		講座・教室	教養的なもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	コズミックカレッジ	実験や工作を行うことを通じて、宇宙に関する知識の普及、啓発を行う。	子ども	0	0	共催	応募者･参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	0	評価なし	評価なし(新型コロナウィルス感染拡大防止のため休館･中止となった)	高める方向で継続		小学校1、2年生向けのキッズコースで飛ぶ種の工作、3年生以上向けのファンダメンタルコースで空気や真空の実験を行い、宇宙や科学についての知識を深め、興味を高めることができた。	－	－	－	こども科学館
24		講座・教室	教養的なもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	浅川化石観察会	ハチオウジゾウや八王子の地質などを知り、自然への興味を深める場を提供する。	どなたでも	2	107	市単独	応募者･参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	107	B	参加者が107人であり、目標120人を下回ったが、こども科学館に展示しているハチオウジゾウについての解説や、化石が発見された北浅川の河川敷へ行き、230万年前のメタセコイア化石やコハクを観察することで、自分の住む地域の歴史について学ぶ機会を提供することができた。	高める方向で継続		新種と認められたハチオウジゾウと日本でのゾウの進化など、ハチオウジゾウの発見意義などについて解説し、身近な場所で、直接に化石に触れてもらうなど、地域を知る機会を提供できた。	7	7	7	こども科学館

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
25		講座・教室	教養的なもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	電子顕微鏡を活用した講座	電子顕微鏡により、様々なものを拡大して、その表面や構造を見ることで、物の形成や成り立ちを学ぶ。	子ども	3	21	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%以上	94.4%	B	電子顕微鏡の部屋が狭く、大人数の講座は開催できないが、参加者の満足度は高かった。 おもしろ生きもの講座でも電子顕微鏡で撮影した昆虫等の画像を用いて活用することができた。	高める方向で継続		市内の業者から寄贈を受けた電子顕微鏡を活用し、普段見ることができない昆虫の口や羽の構造などを観察することを通して、科学技術の一端に触れる機会を提供することができた。	－	－	－	こども科学館
26		イベント等	教養的なもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	星空コンサート	市民に音楽に触れる機会、宇宙に関する学習の機会を提供する。	どなたでも	4	628	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	628	B	参加者が628人であり、新型コロナウィルス感染拡大防止のため、2回が中止となり、目標1,000人に達しなかったが、12月には初めての試みでビッグバンドによるコンサートを開催した。	高める方向で継続		器楽、歌、箏(こと)、八王子出身のグループ・アップリフトなど、さまざまな音楽を提供するとともに、八王子市学園都市文化ふれあい財団の八王子音楽祭にも参加することができた。	180	130	180	こども科学館
27		講座・教室	教養的なもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	職場訪問、職場体験、その他研修の受け入れ	科学館事業や運営実務の学び・体験を通じて、訪問者の知識の向上を図る。	子ども	6	24	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数以上の受け入れ	24	B	職場訪問、職場体験等の受け入れが24人であり、目標15人を超えた。 他に大学生の博物館実習、夏休みの教員研修を受け入れた。	高める方向で継続		様々な年齢層の生徒・学生が科学館の仕事の一端に触れることで、科学館の業務や科学への興味、関心を高めてもらうことができた。	0	0	0	こども科学館
28		イベント等	育児・教育	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	青少年海外交流	海外の青少年と交流することで、国際理解と異文化を体験する機会を与え、スポーツや文化を通じて国際的視野を持った青少年を育成する。	子ども	1	16	市単独	参加者の満足度	8割以上の参加者の海外への興味・関心が高まること。	事後アンケートを行ったところ、「海外への興味・関心が高まった」という参加者の割合が8割を超えた。	A	現地の学校との親善試合のほか、一緒に授業を受けたことにより、中学生同士の親交を深めるとともに、コミュニケーション力の大切さについて学ぶ契機となった。また、台湾の歴史や文化を学ぶことで、参加者に国際的視点を持たせることが出来た。今後はスポーツを含めた文化交流を通じて友好を深める。	高める方向で継続		平成27年度から令和元年度までの5年間は姉妹都市の一つである台湾高雄市とのスポーツ交流事業を行っている。	5,808	3,205	4,874	生涯学習政策課
29		講座・教室	社会貢献活動	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	子ども点字・手話教室	点字・手話だけではなく、福祉全般の啓発をし、子どものうちから偏見のない心を育てる	子ども	10	355	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度348名前年度比102%	B	前年度比102%と多くの方に受講していただき、好評であった。	休止	新型コロナウイルスの感染拡大により、講師および授業時間数の確保が出来ないと判断したため	音声ガイド付き映画の上映、聴導犬によるデモンストレーションを実施するなど、手話・点字以外の学習も行うことが出来た。	216	210	216	障害者福祉課
30		イベント等	育児・教育	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	北海道白糠町小学生交流事業	本市とゆかりのある北海道白糠町の小学生と交流し友情を育み親善を深める。	子ども	1	15	共催	参加者の満足度	アンケートにて参加者全員が参加して良かったと回答する、交流を目指す。	満足度100%	A	全ての参加者に満足度の高い体験を提供できた	高める方向で継続		どの年においても参加者満足度の高い事業運営ができた。	1,689	1,172	1,632	生涯学習政策課
31		講座・教室	健康・スポーツ	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	各種子ども向けプログラム	ミズノ(スポーツ) JSS(ダンス・武道) エスフォルタ(フィットネス) 多種多様なプログラムで、お子様の健康づくりに寄与する。	子ども	1,185	10,611	指定管理者	応募者・参加者の人数	多くの参加者に参加していただく。 効果的なプログラムを提供する。	平均参加人数 開催回数/参加者 目標10.38名 実績8.95名	B	3月はコロナの影響により休校となった為、参加者人数は、11か月分となる。 結果として平均参加者数がダウンしたが競合施設NASが同種の教室を実施していることの影響を、広報・指導力により最小限に抑えている結果とみている。	高める方向で継続		個人利用、団体利用の優先する事業とのバランスを見ながら、最大限での教室授業を展開している。お客様にも認知され定員を上回る教室もある。今後もバランスを重視してより、満足度の高いものを提供して行く。	9,306	6,957	9,500	スポーツ施設管理課（八王子ゆめおりサポート株式会社）

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
32		講座・教室	社会貢献活動	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	キッズパトロール隊防犯教室	児童の防犯意識の高揚	子ども	3	34	共催	参加者の満足度	アンケート結果で「また参加したい」が半数以上となる	30/34	A	参加者34名のうち、半数以上の30名から回答を得た。また、「貴重な経験ができた」などの記述回答もあり、防犯意識を高めることができたため。	高める方向で継続		児童・生徒が防犯に関する知識を学び、広報体験や、啓発活動等、普段大人が行っている防犯活動を体験することで、防犯意識を高めることができたため。	3	4	4	防犯課
33		イベント等	社会貢献活動	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	南大沢文化会館バックステージツアー	劇場の楽しさを知ってもらうことにより、南大沢地区の文化を担う文化びとを育成し、来場者及び利用者の増加を図る。	親子・保護者	2	56	指定管理者	応募者・参加者の人数	応募人員80%以上（80人以上）	83%目標100人に対し応募者数83人	B	目標を上回る83人から応募があったが、キャンセルが重なり参加者は56人だった。次年度は周知範囲を広げ、応募者を増やすとともに、参加者も増やす。	広める方向で継続		夏休み期間のイベントとして定着し、参加者のアンケート結果は評価が高い。施設の認知度を上げることにより、利用の拡大につながっている。	319	319	314	学園都市文化課（(公財)学園都市文化ふれあい財団）
34		イベント等	趣味的なもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	みんなEnjoyわくわくステージ	バンド活動や特技の向上のために自主的に練習している中高生年齢の子どもたちにその成果を披露する機会をつくる。	子ども	1	44	市単独	参加者の満足度	アンケート集計における「イベントに参加してよかった」という項目で全ての参加者が満足できるよう継続して取組む。	参加者より聞き取りを行ったところ、全員からイベントに参加してよかったと回答があった。	B	出演者は満足感を得られたが、実行委員を希望する中高生がいなかったため実行委員会を組織できなかった。そのため、令和2年度に本事業について検討を行うこととした。	広める方向で継続		児童館で活動する中高生世代の発表の場として、また実行委員としてイベント運営に携わる機会として、参加者や実行委員は、それぞれに達成感や充実感を得ることができた。	69	32	89	児童青少年課
35		講座・教室	育児・教育	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	子育て講座	子育てに係る各分野の専門家による講演や遊びのプログラムの提供により、保護者が楽しく子育てできるように支援していく。	親子・保護者	146	3,152	市単独	応募者・参加者の人数	利用者のニーズに応え、内容の充実を図る。	利用者のニーズを取り入れながら146回の子育て講座を実施した。	B	利用者のニーズを踏まえた、親の学びの支援として「リトミック」や「親子リフレ」など146回の講座を開催し、3,152人の参加を得た。	広める方向で継続		乳幼児の保護者に向けて、楽しく子育てに取り組めるような内容の講座を開催することで、子育ての環境づくりや子どもの健やかな成長への一助となった。	314	234	342	児童青少年課
36		イベント等	趣味的なもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	児童館まつり・児童館こどもシティ	子どもたちに遊びを通したミニ社会体験の場を提供し、協調性を学んでもらう機会とする。	子ども	8	4,825	実行委員会	協働事業の推進	子育て関連団体との連携強化	地域の様々な関係団体や大学生などの協力を得た。	B	地域の団体や住民、大学生などの協力により、地域住民と子どもたちが交流する機会となった。また、子どもたちが社会性を育む機会にもなった。	広める方向で継続		イベントの中で、地域の大人と学生、子どもが関り、顔の見える関係づくりが促進された。	841	326	958	児童青少年課
37		講座・教室	育児・教育	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	児童館乳幼児クラブ	乳幼児とその保護者に遊びと交流の機会を提供する。	乳幼児	2201	22,017	市単独	応募者・参加者の人数	利用者のニーズに応え、内容の充実を図る。	体操や工作、季節行事など、利用者のニーズを踏まえ、2,201回の活動を実施した。	B	2,201回の乳幼児クラブ活動を実施し、22,017人の参加があった。また、保護者の子育て相談にも対応した。	広める方向で継続		乳幼児を持つ保護者がグループ活動などを行うことで、子育ての孤立感が解消され、広義の虐待予防につながった。	575	570	546	児童青少年課
38		その他	社会問題・市民生活に関するもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	中学校社会科学習資料「わたしたちの生活と税金」の発行	中学生の税に対する理解を深める。	子ども	―	6,000部	実行委員会	中学生の税に対する理解	中学生の税に対する理解を深める。	令和元年度の「税の作文」の応募者が3,749作品であった。	B	租税教育研究委員会にて、副読本の内容について検討し、近隣市との比較や八王子市の概要を掲載するなどよりわかりやすくするための改訂を行った。	高める方向で継続		各年度の租税教育研究委員会にて議論し、見やすくわかりやすい内容に改定を重ねた結果、八王子に特化した副読本として使いやすいものとなった。	643	573	635	税制課（八王子市中学生租税教育研究委員会）
39		講座・教室	社会貢献活動	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	夏休み体験ボランティア活動	ボランティア活動体験を通じて、人が互いに助け合うことの大切さを学ぶ	子ども	1回	292人	補助	応募者・参加者の人数	参加者前年度比10%増	292人（前年339人）	C	参加者は前年度339人に対して、本年度は292人であり、目標は達成できなかったものの、新たに校長会にてPRを図った。	高める方向で継続		学校へのPR活動を強化したことで、参加者数は5年間で118人増加となり、ボランティア活動体験を通じて、人が互いに助け合うことの大切さを学ぶという目標を達成でいた。	250	175	244	福祉政策課（八王子市社会福祉協議会市民力支援課）

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
40		講座・教室	教養的なもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	子ども手作り甲冑教室	甲冑づくりを通して八王子城の歴史を学び、ふるさと八王子を愛する心を育てる。	親子・保護者	1	35	委託	参加者の満足度	アンケート回答者の7割が「満足」と回答する	10割	B	アンケートで参加者全員が「満足」と回答しており、講座を通じて八王子城跡を中心とした郷土の歴史や文化をよりよく参加者に伝えることができた。今後も継続して事業実施を行いたい。	休止	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から休止	毎年定員を超えての応募があり、平成29年度より20組40名に増員した。参加者の満足度も高く、毎年恒例の人気講座となっている。	108	108	110	文化財課（NPO法人八王子城跡三ツ鱗会）
41	◎	イベント等	教養的なもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	八王子城跡まつり	八王子開市のきっかけとなった日に行う未来を担う子どもたち対象のイベントを通して、八王子の歴史を周知し郷土愛を育てる。	どなたでも	1	4,044	委託	応募者・参加者の人数	参加者1,000人	4,044	A	想定を上回る来場者数となり、協力団体や来場者からも高い評価を得ることができた。また両者から事業の長期継続を望む声も多く出た。準備過程の中では、初めての大規模事業を少数の担当職員で担っていたことで業務が繁雑化していた。今後の事業継続と円滑な業務遂行に向けて、計画的な業務スケジュールを作成し、地元町会を含めた協力団体と、事業実施に向けた早期調整を図りながら、さらなる連携を深めていく。	休止	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から休止	平成29年度は八王子城と滝山城をテーマとしたパネル展の開催、平成30年度はシンポジウムを開催した。令和元年度は地元町会や関連団体と協力し、初めて大規模なイベントを実施した。参加者・来場者ともに事業の継続を望む声が多く、八王子城の周知活用のために期待されている事業といえる。	300	3,460	2,054	文化財課（八王子城跡まつり協議会）
42		講座・教室	健康・スポーツ	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	ボルダリング教室	オリンピックの新種目であるボルダリングの基本を習得してもらうために、戸吹スポーツ公園クライムロックを利用して体験の場を提供する。 ・キッズボルダリング ・親子ボルダリング	親子・保護者	14	延べ68	指定管理者	応募者・参加者の人数	120人/年	68人 57%	C	目標の参加人数は未達。人気のスポーツであり、今後も参加者が見込まれるので開催時期、内容等見直し継続。	広める方向で継続		園内の施設を活用し子供向け体験教室を実施。広報活動を行っているが、時季により参加者が少なく今後は通年ではなく開催時季を見直しに取り組む。	60	34	60	公園課（スポーツコミュニティ戸吹）
43		講座・教室	健康・スポーツ	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	スケートボード教室	オリンピックの新種目であるスケートボードの基本を習得してもらうために、戸吹スポーツ公園スケートパークを利用して体験の場を提供する。	どなたでも	17	延べ197	共催	応募者・参加者の人数	200人/年	197人 99%	B	ほぼ目標達成。3月の新型コロナウイルスによる2回の中止が影響している。毎回定員以上の申し込みがあり、令和2年度もできる限り多く開催し継続していく。	広める方向で継続		全国でも数が少ないスケートパークを活用し、参加者も年々増えている。オリンピック競技となり人気が高まる中、初めての方でも参加できることから高い満足度を得ている。	100	99	100	公園課（スポーツコミュニティ戸吹）
44		講座・教室	健康・スポーツ	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	会員制スポーツ教室	五感を使う動作を取り入れた「コーディネーショントレーニング」で成長期に必要な運動神経の発達をサポートする。 ・未就学児クラス ・小学1～3年生クラス	子ども	21	令和2年度末会員14 延べ参加人数207	指定管理者	応募者・参加者の人数	会員20人	14人 70%	C	目標の会員数は未達のため。令和2年度は広報活動を積極的に行っていく。	広める方向で継続		29年度10月より実施し、広報はちおうじや他媒体に掲載することで、会員数は出入りはあるが増えている。保護者から教室の内容、各講師について高い評価を得ている。	60	46	60	公園課（スポーツコミュニティ戸吹）
45		講座・教室	健康・スポーツ	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	自然体験教室	自然観察（植物、昆虫、野鳥等）とクラフトを組み合わせた教室を実施し、自然環境に親しんでもらう機会を提供する。	子ども	11	延べ102	指定管理者	応募者・参加者の人数	120人/年	102人 85%	B	目標の参加人数は未達。プログラム内容によって参加者の多い少ないがあるので、アンケートなどを取り入れ反映させていく。	広める方向で継続		自然散策、クラフト等、五感を使った体験学習を続け、参加者もリピーターが多く、子ども保護者に高い満足度を得ることができた。	60	51	60	公園課（スポーツコミュニティ戸吹）
46		イベント等	健康・スポーツ	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	ジュニアランニング教室	小中高生を対象に陸上競技界の元トップアスリートで現在大学チームの指導者から直接指導を受ける機会の提供をする。	子ども	1	49	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者70人	49人 70%	C	参加者が49人で、当日はインフルエンザ等による欠席も多く、目標を達成できなかったものの、講師の法政大学陸上競技部苅部監督と現役学生アスリートによる指導と間近で見る現役アスリートのデモンストレーションは大変好評であり、レベルの高い指導を提供することができた。	広める方向で継続		広報等の紙媒体を見る習慣が減少していることから申込人数が減少したため、常日頃から走りに関心がある「はちおうじダッシュ！」参加者に教室開催の情報発信を行い、参加者増につなげた。	80	100	100	公園課（八王子市学園都市文化ふれあい財団）

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度）		事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
				NO	施策名							※前回照会時設定											
47		イベント等	健康・スポーツ	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	ジュニアジョギングスクール	子ども達の走る体力や筋力アップ、健全な精神育成を目標に年間でスクールを開催する	子ども	28	延べ919人	指定管理者	参加者の満足度	個々の参加者や保護者へのサポートに努め、向上する意欲を持続させること	達成度100%	A	年間24回開催を目標とし、28回を実施した。多くの参加があり、年間を通じて子どもたちの体力の向上と走る楽しさを提供することができた。必要に応じて挨拶などの礼儀作法を指導しており、子どもたち同士で注意、声掛けをするようになり、自立心が芽生えていった。	高める方向で継続		参加者には1回でも多く参加してもらうように募集条件に「7割以上参加可能」とつけた。その甲斐があり、平均30人以上がスクールに参加し、活気が絶えることがなかった。	10	12	10	公園課（八王子市学園都市文化ふれあい財団）
48		イベント等	健康・スポーツ	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	はちおうじダッシュ！（第8回）	小学生の体力増進と陸上競技の普及ならびに強化を目的とし各学年ごとに競い合い、走る楽しさを味わう。	子ども	1	482（チラシ配布：30,000部）	指定管理者	参加者の満足度	よりスムーズな企画運営を構築し参加者の充実感を高める。	達成度80%	B	小雨で肌寒い気候であったため、欠席をする参加者が多く見受けられた。天候不良での開催は初めてだったが、円滑、スケジュールの短縮ができるかを運営内で話し合い、進行することができた。開催後の反省会にて上がった改善点は次回開催時に反映させる。	高める方向で継続		参加料を事前徴収にしたことで当日キャンセルが激減することができた。また反省会を開催後1ヶ月以内に行うことを心掛け、改善点を次回開催時に反映させている。	700	1,446	700	公園課（八王子市学園都市文化ふれあい財団）
49		イベント等	健康・スポーツ	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	現役選手と体験、エンジョイラグビー！	体験教室を開催し、ラグビー人口の拡大を図る。	子ども	0	－	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者80人以上	－	評価なし	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止として、中止	広める方向で継続		平成29年度までは八王子市ラグビー協会指導者の指導の下開催してきたが、申し込みが伸び悩んでいたため、平成30年度より現役選手(社会人・大学)に依頼、開催することができた。	80	0	80	公園課（八王子市学園都市文化ふれあい財団）
50		イベント等	健康・スポーツ	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	上柚木公園サッカースクール(長期)	子供の体力向上とサッカーのジュニア育成を目的に実施する。	子ども	40	平均25人	指定管理者	応募者・参加者の人数	各回20名以上	全ての回で20名以上	A	ドリブルなどの基礎を応用した練習を繰り返し行った。普段の練習を本格的な広い会場で行っているため、実際の試合でも緊張が半減、自信につながった。そうした成果か、各回参加者20人以上の目標も達成できた。参加者を維持できるよう、継続して事業を行う。	広める方向で継続		市民センターを取り纏めているコミュニティ振興課に協力を得て、多くの方の目に触れるように各市民センターへの掲示とチラシ設置を行った。	0	0	0	公園課（八王子市学園都市文化ふれあい財団）
51		イベント等	健康・スポーツ	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	上柚木公園サッカースクール(短期)	子供の体力向上とサッカーのジュニア育成を目的に短期教室を実施する。	子ども	4回 7月:1回 8月:3回	延べ100人	指定管理者	応募者・参加者の人数	各回20名以上	7月25日:32人 8月1日:32人 8月22日:18人 8月29日:18人	B	8月の開催は学校によって夏休みが終了しており、目標を達成することができなかったが、多くの方にサッカーを体験、技術の向上に貢献することができた。	広める方向で継続		市民センターの取り纏めしているコミュニティ振興課に協力を依頼し、多くの方の目に触れるように各市民センターへの掲示とチラシ設置を行った。	0	0	0	公園課（八王子市学園都市文化ふれあい財団）
52		イベント等	健康・スポーツ	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	夢の陸上競技体験教室	オリンピック出場経験のある選手を講師として招き、オリンピアと交流できる機会を提供する。	子ども	1	43	補助	応募者・参加者の人数	参加者100人	43人 43%	C	参加者が43人で目標には届かなかったが、主催者側で実施したアンケートには参加者の満足の声が多く寄せられ、分かりやすい指導とオリンピアに接する機会が参加者の良い刺激になってくれた。	廃止・終了	メインスポンサーの意向により、開催場所の変更の申出があったため（八王子駅周辺を希望とのこと）	集客のため、広報やラジオ広報での情報発信など公園側ができる範囲のサポートを行った。	20	20	－	公園課（八王子市学園都市文化ふれあい財団）

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
53	◎	講座・教室	社会貢献活動	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	上柚木公園に巣箱をかけよう	野鳥の会と協働し、地域住民の協力のもと、園内に鳥の巣作り場所として巣箱を制作・設置する。	親子・保護者	1	2組	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者親子10組	2組 20%	C	参加が2組であったが、園内に設置する巣箱のオーナーになることで野鳥観察の機会と最後まで責任感を持って行う機会を提供することができた。今後はリピーター制度を導入し、参加者増に繋げる。	広める方向で継続		今年度より1年後の巣箱の開封・清掃までを1つのイベントとして実施する。同時に引き続き参加していただけるようにリピーター制度を導入し。参加者増に繋げる。	10	10	10	公園課（八王子市学園都市文化ふれあい財団）
54		講座・教室	育児・教育	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	親子料理教室・食育教室	料理を作る体験や食に関する学びの体験を通じて、生涯をとおして健全な食生活を送る力を身に付ける。	親子・保護者	50	1,756	市単独	事業の実施	全小学校での実施	50校／69校（実施率72%）	C	昨年度と比較して実施校が7校減少したが、参加人数は45名増加し、新たに1校が実施した。2年度は、新たに実施する学校への支援体制の見直しや強化を図り、全小学校での実施を目指す。また、応募の多い学校はできる範囲で定員又は実施回数を増やし、より多くの子どもたちに食育体験の場を提供する。	広める方向で継続		当初26校だった実施校及び参加者数が、この5年間で約2倍に増加し、子どもが食にふれる機会を多く与えることができた。 三期休業期間以外の実施も増やし、さらなる拡充を図りたい。	0	0	0	保健給食課
55		講座・教室	教養的なもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	体験学習「火おこしと縄文土器づくり－原始・古代の生活体験－」	縄文時代について、講義と体験を通じて生活・文化への理解を深める。	どなたでも	－	－	市単独	参加者の満足度	アンケート回答者の8割が「満足」と回答する	－	B	コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止した。	休止	令和2年度に郷土資料館を仮移転させるため。	5年間にわたり、アンケート回答者の8割が学習内容に満足していることから、郷土の歴史や文化への関心を高めることができたと評価する。	－	－	－	文化財課（郷土資料館）
56		イベント等	育児・教育	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	ひとり親家庭生活力向上事業「なんでもチャレンジ」	ひとり親家庭の児童が、体験活動や学習支援を通じて、心身ともに健やかに成長すること。	子ども	4回（最終5回目は新型コロナウイルスの影響により中止）	1回につき10～20名（重複者有）	市単独	参加者の満足度	参加者アンケートのうち、満足したものが80%以上とする。	保護者アンケートでは100%が満足したとの結果になった。	B	満足度は目標値の90%を上回った。「楽しく交流ができた」や「普段できない体験ができた」等事業に対する前向きなコメントが見られた。一方、参加者については回数を重ねるごとに減少傾向にあり、参加人数を維持していくため更に工夫が必要である。	広める方向で継続		平成27年から申込人数等に変化はなく、アンケート評価も高評価を維持している。	460	238	404	子育て支援課
57	◎	講座・教室	教養的なもの	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	夕やけ小やけふれあいの里星空観望会・流星群観察会	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発	どなたでも	4	246	共催	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	246	B	夕やけ小やけふれあいの里との初の共催事業で、10月、12月、1月の流星群観察会と2月に星空観望会を開催。参加者数が予定数200人を上回った。八王子の市街より暗い夜空の上恩方町で、より美しい星空を観望することができた。	高める方向で継続		今年度、初めての開催であったが、多くの方に遠方から、また宿泊とセットで参加していただいた。	－	－	－	こども科学館
58		講座・教室	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	家庭教育講座	親子がさまざまな学習を通じて体験を共有し、話し合い、絆を深めあう機会を提供する。	親子・保護者	27	577	共催	参加者の満足度	満足度85%以上	受講者アンケートでの「大変満足」「満足」の割合94.8%	B	各種創作や料理を通じて親子に体験学習の機会を提供し、高い満足度を得られた。	広める方向で継続		5年間継続して満足度の高い講座を実施し、親子の絆が深まるきっかけや学習を通じた親子の話し合い、共有の場を提供することができた。	273	510	434	学習支援課
59		講座・教室	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	子育て応援ひろば	子育ての中で生じる悩みを解消し、子育て中の保護者を支援する。	どなたでも	5	121	市単独	参加者の満足度	満足度85%以上	受講者アンケートでの「大変満足」「満足」の割合94.8%	B	発達障害の理解や教育費などをテーマに実施し、高い満足度を得られた。	広める方向で継続		5年間継続して満足度の高い講座を実施し、多様なテーマを設定することで子育て中の保護者の多様な課題を支援することができた。	161	101	177	学習支援課

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
60		講座・教室	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	家庭教育支援ワークショップ「星とおひさまFika（フィーカ）キャラバン」	茶話会形式のワークショップにより、保護者の心理的負担を軽減し、家庭の教育力の向上を図る。	親子・保護者	6	89	共催	参加者の満足度	参加した保護者が子育てに関する悩みや心理的負担を軽減する	満足度100%（アンケート回収者のみ）	A	アンケート回答者については全員、ワークショップは楽しかったとの回答をいただけた。令和2年度(2020年度)については、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、開催を希望していただけた小学校等での開催を検討する。	広める方向で継続		本事業を開始した当初の平成27～28年度は会場を生涯学習センターとしていたが、平成29年度から小学校での開催をメインにしたことで、ターゲット層である小学生保護者へのアプローチが可能となった。	184	151	188	生涯学習政策課
61		講座・教室	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	のびのび子育て講座	地域の人材活用や子育て機関の協力により、子育ての不安や負担を軽減し、子育てを楽しむ時間を提供する。	親子・保護者	1,368	21,288	委託	参加者の満足度	市民からの要望を講座の内容に生かす	参加者満足度93.6%	B	子育て広場においてアンケートを実施し、利用者のおおむね9割以上から良い評価を受けた。	高める方向で継続		利用者満足度が年々向上しており、講座の内容・頻度に市民の要望が生かされている。	258	188	0 ※実施場所である広場の運営が委託化したため	子ども家庭支援センター
62		講座・教室	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	家庭教育啓発リーフレット等の配布	リーフレットを配布し、家庭内において社会のマナーや基本的な生活習慣等を児童・生徒に身につけさせる。	どなたでも	―	リーフレット84,082枚 クリアファイル5,542枚	市単独	事業の拡大	リーフレットを配布するとともに、関係所管と連携し、家庭教育の重要性について更なる周知を図る。	リーフレット84,082枚 クリアファイル5,542枚	A	平成20年度から家庭教育啓発リーフレットの配布を開始したが、約10年が経過し、世相にそぐわない内容であったため大幅に刷新を行ったとともに、従来の配布対象であった保護者だけでなく、町会や行政委員などにも配布対象を広げた。	広める方向で継続		リーフレットの見直し及び効果的な啓発方法等を検討するため、有識者により構成された「家庭教育啓発検討会」を設置し、平成29年度から平成30年度にかけて計5回会議を開催した。	530	366	515	生涯学習政策課
63		講座・教室	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	妊婦歯科健診	妊婦の歯科疾患の早期発見・治療を促し、妊婦とその家族の歯科保健に対する意識向上を図る。	成人	12	55人	市単独	参加者の満足度	相談対応に対する満足度の向上	参加実績値25.5%	B	参加実績値が25.5%であるが、妊婦の歯科疾患の早期発見・治療を促すことができた。	広める方向で継続		個別対応も十分されて、満足度の高い事業である。	430	393	426	東浅川保健福祉センター
64		講座・教室	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	初めてのはみがきレッスン	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促す。また、むし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図る。	親子・保護者	18	118組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	満足・おおいに満足100%	B	目標値を達成 乳幼児の口腔の健全な発達発育を促し、むし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図ることができた。	高める方向で継続		個別対応も十分されて、満足度の高い事業である。	0	0	0	東浅川保健福祉センター
65		講座・教室	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	パパママクラス（平日・休日）	不安なく子育てに取り組めるよう、妊娠・出産・育児に対するイメージづくりができるよう支援する。	成人	16	268	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	満足・おおいに満足100%	B	目標値を達成 さらに、参加者同士の交流の場の提供や産後ケア事業など新規サービスの情報提供がタイムリーに行えた。 新型コロナ感染防止対策により、休日開催が1回中止となっている。	高める方向で継続		妊婦の減少により、申込者が定員にならない場合も見受けられるが、参加者の満足度は高い。不安の高い妊婦には個別に対応する機会を設け、新規の母子保健サービスやタイムリーな情報について適宜情報提供することにより、不安なく子育てに取り組めるよう支援できる事業である。	230	143	236	東浅川保健福祉センター
66		講座・教室	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	プレパパママ栄養・歯科教室	妊娠期から子どもの歯と栄養に関する情報提供行い、出産後のむし歯予防、望ましい食習慣の意識づけを図る。	成人	3	37	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	満足・おおいに満足100%	B	目標値を達成 講話を通して、妊娠期の栄養や歯科保健に関する意識向上につながった。	廃止・終了	3保健福祉センターの事業をそろえたため	妊婦歯科健診・プレママ漁師教室が3保健福祉センター共通事業となったため、廃止となる事業だが、妊娠期や出産後について歯科・栄養の専門的な講話を実施し満足度の高い事業となっていた。	0	0	0	東浅川保健福祉センター

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
67		講座・教室	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	プレママ(パパ)料理教室	妊産婦の食事、離乳食の理解、家族の食事の見直しの機会とする。交流を図り、子育ての仲間づくりの促進を図る。	成人	2	25	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	満足・おおいに満足100%	B	目標値を達成 調理実習のメニューも参加者から好評。また、取り分け離乳食のデモンストレーションも好評。家族の健康づくりへの関心をたを高める為、生活習慣病の講和を追加した。調理を一緒に行うことで、子育ての仲間づくりの促進につながった。	休止	コロナ感染症拡大防止対策に伴いR2年度休止	妊娠期は食事に対する興味が出る時期であり、同じ地域に住み同じ時期に出産する仲間を作ることで安心感を得る妊婦が多く、アンケート集計からわかる通り満足度の高い教室とすることができた。	59	38	58	東浅川保健福祉センター
68		講座・教室	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	むし歯予防教室	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促す。また、むし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図る。	親子・保護者	11	48組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	満足・おおいに満足97.7%	B	目標値を達成 乳幼児の口腔の健全な発達発育を促し、むし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図ることができた。	高める方向で継続		個別対応も十分されて、満足度の高い事業である。	0	0	0	東浅川保健福祉センター
69		講座・教室	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	モグモグ学習会	・離乳食期から適切な生活リズム、食習慣の形成を図る。知識の普及を図り不安や悩みの軽減を支援する。	親子・保護者	6	73組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	満足・おおいに満足98.8%	B	目標値を達成 新型コロナ感染拡大防止のため、2月の学習会中止に伴い参加者が減少。新たに広報で周知する等、学習会の参加者増を図っていく。	高める方向で継続		毎年度のアンケート集計から講話内容を少し変化することで、要望に合わせた講話をすることができ、満足度の高い教室にすることができた。	38	29	42	東浅川保健福祉センター
70		講座・教室	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	幼児食講習会	望ましい食生活形成を推進し、適切な食習慣の基礎作りをする。子育ての中での不安の軽減を支援をする。	親子・保護者	2	31組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	満足・おおいに満足96.6%	B	目標値を達成 栄養士だけでなく心理発達相談員から心の発達に関する講話や支援担当の保育士により手遊びや広場紹介をすることで、子育ての不安軽減につながっている。	高める方向で継続		幼児食に関する不安内容は子供の発達課題が要因となることも多いため心理士による講話の時間も作っている。そのため満足度は高い事業となっている。	10	10	10	東浅川保健福祉センター
71		講座・教室	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	リトミック	障害児の発達支援と保護者への子育て支援を図る。	親子・保護者	3	64	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	アンケート未実施	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため3月の教室を中止したためアンケート未実施。 参加者同士の交流の場および必要な支援の提供が行えた。	休止	コロナ感染症拡大防止対策に伴いR2年度休止	障害や発達に課題のある母子の交流の場となり、児へのかかわり方を体験できる事業となっている。	285	257	285	東浅川保健福祉センター
72		講座・教室	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	妊婦歯科健診	妊婦の歯科疾患の早期発見・治療を促し、妊婦とその家族の歯科保健に対する意識向上を図る。	成人	11	74人	市単独	参加者の満足度	相談対応に対する満足度の向上	90%	B	前半は歯科医師による講義、後半は歯科健診と手鏡を使った歯磨き指導を行う。妊婦面談時に積極的に周知を図ることで参加者が前年度より集まったが、当日は妊婦の体調によるので、集客が減少したり困難な回もある。	広める方向で継続		個別対応も十分されて、満足度の高い事業である。	447	419	450	南大沢保健福祉センター
73		講座・教室	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	初めてのはみがきレッスン	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促す。また、むし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図る。	親子・保護者	11	223人（親子）	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	80%	B	むし歯菌の活発さを調べる唾液テストには、参加者ほとんどが希望する様子がある。子どもの歯磨きのスタートからどんな歯ブラシを選んだらいいか、磨き方をデモンストレーションで示したり、具体的に示すことで、家に勝ってからの実際に生かせるスキルを学べる機会となっている。	高める方向で継続		個別対応も十分されて、満足度の高い事業である。	95	82	84	南大沢保健福祉センター
74		講座・教室	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	パパママクラス（平日・休日）	不安なく子育てに取り組めるよう、妊娠・出産・育児に対するイメージづくりができるよう支援する。	親子・保護者	6	299	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	終了時のアンケートでほぼ全員が満足と回答	B	目標値を達成したため。来年度も継続して実施する。	高める方向で継続		例年、開催時には定員を超える応募があり、終了時のアンケートもほぼ全員が満足とあり。目標値を継続して達成しており継続実施が必要と思われる。	325	149	236	南大沢保健福祉センター

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
75		講座・教室	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	プレママ(パパ)料理教室	妊産婦の食事、離乳食の理解、家族の食事の見直しの機会とする。交流を図り、子育ての仲間づくりの促進を図る。	成人	2	21	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	100%	B	出生率の低下が著しいなか、夫婦でランチを作りながら離乳食のつきり方も学べる人気の講座である。妊婦面談での周知とともにパパママクラスの参加者にも呼びかけ意識の高い層を中心に満足度が高い事業である。	休止	コロナ感染防止のため	参加者間で、知り合いが増えたり和やかな会話がされて参加者はみな満足が高い事業である。	95	95	93	南大沢保健福祉センター
76		講座・教室	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	ぶんぶん（知的障害児教室）	運動・工作・音楽療法などを通して仲間作りとコミュニケーションを図り、障害者の生きがいと自立を促進する。	障害者	3	―	市単独	参加者の満足度	障害を持つ子と保護者の地域参加と自立支援を促す。	コロナウィルスの影響でアンケート実施できずであったが、概ねの参加者から満足との声あり。	B	目標値を達成したため、継続して実施する。	高める方向で継続		障害者の生きがいと自立を促進するために、継続して実施していく社会的使命があると考える。	186	171	186	南大沢保健福祉センター
77		講座・教室	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	むし歯予防教室	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促す。また、むし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図る。	親子・保護者	11	74人(親子)	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	80%	B	虫歯菌の活発さを調べる唾液テストには、参加者ほとんどが希望する様子がある。子どもの意思が出てきて歯磨きが難しいと感じている保護者にとっては、個別にも対応してもらえる貴重な機会となっている。	高める方向で継続		個別対応も十分されて、満足度の高い事業である。	95	82	84	南大沢保健福祉センター
78		講座・教室	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	モグモグ学習会	離乳食期から適切な生活リズム、食習慣の形成を図る。・知識の普及を図り不安や悩みの軽減を支援する。	親子・保護者	6	63組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	午前95%午後100%	B	これまでは、健診通知と同封にして自宅へ届いていたが、直接、乳児健診時に案内することにより必要とする人への呼びかけに効果が出ていると考える。引き続き、乳児健診来館者に近日開催の本事業の説明をしてアピールしていく。	高める方向で継続		個別対応も十分されて、満足度の高い事業である。	39	39	40	南大沢保健福祉センター
79		講座・教室	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	幼児食講習会	望ましい食生活形成の推進し、適切な食習慣の基礎作りをする。子育ての中での不安の軽減を支援をする。	親子・保護者	2回	21組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	100%	B	幼児食の講義とともに、言葉の発達を心理職から話をしてもらったり、支援担当の保育士に遊びや広場の紹介などしてもらうことで子育て環境をサポートする体制をこの事業に参加することによって知識が得られる。	高める方向で継続		個別対応も十分されて、幼児食の知識以外のプラスの情報もあられることから、満足度の高い事業である。	10	10	10	南大沢保健福祉センター
80		その他	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	ブックスタート	子育てに役立つ情報を伝えたり、親子の前で読み聞かせを実施することで、読書に親しむきっかけをつくる。読書を通じた親と子のふれあいのひと時を応援することにより乳児が健やかに育ち、その保護者が安心して子育てのできる環境づくりに寄与する。	親子・保護者	全館で72回	中央993人 生涯1,048人 南大沢999人	共催	協働事業の推進	赤ちゃんと保護者のふれあいのきっかけづくり、市の子育て支援策の情報提供を行う。	72回3,040人	B	72回の実施で3,040人の参加者であった。参加者のほぼ全員に赤ちゃんと保護者のふれあいのきっかけづくりや、市の子育て支援情報を絵本の読み聞かせとともに提供した。新型コロナウィルス感染症の影響で事業の実施が行えないため、図書館でセットの配布を行えるよう対策を取る。	広める方向で継続		親子のニーズにあった絵本を選んでもらえるように、毎年更新して、平成27年度から平成30年度までの5年間(全館)で合計16,955名にブックスタートを行った。	4,726	4,369	4,268	図書館3館(中央・生涯・南大沢)
81		その他	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	三歳児健診読み聞かせ	ブックスタートに続き三歳児健診時に読み聞かせを行い、継続的に親子で読書に親しむ機会を提供する。	親子・保護者	全館で66回	中央1,035人 生涯1,074人 南大沢1,208人	共催	協働事業の推進	親子のふれあい、「読書のまち八王子」の推進	66回3,317人	B	親子で絵本を楽しんでもらったり、図書館員で絵本を読み聞かせたりと、健診前や健診の空き時間に子どもたちが読書を楽しんでいた。新型コロナウイルス感染症の影響で事業が中断しているが、感染症拡大防止対策をした上での実施を目指す。	広める方向で継続		保健福祉センターと連携して、平成27年度から平成30年度までの5年間(全館)で合計19,542名に、絵本を介しての親子のふれあいを提供できた。	24	19	24	図書館3館(中央・生涯・南大沢)

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
82		講座・教室	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	パパママクラス（平日･休日）	不安なく子育てに取り組めるよう、妊娠･出産･育児に対するイメージづくりができるよう支援する。	成人	9	313	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	99.7%	A	アンケートの集計結果による満足度が99.7%と目標の80%を超えたため。	高める方向で継続		満足度が高く、充実した内容で実施できた。妊娠期の支援として継続実施が望ましい。	1,109	746	1,045	大横保健福祉センター
83		講座・教室	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	プレママ(パパ)料理教室	妊産婦の食事、離乳食の理解、家族の食事の見直しの機会とする。交流を図り、子育ての仲間づくりの促進を図る。	成人	1回(1回新型コロナウィルスの影響でで中止)	7人(妊婦)	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	アンケート集計結果における満足度100%	A	アンケートの集計結果による満足度が100%と目標値を超えたため。新型コロナウィルス感染症の影響で1回中止となったため、参加人数は7人と少なかったがその分妊婦同士の交流時間は長く取れたため満足度は高かった。働いている妊婦が増え、平日開催日の参加者が少ないため、令和2年度は全回土曜日開催とする。	休止	コロナ感染拡大防止の為	妊娠期は食事に対する興味が出る時期であり、同じ地域に住み同じ時期に出産する仲間を作ることで安心感を得る妊婦が多く、アンケート集計からわかる通り満足度の高い教室とすることができた。	1,109	746	1,045	大横保健福祉センター
84		講座・教室	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	むし歯予防教室	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促す。また、むし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図る。	親子･保護者	11	106人（親子）子:50人 親:56人	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	80%	B	アンケートの結果による満足度は80%であった。甘味摂取が増えたり、歯みがきを嫌がる時期の子どもが対象であり、教育を行うことでむし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図ることができた。	高める方向で継続		個別対応も十分されて、満足度の高い事業である。	1,432	765	1,450	大横保健福祉センター
85		講座・教室	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	モグモグ学習会	離乳食期から適切な生活リズム、食習慣の形成を図る。知識の普及を図り不安や悩みの軽減の支援をする。	乳幼児	8	122人（母）12人(父) 1名(他) 118人（乳児）計253名	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	アンケート集計結果における満足度100%	A	アンケート集計結果における満足度が100%と目標を達成したため。 離乳食開始前に参加したいという声が多いため、令和2年度からは対象月齢を早め、さらに母の不安に寄り添えるようにする。	高める方向で継続		毎年度のアンケート集計から講話内容を少し変化することで、今の母にあった講話をすることができ、満足度の高い教室にすることができた。	1,109	746	1,045	大横保健福祉センター
86		講座・教室	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	幼児食講習会	望ましい食生活形成を推進し、適切な食習慣の基礎作りをする。子育ての中での不安の軽減を支援をする。	乳幼児	2	30人（母）3人(父) 26人(幼児) 計58人	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	アンケート集計結果における満足度93%	A	アンケート集計結果における満足が目標を達成できたため。	高める方向で継続		幼児の食事に関する不安内容は心理的な要因も多いため心理士による講話の時間も作っている。そのため満足度は高いと思われる。	1,109	746	1,045	大横保健福祉センター
87		講座・教室	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	初めてのはみがきレッスン	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促す。また、むし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図る。	親子･保護者	11	227人（親子）子:108人 親:119人	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	90%	B	アンケートの結果による満足度は90%であった。歯のみがき方については参加者の一人一人に実習を行い、歯ブラシの選び方も見本を見せることで、事業目標のむし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図ることができた。	高める方向で継続		個別対応も十分されて、満足度の高い事業である。	1,432	765	1,450	大横保健福祉センター
88		その他	育児・教育	1-②	家庭教育の支援	妊婦歯科健診	妊婦の歯科疾患の早期発見･治療を促し、妊婦とその家族の歯科保健に対する意識向上を図る。	妊婦	11	60人	市単独	参加者の満足度	相談対応に対する満足度の向上	90%	B	参加者の満足度は90%で目標であった満足度の向上は達成できた。健診だけでなく、歯科医師の講話や歯みがき実習を実施することで事業目標も達成することができた。	広める方向で継続		個別対応も十分されて、満足度の高い事業である。	―	―	―	大横保健福祉センター

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
89		講座・教室	育児・教育	1-③	学校教育活動の支援	市立小学校における環境教育支援	市立小学校の総合的な学習の時間等に実施される環境教育実習に対して、講師の派遣等の支援を行う。	子ども	36	2,414	委託	応募者・参加者の人数	2,000人	2,414人	A	参加者が2,414人であった。教育支援対象校を20校としていたが、受託先との調整が整い21校に実施することができたため目標を超えて達成した。	広める方向で継続		参加者合計15,387人となり、環境教育の充実に貢献した。	―	―	―	環境政策課（特定非営利活動法人環境活動センター八王子）
90		講座・教室	教養的なもの	1-③	学校教育活動の支援	八王子「宇宙の学校」	こども科学教室(スクーリング)と日常の家庭学習を組み合わせ、宇宙や科学と家庭・地域を結び付けることで探究心の強いこども達の育成を図る	親子・保護者	12	486	実行委員会	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度90%以上	98.8%	B	今年度は一つの会場を変更し、定員を増やして募集を行った。それでも定員242組に対して、それを超える応募があったため、応募者全員を受け入れるため定員を249組として実施した。 アンケートにより「とても良かった」「良かった」が90%を超える98.9%となった。	高める方向で継続		当事業は、実行委員会形式で実施しており、市民、事業者、学校、市が協働してそれぞれの得意分野を担いながら、平成23年度から開催している。毎回定員を超える応募があり、参加者も工作や実験を通して、科学をより身近に、親しみを感じることができ、満足度が高い。 様々な主体が協力することでより大きな成果を出していることから、この実施形態を維持し、事業を継続する。	1,000	1,000	1,000	こども科学館（八王子「宇宙の学校」実行委員会）
91		イベント等	育児・教育	1-③	学校教育活動の支援	学校アウトリーチ事業	児童に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	子ども	3回	来場者457	補助	参加者の満足度	アンケート満足度全ての実施校で4以上(5段階評価)	アンケート満足度全ての実施校で4以上(5段階評価)	A	目標を上回る満足度となり、前年度よりも内容を充実することができたため。 H30年度に聞き取り調査をした結果をもとに、R1年度より新たに音楽ジャンルの選択肢を広げ、学校の個別のニーズに合った形で実施することができた。次年度も同様に学校との連携を密にしながら個別のプログラムを提供する。	高める方向で継続		実施校の満足度は高くリピートニーズもあるが、市内のより多くの学校の児童が触れる機会を創出するため、さらに推進する必要がある。 学校によりクラシックや音楽に限らずニーズがあるため、近年は財団側のメニューを増やし、よりニーズに合った提案の対応ができてきている。	950	569	750	学園都市文化課（(公財)学園都市文化ふれあい財団）
92		イベント等	育児・教育	1-③	学校教育活動の支援	劇団四季こころの劇場	児童に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	子ども	3	来場者4,165 参加校58	補助	①参加校数 ②校長会やオリンパスホール等との地域連携	・参加校数55校以上 ・校長会等との連携	達成率105%（58校/55校）	A	目標を上回る参加校数となり、前年度よりも校長会とよりスムーズな連携をとることができたため。 これまでに財団が得てきたノウハウを引き継ぎながら校長会主導で運営を進め、連携することができた。次年度は、コロナウィルスの影響により、開催中止を検討中。	広める方向で継続		当初の目標を達成しており、また校長会と劇団四季との調整・連絡がシステム化され効率よく合理的に制作できるようになった。 今後も継続して演劇に触れる児童数を増やしていくことが望ましい。	250	234	250	学園都市文化課（(公財)学園都市文化ふれあい財団）
93		講座・教室	社会貢献活動	1-③	学校教育活動の支援	学校コーディネーター研修会	学校コーディネーターの資質向上を図る。	登録者	3	129	市単独	応募者・参加者の人数	登録者参加率100%	88%	B	目標値には達しなかったが、対前年比3ポイントの増加となった。今後は魅力ある内容で開催するなど創意工夫し、引き続きコーディネーターの資質向上に取り組んでいく。	広める方向で継続		毎年、年に数回の研修会を実施することで学校コーディネーターの資質が向上してきている。今後は地域との連携強化が更に求められると考えている。	27	31	27	指導課
94		講座・教室	社会貢献活動	1-③	学校教育活動の支援	教育支援ボランティア研修会	ボランティアとしての心得や役割について学ぶ。	どなたでも	2	91	市単独	応募者・参加者の人数	108人	84%	B	目標値には達しなかったが、対前年比29ポイントの増加となった。今後は、ボランティアが参加しやすいよう、活動している時間帯等、研修の日時設定にも考慮していきたい。	広める方向で継続		毎年、年に数回の研修会を実施することで教育支援ボランティアの資質が向上してきている。今後は地域との連携強化が更に求められると考えている。	0	0	0	指導課

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
95		講座・教室	社会貢献活動	1-③	学校教育活動の支援	教育人材バンクへのボランティア希望者の登録	学校と地域が一体となり、子どもを育む環境を整備するため、ボランティア希望者を人材バンクに登録する。	どなたでも	随時	4,172	市単独	応募者・参加者の人数	4,000人	104%	B	今年度のボランティア登録者は目標を上回った。今後も多くの市民の方が学校支援に参加されるよう、ボランティア登録への働きかけを継続していく。	広める方向で継続		教育人材バンクボランティアの登録数は増加傾向にある。今後は学校と地域の連携強化のためにボランティアの役割が更に求められると考える。	3,240	1,697	3,240	指導課
96		その他	育児・教育	1-③	学校教育活動の支援	学校図書館サポートセンターとの連携・支援	図書館の配送便により、団体貸出しや調べ学習用の図書を小・中学校に提供し、学校サポートセンターと連携して学校図書館を支援する。	子ども	248	貸出申込数延べ1,141校	市単独	事業の拡大	全校への支援	延べ利用校数1,141校実利用校数88校利用冊数32,227冊	B	貸出冊数が前年度に比べ増加した。延べ利用校数は学級数の減少に伴い減少するものと考えられる。未利用校への働きかけや、各校の選書に図書館資料を活用し学校資料の充実が図れるよう魅力ある蔵書に努める。	高める方向で継続		サービスの整理、蔵書内容の研究・充実を図ることによって、安定した供給ができるようになった。	6,244	6,238	7,403	中央図書館
97		その他	社会貢献活動	1-③	学校教育活動の支援	中学生職場体験	地域にある職場の一つとして中学生の社会体験の機会を提供する。	子ども	中央5生涯12南大沢5川口3みなみ野1	中央15人生涯43人南大沢17人川口8人みなみ野4人	市単独	参加者への満足度及び利用の促進	地域にある職場の一つとして中学生の社会体験の機会を提供するとともに、今後にわたる図書館利用のきっかけとし、利用の促進を図る。	26回87人	B	職場体験の参加者で利用者カードを持っていない子へ利用の促進も兼ねて利用者カードの作成を、本人の同意のもと行っているが、参加者への満足度を測るアンケートを継続的に行っていなかった。	広める方向で継続		中学生自身が勧めたい本のPOPを中学生に作成・掲示させることで、図書館の業務への関心を高めることができた。	0	0	0	図書館4館
98		情報提供※環境整備	教養的なもの	1-③	学校教育活動の支援	「八王子の川と友だちになるノート」の発行	川での環境調査や生き物調査を行うためのフィールドノートとして活用してもらう。	子ども	1	5,000冊	市単独	本冊子を利用して環境学習を行う	全校での実施。	全市内小学校の新4年生に配付することがができたため。	A	年度当初の段階で、市内の全小学校新4年生に配付できたため。	高める方向で継続		毎年、全小学校に配付することができている。	495	468	495	水再生施設課
99		イベント等	育児・教育	1-④	地域の教育力を活かす・高める	冒険イベント里山で遊ぼう	「長池野外活動クラブ」との共催で冒険プログラムを実施し、小学生の野外体験活動を促進する。	親子・保護者	3	延べ42	共催	協働事業の推進	市民団体との共催事業を積極的に推進する。	達成度80%	B	市民団体長池野外活動クラブとの共催事業を継続して開催した。中心となるフィールドでの活動が活発化することで市民団体ボランティアの加入が増え、人材育成に貢献するなどの成果を得られた。	広める方向で継続		参加者の希望や応募状況を鑑み、「青竹でご飯炊き」や「木工教室」を人気プログラムを取り入れた。参加人数は平成27年度比8%増加となった。	2	4	5	公園課（ひとまちみどり由木）
100		イベント等	教養的なもの	1-④	地域の教育力を活かす・高める	つくってあそぼう、竹クラフト	八王子市由木地区環境市民会議を講師に竹細工イづくりベントを開催する。	子ども	2	延べ28	共催	協働事業の推進	市民団体との共催事業を積極的に推進する。	達成度100%	A	市民団体である八王子市(東部)由木地区環境市民会議との共催事業を昨年に引き続き開催した。別事業であるが、同市民団体と「里山生活体験(カイコ飼育から織り・染め)」のイベントを新たに実施するなど協働推進の成果を得られた。今後も同様に継続する。	高める方向で継続	プログラムを更に発展し令和元年度実施した「竹笛づくり」「凧作り」に加え、「竹とんぼづくり」のプログラムを開催予定。	平成29年以降の事業であるが、3年間で八王子市(東部)由木地区環境市民会議の調査やイベントの支援を行い、体験学習施設の地域コミュニティの場としての活用という面で目標を達成した。	3	3	6	公園課（ひとまちみどり由木）

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
101		イベント等	育児・教育	1-④	地域の教育力を活かす･高める	東京交響楽団PJ ユースオーケストラ ワークショップとコンサート	プロのオーケストラの指導者の講師により若手演奏家(小学生から25歳)の育成を図る。	どなたでも	【WS】22回 【公演】1回 ※コロナにより1回中止	【WS】参加者延750 【公演】来場者279 参加者36	補助	①応募者･参加者の人数 ②オーケストラ運営に充分なメンバーの確保	①来場者数730以上 ②必要なパートのメンバー確保	①達成率93%（279/300人）	C	1回目の公演はわずかに到達し、2回目の公演はコロナウィルスの影響により中止となったが、メンバー数は増加し、ユースオーケストラの活動開始以来、初めて全パートに1名以上のメンバーを確保することができた。次年度は、メンバーの入れ替えが大きく想定されるため、メンバー募集により力を入れて取り組んでいく。	広める方向で継続		部活と練習日が重なるメンバーに対するフォロー体制が進んだほか、楽器ごとにメンバーの増員を図り確実にオーケストラとしての底上げを行うことができた。今後は市民へのPR･認知度向上が課題である。	11,533	5,811	5,547	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
102		イベント等	教養的なもの	1-④	地域の教育力を活かす･高める	学生演劇フェスティバル公演	学生演劇団体による公演を通じて芸術文化の普及を図り、若い担い手を支援する。	どなたでも	【公演】6回 【ｱﾌﾀｰﾄｰｸ】5回 【ﾛﾋﾞｰWS】1回	【公演】来場者延456 参加者66 【アフタートーク】来場者157 参加者53 【ロビーWS】参加者延52	指定管理者	応募者･参加者の人数	来場者数500名以上	達成率91%（456/500人）	B	来場者数の目標にはわずかに到達しなかったが、新たにロビーでの展示やワークショップ等に取り組み、参加者･来場者の満足度は昨年に比べて向上しているため。次年度は、プロ公演を加えるなど、引き続き内容の充実を図る。	高める方向で継続		演劇事業を長期的に継続する観点から、演劇フェスティバルの仕組みづくりやその過程での課題の洗い出しを進められたと評価している。市内外の高校や大学と演劇のネットワークができ、また、学校単位で参加できない個人も参加できるようにした昨年度の取り組みで、核となる演劇の担い手育成など今後の課題や方向性を捉えることができた。	1,173	1,428	1,137	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
103		イベント等	教養的なもの	1-④	地域の教育力を活かす･高める	学生演劇フェスティバルワークショップ	学生演劇団体によるワークショップを通じて芸術文化の普及を図り、若い担い手を支援する。	子ども	WS① 8回 WS② 1回 WS③ 21回 公開稽古 1回	WS① 214 WS② 30 WS③ 235 公開稽古入場者17 参加者10	補助	応募者･参加者の人数	参加者数40名以上	WS② 達成率75%（30/40人）	B	当初目標に設定していたのが②のWSだけであり、単体では達成率70%となったが、当該WSのみで立川シェイクスピアプロジェクトとの提携により、予定よりも多くのワークショップを実施し、多くの参加を得られたため。参加者層がより多様に変化し、全体として事業内容を充実することができた。次年度は、コロナウィルスの感染拡大防止対策として、オンラインでのWSに取り組み、八王子市外からの参加も視野に入れて取り組む。	高める方向で継続		多摩地域を拠点に活動しているプロの演出家をディレクターに迎え、より内容に踏み込んだワークショップのプログラムを進めることができた。財団制作とプロとの分担は課題としながら高校教諭などの応援を得る等、ネットワークづくりの足掛かりができた。	1,209	1,015	2,795	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
104		講座・教室	教養的なもの	1-④	地域の教育力を活かす･高める	子ども囲碁教室	囲碁を通した世代間の交流を図る。	子ども	20	延べ132	市単独	応募者･参加者の人数	利用者数の増加	継続参加	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため3月の教室を中止とした。広報掲載を今後も継続し参加者を募る。	休止	コロナ感染症拡大防止対策に伴いR2年度休止	高齢者ボランティアと子ども達との多世代交流の充実を図った。	0	0	0	東浅川保健福祉センター
105		イベント等	健康・スポーツ	1-④	地域の教育力を活かす･高める	南大沢文化会館ダンスワークショップ	市内の小中学生を対象にダンスの楽しさや素晴らしさを感じてもらい、将来の文化芸術に携わる層の拡充。	子ども	49	61	指定管理者	応募者･参加者の人数	年間延べ参加者数75%以上（1,875人以上）	91%（年間延べ参加者数2,276人）	A	受講者数61名、ワークショップには延べ2,276名が参加し、目標は大きく上回ることができたが、コロナウイルス感染症の影響により、3月のワークショップが中止、発表会は延期となった。また、今年度から講師に加わった3名の学生は、初心者から上級者まで6つのクラスのレッスンを行い、受講者とともに成長することができた。	広める方向で継続		令和元年度(2019年度)は初心者が参加しやすいようBASICクラスを設け、ダンスをより楽しめるよう工夫した。	2,414	1,630	2,620	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
106		講座・教室	仕事に必要な知識技能、資格の取得	1-④	地域の教育力を活かす･高める	FD･SDフォーラム	大学教職員の教育力向上と、地域社会や全国の教育機関関係者等との交流や相互理解を目的とする。	全国大学教職員･大学生･高校教職員	1	196人	補助	応募者･参加者の人数	参加者数200人以上	196人	B	目標をほぼ達成したが、他のコンソーシアムや大学等で同様のフォーラムや様々な学会が開催され、参加者をどのように増やしていくかが課題である。また、フォーラムとは別に11月にSD勉強会を開催し21名が参加している。今後も高等教育機関から注目されるテーマを設定し、充実した講師を招聘したい。	広める方向で継続		参加者アンケートも参考にしながら、高等教育機関から注目されるテーマを設定し全国的に著名な講師を招聘するなど内容の充実を図った。各年度の参加者数は概ね約200名で推移している。	1,481	1,104	1,585	学園都市文化課（大学コンソーシアム八王子（(公財)学園都市文化ふれあい財団)）
107		講座・教室	教養的なもの	1-④	地域の教育力を活かす･高める	夏休み子どもいちょう塾	八王子地域の大学等の先生が、その大学･学部等の特色を生かして、夏休みの特別教室を開講する。	子ども	1	421人	補助	応募者･参加者の人数	参加者数300人以上	421人	A	昨年度より学園都市センターに加え、クリエイトホール、東急スクエア2階アトリウム(当日参加できるワークショップ)を会場に加えた体制を継続したことにより、充実した講座を提供することができた。	広める方向で継続		開催日数を2日間とした他、複数会場での開催や加盟校への積極的な講座提供依頼を行った結果、講座数はH27年度の12講座からR1年度27講座(ワークショップ含む)に、申込者数は413名から581名に、参加者総数は234名から421名に増加した。	1,832	1,513	1,842	学園都市文化課（大学コンソーシアム八王子（(公財)学園都市文化ふれあい財団)）
108		その他	社会貢献活動	1-④	地域の教育力を活かす･高める	学生企画事業への支援	大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の学生が、八王子地域を舞台に企画･運営･実施する事業や課題解決に向けた調査･研究活動等に対し、その費用の一部を補助する。	大学コンソーシアム八王子に加盟する大学等に在籍する5名以上の学生で構成する団体	1	申込団体61団体	補助	応募者･参加者の人数	応募団体20団体以上	申込団体61団体	A	昨年度設置した指定課題部門を引き続き実施した。昨年度、各加盟校が実施する新入生ガイダンスや学園祭、ボランティア報告会にコンソーシアム事務局職員が直接訪問し、周知することにより応募団体が増加した。	広める方向で継続		加盟校への積極的な周知や助成金予算の充実等により、申込件数はH27年度の15件から57件に、助成金額合計は352千円から指定課題部門の設置や採択件数の増加により1,417千円に増加した。	2,473	2,441	2,692	学園都市文化課（大学コンソーシアム八王子（(公財)学園都市文化ふれあい財団)）
109		その他	教養的なもの	1-④	地域の教育力を活かす･高める	学生発表会	大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の学生が日頃の研究成果を市民･企業･市政に向けて発表する。	大学コンソーシアム八王子に加盟する大学等の学生	1	733人 発表件数222件	補助	応募者･参加者の人数	参加者数700人以上（150件以上）	733人 発表件数222件	A	研究分野や内容に関わらず、学外で研究成果を発表できる機会として大学等により活用してもらうよう周知した。学生企画事業補助金参加団体や夏休み子どもいちょう塾提供校など、コンソーシアムの他事業の関係者にも積極的に声掛けを行い、発表や座長をお願いするなど事業横断的な連携ができた。	広める方向で継続		農･食セッション、観光セッションといった発表部門の継続やコンソーシアムの他事業参加者への声掛けなどにより、発表総数はH27年度の145件からR1年度の222件に増加した。各年度の参加者数は700～750名で推移している。	1,610	1,730	1,481	学園都市文化課（大学コンソーシアム八王子（(公財)学園都市文化ふれあい財団)）
110		イベント等	教養的なもの	1-④	地域の教育力を活かす･高める	八王子学生CMコンテスト	学園都市八王子の特色を活かし、学生ならではの視点で八王子市の魅力を動画CMにした作品を募集しコンテストを開催する。	学生(個人または団体単位)	1	46団体	補助	応募者･参加者の人数	応募団体30団体以上	46団体	A	9月29日にCM制作や八王子の魅力発見に関わるワークショップを行い、参加者の幅を広げる取組みを行った。コンソーシアム加盟校及び都内大学･専門学校約120か所へのポスター･チラシの送付に加え、民間公募サイト2か所への登録を行い周知を図った。	広める方向で継続		ワークショップの開催や加盟校以外の大学等も含めたポスター･チラシ、Webサイトでの積極的な周知により、参加校、応募作品数がH27年度の14校30作品からR1年度の15校46作品に増加した。	2,079	1,610	2,167	学園都市文化課（大学コンソーシアム八王子（(公財)学園都市文化ふれあい財団)）

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
111		イベント等	教養的なもの	1-④	地域の教育力を活かす･高める	浅川ガサガサ探検隊	子どもたちに浅川の自然と川遊びの楽しさを知ってもらうことで、身近な環境を大切に思う気持ちを醸成する。	親子･保護者	1	233人	共催	応募者･参加者の人数	参加人数を多くする。	前年度参加人数（279人）を上回ることができなかったため。	B	川のキャパシティーを考えたうえで、最大限の人数を受け入れるようにする。	休止	新型コロナウィルスの関係で、令和2年度のみ休止の予定。	天候や川の状態により実施できない以外は、毎年実施することができているため。	250	215	250	水再生施設課(八王子浅川水辺の楽校運営協議会)
112		講座・教室	育児・教育	1-④	地域の教育力を活かす･高める	ひとり親家庭の子どもの学習支援事業	ひとり親家庭に対し学習支援者を派遣し、児童の基礎学力、学習意欲の向上及び高等学校等への進学の推進を図ること。	子ども	1人につき約32回	30人	委託	対象者の高等学校進学率	対象者のうち、高等学校へ進学したものが100%とする。	対象者のうち中学3年生23名全員が高校に合格した。	A	目標値である高校進学率100%を達成した。派遣時間中の家庭訪問も行ったが、生徒も講師も学力の向上や志望校合格に向けて懸命に勉強する様子がうかがえた。講師との相性が大きな部分となってくるため、講師と生徒の調整を適切に行っていく。	広める方向で継続		学習支援事業開始初年度である平成28年度から行っており、合格率も約100%を維持している。	7,975	6,298	8,123	子育て支援課
113		講座・教室	育児・教育	1-④	地域の教育力を活かす･高める	放課後子ども教室	平日の放課後や週末、夏休み等に小学校内の施設を活用し、地域の人材、ボランティアの参画を得て子どもたちに安全で安心な居場所を提供する。	子ども	8,230	786,780	委託	事業の拡大	市内小学校69校での実施	66校実施（新規開設1校）	B	目標の69校には達しなかったが、1校で新規開設することができたほか、地域や学校、学童保育所担当所管と連携を図り、実施日数の増加や学習プログラムの拡充をしたことにより、多くの子どもたちに放課後の安全で安心な居場所を提供することができた。	高める方向で継続		平成27年度からの5年間で実施校を徐々に拡大するとともに、実施日数の増加や学習プログラムの拡充をしたことにより、多くの子どもたちに放課後の安全で安心な居場所を提供することができた。また、地域の特色を活かした取り組みを行っており、学校･家庭･地域が協働する仕組みの一翼を担った。	184,047	153,774	229,150	生涯学習政策課
114		講座・教室	教養的なもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	市民自由講座	歴史･文学、美術、健康、IT等、多種多様な分野の講座を開催し、生涯学習のきっかけとする。	どなたでも	93	5,834	共催	参加者の満足度	満足度85%以上	受講者アンケートでの「大変満足」「満足」の割合81.1%	C	開催回数は充実したが、個々の講座の参加者の減少傾向が見られた。	広める方向で継続		満足度が目標値に届かない年度もあったが、歴史･文学･社会等の様々な分野の講座を実施し、市民の学習機会を充実させることができた。	2,373	2,108	2,159	学習支援課
115		講座・教室	育児・教育	2-①	身近で多様な学習機会の充実	エコひろばでの環境教育	環境について関心を持つきっかけづくりとして、環境教育･環境学習の講座を実施する。	どなたでも	84	6,780	委託	応募者･参加者の人数	5,000人	6,780人	A	参加者が6,780人であったため、目標を大きく上回った。	広める方向で継続		合計30,000人以上が参加し、環境について関心を持つきっかけを提供した。	―	―	―	環境政策課（特定非営利活動法人環境活動センター八王
116		講座・教室	社会貢献活動	2-①	身近で多様な学習機会の充実	環境学習リーダー養成講座	市民が自発的に環境保全活動を行う際のリーダー役となる「八王子市環境学習リーダー」を養成する。	どなたでも	23	9	委託	応募者･参加者の人数	35人	9	C	参加者が9人であった。長期講座のため、回数や日程の変更等を検討し、より受講しやすい講座にする。	広める方向で継続		60人を認定し、各地区の環境市民会議等で自発的に環境保全活動を行っている。	―	―	―	環境政策課（特定非営利活動法人環境活動センター八王
117		講座・教室	育児・教育	2-①	身近で多様な学習機会の充実	北野清掃工場施設見学	施設見学者を受入れ実施することで、可燃ごみ処理と余熱利用の方法と現状を理解してもらい、ごみの減量･分別の大切さを理解してもらう。	どなたでも	59	3175	市単独	応募者･参加者の人数	3,000人	3,175	A	工場見学のほかごみ投入体験や足湯なども体験してもらい、ごみ問題を考えてもらう機会を提供した。令和4年度に工場休炉が決まっておりさらなる拡充は困難のため、現状の規模を継続することとする。	高める方向で継続		小学生にごみ分別･リサイクルについて考える機会を提供、おおむね30校程度コンスタントに来場していただいた。	0	0	0	北野清掃工場

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
118		情報提供※環境整備	教養的なもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	北野環境教育・学習委員会	環境教育・学習への市民参加の推進・環境啓発を目的に環境に関する各種講座・講師派遣、情報発信等市民との連帯を図る。(官民協働事業)	どなたでも	21	777	共催	協働事業の推進	市民協働者100人	777	A	本年も近隣小学校・町会と協働した事業を展開。本年度はSNSを活用した事業報告を行った。工場休炉・下水処理場の流域編入による組織縮小が決定しておりさらなる拡充は困難のため、現状の規模を継続することとする。	広める方向で継続		北野環境施設の今後も踏まえ、市主体の事業から地元町会・小学校と協働した事業へとシフトした。	624	598	457	北野清掃工場
119		その他	社会問題・市民生活に関するもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	再生可能エネルギー(木質バイオマスボイラー・足湯併設)の普及啓発	木質バイオマスの活用を図り、再生可能エネルギーの普及促進及び環境啓発について市民の意識や関心を高める。	どなたでも	199	9,346	市単独	環境啓発者数(市民)の人数	9,000人	9,346	A	小学生の施設見学の際にも活用し、再生可能エネルギーの普及啓発に大きく貢献した。新型コロナウィルス感染症の影響で3月全休したものの利用者数は前年を上回った。令和4年度に工場休炉が決定しておりその後の帰属も未定のため、現状の規模で継続する。	広める方向で継続		当初と比べ利用者数は大幅に増加、運転をシルバー人材センターに委託することによりさらに安定稼働をさせることができた。	5,532	5,269	5,768	北野清掃工場
120		講座・教室	育児・教育	2-①	身近で多様な学習機会の充実	あったかホール社会科見学	隣接する北野清掃工場のごみ焼却余熱を利用し館内設備に活用しているあったかホールの見学を実施することで、余熱利用を体感してもらう。	どなたでも	7	485	指定管理者	応募者・参加者の人数	1,000人	485	B	学校の要望に応えながら工場見学と組み合わせ、子どもたちに環境施設の重要性を伝えることができた。現指定管理は令和5年3月で満了予定でその後の存廃が決定していないため現状の規模で継続する。	高める方向で継続		工場とともに見学してもらうことにより、環境施設の必要性を伝えていくことができた。	－	－	－	北野清掃工場
121		講座・教室	健康・スポーツ	2-①	身近で多様な学習機会の充実	市民食育講座	食育月間である6月の取り組みとして、「周知」から「実践」へと食育を更に進めるきっかけとする。	どなたでも	1	138名	市単独	参加者の満足度	子どもの頃からの食の大切さについて知ることができた。90%	子どもの頃からの食の大切さについて知ることができましたか。97%	A	食や健康に関心が低い若い世代を対象にテーマを設定したが、想定を超える参加者数となり、アンケート結果からも満足度の高い講座が実施出来た。	高める方向で継続		食や健康に対して関心が低い世代に対するアプローチを進めてきたが、一定程度の成果を得られることが出来た。	128	83	111	健康政策課
122		イベント等	教養的なもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	さくらそうの楽しみ	江戸園芸植物であるさくらそうの魅力・育て方を伝える講演会により、日本の庭園文化を発信。	どなたでも	1	19	指定管理者	参加者の満足度	アンケート集計結果における「満足」度80%以上	参加者19名　満足回答53%	C	前年は満足度88%、さらなる評価を目指し、前年の講演時間超過を改善すべくタイムコントロールを徹底した。結果、休憩時間や質疑応答時間が減少してしまい、満足度が低下してしまった。次回は全体に余裕のある時間配分とすべく、参加者が求める内容に時間が割けるよう、講師と具体的な内容打ち合わせを行う。	高める方向で継続		本事業は、八王子市が有する唯一の日本庭園として、伝統的な江戸園芸品種の保存普及に携わる団体を支援かつ連携しながら継続している。市民に恒例行事として定着し、植物への愛好や日本の伝統を重んじる意識を高めることができた。	20	19	20	公園課（高尾駒木野庭園）
123		イベント等	教養的なもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	庭園ガイド	庭園、盆栽、錦鯉の各専門家のガイドトークを通して日本庭園の魅力を発信する。	どなたでも	1	13	指定管理者	参加者の満足度	アンケート集計結果における「満足」度80%以上	参加者13名　満足回答100%	A	参加者全員、満場一致で「大変満足」の評価をいただけた。「無料でありながら丁寧な説明で楽しかった」という謝意を多くいただいた。今後も同様に継続していく。	高める方向で継続		庭園への親しみを深める目的で継続している事業である。毎回満足度が90%以上あり、高評価を維持している。本事業をきっかけとして、定期的な来園者が獲得できており、休憩施設としての認知度も向上した。	0	0	0	公園課（高尾駒木野庭園）

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
124		イベント等	教養的なもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	モリアオガエルの会	園内に生息する希少生物について、専門家による講演会	どなたでも	1	13	指定管理者	参加者の満足度	アンケート集計結果における「満足」度80%以上	参加者13名 満足回答100%	A	「大変満足」かつ「次回も参加したい」2項目で100%回答をいただいた。今後も維持できるよう努める。	高める方向で継続		専門家による解説講演と、庭園で実際の様子を観察できる2本立てであることが本事業の強みである。毎回満足度は80%以上あり、継続要望も多い。日ごろの庭園維持管理にてモリアオガエル保護に尽力していることも事業の下支えである。今後も注力していく。	10	7	10	公園課（高尾駒木野庭園）
125		イベント等	教養的なもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	工作イベント	絵手紙に折り紙をつけた暑中見舞いづくりや、蝶々の鱗粉転写でカードやしおりづくりなど、季節や自然にまつわる工作講座	どなたでも	2	延べ27	指定管理者	参加者の満足度	アンケート集計結果における「満足」度80%以上	参加者27名 満足回答100%	A	内容とともに、講師とアシスタントにより、一人一人丁寧に指導して作業にあたったことで、満足度100%回答をいただけた。今後も維持できるよう努める。	高める方向で継続		本事業は、児童の夏休み期間、レクリエーション提供とともに庭園利用を促す目的で行っている。参加者の声を反映して向上し続けている恒例事業なので、今後も取り組みや評価を維持していきたい。	21	20	16	公園課（高尾駒木野庭園）
126		イベント等	教養的なもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	秋の鳴く虫を楽しむ会	秋の風物詩である、鳴く虫について学ぶ	どなたでも	1	18	指定管理者	協働事業の推進	市民団体との協働事業の継続	達成率66%	C	講演内容が大人向けであったため、小学生以下の参加者から「難しかった」という意見が多く、満足度は66%にとどまった。次回は告知や集客時に大人向けである旨を記載して、期待と内容の誤差が出ないようにしたい。	高める方向で継続		高尾山薬王院で実施されていた事業を引き継いで行っている伝統を持つ。講師所属団体への支援と、地域特有の生物への認知度向上に貢献し、学習意欲の向上や市民への文化提供ができた。	15	9	15	公園課（高尾駒木野庭園）
127		イベント等	教養的なもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	庭師養成講座	庭師による庭木の手入れの実習により、専門知識・技術を体験	どなたでも	0	0	指定管理者	参加者の満足度	アンケート集計結果における「満足」度80%以上	―	評価なし	3月21日開催予定であったが、コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	休止	講師の確保、予定調整が困難となったため。	庭師から本格的な庭木手入れを学べる恒例事業として好評であった。選定の技や、適切な定例で完成された庭園の樹木の姿で、市民の庭作業への意欲向上に貢献できた。	5	0	―	公園課（高尾駒木野庭園）
128		イベント等	教養的なもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	ミニ門松作り	熟練庭師による指導を受けながら伝統文化である正月飾りの制作を体験する	どなたでも	1	15	指定管理者	参加者の満足度	アンケート集計結果における「満足」度80%以上	参加者15名 満足100%	A	小さいながらも本格的な門松を作れる恒例事業、麻縄の男結びや藁を編込む作業など難しい内容だが、熟練の庭師が手取り足取り教えることで、どなたも素晴らしい出来に仕上がる。満足回答と、また参加したいという回答、どちらも100%達成した。今後も維持できるよう努める。	高める方向で継続		初回から、定員の3～5倍程度申込をいただく大好評の事業である。作業の伝え方、準備など、回を重ねるごとに向上させて、期待を上回る満足を提供し、地域愛をはぐくみ、歳時への積極参加など和の心を定着させた。	23	23	30	公園課（高尾駒木野庭園）
129		イベント等	社会貢献活動	2-①	身近で多様な学習機会の充実	ネイチャークラフト	公園の自然から得られるさまざまな素材を集め、草木染や工作を体験し、自然に親しんでもらう。	親子・保護者	4	延べ48	指定管理者	応募者・参加者の人数	予定定員を満たす申込み数を得られること。	50%	C	全体応募数が9割以上、4回中2回で定員を満たす申込数を得られた。事業目標についても、外来種駆除・公園の間伐材などを有効活用した「かぐや雛」や「コブナグサの草木染」といった新たなプログラムを企画実施し好評を得ることができたため達成したといえる。全ての回で定員を満たせるよう改善を図る。	高める方向で継続		最も人気なイベントのひとつである草木染めに加えて、「ヒンメリ」や「かぐや雛」「綿を使ったクラフト」等、5年間で様々なプログラムを企画実施した。今年度の参加者からは満足度100%の評価を得られた。	118	108	80	公園課（ひとまちみどり由木）

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
130		イベント等	健康・スポーツ	2-①	身近で多様な学習機会の充実	ちょこっとさんぽ	年齢にかかわらず気軽に参加できる、申込み不要のガイド付き園内散策。長池公園の魅力を多くの人に知ってもらう。	どなたでも	3	延べ10	指定管理者	参加者の満足度	参加者アンケートにおいて「満足」の回答8割以上	3回　10人 各回満足の回答70%	B	各回の満足度が7割程度と、目標を達成できなかったものの、地域包括支援センターの方に参加いただくなど、子供や高齢者が参加できるコース、案内を行いバリアフリーな利用を促進する目標を達成した。	廃止・終了	当イベントで需要の多い観察会を長池公園自然観察会に組み込み、参加者の希望に沿う形をとることとする。	従来の「ながいけさんぽ」では自然観察をメインに行っていた為、当イベントでも自然観察の需要が高く、イベントコンセプトとそぐわない問題が発生した。参加者の希望を取り入れ、イベント内容を改善し新たなプログラムに刷新する。	8	3	ー	公園課（ひとまちみどり由木）
131		イベント等	健康・スポーツ	2-①	身近で多様な学習機会の充実	施設見学会	市民対象の施設見学会。市民の市政への理解を深めるとともに身近な市民参加の機会とする。	第1回：市民委員等候補者　第2回：子ども★ミライ会議参加者	2	第1回27名 第2回11名（計38名）	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果にて「満足」が80%以上	アンケート回答者のうち、「満足」「ほぼ満足」が100%を占めた（第2回）	A	アンケートの内容から、多くの参加者が「満足」もしくは「役に立った」と感じており、参加者の市や市政への関心を高めることができたと考えるため。　次年度は、今年度に創った枠組みを踏襲しつつ、さらに多くの意見を聴取し、市の施策に活かすことが出来るよう工夫したい。	休止	新型コロナウイルスの感染拡大により、市民を募りバスで市内を巡る当事業は、3密を避けられず実施困難と判断したため。来年度以降については、新たな形式への再構築を含め検討する必要がある。	年度ごとに異なる対象者とし、対象者に合った見学先を設定した。それぞれの企画の満足度は高く、また市政運営の参考となる意見を聴取することができたと考える。	庁舎管理課が計上バス借り上げ費（3台分）　施設使用料19千円	庁舎管理課が計上バス借り上げ費（3台分）　施設使用料3千円	庁舎管理課が計上バス借り上げ費（2台分）	広聴課
132		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	親子で学ぶ交通安全、自転車教室	親子で交通ルールやマナー、安全な自転車の乗り方を学ぶことにより、交通事故の防止を図る。	どなたでも	2	参加者数410人	市単独	応募者・参加者の人数	前年度以上の参加者とする（前年度実績値約400人）	410人	B	幼児向けの補助輪外し教室や自転車シミュレータを利用した交通安全教室を開催して、多くの親子が参加、体験し、自転車の正しい乗り方、ルールやマナーを学ぶことができた。また、新たにイベントに合わせ所有する自転車の無料点検も実施し自転車の安全利用を促進することもできた。	広める方向で継続		参加体験型の交通安全教室の開催で、多くの子どもと保護者が正しい自転車のルールやマナーを楽しく学ぶことができ、交通安全意識の向上にもつながった。	0	0	0	交通事業課
133		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	交通安全教室	幅広い世代に交通ルールやマナーの教育を行うことで、交通事故の防止を図る。	どなたでも	355	参加者数32,723人	市単独	応募者・参加者の人数	前年度以上の参加者とする（前年度実績値33,546人）	32,723人	B	新型コロナウィルス感染拡大防止のため令和2年2月下旬から交通安全教育を中止したため参加者は前年度より減少したが、小学校3年生を対象とした子ども自転車免許の全校実施や高齢者向けの自転車実技教室など子どもから高齢者まで幅広い世代を対象とした交通安全教室を実施することで、多くの市民が参加し、交通安全意識を高めることもできた。	広める方向で継続		高校生、一般市民を対象とした交通事故疑似体験教室を新たに開催するなど、子どもから高齢者までのそれぞれの年齢層の市民が参加することのできる教室を増やし、交通安全意識も高めることができた。	0	0	0	交通事業課
134		講座・教室	仕事に必要な知識技能、資格の取得	2-①	身近で多様な学習機会の充実	介護人材養成研修	介護職に必要な基礎的な知識を学ぶ機会を提供し、介護人材の確保を図る。	成人	年4回	定員50名	委託	応募者・参加者の人数	受講者数100人 就職者数25名	受講者数200人 就職者数13名	B	就職者数が13名と、目標を達成できなかったものの、受講者数は200人と目標を大きく上回った。また、受講者アンケートも好評だった。	広める方向で継続		チラシやポスターの周知場所を市内の大型商業施設や公立保育園及び学童保育所など幅広く行い求人広告誌等に掲載したことで、申込者数も前年より増加し、受講者数は目標を大きく上回ることができた。	5,643	4,802	6,930	高齢者いきいき課

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
135		イベント等	教養的なもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	クリンゲンコア公演、及び合唱ワークショップ	市民に身近な場所で優れた芸術文化活動に参加・体験する機会をつくる。	どなたでも	1	公演来場者448 参加者97	補助	応募者・参加者の人数	①参加者数100人以上 ②来場者300/500名以上（60%)以上	①達成率97%（97/100人） ②達成率149%（448/300人）	B	参加者数の目標値はわずかに届かなかったが、来場者数は目標を大きく上回ることができたため。クリンゲンコアの活動開始以来初めての合唱団単独公演に挑戦し、これまでに挑戦していなかった日本の合唱曲に取り組んだことにより、そのファン層を新規に取り込み、より多くの市民に届けることができた。	休止	クリンゲンコア5周年の記念公演として実施したため。	これまで多くの宗教曲やオペラなどの合唱に取り組んで力をつけてきたが、昨年度初めて日本の合唱曲に取り組み新たな客層を開拓できた。 固定メンバーとしない方針下で技術面での向上は常に課題であるが、市民に広く参加してもらう事業と事業として継続する。	606	1,109	0	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
136	◎	イベント等	教養的なもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	南大沢コミュニティオペラ オペラを愛する人のためのクリニック	市民に身近な場所でオペラ合唱を学ぶ機会を提供し、芸術への市民参加と芸術の普及を促進する。	どなたでも	4回 ※5回を予定していたがコロナの影響により1回中止	参加者数47	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者67名以上	達成率70%（47/67人）	B	目標値を下回る参加者数となったが、R1年度より、2か年で1つの作品を取り上げる計画に切り替えたことにより、初めての試みである、オペラ合唱団のための各回完結型のセミナー形式によるWSに取り組むことができたため。 次年度は、本公演に向けた合唱ワークショップを実施する。	休止	コロナウィルスの影響により休止する。	地域に根付いた事業として、常に参加ニーズと満足度が高く観客も多い。 近年はこの事業の対象を市域全体とし、よりオペラの普及を市域全体に進めるため、昨年度から2年計画でいちょうホールに拠点を移す動きをしており、より大きな舞台での実施、制作システムの確立を進める必要がある。	284	292	1,840	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
137		講座・教室	教養的なもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	初心者のための茶道教室	長い歴史を通して洗礼され伝承してきた「茶道」のなお一層の普及を図る。	どなたでも	前期:12回 後期:10回	参加者 前期:延266 後期:延308	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者数 前期延360人 後期延300人	前期達成率73%（266/360） 後期達成率102%（308/300）	B	前期は目標を下回ったが、後期は目標値を達成することができたため。 次年度以降は、これまでの講師を主催とし、財団が提携の形で実施する。	広める方向で継続		いちょうホールの本格的な茶室の活用が図られ、教室卒業後も自主サークルが生まれるなど、茶道に親しむ人口を増やしてきた。 近年は、指導者が集まって自主運営するノウハウを財団から伝達している。	450	408	0	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
138		講座・教室	教養的なもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	初心者のための煎茶道教室	茶の湯の影響をうけながら、洗礼されてきた「煎茶道」の普及を図る。	どなたでも	前期:12回 後期:4回 ※後期は当初の計画より縮小	参加者 前期:延31 後期:延71	指定管理者	応募者・参加者の人数	前期延120人 後期延40人	前期達成率26%（31/120） 後期達成率170%（71/40）	C	後期は目標値を大きく上回ったが、前期は目標を大きく下回ったため。 次年度以降は、指導者の自立性に委ね、財団の提携は終了とする。	廃止・終了	指導者の自立性に委ね、財団の提携は終了とする。	同上	191	173	0	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
139		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	市民法律講座「遺言・相続」	誰にでも起きる身近な問題である「相続」について、講座を開くことで市民の知識向上を図る。	―	―	―	―	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度が80%以上	―	評価なし	令和元年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止した。市民から好評を得ている講座であり、令和2年度も法改正に対応した内容で実施予定。	高める方向で継続		毎回講座の満足度は70%を超えている。市民の関心が高い相続をテーマとしており、ユーモアを交えた講座のため高い満足度を得られているものと考える。	0	0	0	市民生活課
140		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	分譲マンション管理セミナー	分譲マンションの維持管理等の支援	どなたでも	2	合計52人	共催	応募者・参加者の人数	定員50名に達すること	参加者人数 第1回29人 第2回23人	C	参加者が第1回29人、第2回23人で目標を達成できなかった。次年度は分譲マンションの適正管理促進事業での管理状況届出制度を活用した周知方法を検討する。	高める方向で継続		参加者の目標人数は50人としているが、これまで各回の参加者は30人程度で推移している。アンケート結果では80%以上の方が参考になったと回答していることから、一定の評価は得られている。	64	64	64	住宅政策課

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
141		講座・教室	家庭生活	2-①	身近で多様な学習機会の充実	消費生活講座	契約、保健、住まい、金融など消費生活に関する講座を開催し、消費者への啓発を図る。	どなたでも	4	68	市単独	参加者の満足度	市民のニーズに合った講座により、効果的な啓発を実施する。	役立ったと回答89%	A	身近な消費生活に関するテーマで実施し、参加者アンケートの結果「役に立った」との回答が高かったことから、自立した消費者育成が図られた。今後も関心の高い身近なテーマを検討し、講座の参加者数と満足度を高める。	高める方向で継続		試行錯誤を繰り返し、市民ニーズに対応する講座の開催を行い、消費生活センターへの市民認知度も高めてきた。	16	16	16	消費生活センター
142		講座・教室	育児・教育	2-①	身近で多様な学習機会の充実	親子見学会	親子で消費生活に深くかかわる施設の見学と講習を受講し、消費者教育の推進を図る。	親子・保護者	1	28	市単独	参加者の満足度	市民のニーズに合った見学会により、効果的な啓発を実施する。	おおいに満足50%満足50%	B	実際に商品テストを行う施設で、身近な商品が市場に出る前に行われる安全性のテストを見学することで、消費者教育の推進が図られた。夏休みの自由研究の課題に消費者生活を取り上げてもらい、家族や学校教育の中でも関心を広めてもらう。	広める方向で継続		小学生を対象に「お金」について学ぶ機会として、造幣局を見学してきたが、消費者生活の多様性を見学先を通して展開し、親子で関心を高めてきた。	2	2	85	消費生活センター
143		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	消費者団体企画提案講座	消費者団体と連携し、消費生活に関わる講座を開催し、効果的な啓発を図る。	どなたでも	0	－	－	参加者の満足度	関係団体と連携し、効果的な啓発を実施する。	コロナウィルス感染拡大防止のため中止	評価なし	コロナウィルス感染拡大防止のため中止とした。令和2年度は団体と実施について調整する。	広める方向で継続		－	6	0	6	消費生活センター
144		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	消費生活講演会	消費生活に関わる講演会を開催し、消費者への啓発を図る。	どなたでも	2	104	共催	参加者の満足度	東京都と連携し、効果的な啓発を実施する。	参加者から参考になったとの声が聞けた。	B	東京都等との共催により、社会的関心が深まっているテーマについて、専門家の最新情報が分かりやすく学ぶことができ、効果的な啓発ができた。今後もより多くの方に参加していもらい、更なる消費生活への関心を高め消費者市民社会の実現を目指す。	高める方向で継続		一般的には難しいテーマを東京都等の機関を通して、第一線で活躍されている専門家を講師に招くことができ、市民への消費生活への意識づけになった。	103	27	85	消費生活センター
145		講座・教室	趣味的なもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	はちおうじ出前講座	市民の生涯学習に対する支援と意識の向上を図り、市政に対する理解を深める。	どなたでも	2,432	205,539	共催	応募者・参加者の人数	300,000人	205,539	C	多くの市民に活用してもらうため、さらなる周知が必要。	広める方向で継続		5年間で延べ100万人以上の市民に対し、生涯学習と市政理解の機会を提供できた。	0	0	0	生涯学習政策課
146		イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	動物の適正飼養講演会	動物の飼育に関する法令、しつけ方、マナー、狂犬病などの人と動物の感染症などについて講演会を実施し、動物の飼い主の意識向上を目指す。	どなたでも	1	65	共催	参加者の満足度	アンケートを実施し、満足度を高めるとともにニーズを探り,次回の講演会のテーマを適切に設定する。	参加者全員にアンケートを実施したところ49人から回答があり、そのうち約94%の46人が次回も参加したいとの回答であった。	B	参加者について150人を目標としていたが、65人の参加にとどまった。しかしながら、参加者アンケートにおいて、回答者の約86%にあたる42人から好意的な意見をいただき、本事業に対する市民からの期待の高さが感じられた。	高める方向で継続		平成27年度には50人程度であった参加者が、年度を追うごとに増加し、平成30年度には141人の参加となった。また参加者アンケートの意見を取り入れ、より興味のある内容としたことにより、参加者からわかりやすくまた参加したいとの評価を得られ、意識向上の目標を達成した。	74	30	99	生活衛生課
147		講座・教室	趣味的なもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	学習支援委員合同講座	八王子市学習支援委員による講座を開催し、市民の生涯学習の振興を図る。	どなたでも	1	103	共催	参加者の満足度	受講者が満足する講座を提供し、また生涯学習活動支援への意欲を高める。	満足度95%	B	多くの市民に満足度の高い講座を提供できた。	広める方向で継続		学習支援委員の力を活かし、5年間で計7回の合同講座を実施し、市民に学習活動のきっかけの場を提供できた。	0	0	0	生涯学習政策課

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
148		イベント等	教養的なもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	平和展	戦争の悲惨さや平和の尊さを多くの方に伝える。	どなたでも	14回（14日間開催）	1,422	実行委員会	応募者・参加者の人数	来場者数1,500人	1,422	B	参加者が1,422人であり、目標を達成できなかったが、戦争の悲惨さや平和の尊さを多くの方に伝えるという平和展の目的は果たせたため。	高める方向で継続		戦災の資料や写真パネルなどを活用した企画展示、八王子空襲を体験した語り部の証言を聞く機会を設けることで、戦争の悲惨さや平和の尊さを多くの方に伝えることができている。	2,345	1,941	1,807	総務課
149		講座・教室	趣味的なもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	自然体験・自然観察会	旧稲荷山小学校の博物館機能の発展充実のため市民を対象とした自然観察会を行う。	どなたでも	4	99人	共催	応募者・参加者の人数	120人	99人	B	目標人数には届かなかったものの、例年の観察会に加え、新たに「星空観望会」を実施し、多様な学習機会を提供できた。	広める方向で継続		蛍やムササビの観察会、里山歩き、星空観望会など、様々な側面から身近な自然を体感する機会を市民に提供できた。	27	16	31	生涯学習政策課
150		講座・教室	健康・スポーツ	2-①	身近で多様な学習機会の充実	健康入浴講座	目的別の入浴方法を学ぶことで、ヒートショック予防や施設の利用促進につなげる。	どなたでも	4	20	指定管理者	応募者・参加者の人数→救急搬送回数	施設利用者数の増加→救急搬送回数の減少	救急搬送回数 5回	B	2016年から2019年にかけて救急搬送件数が8件、10件、2件、5件と減少傾向を示しており、施設利用者の健康意識の向上と、受講者の安全な入浴に寄与している。	広める方向で継続		温泉入浴指導員が講師となり、入浴時の事故防止、危機管理意識を高ることに繋がっております。	0	0	0	地域医療政策課（日本環境マネジメント株式会社）
151		講座・教室	健康・スポーツ	2-①	身近で多様な学習機会の充実	ヨガ教室	リラックス効果のあるヨガ教室を定期開催することで、施設の利用促進につなげる。	成人	22	245	指定管理者	応募者・参加者の人数	施設利用者数の増加	245人（目標値248人）	B	目標値(定員の75%が参加)と同程度の結果が出ており、施設使用者の増加と、利用者の健康増進に寄与している。	広める方向で継続		平成28年度から開催し、お客様から好評を得ており、平成29年度から毎月開催へ、平成30年度からは月2回へと実施回数を増加しており、定期的な運動習慣に繋がっております。	168	147	168	地域医療政策課（日本環境マネジメント株式会社）
152		講座・教室	育児・教育	2-①	身近で多様な学習機会の充実	糖尿病重症化予防教室（運動実践）	糖尿病の未治療者の重症化予防に向けて生活改善への支援を図る。	成人	2	30	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	満足・おおいに満足100%	B	新型コロナウィルス感染症拡大防止対策のため3月の教室を中止となったが、開催できた教室は、参加者が運動を意識する機会となり、満足度も高かった。	高める方向で継続		H30年度からの取り組みであるが、活動量計を利用して活動量をデータ化・見える化する等工夫し、糖尿病の重症化予防と生活改善への支援ができた。	33	17	66	東浅川保健福祉センター
153		講座・教室	育児・教育	2-①	身近で多様な学習機会の充実	歯の健康教育	歯周病の予防や口腔機能の維持、低下予防のための正しい知識の普及と、健康増進意識を併発する。	成人	5	48	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	アンケート集計結果における満足度100%	B	目標値を達成 歯周病及びオーラルフレイルの予防のための正しい知識の普及に努めた。	広める方向で継続		市民の関心のあるテーマ設定を意識し、教育を実施することで、満足度が高い事業となっている。	0	0	0	東浅川保健福祉センター
154		講座・教室	健康・スポーツ	2-①	身近で多様な学習機会の充実	成人健康教育	健康増進・健康寿命の延伸のため、生活習慣病が重症化するリスクの高い方に知識の普及と生活習慣の改善を促す。	成人	14	22	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	90%	B	対象者へ訪問等を実施するなどし、未治療の方が専門医等の適切な医療へつながるよう支援した。その結果、生活習慣の改善がみられるなど、生活習慣病の重症化予防に寄与したと考える。次年度も必要な方への支援が手厚く行えるよう、継続した取り組みが必要。	高める方向で継続		H30年度より取り組み開始。健診データの改善がみられており、生活習慣病重症化予防に寄与している。	33	33	66	南大沢保健福祉センター
155		講座・教室	教養的なもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	八王子学園都市大学（いちょう塾）【公開講座】	大学等の高度で専門的な学習機会を継続的に提供し、市民の生きがいづくりや地域の活性化に貢献することをめざす。	成人	58講座	公開講座4,367人	委託	参加者の満足度	95%以上	前期(一般講座)97.2% 後期集計中	A	令和元年度(2019年度)の前期は高い水準で達成している。引き続き、受講者ニーズに沿った講座の提供に努めていく。	高める方向で継続		受講者ニーズの分析を行い、受講者にとって満足度の高い講座を運営すること、また八王子学など本市の特性を生かした講座等を行うことで本市ならではの講座を運営することができている。	一般講座と合わせて委託契約	一般講座と合わせて委託契約	59,522	学園都市文化課（八王子学園都市大学事務局（(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団））

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
156		講座・教室	教養的なもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	八王子学園都市大学（いちょう塾）【一般講座】	大学等の高度で専門的な学習機会を継続的に提供し、市民の生きがいづくりや地域の活性化に貢献することをめざす。	成人	250講座	一般講座2,652人	委託	参加者の満足度	95%以上	前期(一般講座)97.2% 後期集計中	A	令和元年度(2019年度)の前期は高い水準で達成している。引き続き、受講者ニーズに沿った講座の提供に努めていく。	高める方向で継続		受講者ニーズの分析を行い、受講者にとって満足度の高い講座を運営すること、また八王子学など本市の特性を生かした講座等を行うことで本市ならではの講座を運営することができている。	61,542	57,421	59,522	学園都市文化課（八王子学園都市大学事務局((公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団)）
157		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	八王子市地球温暖化防止活動推進センターにおける講座の実施	地球温暖化に関する講座を開催し、市民・事業者の地球温暖化に対する意識向上を図る。	どなたでも	20	491	委託	応募者・参加者の人数	500	491（達成率98.2%）	B	市内各所の市民センターで家庭の省エネ講座やエコドライブセミナーなどを実施したことにより、市内全体での地球温暖化防止の意識向上が図れた。	広める方向で継続		市内各所の市民センターで省エネに関する講座を実施したことにより、市内全体での地球温暖化防止の意識向上が図れた。	－	－	－	環境政策課（特定非営利活動法人環境活動センター八王子）
158		イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	地球温暖化防止普及啓発イベント	地球温暖化問題について市民の意識や関心を高め、具体的な行動を起こすきっかけとする。	どなたでも	1	1,665	委託	応募者・参加者の人数	未定（平成36年度目標:地球温暖化問題に関心がある人の割合89%）	目標値未設定のため算出不可	B	イベント参加募集人数1300名のところ、6000人以上の応募があり、多くの市民に参加いただき、幅広い年齢層の方に地球温暖化問題に関心を持っていただいた。 今後も地球温暖化問題に関連する著名人に講演いただくなど普及啓発を図っていく。	広める方向で継続		気象予報士等による講演を行い、地球温暖化防止への意識啓発を行った。多くの市民に地球温暖化問題が身近なことであり節電、省エネ行動の大切さを伝えることができた。	－	－	－	環境政策課（特定非営利活動法人環境活動センター八王子）
159		講座・教室	教養的なもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	戸吹クリーンセンター施設見学	施設の役割やごみ処理の現状を理解してもらい、ごみの減量・資源化・分別の大切さを学ぶ機会を提供する。	どなたでも	129	2720人	市単独	応募者・参加者の人数	見学者の増加	見学者の増加	A	前年度(75回1903人)を上回る参加を達成できた。	高める方向で継続		不適切に分別されたごみの展示やDVDの視聴、自己託送による電力の見える化等を取り入れた結果、参加した市民から適正なごみ分別の意識を高めることが出来たと評価された。	0	0	0	戸吹クリーンセンター
160		講座・教室	健康・スポーツ	2-①	身近で多様な学習機会の充実	歯の健康教室	歯周病の予防や口腔機能の維持、低下予防のための正しい知識の普及と、健康増進意識を啓発する。	成人	5	18人	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	80%	B	アンケートの結果より満足度は80%であり、目標を達成できた。歯科検診を受けていても歯みがき指導を受けたことがない方も多く、講話、歯みがき実習を行うことで事業目標である正しい知識の普及と健康増進の意識を啓発できた。	広める方向で継続		個別対応も十分されて、満足度の高い事業である。	4,583	375	364	大横保健福祉センター
161		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	成年後見制度学習会	成年後見制度の普及啓発を図るために学習会を開催する	どなたでも	7	117	委託	応募者・参加者の人数	成年後見制度の普及・利用促進	117人　7回	C	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3月の学習会(1回)が中止となった。また下半期の開催については、周知の時期が台風19号への対応時期と重なり、十分な周知ができず目標を達成できなかった。 次年度は開催時期の見直しを行い、実施する。	広める方向で継続		参加者からのアンケート結果を踏まえた内容や開催回数を増加させたことで、5年間で約1,000人の参加となり、市民の成年後見制度の理解につながった。	176	278	305	福祉政策課（八王子市社会福祉協議会成年後見・あんしん相談センター八王子）
162		講座・教室	教養的なもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	上柚木公園に飛来する冬鳥を楽しもう	初心者にも比較的観察しやすい冬期に観察会を実施する。	どなたでも	1	14	指定管理者	参加者の満足度	満足度100%	達成度80%	B	小雨で散策は難しいと判断し、室内にて講座を実施した。常日頃から鳥の観察に携わっている講師の話は貴重であり、参加した小学生も理解できたようであった。	広める方向で継続		過去2-3年間、天候不良などの理由で中止をしてきたが、参加者の要望もあって雨天時は室内講座を実施することになった。そのため、実施について喜ぶ声をいただけた。	10	7	10	公園課（八王子市学園都市文化ふれあい財団）

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
163		講座・教室	教養的なもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	初夏のスケッチを楽しもう	園内の草花や樹木を観察し描き方や構図のポイントを教わりながら自由にスケッチする。	どなたでも	1	12	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者15人	12人 80%	B	参加者が12人で目標には一歩届かなかったが、目的であったきっかけづくりにはなることができ、引き続き講師の下でスケッチを継続、次回教室の参加を希望の声が上がった。その声を逃さず、集客につなげていく。	広める方向で継続		リピーター制度(希望者のみ)を導入し、一定の参加人数を確保することができた。また参加者の作品(希望者のみ)のコピーを園内に掲示することで参加者の発表の場の提供と教室開催のPRに繋げている。	7	7	7	公園課(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
164		講座・教室	教養的なもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	樹木のスケッチを楽しもう	園内の草花や樹木を観察し描き方や構図のポイントを教わりながら自由にスケッチする。	どなたでも	1	6	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者15人	6人 40%	C	当日が小雨だったため、室内にて実施した。天候不良だったため、屋外でのスケッチを目的にしていた方などからの欠席があり、申込者数の半分の人数の開催となってしまったが、その分講師によるアドバイスの機会が多く提供された。	広める方向で継続		リピーター制度(希望者のみ)を導入し、一定の参加人数を確保することができた。また参加者の作品(希望者のみ)のコピーを園内に掲示することで参加者の発表の場の提供と教室開催のPRに繋げている。	7	7	7	公園課(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
165		イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	介護の日事業	介護についての理解と認識を深め、地域社会における支え合いの精神の高揚と介護の日の周知を図る。	どなたでも	令和元年度は形式を変更して実施	合計1000部	市単独	事業の実施	市内施設でパンフレット等の配布	1,000部	C	配布した資料の中には既に窓口に配架済みのものもあったことや、周知のために作成したロゴマークの活用がされておらず、十分な周知に至らなかったため。	広める方向で継続		平成30年度まではイベント形式で行っていたが、例年参加者が少なかったため、令和元年度からは、事業目的及び効果の観点より、実施方法を資料配布による情報発信に変更した。令和元年度は、用意した資料の大半を配布することができたため、一定程度の効果はあったものと思われる。	141	52	53	高齢者いきいき課
166		講座・教室	健康・スポーツ	2-①	身近で多様な学習機会の充実	成人健康教室(保健・栄養)	食事・運動などの生活習慣改善について講話や実習を行い、生活習慣病などの疾病の予防・健康づくりに関する正しい知識の普及と健康増進意識を啓発する。	成人	7	338	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	4回、98人、大変満足・満足と回答した人96%（4講座）	A	アンケートを実施した事業では、集計結果で96%が満足と回答した。生活改善を始めた市民もおり、意識・行動変容という成果が得られた。	高める方向で継続		過去5年間、生活習慣病改善についての講座や実習を行った。実施したアンケート結果より5年間で96%の満足度を得られており、健康意識向上・行動変容へとつなげることができた。	4,583	4,492	364	大横保健福祉センター
167		講座・教室	教養的なもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	東京交響楽団PJ フォーレレクイム合唱オフトレーニングとワークショップ	市民に身近な場所で優れた芸術文化活動に参加・体験する機会をつくる。	―	―	―	―	①3校以上の応募数 ②実施校の要望と楽団とのスムーズなマッチングと着実な実施	・参加者数100人以上 ・合唱技術のレベルアップ	―	評価なし	※コロナウィルスの影響により次年度に延期	広める方向で継続		市民合唱クリンゲンコアのスキルアップを図る取り組みとして指導者・参加者ともに効果があるとの声がある。	602	95	730	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
168		イベント等	教養的なもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	夏休み工作イベント	日本の伝統的な工作を紹介、制作	どなたでも	1	7	指定管理者	参加者の満足度	満足度100%	満足度95%	B	「折り紙絵手紙で暑中見舞い」と題して、夏休みの子供を中心にどなたにも楽しんる企画とした。和室で講師と一緒に手取り足取り優しく指導するので、雰囲気も内容も高く評価いただいた。	休止	講師の確保、予定調整が困難となったため。	送る人の減った「暑中見舞い」の文化と、折り紙の工作体験ができる企画である。古民家で涼みながら、親しい人にお便りを作る、夏にもほっこりとくつろぐ機会を提供して、参加者の心をいやした。	5	5	―	公園課(駒木野庭園アーツ)

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
169		イベント等	教養的なもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	春のスワッグづくり	日本の伝統的な工作を紹介、制作	どなたでも	1	10	指定管理者	参加者の満足度	満足度100%	満足度100%	B	30年度に初めて行ったイベントであったが、31年度は講師の方の都合がつかず、開催できなかったため、「かぐやびなを作ろう」という代替イベントを開催し、参加者満足度100%、「また参加したい」の回答100%の結果を得た。	廃止・終了	講師の確保が困難となったため、工作教室というコンセプトは変えず、他の工作を実施する。	H30年度新規企画であった。大変反響のあったイベントであったが、講師の確保が困難なため、内容を変更する。	10	0	ー	公園課（駒木野庭園アーツ）
170		講座・教室	仕事に必要な知識、技能、資格の取得	2-①	身近で多様な学習機会の充実	母子家庭等就業・自立支援センター事業（就業支援セミナー）	母子家庭の母及び父子家庭の父の自立を促進すること。	親子・保護者	8	計111人（重複者有）	委託	参加者の満足度	参加者アンケートのうち、満足したものが80%以上とする。	参加者の約89%が満足したとの結果になり、目標を達成した。	B	満足度が目標値の80%を大きく上回り、アンケートの回答としても、「参考になった」や「わかりやすかった」との回答を得ることができた。今後はアンケートの意見を基に、どのようなテーマに対するニーズが多いのかをアンケート等の結果を参考に検討していく必要がある。	広める方向で継続		セミナーにおいては毎年のニーズ調査やアンケート等からよりニーズのあるテーマの探求を行い、取り入れている。	756	756	716	子育て支援課
171		講座・教室	仕事に必要な知識、技能、資格の取得	2-①	身近で多様な学習機会の充実	母子家庭等就業・自立支援センター事業（パソコン講習会）	母子家庭の母及び父子家庭の父の自立を促進すること。	親子・保護者	12	計103人（重複者有）	委託	参加者の満足度	参加者アンケートのうち、満足したものが80%以上とする。	参加者の約90%が満足したとの結果になり、目標を達成した。	B	満足度が目標値の80%を大きく上回り、アンケートの回答としても、「勉強になった」や「役に立ちました」との回答が多かった。その中で、働いていても参加しやすい日程にしてほしいとの声も聞かれたため、日程・時間については今後検討・工夫が必要である。	広める方向で継続		パソコン講習会においてはニーズ調査やアンケート等からよりニーズのあるテーマの探求を行い、取り入れている。	4,306	4,306	2,663	子育て支援課
172		講座・教室	教養的なもの	2-①	身近で多様な学習機会の充実	東京交響楽団PJ オペラ「万葉集」合唱オフトレーニングとワークショップ	市民に身近な場所で優れた芸術文化活動に参加・体験する機会をつくる。	どなたでも	※コロナウィルスの影響により次年度に延期	ー	指定管理者	①3校以上の応募数 ②実施校の要望と楽団とのスムーズなマッチングと着実な実施	・参加者数100人以上 ・合唱技術のレベルアップ	ー	評価なし	※コロナウィルスの影響により次年度に延期	広める方向で継続	※コロナウィルスの影響により休止	市民合唱クリングゲンコアのスキルアップを図る取り組みとして指導者・参加者ともに効果があるとの声がある。	602	95	730	学園都市文化課（(公財)学園都市文化ふれあい財団）
173		講座・教室	健康・スポーツ	2-①	身近で多様な学習機会の充実	歯の健康教室	歯周病予防や口腔機能の維持、低下予防のための正しい知識の普及と健康増進を啓発する。	どなたでも	5	18	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	80%	B	講義だけでなく歯みがき指導など実践的な内容のため家庭でのセルフケアに生かせる講座となっている。歯周病が始めまる若い世代の参加者が少ないことは課題である。	広める方向で継続		個別対応も十分されて、満足度の高い事業である。	30	30	31	南大沢保健福祉センター
174		講座・教室	教養的なもの	2-②	読書のまち八王子の推進	地区図書室・読み聞かせ等行事	地区図書室の活性化を図る。	子ども	92	2,528	補助	応募者・参加者の人数	前年度より参加人数を増やす	92回 2,528人	B	3月のコロナウィルス感染拡大防止のため、中止した催しがあったものの、目標は概ね達成することができた。	広める方向で継続		この5年間で、各地区図書での行事等工夫しながら参加者を増やす努力を行った。地区図書室が活性化するよう引き続き継続する。	地区図書室運営事業補助の中で実施	地区図書室運営事業補助の中で実施	地区図書室運営事業補助の中で実施	協働推進課（各地域住民協議会）

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
175		講座・教室	社会貢献活動	2-②	読書のまち八王子の推進	学校図書館ボランティア研修会	学校図書館の環境整備及び読書活動の推進に必要な技術及び知識の習得	どなたでも	2	138	市単独	応募者・参加者の人数	108人	127%	B	今年度は、目標値を達成できた。今後は、学校図書館の環境整備等研修内容の工夫も行っていきたい。	広める方向で継続		研修会の参加者も増加傾向にあり、学校図書館ボランティアの意識向上が図られていると考える。	54	42	54	指導課
176		講座・教室	育児・教育	2-②	読書のまち八王子の推進	としょかんたんけんたい	図書館窓口や内部業務等の幅広い業務の図書館を探検するなど、図書館をより身近な存在に感じてもらい、利用促進に努める。	子ども	2	49	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	49	A	予定以上の応募があったが、受け入れ可能な範囲で柔軟に対応できた。多くの子どもたちが参加できるよう、次年度もPRを十分に行い、募集人数や実施体制の検討も行う。	休止	新型コロナウィルス感染拡大防止のため休止	多くの子どもたちに参加してもらい、図書館や読書に親しみを持ってもらうよい機会となった。	0	0	0	生涯学習センター図書館
177		イベント等	育児・教育	2-②	読書のまち八王子の推進	図書館まつり	10月27日はちおうじ読書の日にあわせ、各種イベントや図書・雑誌のリサイクルを実施し、図書館・読書に関心を持っていただく。また、図書館関連団体の活動を紹介する。	どなたでも	1	2,865	実行委員会	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	2,865	B	期間中2,800名を超える方の来場があった。各図書館では図書・雑誌のリサイクル、共通テーマ展示を行ったほか、中央図書館では、秋の朗読会、図書館いろいろ体験、ビブリオバトルなど、図書館に関連した活動を市内で行っている団体によるさまざまなイベントを実施した。	休止	新型コロナウィルス感染拡大防止のため休止 まつりの各種イベントと各図書館でのリサイクルを切り離し、各々の取組として実施する。このことから成果としている来場者数が激減する。	2,865名(イベント460名・リサイクル2,405名)の方にご来場いただき、図書館資料の再利用や図書館を中心として活動されているさまざまな団体の活動内容を来場された方々に知っていただく機会となった。	100	89	50	生涯学習センター図書館
178		イベント等	育児・教育	2-②	読書のまち八王子の推進	読書感想画・読書感想文コンクール	子どもたちが本を読むことで得た感動や喜びを多くの方々に絵や文章で伝え、子どもの読書活動を通した「読書のまち八王子」推進に取り組む。	子ども	1	感想画1,071 感想文3,852	共催	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	感想画1,071 感想文3,852	B	東京八王子西ロータリークラブと共催して実施した。市内各施設で入賞作と、海外友好交流都市である台湾・高雄市の子どもたちの絵画を合同で展示した。例年実施していた中学生の部上位入賞者による、台湾高雄市への“八王子市ジュニア国際交流フレンド”派遣は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。 次年度に向けては、新型コロナウイルス感染症対応の影響下、市内小・中学校への募集依頼や各公共施設、書店などでPRを行うほか、作品展示の機会を増やしていく。	高める方向で継続		子どもたちが本を読むことで得た感動や感想を文章や絵で表現してもらうことで、子どもたちの読書活動の推進を図ることができた。	805	698	1,489	図書館2館(生涯・川口)
179		その他	趣味的なもの	2-②	読書のまち八王子の推進	高齢者施設読書活動支援	図書館への来館が困難な高齢者の入居施設を対象に、図書の出張貸出しや団体貸出しを実施し、だれもが身近に読書に親しめる環境の整備を行う。	高齢者	出張20 団体15	貸出冊数4,593	共催	参加者への満足度及び利用の促進	貸出しを行うとともに、本の読み聞かせなどを行うことで、多くの入居者が読書に親しみ、読書を楽しめるようにする。	施設入居者の生活に読書が加わり、ボランティアや司書との交流も楽しんでいる。	B	入居者から希望図書のリクエストもあり、来館が困難な高齢者の読書活動やボランティア等との交流の機会が提供できている。今後も資料を充実し、団体貸出を利用する施設の拡大に取り組む。	広める方向で継続		平成30年度から施行された事業であり、ボランティアとの連携により、高齢者施設における入居者の読書活動を支援することで、生活の充実を図る一助とすることができた。	3,951	3,951	4,322	中央図書館
180		イベント等	趣味的なもの	2-②	読書のまち八王子の推進	手づくりの本展	手づくりの本を公募・展示し、本に親しみと愛着を持つ機会とする。	どなたでも	1	115	共催	出品者数	出品者120名、200点前後の出品を目指す	出品者数115名、出品点数160点	B	手づくりの本を公募・展示し、本に親しみと愛着を持つ機会とした。	広める方向で継続		目標に達成できる年度もあったが、目標を下回る年度が多かった。しかし、夏休みイベントで作成した作品を出展してもらうことができた。	21	21	21	中央図書館

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
181		その他	趣味的なもの	2-②	読書のまち八王子の推進	地域子ども文庫育成事業	地域での読書活動の充実を図るため、地域文庫との連携を強化する。	どなたでも	3	6	補助	協働事業の推進	継続	地域子ども文庫からの希望図書を図書館で購入し、団体貸出を行った。6団体:309冊	B	子ども文庫からの希望図書を提供することで、地域に根ざした子どもの読書環境の向上を図った。	広める方向で継続		地域に根ざした図書を提供し、子どもたちの読書活動の推進を図ることができた。	480	480	480	中央図書館
182		その他	社会貢献活動	2-②	読書のまち八王子の推進	地区図書室への支援	地域における読書活動の推進を図るため、地区図書室の充実及びサービス向上への支援を行う。	どなたでも	―	―	補助	協働事業の推進	継続	コミュニティ振興財団から各地区図書室の希望図書の提示を受け、図書館で購入し団体貸出を行った。13室1,535冊	B	地域から希望図書を提供することで、地域に根ざした子どもを含む住民の読書環境の向上を図った。	広める方向で継続		地区図書室から市民センター図書館へ4館変更したことも含めより地域住民の図書館の利用促進を図った。	3,527	3,101	3,703	中央図書館
183		その他	趣味的なもの	2-②	読書のまち八王子の推進	対面朗読	視力障害等で読書に親しむ機会の少ない市民に対し、図書館の対面朗読室で図書の朗読を行うなど、読書環境を整備する。	障害者	435	435	共催	実施回数	400回以上	435回	B	新型コロナウイルス感染症拡大による実施回数の減少はあったが、目標値を達成した。視覚障害者など活字をそのままで読むことが困難な利用者の要望に応え、誰もが読書に親しめるための支援を行った。今後も読書バリアフリー法の趣旨に沿い周知に努める。	広める方向で継続		ボランティアとの連携により視覚障害者等の読書支援を継続して行うことができた。	450	400	480	図書館4館
184		その他	趣味的なもの	2-②	読書のまち八王子の推進	高齢者・障害者への図書宅配サービス	寝たきり高齢者・障害者等で図書館にいけない人に対して、図書を宅配するなど読書環境を整備する。	高齢者障害者	194	194	共催	実施回数	200回以上	194回	B	新型コロナウイルス感染症拡大により、目標値を若干下回ったものの、新たな利用者も増えてきている。今後も事業の周知に努め、利用の拡大につながる取組を検討する。	広める方向で継続		高齢や障害などにより図書館に来館することが困難な利用者に図書や雑誌をボランティアが宅配することで、誰もが読書に親しめる環境を整備することができた。	125	57	125	図書館4館
185		イベント等	趣味的なもの	2-②	読書のまち八王子の推進	作って学ぼう！夏の工作教室	工作教室を通して、図書館や本に親しむ機会を提供する。	子ども	0	0	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	0	評価なし	関係団体との単年度事業のため、今年度は実施しなかった。	廃止・終了	単年度事業のため		2	0	0	南大沢図書館
186		イベント等	趣味的なも	2-②	読書のまち八王子の推進	一日図書館員（小学生向け）	図書館業務の実体験を通して、図書館への理解を深める。	子ども	生涯4 南大沢4 川口4	生涯47 南大沢46 川口24	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	3館合計117人	A	生涯館、南大沢館は定員を上回る応募があり、救済策として、落選した23名を定員にまだ空きがある川口館での参加を促した。	休止	コロナ感染症拡大防止のため、今年度については休止する。	平成30年度よりメールでの申し込みを追加することで、申込者数が例年の10パーセント増加した。	0	0	0	図書館3館（生涯、南大沢、川口）
187		イベント等	趣味的なもの	2-②	読書のまち八王子の推進	一日図書館員（中学・高校生向け）	図書館業務の実体験を通して、図書館への理解を深める。	子ども	生涯2 南大沢2 川口2	生涯13 南大沢7 川口2	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	3館22人	B	市内中学校だけでなく、私立中学校にも周知することができた。また、昨年度から継続して参加してくれる子もいた。	休止	コロナ感染症拡大防止のため、今年度については休止する。	平成29年度までは中学生ボランティアを実施してきたが、目的の不明確さや各館の内容のばらつきなど課題が多くあった。そのため、図書館に親しみをもってもらうことを目的とした「一日図書館員（中学・高校生向け）」として、企画を統廃合した。	0	0	0	図書館3館（生涯、南大沢、川口）

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
188		イベント等	趣味的なもの	2-②	読書のまち八王子の推進	図書等のリサイクル	所蔵期限の過ぎた本や雑誌資料を有効活用してもらうため、市施設・関連団体、市民に提供する。	どなたでも	4	中央592人 生涯467人 南大沢638人 川口708人	市単独	配布冊数	配布施設・団体を増加し、さらに本や雑誌資料を有効活用する。	今年から配布団体に保育園を追加した。	B	リサイクル資料3,807冊中2,612冊を配布済。令和2年は図書館まつりと別時期に行う可能性もあり、より一層の周知に努める。(事前配布の団体に早めに連絡するなど)	広める方向で継続	コロナ感染症拡大防止のため、今年度については縮小して継続とする。	平成28年度から全館で一般書、児童書の配布を開始。児童書は好評で用意した約200冊を全て配布することができた。	0	0	0	図書館4館
189		その他	趣味的なもの	2-②	読書のまち八王子の推進	図書のテーマ展示(児童・一般)	図書館から様々な種類の図書を紹介し、図書に親しむ機会を提供し、図書館利用の促進を図るほか、行政からの情報発信の機会として活用する。	どなたでも	149	―	市単独	参加者への満足度及び利用の促進	図書館から様々な種類の図書を紹介することで、図書に親しむ機会を提供し、図書館利用の促進を図る。市の各所管との連携を拡大する。	一般:77テーマ 児童:72テーマ	B	中学生・高校生向け図書のテーマ展示などを行い、テーマ展示の種類を増やすことで、普段手に取らない本への関心や貸し出しにつなげることができた。	高める方向で継続		平成30年度より行政連携テーマ展示を行い、行政情報の情報拠点としての役割を担うようになった。また、中学・高校生向けのテーマ展示を行い、中学・高校生向けの図書の利用促進を図った。	0	0	0	図書館4館
190		イベント等	趣味的なもの	2-②	読書のまち八王子の推進	おはなし会	親と子を対象に本に親しむ機会を与えるとともに、読書習慣の育成を図る。読み聞かせ等のおはなし会を実施することで、物語や本の楽しさを啓発し、子どもの読書活動の推進を図る。	親子・保護者	中央41 生涯14 南大沢46 川口10	中央693 生涯317 南大沢841 川口308	共催	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	全館111回2159人	A	台風19号による休館や新型コロナウィルス感染症による感染防止のためおはなし会の中止もあったが、前年度の参加者数を上回る参加があった。南大沢館では新たに「0歳向けおはなし会」を開始し、参加者に好評を得た。	広める方向で継続	コロナ感染症拡大防止のため、今年度については縮小して継続とする。	新たな対象年齢のおはなし会に取り組むなどの工夫をしながら、この5年間で参加者が増加している。	0	0	0	図書館4館
191		イベント等	趣味的なもの	2-②	読書のまち八王子の推進	子ども読書の日記念事業(としょかんこどもまつり)	子ども読書の日にちなみ、本に親しむ機会を設けて、子どもの読書活動を推進する。	親子・保護者	中央1 生涯1 南大沢2 川口1	中央238人 生涯23人 南大沢108人 川口9人	共催	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	4館合計378人	A	講演会を行い参加者全員の満足を得られた。また郷土資料館との連携により、「縄文土器と弥生土器を触ってみよう」を企画し、子どもたちの体験と図書館資料を結びつけるイベントを行った。	休止	コロナ感染症拡大防止のため、今年度については休止とする。	講演会や文化財課との連携による体験事業の充実など新たな企画事業を行い、参加者からの評価を得た。	71	65	180	図書館4館
192		イベント等	趣味的なもの	2-②	読書のまち八王子の推進	七夕行事の実施	児童と本・図書館が身近になるように、七夕行事を行う。	子ども	3	中央289 生涯235 南大沢534	共催	応募者・参加者の人数	短冊の予定配布数の達成	全館合計1058	B	一部実施できなかったが、大幅に参加者を減らすこともなく実施できた。今後もイベントを通じて子どもの体験の充実や、図書の貸出につなげられるよう働きかけていく。	広める方向で継続		資料を充実させ、関連図書の蔵書を増やしイベントとつなげることにより、図書館に親しむきっかけ作りに寄与した。	2	2	2	図書館4館
193		イベント等	趣味的なもの	2-②	読書のまち八王子の推進	クリスマス行事の実施	児童と本・図書館が身近になる機会を設け、児童の読書推進と親子の触れ合う場を提供する。	子ども	3	中央54 生涯30 南大沢38	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	3館合計122人	B	子どもたちが興味関心を持って参加した。今後もイベントを通じた子どもの体験の充実や、図書の貸出につなげられるよう働きかけていく。	広める方向で継続	コロナ感染症拡大防止のため、今年度については縮小して継続とする予定。	資料を充実させ、関連図書の蔵書を増やしイベントとつなげることにより、図書館に親しむきっかけ作りに寄与した。	2	2	2	図書館3館(中央・生涯・南大沢)
194		イベント等	教養的なもの	2-②	読書のまち八王子の推進	朗読会	ボランティアが本等の朗読を行い、高齢者が読書をすることへのきっかけを創出する。	高齢者	2	134	共催	参加者の人数	60人以上	2回 計134人	B	視力の低下などにより活字離れが進む傾向にある高齢者を主な対象として、耳で聴いて本に親しむきっかけとなった。また、ボランティアが活動の成果を発表できる機会も創出した。今後も生涯にわたり市民が読書を継続できる方法の一つとして、朗読CD等と合わせPRに努めていく。	休止	コロナ感染症拡大防止のため、高齢者を主な対象とする本事業は、今年度休止とする。	八王子朗読の会“灯”との共催により継続して開催している。発表形式により行うことで、ボランティアの朗読スキルも向上された。音訳資料としているため来館が困難な視覚障害者にも楽しんでいただいている。	0	0	0	中央図書館

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
195		講座・教室	教養的なもの	2-②	読書のまち八王子の推進	八王子千人塾	高齢者の調べ学習に対する場所の提供と情報提供を支援する。	高齢者	1	10	共催	参加者数 修了者数	参加者12名 内修了者9名	参加者12名 修了者10名	A	参加者数、修了者数ともに目標値に達し、調べる学習の全国コンクールでも入選する作品が成果として発表された。講座修了者による自主グループ「塾生の会」の活動が新聞等で掲載されるなど高い評価を得た。今後も継続するとともに、図書館との協働による多様な活動が展開できるよう検討していく。	休止	コロナ感染症拡大防止のため、高齢者を対象とする本事業は、今年度休止とする。	参考図書を多く有する中央図書館において、塾生の会との連携により講座を継続して行うことができた。調べる学習を通じたシニアの交流は全国から注目されるセカンドライフの活動となっている。	0	0	0	中央図書館
196		情報提供※ 環境整備	社会問題・市民生活に関するもの	2-②	読書のまち八王子の推進	「八王子に関する新聞記事索引」の発行	八王子市に関する新聞記事索引を作成し、地域の歴史の一部として記録し、市民の利用に供す。	どなたでも	1	245	市単独	作成数	八王子市に関する新聞記事索引を作成し、地域の歴史の一部として記録し、市民の利用に供す。	245	B	地域に関する新聞記事の索引を作成･保存し市民の利用に供することができたほか、市外近隣図書館など関係各所に配布し所蔵してもらうことにより、八王子市の情報をより広くより多くの方に知ってもらうことの一助となった。今後も索引項目等を工夫しながら使いやすい資料作成に努める。	高める方向で継続		地域の歴史の一部として、記事検索を作成･保存し、市民の利用に供することができたほか、市外近隣図書館など関係各所に配布し、所蔵してもらうことで、郷土の資料をより多くの方に利用してもらうことができた。	0	0	0	中央図書館
197		イベント等	趣味的なもの	2-②	読書のまち八王子の推進	夏休み手づくりの絵本	夏休みに、世界に一冊しかない絵本作りを行い、本や読書に親しむ機会の促進を図る。	子ども	4	99	共催	参加者の満足度	80%以上	4回 99人	A	小学生のみの参加だが、毎年開催を待ち望んでいる。本の形態など子ども自身の自由な発想で作成することができ、本や図書館に親しむきっかけづくりになっている。	休止	コロナ感染症拡大防止のため、今年度については休止とする。	目標達成できるほど、毎年参加書が多く、高評価を受けている。手づくりの本展への作品展示に生かすことができた。	20	20	20	中央図書館
198		イベント等	趣味的なもの	2-②	地区図書室･読み聞かせ等行事	やまゆり館まつり(おはなし会)	地域活動の推進を担うに当たり、親子を対象に図書に親しむ機会を与えることで、読書習慣の育成を図る。	親子･保護者	2	34	共催	応募者･参加者の人数	参加予定者数の達成	2回 34人	B	八王子おはなしの会や地元出身の絵本作家との共催で、おはなし会を行った。1日目はパネルシアターなど特別な出し物があり、2日目は自作の紙芝居の実演やペープサートの作成で両日とも好評を博した。令和2年度以降は新型コロナウイルスの影響を考慮し実施方法を検討する。	広める方向で継続		八王子おはなしの会や地元出身の絵本作家の協力によるパネルシアターや紙芝居、工作など、様々な催しにより、毎年多くの参加者に喜ばれている。	0	0	0	川口図書館
199		イベント等	趣味的なもの	2-②	読書のまち八王子の推進	大人のためのおはなし会	八王子おはなし会との共催により、毎年1回大人を対象としたおはなし会を開催する。八王子市の色々な地域の方に参加してもらい、昔話などを楽しむことで、物語や本の楽しさを啓発する。	どなたでも	1	69人	共催	応募者･参加者の人数	参加予定者数の達成	69人	B	中央図書館、生涯学習センター図書館、南大沢図書館、川口図書館の4館で毎年持ち回りで開催しているが、今年度は参加者が定員(40名)を上回る結果となった。中央図書館を除く3館は開催できる会場がないため、別会場を提供する必要があり、費用がかかる。周知方法もチラシだけであったため、ホームページなどの周知を徹底できていなかった。	広める方向で継続		ボランティアである八王子おはなしの会との連携をすすめ毎年実施しているが、昔話の面白さや素話を聞くことで参加者全員の満足を得られた。	0	2	2	図書館4館

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
200	◎	イベント等	趣味的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	オリンパスホール八王子で化石を探そう！	小中学生を対象とした化石のワークショップを地域関連事業の一環として実施する。さらにホワイエ部分の化石を見るための一般開放を行い、より身近なホールを目指す	小中学生＋どなたでも	1	106名	指定管理者	参加者の満足度	80%以上	96%	A	今年度新たに行った事業であるが、ワークショップの参加者は100%の満足度であり、一般参加と合わせても目標を大きく上回ったため。 次年度は新型コロナウィルスの影響により、開催中止を検討中。	高める方向で継続		令和元年度(2019年度)に初めて行った取り組み。計2回のワークショップはどちらも定員の人数が集まった。参加者からは良かった・楽しかった・また開催してほしいとの評価をいただいた。ホワイエ部分の化石について周知することができた。	338	330	338	学園都市文化課(共立・NTTファシリティーズ共同事業体)
201		イベント等	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	伝承のたまてばこ～多摩伝統文化フェスティバル2019～	街なか等市民に身近な場所で八王子や多摩地域に伝わる伝統文化・芸能に親しむ機会を提供する。	どなたでも	1	36,602	共催	応募者・参加者の人数	来場者数の増 H30実績 35,302人	36,602	A	八王子車人形や八王子芸妓衆及び多摩地域の伝統文化をまちなかで披露することで、来場者数の目標値を上回り事業の認知度向上へと繋がった。	広める方向で継続		八王子市及び多摩地域が保有する地域の文化資源を活用し、伝統文化に馴染みのない人々が楽しめる工夫を凝らしたプログラムを提供し、多彩な伝統文化、芸能の魅力を発信し、多摩地域の伝統文化、芸能を次世代へ継承することができた。	4,000	4,000	8,000	学園都市文化課
202		イベント等	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	八王子市民文化祭	市民が文化芸術に触れたり、参加する機会を提供し、市民文化の向上・発展を目的とする。	どなたでも	34	参加者 3,139 来場者 19,960	共催	応募者・参加者の人数	参加者・来場者数の増 H30実績 参加 3,435 来場	参加者 3,139 来場者 19,960	B	前年度より、参加者、来場者ともに減少となったが、市民による文化活動の発表と市民への鑑賞の機会を提供し、市民文化の振興を図ることができている。	広める方向で継続		市民による文化活動の発表と市民への鑑賞の機会を提供し、市民文化の振興を図ることができている。	6,442	6,283	6,440	学園都市文化課
203		イベント等	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	七夕飾り	季節を感じる日本文化に触れる機会を提供する	どなたでも	1	79	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加人数 130人	79人 61%	C	2020年度はコロナウイルス感染拡大防止のため、開催が難しいが、企画自体の認知度向上を目指したい。七夕の時期に、古民家で短冊をつけられるという、古き良き雰囲気をアピールして、参加者増加に尽力する。	高める方向で継続		庭園の間伐材を用いた企画である。間伐材とはいえ、立派なサイズの笹を使用でき、古民家に設置した様子は大変に風情がある。年々気温上昇が止まらず、酷暑となっているが、来園者には涼やかで喜ばれている。	0	0	0	公園課(高尾駒木野庭園)
204		イベント等	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	松の雪吊り見学会	日本の伝統的作庭技術を見学し、日本文化への理解を深める	どなたでも	1	41	指定管理者	応募者・参加者の人数	見学者100人	41人 41%	C	屋外イベントは天候に左右される。寒い雨が降る中の実施であったが、多数の職人が池の中に入って作業する様子は、熱心な見学者に喜ばれた。引き続き同様に実施していく。	高める方向で継続		雪吊りは日本庭園ならではの設えである。職人の作業を比較的間近で見られるので、毎年大学生や関心の深い方が訪れてくださっている。地域の風物詩として定着している。	0	0	0	公園課(高尾駒木野庭園)
205		イベント等	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	庭園ぼんさい展	盆栽の展示による日本文化の紹介	どなたでも	1	221	共催	協働事業の推進	地域団体との関係維持、協働事業の継続	達成度 100%	A	日頃、市民寄贈の常設盆栽を管理している盆栽師による企画で、古民家の風情を存分に生かした質の高い床飾り座敷飾りが披露される。展示者への発表機会と、盆栽に興味がある方への鑑賞機会として、遠方からも来園いただく。盆栽専門誌の取材や、観光コンベンション協会のインスタグラム掲載などにも紹介いただき、関係者にも好評で、見ごたえのある催事となった。	高める方向で継続		主催者は技術豊富で盆栽に関わる書画や日本文化にも精通する。会員の盆栽はどれも長期間丹精された貴重な品で、とても贅沢な展示である。盆栽愛好家の交流場所として、興味のある方への入り口として、伝統文化の今後にも貢献している。	0	0	0	公園課(庭園ぼんさい展実行委員会)

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
206		イベント等	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	八王子音楽祭2019	音楽の鑑賞・参加・体験を通じて、芸術文化の普及を図るとともに人と人のふれあい・つながりを深め、また八王子への関心・愛・誇りを育み、芸術の薫る街づくりに寄与する。	どなたでも	70イベント	来場者6,539 参加者145	補助	応募者・参加者の人数	来場者数4,500以上	達成率145%（6539/4500人）	A	目標を大きく上回る多くの方にご来場いただき、達成することができたため。市内カフェ等での八王子音楽祭の認知度が高まり街での音楽祭定着が伺えたほか、テーマ性・企画性を高めた。	高める方向で継続		毎年、ホールだけでなく街中のカフェや商業施設等を会場として大規模に実施し音楽を身近なものに感じる街づくりに寄与できた。アーティストや観光協会等との情報蓄積やつながりができ、市民認知度もあがり長期事業としての継続効果が出てきている。	24,378	23,126	26,602	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
207		イベント等	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	東京交響楽団PJ 第4回八王子定期演奏会	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	1	来場者744	補助	応募者・参加者の人数	来場者870/1600名（53%）以上	達成率85%（744/870人）	B	周知期間が短く目標値には到達しなかったが、市内の中学校吹奏楽部を招待するなど普及の目的を果たすことができたため。次年度は、PRの強化を図る。	広める方向で継続		定期演奏会は継続しつづけることでオーケストラ音楽の魅力を伝え徐々に観客を醸成する必要がある。その観点から、まだ4.5回目の初期段階として評価は難しいが、今年度は著名なソリストに頼る事業づくりから徐々にプログラムの企画性をあげ、かつチケット販売期間・PR期間を長く設定する戦略をとった。	8,510	7,321	8,465	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
208		イベント等	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	東京交響楽団PJ フレッシュ名曲コンサート「フォーレレクイエム」および合唱ワークショップ	若手ソリストのおよび市民合唱団を起用し、東京交響楽団との共演の機会を創出する。	どなたでも	【プレ】1回【公演】1回【WS】	【プレ】入場者111参加者108【公演】来場者808参加者112【WS】参加者138	補助	応募者・参加者の人数	来場者960/1600名（60%）以上・参加者数100名以上	【公演】来場者達成率89%（808/960人）参加者達成率112%（112/100人）	B	来場者数の目標にはわずかに到達しなかったが、参加者数は達成することができたため。次年度は9月実施を予定しており、八王子音楽祭の一環として実施するためPRを強化していく方針であるが、コロナウイルス影響により、開催自体を検討中。	広める方向で継続		本来の若手の才能を紹介する意義に加え、八王子ユースオーケストラや八王子クリンゲンコア(市民合唱)など財団の他の事業を組み合わせることで八王子色を出し、市民に親しまれる事業づくりを図ることができた。	10,807	1,065	10,640	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
209	◎	イベント等	趣味的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	Life is Songs	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	※コロナウィルスの影響により次年度に延期	-	補助	応募者・参加者の人数	来場者1260/1600名(75%)以上	―	評価なし	※コロナウィルスの影響により次年度に延期	広める方向で継続		-	7,600	832	2,028	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
210		イベント等	趣味的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	八人の王子たち	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	【通常公演】2回【スピンオフ】1回	【通常公演】256【スピンオフ】412	補助	応募者・参加者の人数	来場者264/288名（90%）以上	【通常公演】達成率96%（256/264人）	B	通常公演の目標値にはわずかに到達できなかったが、急遽実施したスピンオフ公演では、公演の企画内容に多くの方に関心をもっていただき充分な集客を得ることができたため。次年度は、企画を強化し、より多くの方に周知できるよう取り組んでいく。	広める方向で継続		八王子在住の市民のファンが多い演奏家を取り上げることで、人気の公演を毎年継続実施することができた。親しみのある内容を企画し演出性を高めてPRを行っており、新規ファンとして文化ホールへの来場者を増やし、ひいてはオペラの普及を図る礎づくりができている。	884	902	1,015	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
211		イベント等	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	八王子車人形集大成シリーズ	市民に身近な場所で八王子の伝統文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	①2回②2回	来場者①287②248	補助	応募者・参加者の人数	来場者200名以上	①達成率143%（287/200人）②達成率124%（248/200人）	A	目標値を大きく上回り達成することができたため。例年開催していることから、認知度が上がっていると考えられる。次年度も引き続き、八王子の芸術家支援の位置づけとしてPRをしていく。	広める方向で継続		シリーズで実施できていることで、確実に新規関心層は増えている。市民が八王子の伝統文化として誇りを持てるよう、その存在を知ってもらうため積極的なPRができている。	85	0	126	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
212		イベント等	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	南大沢コミュニティオペラマスタークラス＆コンサート	若手音楽家の育成と、オペラ文化および芸術の普及を促進する。	どなたでも	※コロナウィルスの影響により中止	-	補助	応募者・参加者の人数	来場者460/500名(90%)以上	―	評価なし	※コロナウィルスの影響により次年度に延期	広める方向で継続		令和元年度のみの取り組みであったが、中止(延期)した。	2,900	1,392	10,061	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
213		イベント等	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	歌舞伎事始め	歌舞伎の楽しみ方講座など親しみやすい内容の歌舞伎公演を実施し、歌舞伎文化の普及を促進する。	どなたでも	※コロナウィルスの影響により次年度に延期	-	指定管理者	応募者・参加者の人数	来場者560/800名(70%)以上	―	評価なし	※コロナウィルスの影響により中止	廃止・終了		令和元年度のみの取り組みであったが、中止(延期)した。	1,605	169	1,224	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
214		イベント等	仕事に必要な技能、資格の取得等の知識	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	いちょうホール避難訓練コンサート	防災意識を高めるとともに、芸術文化を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	※コロナウィルスの影響により次年度に延期	-	指定管理者	応募者・参加者の人数	来場者数300名以上	―	評価なし	※コロナウィルスの影響により次年度に延期	広める方向で継続		近隣の住民に参加してもらう事業として定着してきた。企画も地震・火災・テロ等多様に想定し実施できた。ホール(貸館)と事業所管が連携しながら防災スキルを向上させている。	216	22	224	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
215		イベント等	趣味的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	すぎやまこういち×東京都交響楽団ドラゴンクエストコンサート	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	1	来場者1,629	ふれあい財団自主事業	応募者・参加者の人数	1,506名	1,629人	A	目標以上に達成することができたため。 プログラム(曲目)の選定を関係者と慎重に吟味したことにより、集客することができたと考える。 次年度は同出演者の日程を確保できなかったため、同じプログラムを実施している別の管弦楽団の公演を実施する。	高める方向で継続		エンターテインメント性の高い企画として比較的若い層に人気があり、同じドラクエでも日本の中で初期から実施してきた八王子独自のシリーズとして支持されてきた。	759	8,068	5,303	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
216		イベント等	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	八王子車人形と民俗芸能の公演	伝統芸能の普及と保存伝承に対する市民の理解を深めてもらう。	どなたでも	1	817	委託	応募者・参加者の人数	参加者1,000人	817	B	参加者が817人で目標を達成できなかったが、小中学校やシニアクラブ等への周知を強めたことにより、参加者自体は増加傾向にある。今後もこれまで以上に小中学校への周知等の強化を行い、参加者の増員をはかる。	休止	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から休止	八王子を代表する民俗芸能である八王子車人形、説経浄瑠璃、木遣及び獅子舞について、公演を通して多くの市民に知ってもらえる貴重な機会である。近年は小中学校の参加者拡大をはかる事で、地域の文化財に親しむきっかけ作りとなっている。	1,650	1,650	1,650	文化財課
217		情報提供※環境整備	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	文化財年報	文化財の調査及び研究活動を発表することで、八王子の文化財に対する市民の理解を深めてもらう。	どなたでも	1	250	市単独	発行時期	12月まで	3月	B	12月の発行には間に合わなかったが、掲載内容の検討を入念に行うことで、よりよい内容で発行することができた。令和2年度は発行時期の目標を達成できるよう業務の見直しを含め処理を進めていく。	高める方向で継続		文化財の調査及び研究活動を発表することで、八王子の文化財に対する市民の理解を一定程度深めることができたと考えている。	172	146	165	文化財課
218		講座・教室	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	伝統文化ふれあい事業「説経節体験・発表講座～三味線・語り～」	伝統芸能の後継者の発掘及び育成支援を行う。	中学生以上	1	5	実行委員会	参加者の満足度	アンケート回答者の7割が「満足」と回答する	8割	B	アンケートに回答した参加者5名のうち、とてもよいと回答した者が4名であり、残りの1名も教え方が良いとの回答であり、参加者の満足度は高く、伝統芸能の素晴らしさを伝えることが出来た。	高める方向で継続		都指定文化財である説経節を自ら体験し、公の場で発表する事で、参加者の文化財への理解をより深める事ができると共に、文化財を継承する担い手につなげるためのきっかけづくりとなっている。	0	0	0	文化財課(伝統文化ふれあい事業実行委員会)
219		講座・教室	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	伝統文化ふれあい事業「民俗芸能講座」	民俗文化財の保護及び普及を図る。	どなたでも	0	-	実行委員会	参加者の満足度	アンケート回答者の7割が「満足」と回答する	―	評価なし	3月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止とした。	高める方向で継続		市指定文化財である獅子舞や木遣についての知識を深めると共に、文化財を継承している人々の現状を学ぶ事で、文化財への理解を深めると共に、文化財を継承する担い手につなげるためのきっかけづくりとなっている。	0	0	0	文化財課(伝統文化ふれあい事業実行委員会)

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
220		講座・教室	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	体験学習1「まが玉づくり」	まが玉工作を実施し、八王子の古代について理解を深める	どなたでも	3	63	市単独	参加者の満足度	アンケート回答者の8割が「満足」と回答する	アンケート回答者の8割が「満足」と回答した。	B	回答者の8割から満足との回答を得ることができた。 令和2年度は、郷土資料館を仮移転させるため、体験学習未開催となるが、令和3年度に向け、より充実した体験学習の検討を行う。	休止	令和2年度に郷土資料館を仮移転させるため。	5年間にわたりアンケート回答者の8割が学習内容に満足していることから、郷土の歴史や文化への関心を高めることができたと評価する。	―	―	―	文化財課（郷土資料館）
221		講座・教室	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	体験学習2「八王子かるたとお正月あそび」	羽根つきやコマ回しなど昔のお正月あそびについての体験を通じて八王子の文化への理解を深める。	どなたでも	1	58	市単独	参加者の満足度	アンケート回答者の8割が「満足」と回答する	アンケート回答者の8割が「満足」と回答した。	B	回答者の8割から満足との回答を得ることができた。 令和2年度は、郷土資料館を仮移転させるため、体験学習未開催となるが、令和3年度に向け、より充実した体験学習の検討を行う。	休止	令和2年度に郷土資料館を仮移転させるため。	5年間にわたりアンケート回答者の8割が学習内容に満足していることから、郷土の歴史や文化への関心を高めることができたと評価する。	―	―	―	文化財課（郷土資料館）
222		講座・教室	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	体験学習3「火おこし」	縄文時代について、講義と体験を通じて生活・文化への理解を深める。	どなたでも	―	―	市単独	参加者の満足度	アンケート回答者の8割が「満足」と回答する	―	B	コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止した。	休止	令和2年度に郷土資料館を仮移転させるため。	5年間にわたりアンケート回答者の8割が学習内容に満足していることから、郷土の歴史や文化への関心を高めることができたと評価する。	―	―	―	文化財課（郷土資料館）
223		講座・教室	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	講座（古文書1）	初心者向けの古文書解読講座を開催し、歴史に興味を持つきっかけを作る。	どなたでも	1	20	市単独	参加者の満足度	アンケート回答者の8割が「満足」と回答する	アンケート回答者の8割が「満足」と回答した。	B	回答者の8割から満足との回答を得ることができた。 令和2年度は、郷土資料館を仮移転させるため、講座の開催が減るが、開催の周知を十分行い、参加者数の増を図る。	休止	令和2年度に郷土資料館を仮移転させるため。	5年間にわたりアンケート回答者の8割が講座内容に満足していることから、郷土の歴史や文化への理解を深めることができたと評価する。	0	0	0	文化財課（郷土資料館）
224		講座・教室	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	講座「八王子空襲と戦時下の生活」	体験談を通じ戦中・戦後の市民生活について理解を深める。	どなたでも	2	100	市単独	参加者の満足度	アンケート回答者の8割が「満足」と回答する	アンケート回答者の8割が「満足」と回答した。	B	回答者の8割から満足との回答を得ることができた。 令和2年度は、郷土資料館を仮移転させるため、講座の開催が減るが、開催の周知を十分行い、参加者数の増を図る。	休止	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から休止	5年間にわたりアンケート回答者の8割が講座内容に満足していることから、郷土の歴史や文化への理解を深めることができたと評価する。	10	0	10	文化財課（郷土資料館）
225		講座・教室	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	講座（古文書2）	初心者向けの古文書解読講座を開催し、歴史に興味を持つきっかけを作る。	どなたでも	1	23	市単独	参加者の満足度	アンケート回答者の8割が「満足」と回答する	アンケート回答者の8割が「満足」と回答した。	B	回答者の8割から満足との回答を得ることができた。 令和2年度は、郷土資料館を仮移転させるため、講座の開催が減るが、開催の周知を十分行い、参加者数の増を図る。	休止	令和2年度に郷土資料館を仮移転させるため。	5年間にわたりアンケート回答者の8割が講座内容に満足していることから、郷土の歴史や文化への理解を深めることができたと評価する。	0	0	0	文化財課（郷土資料館）
226		イベント等	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	郷土資料館企画展・特別展	市民が広く、郷土の歴史や文化に興味を持ち、より理解を深めることを目指す。	どなたでも	11	19,335	市単独	応募者・参加者の人数	企画展・特別展入館者数延べ19,000人	企画展・特別展入館者数延べ19,000人に達した。	B	目標値を達成することができた。 令和2年度は、郷土資料館を仮移転させるため、特別展は未開催となるが、令和3年度に向け、より充実した特別展の企画を行う。	休止	令和2年度に郷土資料館を仮移転させるため。	各種企画展、特別展を5年間で34回開催し、81,814人の入館者があった。 毎年目標が達成できていることから、市民が企画展や特別展を通じて郷土の歴史や文化に興味を持ち、より理解を深めることができたと評価する。	167	113	97	文化財課（郷土資料館）
227		イベント等	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	企画展「北条氏の進出と八王子」	北条早雲(伊勢宗瑞)の没後500年であることから、北条氏および北条氏照発給文書を展示し、北条氏の八王子市域への進出と支配の様相を紹介・解説する。	どなたでも	40	3,400	市単独	応募者・参加者の人数	入館者3,000人以上	3,400	B	目標値を達成することができた。 令和2年度は、郷土資料館を仮移転させるため、特別展は未開催となるが、令和3年度に向け、より充実した特別展の企画を行う。	休止	令和2年度に郷土資料館を仮移転させるため。	毎年目標が達成できていることから、市民が企画展や特別展を通じて郷土の歴史や文化に興味を持ち、より理解を深めることができたと評価する。	―	―	―	文化財課（郷土資料館）

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
228		イベント等	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	企画展「戦争と八王子」	夏休みと終戦記念日に合わせ過去の戦争の悲惨さを語り継ぎ戦争と平和を考える機会とする。	どなたでも	38	4,466	市単独	応募者・参加者の人数	入館者3,000人以上	4,466	B	目標値を達成することができた。 令和2年度は、郷土資料館を仮移転させるため、特別展は未開催となるが、令和3年度に向け、より充実した特別展の企画を行う。	休止	令和2年度に郷土資料館を仮移転させるため。	毎年目標が達成できていることから、市民が企画展や特別展を通じて郷土の歴史や文化に興味を持ち、より理解を深めることができたと評価する。	－	－	－	文化財課（郷土資料館）
229		イベント等	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	企画展「七福神　八王子の恵比寿・大黒」	市内旧家および館所蔵の七福神像や縁起物などを展示する。	どなたでも	14	1,472	市単独	応募者・参加者の人数	入館者2,000人以上	1,472	B	74%の目標達成率となった。 令和2年度は、郷土資料館を仮移転させるため、特別展は未開催となるが、令和3年度に向け、より充実した特別展の企画を行う。	休止	令和2年度に郷土資料館を仮移転させるため。	毎年目標がおおむね達成できていることから、市民が企画展や特別展を通じて郷土の歴史や文化に興味を持ち、より理解を深めることができたと評価する。	－	－	－	文化財課（郷土資料館）
230		イベント等	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	特別展「こども考古学教室」	近世の八王子における在村文化について当時の資料を展示する。	どなたでも	38	4,466	市単独	応募者・参加者の人数	入館者3,000人以上	4,466	B	目標値を達成することができた。 令和2年度は、郷土資料館を仮移転させるため、特別展は未開催となるが、令和3年度に向け、より充実した特別展の企画を行う。	休止	令和2年度に郷土資料館を仮移転させるため。	毎年目標が達成できていることから、市民が企画展や特別展を通じて郷土の歴史や文化に興味を持ち、より理解を深めることができたと評価する。	－	－	－	文化財課（郷土資料館）
231		イベント等	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	特別展「織物の八王子」	八王子における「織物」をテーマに資料を展示する。	どなたでも	16	1,092	市単独	応募者・参加者の人数	入館者3,000人以上	1,092	B	コロナウイルス感染拡大防止のため、3月6日から休館となったことによる。 令和2年度は、郷土資料館を仮移転させるため、特別展は未開催となるが、令和3年度に向け、より充実した特別展の企画を行う。	休止	令和2年度に郷土資料館を仮移転させるため。	毎年目標がおおむね達成できていることから、市民が企画展や特別展を通じて郷土の歴史や文化に興味を持ち、より理解を深めることができたと評価する。	－	－	－	文化財課（郷土資料館）
232		情報環境整備提供	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	特別展図録1	特別展の一環として展示図録を発行する。	どなたでも	1	1,000	市単独	応募者・参加者の人数	年度内に400冊販売する	142冊	B	図録「こども考古学教室」の販売が142冊だったため。 令和2年度は、こどもにもわかりやすい展示を行い、歴史に興味を持ってもらう。	高める方向で継続		毎年目標がおおむね達成できていることから、市民が特別展図録を通じて郷土の歴史や文化に理解を深めることができたと評価する。	－	－	－	文化財課（郷土資料館）
233		情報環境整備提供	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	特別展図録2	特別展の一環として展示図録を発行する。	どなたでも	1	600	市単独	応募者・参加者の人数	年度内に200冊販売する	32冊	B	コロナウイルス感染拡大防止のため、休館となったことによる	高める方向で継続		毎年目標がおおむね達成できていることから、市民が特別展図録を通じて郷土の歴史や文化に理解を深めることができたと評価する。	－	－	－	文化財課（郷土資料館）
234		情報環境整備提供	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	郷土資料館資料シリーズ「鈴木日記」	郷土資料館の所蔵する古文書を翻刻したものを発行する。	どなたでも	1	400	市単独	その他	12月末までに発行する	3月末発行	B	目標値には届かなかったが、3月に資料シリーズを発行し、郷土資料館の所蔵する古文書の翻刻成果を発表した。 令和2年度は目標達成に向け、学芸員の調査・研究に必要な時間を確保するよう努める。	高める方向で継続		学芸員の研究の成果を公表した。毎年目標が達成できていることから、市民が調査・研究成果の公表により八王子の歴史に興味を持つきっかけを作ることができたと評価する。	－	－	－	文化財課（郷土資料館）
235		情報環境整備提供	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	郷土資料館研究紀要「八王子の歴史と文化」	郷土資料館の調査・研究の成果を発表する。	どなたでも	1	400	市単独	その他	1月末までに発行する	3月末発行	B	目標値には届かなかったが、3月に紀要を発行し、郷土資料館の調査・研究成果を発表した。 令和2年度は目標達成に向け、学芸員の調査・研究に必要な時間を確保するよう努める。	高める方向で継続		学芸員の研究の成果を公表した。毎年目標が達成できていることから、市民が調査・研究成果の公表により八王子の歴史に興味を持つきっかけを作ることができたと評価する。	－	－	－	文化財課（郷土資料館）

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
236		情報提供環境整備	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	八王子市郷土資料館だより	郷土資料館の調査・研究・展示などの活動をわかりやすく紹介する。(年2回)	どなたでも	2	2,000	市単独	応募者・参加者の人数	初版各500部を年度内に配布する	2,000	B	目標どおり郷土資料館だよりを年2回発行し、教祖資料館の調査・研究・展示などの活動をわかりやすく紹介した。	高める方向で継続		学芸員の研究の成果を公表した。毎年目標が達成できていることから、市民が調査・研究成果の公表により八王子の歴史に興味を持つきっかけを作ることができたと評価する。	－	－	－	文化財課(郷土資料館)
237		イベント等	社会貢献活動	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	避難訓練コンサート（南大沢文化会館）	地域の小学校と協働し防災意識を高めるとともに、芸術文化を鑑賞する機会を提供する。	子ども	1	276	指定管理者	協働事業の推進	複合ビル管理者、地域の複数小学校との協働実施	・地域連携 ・防災意識向　上 ・音楽鑑賞機会の提供	A	目標の一つである複数小学校との協働実施は、昨年よりさらに1校増え、3校となり、小学生の防災意識を高めることができた。 また、276名の児童にホールで生演奏を体感する機会を提供した。	広める方向で継続		毎年行うことで、小学校、ビル管理者、文化会館の連携を深め、防災意識を高めることができた。 参加した小学校のアンケートでは、96%の児童が満足との評価を得た。	249	236	248	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
238		イベント等	趣味的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	南大沢モーニングコンサート	市民に身近な場所で優れた文化・芸術を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	4	533	指定管理者	参加者の満足度	アンケート満足度90%以上	アンケート満足度4回平均94.25%	A	開催した4回のアンケートの満足度の平均が目標を上回った。市民に身近な場所で優れた文化・芸術を鑑賞する機会を提供することができた。 平日の午前中に実施し、610名(4回累計)の参加者があった。	高める方向で継続		5年間で20回の公演を実施し、企業の協力を得ながら、様々なジャンルの音楽を市民に提供することができた。 今年度のアンケート調査では94%(4回平均)を超える高い満足度を得た。	624	407	584	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
239		イベント等	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	南大沢文化祭2019	地域で醸成された地域文化の拠点としてその安定を図り、南大沢地域全体の文化活動の一層の発展を目指す。	どなたでも	4	3253	指定管理者	参加者の満足度	アンケート満足度90%以上	アンケート満足度90%	B	B評価ではあるが、今年は「子どもミュージカル」の参加があり、観客数は飛躍的に増えた(1,865人増)。 参加者からは概ね満足という回答を得た。	高める方向で継続		地域に根ざした文化活動をおこなっている団体の活動を発表する場を提供することにより、広く南大沢地域全体の文化活動の発展の一助となった。	50	14	50	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
240		イベント等	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	ギャラリートーク	市民に身近な場所で優れた美術作品を鑑賞する機会を充実させる。	どなたでも	9	820	指定管理者	応募者・参加者の人数	240名	820名	A	実績値が目標値の三倍以上の達成率となり、目標を大幅に上回る結果となった。増加の原因は実施回数の増(6回→8回)及び現役アーティストや研究者など多彩なゲスト講師を招いたためと考えられ、1回ごとの参加者が大幅に上回った。	広める方向で継続		毎年、目標値を上回る結果となった。夢美術館学芸員や出品アーティスト、他館の学芸員や大学の研究者等多彩なゲストにより多くの参加者を得て、美術に親しむ機会を提供した。	218	146	221	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
241		イベント等	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	常設展(収蔵品展示)	市民に身近な場所で優れた美術作品を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	5	16,727	指定管理者	応募者・参加者の人数	17,185名	16,727名	B	八王子ゆかりの画家・版画家の作品を紹介し、市内大学と協同した作品研究の成果も展示した。共同研究は継続し、発信力をより高める。実績値が目標値の97.3%の達成率となった。コロナウィルス感染拡大防止のため2月28日以降臨時休館の影響が大きかった。 2月1日～27日が約7,500人。3月末までに24,000人超のペースだったが休館のため目標値と460人の開きが出た。八王子ゆかりの画家・版画家の作品を紹介し、市内大学と協同した作品研究の成果も展示した。共同研究は継続し、発信力をより高める。感染症対策実施。	広める方向で継続		毎年、目標値を上回った。 八王子ゆかりの芸術家を継続的に紹介し、市内大学との作品研究にも取り組み展示・発表を行い文化芸術振興に寄与した。	591	488	349	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
242		イベント等	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	特別展	市民に身近な場所で優れた美術作品を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	6	26,964	指定管理者	応募者・参加者の人数	35,900名	26,964名	B	実績値が目標値の75.7%の達成率となった。コロナウィルス感染拡大防止のため2月28日以降臨時休館の影響が大きかった。2月1日～27日が約7,500人。3月末までに36,000人のペースだったが休館のため目標値と9,000人の開きが出た。感染症対策実施。	広める方向で継続		目標人数については達成できない年度もあったが、国内外の質の高い美術作品の紹介や市民の発表する公募展など、文化芸術振興に寄与した。30年度は4万7千人と開館以来最多の来場者を得ている。	41,811	41,322	44,468	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
243		イベント等	趣味的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	BOXギャラリー	市民の芸術活動の発表の場を提供する。	どなたでも	1	57	指定管理者	応募者・参加者の人数	48名	57名	A	実績値が目標値の118%の達成率だった。市内在住・在勤・在学の方が無料で利用できるスペースとして活用された。(コロナウィルス感染拡大防止のための臨時休館に伴い、2月28日以降は利用中止となった)	広める方向で継続		毎年目標値を達成できた。繰り返し利用いただくリピーターも多く、市民の手軽な発表の場として定着している。	0	0	0	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
244		イベント等	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	大学共催事業	地域、大学と連携した芸術・文化を活用した地域の活性を目指す。	どなたでも	2	2	指定管理者	協働事業の推進	2回開催	2回	B	市内大学と連携した事業を2回実施した。フラッグギャラリープロジェクトは16回目を迎え東京造形大学と商店街との連携のもとスポーツをテーマにした作品をユーロード及び夢美術館に掲出した。小島善太郎研究では帝京大学と連携し、学生と共に収蔵品の調査を行った資料について展示公開した。	広める方向で継続		毎年目標値を達成できた。東京造形大学との連携は秋の定番の行事として商店街に定着し一定の役割を果たした。多摩美術大学、帝京大学との連携は収蔵品研究という新たな取り組みで成果を出した。	723	723	1,111	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
245		講座・教室	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	文化財見て歩き	市内の文化財等を市民に紹介し、八王子の歴史等の普及を行う。	どなたでも	2	69	市単独	参加者の満足度	アンケート回答者の7割が「満足」と回答する	9割以上が「満足」と回答した	B	3月に72名の申し込みで開催予定であった第3回目の見て歩きが、新型コロナウィルス拡大防止のため開催中止となったため参加者は例年より少ない結果となった。2回分の参加者アンケートでは回答者の90%以上が満足と回答しており、参加者の満足度は高い。	高める方向で継続		講座毎にテーマに沿ったコースを回りながら、市内にある文化財を見て歩く事で、市民が市内の文化財を知る機会を提供すると共に、八王子の歴史・文化への理解を深める事が出来ている。	5	3	5	文化財課
246		イベント等	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	東京文化財ウィーク	東京都が主催し、都内の指定文化財を一斉に公開する。	どなたでも	―	―	共催	東京都が人数の集計等を行うため、設定なし	―	―	B	本市が所有する都・国指定の文化財の公開情報及び期間中の文化財に関するイベントの情報を東京都の発行する東京文化財ウィークのガイドブックに掲載した。ガイドブックは都内各所で配布されるため、市内の文化財の普及に効果があった。	広める方向で継続		東京都の実施する本事業に協力することで、市内の文化財の普及に一定程度効果があった。	0	0	0	文化財課(東京都教育委員会)
247		講座・教室	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	公園散策の楽しみ方～スライドで学ぶ樹木（2部）	公園散策の楽しさを感じていただき上柚木公園の魅力を伝えることを目的に開催する。	どなたでも	2	延べ34	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者延べ40人	34人85%	B	室内講座とはいえ、真夏の中の開催であったためか目標の参加者数には届かなかったが、散策しながらの解説とは違い、ゆっくり講師の解説を聞くことができ、また解説に対してその都度質疑応答の時間も設けられ、参加者の満足を得られた。真夏の開催でも人を集められるように改善していく。	高める方向で継続		リピーター制度(希望者のみ)を導入し、一定の参加人数を確保することができた。	30	32	32	公園課(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
248		講座・教室	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	上柚木公園の紅葉と木の実を楽しもう(2部)	紅葉や木の実の美しさやその生態を知り上柚木公園の魅力を伝える。	どなたでも	2	延べ29	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者延べ40人	29人73%	C	リピーターによるキャンセルが多く、目標の参加者数に届かなかったが、紅葉に色づく園内の葉や木の実の秋を感じていただき、少人数だったため質疑応答も多く寄せられ、にぎやかな開催となった。キャンセルの原因を突き止め、改善を図る。	高める方向で継続		リピーター制度(希望者のみ)を導入し、一定の参加人数を確保することができた。	30	30	30	公園課(八王子市学園都市文化ふれあい財団)

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
249		講座・教室	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	上柚木公園の樹木の冬芽を楽しもう(2部)	春の訪れを待つ個性ある樹木たちの「冬芽」を観察し上柚木公園の魅力を伝える。	どなたでも	2	延べ32	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者延べ40人	32人80%	B	肌寒い気候の中での開催であったためか、目標の参加者数には到達することができなかったが、春の訪れを待つ樹木や芽を観察することができた。来年度は目標人数を達成できるよう改善を図る。	高める方向で継続		リピーター制度(希望者のみ)を導入し、一定の参加人数を確保することができた。	30	30	32	公園課(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
250		講座・教室	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	上柚木公園の新緑と花を楽しもう（2部）	地域住民に自然とのふれあいの場を提供し、森林生態系についての知識・情報を森林インストラクターを通じて提供する。	どなたでも	2	延べ32	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者数延べ40人	32人80%	B	リピーターによる参加が多かったためか、和気藹々でにぎやかな講座となった。各運動施設で大会開催中だったため、講師解説が聞きづらそうな一面もあったため、ミニスピーカーを常に持ち歩き、必要な場面に使用してもらう。	高める方向で継続		リピーター制度(希望者のみ)を導入し、一定の参加人数を確保することができた。	30	30	30	公園課(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
251		イベント等	教養的なもの	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	SUN☆KANﾗﾘｰ	市内美術館が共同し市民に芸術文化に触れる機会を提供する。	どなたでも	1	861	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者数800名以上	861名	A	実績値が目標値を上回る結果となった。東京富士美術館、村内美術館との連携事業で、各美術館で展示品をテーマにクイズを出題し、夏休みを意識した取り組みを行った。市内の文化施設を市民に知ってもらい、多くの人が行きかって、文化芸術資産を活用する契機とすることができている。	広める方向で継続		空調工事による中断もあり、目標を下回る回もあったが、学校への案内方法を改善し、30年度、今年度と目標値を上回った。地域で連携し、クイズなど、美術に親しむ工夫を凝らし喜ばれた。	495	474	465	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
252		講座・教室	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	あったかホール健康教室	子どもから高齢者まで、それぞれのニーズに合った健康教室を実施し、市民の健康づくり、健康増進に寄与する。	子ども成人	780	13735	指定管理者	応募者・参加者の人数	15,000人	13,735	B	複合施設の特性を生かし市民のニーズにこたえる講座を各種開講。新型コロナウィルス感染症の影響で3月は全休したものの、コマ数増などにより前年並みの参加者数となった。令和5年以降のあったかホールの存廃が決まっておらずさらなる拡充が見通せないため、現状の規模で継続する。	広める方向で継続		市民ニーズに応える講座を継続して行うことで来館増と健康増進の面で大きく貢献した。	―	―	―	北野清掃工場
253		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	健康フェスタ食育フェスタ	体験型ニュースポーツや体力測定・ゲームなどを通じ、健康づくりのきっかけづくりとする。	どなたでも	1	11,072名	実行委員会	参加者の満足度	参加者数の増 アンケート集計結果による「健康づくりのきっかけ」の回答85%	参加者数増加(昨年度10,579名) 健康づくりのきっかけになった86.3%	A	参加者数が年々増加しているとともに、参加団体も増加している。また、参加者が楽しみながら体験できるイベントにしているため、若い世代が増えている。	広める方向で継続		健康フェスタと健康フェスタを別々に実施していたが、一体にしたことで、効率的かつ大規模なイベント実施が実現できた。	2,050	1,778	コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止	健康政策課
254		講座・教室	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	競技一般開放	各種競技の市民の技術の習得や向上を図るとともに、安全性の高い体力増進の機会を提供する。	どなたでも	309	15,101	委託	応募者・参加者の人数	1回/50人	平均参加人数1回/49人	B	平均参加人数が49人であり、概ね目標人数を達成できたため。	広める方向で継続		平成28年2月のリニューアルオープン後は、八王子市体育協会(現スポーツ協会)に業務を委託し、平成28年度～令和元年度の4年間の平均参加人数は1回当たり48人となり、概ね目標参加人数を達成した。	3,188	2,782	3,565	スポーツ施設管理課

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
255		講座・教室	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市民体力テスト	自己の体力、運動能力を測定する機会、場所等を提供し、市民の健康・体力の増進を図る。	小学1年生以上	4	282	委託	応募者・参加者の人数	1回/50人	1回/71人	B	平均参加人数が約71人であり、目標人数を達成できたため。	広める方向で継続		HPや館内ポスター及びチラシ配布で周知を行い、平成28年度～令和元年度(27年度は改修工事中)の4年間で、1回当たりの平均参加人数が64人となり、目標参加人数を達成した。	210	210	210	スポーツ施設管理課
256		講座・教室	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ジュニア体操	初心者向けスポーツ教室の位置付けで実施する。小学生低学年向けにスポーツを始めるきっかけをつくるもの。	小学1～3年生	26（前期・後期各13回）	前期　47人 後期　48人	委託	応募者・参加者の人数	1回/50人	1回/48人	B	平均参加人数が48人であり、概ね目標人数通りであったため。	高める方向で継続		平成28年度～令和元年度(27年度は改修工事中)の4年間で、1回当たりの平均参加人数が48人となり、概ね目標参加人数を達成した。また、参加者からは低価格で良質な指導を受けることができると高評価を得られた。	624	624	624	スポーツ施設管理課
257		講座・教室	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	フィットネス一般開放	気軽に運動を行うきっかけを提供し、市民の健康・体力の維持向上に寄与する。	高校生以上	242	23,491	市単独	応募者・参加者の人数	1回/90人	平均参加人数1回/97人	B	平均参加人数が97人であり、目標人数を達成できたため。	広める方向で継続		プログラムや時間の見直しを行い、平成28年度～令和元年度の4年間(27年度は改修工事中)で、平成28年度～令和元年度の4年間の平均参加人数は1回当たり91人となり、目標参加人数を達成した。	単独予算なし	単独予算なし	16,758（トレーニング室業務と合わせた委託額）	スポーツ施設管理課
258		講座・教室	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	一般開放	申込み不要で参加でき、自らスポーツを行うきっかけずくりと、地域交流の場を提供する。	どなたでも	1,015	39,447	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者の継続的参加及び参加人数の増加	平均参加人数 38人	B	一般開放利用者がコース型教室へシフトしている傾向が見られるが、リピーターが多く参加人数も安定している。今後は新規利用者の獲得に向け宣伝等を工夫していく。	広める方向で継続		利用者から好評を頂けているほか、満足度も向上している。若干利用者数が減少傾向に有る事から、宣伝広告など尽力する。	3,019	5,661	3,261	スポーツ施設管理課（八王子市スポーツコミュニティ推進グルー
259		その他	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	コース型教室	一般開放で興味の出た種目や初めたい種目を専門的に学ぶ場を提供する。	募集内容による	731	16,483	指定管理者	事業の拡大	定員に達する応募があること	平均参加人数 22人	B	一部定員に届かない教室があったが、概ね定員通りの応募があった。今後も常に利用者のニーズを捉えながら内容を見直し、利用者の獲得と満足度の向上に励む。	高める方向で継続		様々な利用者を対象とした展開を行い、参加者の満足度向上が図れている。今後も意見要望等に対して取り組む。	3,088	6,268	3,174	スポーツ施設管理課（八王子市スポーツコミュニティ推進グループ）
260		講座・教室	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ジュニア卓球教室	施設のPR及び利用者サービス向上を目的に地域連携を図り、市民の方へ日ごろの還元イベントを行う。	子ども	1	62	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者多数であること	定員100人のところ62人	B	参加人数は定員に届かなかったものの、内容については満足度が高かった。今後は参加人数の増加を目指し、開催時期や宣伝方法等を工夫していく。	広める方向で継続		参加者から満足の声を多数頂いたほか、継続の要望等も多数有った。	450	450	600	スポーツ施設管理課（八王子市スポーツコミュニティ推進グループ）

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
261		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	体組織測定会	施設のPR及び利用者サービス向上を目的に体組組織計測を行い筋肉量、骨量等を計測し運動や食事のアドバイスを行う。	16歳以上	1	70	指定管理者	参加者の満足度	参加予定人数に達する参加があること	参加予定人数50人のところ62人	B	参加者が予定を上回る結果となり、内容についても好評なため、引き続き実施し、より満足度の高いものを提供していく。	高める方向で継続		測定に合わせてスポーツ及び健康管理を行うなど、毎回楽しみにしている方が多く、市民の健康増進に貢献出来ている。	10	10	10	スポーツ施設管理課（八王子市スポーツコミュニティ推進グループ）
262		講座・教室	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	各種大人向けプログラム	ミズノ(スポーツ)エスフォルタ(フィットネス)多種多様なプログラムで、地域住民の健康づくりに寄与する。	成人	604	5,082	指定管理者	応募者・参加者の人数	多くの参加者に参加していただく。効果的なプログラムを提供する。	平均参加人数 開催回数/参加者 目標8.18名 実績8.41名	B	3月はコロナの影響により休校となった為、参加者人数は、11か月分となる。子供向け教室とは違い、僅かながら参加者数を増やした。指導者との信頼関係及び、提供するプログラムなど確実にお客様のニーズを確実にとらえられている、結果となった。	高める方向で継続		個人利用、団体利用の優先する事業とのバランスを見ながら、最大限での教室授業を展開している。お客様にも認知され定員を上回る教室もある。今後もバランスを重視してより、満足度の高いものを提供して行く。	6,652	4,738	6,800	スポーツ施設管理課（八王子ゆめおりサポート株式会社）
263		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ネオテニス親子教室	親子参加型のスポーツの場を提供し、八王子市発祥のニュースポーツ「ネオテニス」の普及啓発を目的に開催する。	親子・保護者	1	12	市単独	応募者・参加者の人数	30	12	C	例年通りの内容で実施したが、参加者が大幅に減少したため、対象や周知方法を見直し、参加者増加に努める。	休止	新型コロナウイルス感染症予防のため	八王子発祥のニュースポーツであるネオテニスを継続して普及することができた。	7	7	7	スポーツ振興課
264		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ボッチャ体験会	障害者スポーツ「ボッチャ」の普及啓発を目的として開催する。	どなたでも	21	1,077	市単独	応募者・参加者の人数	100	1,077	A	目標を大幅に超えて依頼があり、広く普及することができた。	広める方向で継続		パラリンピック正式種目であるボッチャを継続して普及することができた。	0	0	393	スポーツ振興課
265		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市民スポーツ大会	市民の日頃の練習の成果を発揮できる場を提供するとともに、競技の普及、競技力の向上を目的に開催する。	どなたでも	1	19,882	委託	応募者・参加者の人数	17000	19,882	B	目標どおり達成できた。市民の日頃の練習の成果を発揮する場を継続して提供するとともに、公道等を使用する競技については、近隣住民等、関係者と丁寧に調整をし、理解と協力を求める。	広める方向で継続		市民の日頃の練習の成果を発揮する場を継続して提供できた。また、競技によっては、八王子の自然を生かした会場で実施するようにした。	2,700	2,700	2,700	スポーツ振興課
266		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	陸上競技大会兼陸上選手権大会	市民の日頃の練習の成果を発揮できる場を提供するとともに、競技の普及、競技力の向上を目的に開催する。	どなたでも	1	1,650	委託	応募者・参加者の人数	1300	1,650	B	目標どおり達成できた。市民の日頃の練習の成果を発揮する場を継続して提供する。	休止	新型コロナウイルス感染症予防のため	市民の日頃の練習の成果を発揮する場を継続して提供できた。	193	193	193	スポーツ振興課
267		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市民水泳大会	市民の日頃の練習の成果を発揮できる場を提供するとともに、競技の普及、競技力の向上を目的に開催する。	どなたでも	1	330	委託	応募者・参加者の人数	350	330	B	参加者が330名であったものの、競技の普及、競技力の向上を図ることができた。令和元年度から申込方法がネット申込みに変更となったため、周知を徹底し、参加者増加に努める。	休止	新型コロナウイルス感染症予防のため	市民の日頃の練習の成果を発揮する場を継続して提供できた。また、令和元年度は申込方法をネット申込みに変更したことで、参加者が申込みしやすいように改善した。	340	340	347	スポーツ振興課
268		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市民スキー大会	市民の日頃の練習の成果を発揮できる場を提供するとともに、競技の普及、競技力の向上を目的に開催する。	どなたでも	0	中止	委託	応募者・参加者の人数	200	中止	評価なし	雪不足により、中止。市民の日頃の練習の成果を発揮する場を継続して提供する。	高める方向で継続		市民の日頃の練習の成果を発揮する場を継続して提供できた。	330	322	330	スポーツ振興課

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標 ※前回照会時設定	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
269		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ロードレース大会	市民の日頃の練習の成果を発揮できる場を提供するとともに、競技の普及、競技力の向上を目的に開催する。	どなたでも	0	中止	委託	応募者・参加者の人数	400	中止	評価なし	台風19号の影響により、中止。市民の日頃の練習の成果を発揮する場を継続して提供するほか、新たなコースで大会が円滑に運営できるよう、関係団体と調整を行う。	休止	新型コロナウイルス感染症予防のため	市民の日頃の練習の成果を発揮する場を継続して提供できた。	373	373	377	スポーツ振興課
270		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市民レクリエーション大会	市民のレクリエーション活動の日頃の練習の成果を発揮する場を提供するとともに、市民の生涯学習活動を支援すること絵を目的に開催する。	どなたでも	0	中止	委託	応募者・参加者の人数	1000	中止	評価なし	新型コロナウィルスの影響により、中止。市民の日頃の練習の成果を発揮する場を継続して提供する。	高める方向で継続		市民の日頃の練習の成果を発揮する場を継続して提供できた。	732	732	732	スポーツ振興課
271		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市民スポーツレクリエーション大会	市民のスポーツレクリエーション活動の日頃の練習の成果を発揮する場を提供するとともに、市民の生涯学習活動を支援することを目的に開催する。	どなたでも	1	2,589	委託	応募者・参加者の人数	1000	2,589	B	目標どおり達成できた。市民の日頃の練習の成果を発揮する場を継続して提供する。	高める方向で継続		市民の日頃の練習の成果を発揮する場を継続して提供できた。	305	290	305	スポーツ振興課
272		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ネオテニス教室	八王子市発祥のニュースポーツ「ネオテニス」の普及啓発を目的に開催する。	どなたでも	1	30	委託	応募者・参加者の人数	30	30	B	参加者が127名であったものの、競技の普及を図ることができた。八王子市発祥のニュースポーツであり、子どもから高齢者まで楽しむことができるネオテニスを教室を通じて普及していく。	高める方向で継続		八王子発祥のニュースポーツであるネオテニスを継続して普及することができた。	80	80	80	スポーツ振興課
273		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	オリンピアンによる柔道教室	オリンピアンが直接指導するスポーツ教室。本事業によりｵﾘﾝﾋﾟｯｸを身近に感じてもらい、スポーツに対する意識と競技力の向上を図る。	子ども	0	中止	委託	応募者・参加者の人数	30	中止	評価なし	講師である中村美里選手との調整がつかなかったため。オリンピアン級の選手の技術を見て学ぶ機会を継続して提供する。	高める方向で継続		オリンピアン級の選手の技術を見て学ぶ機会を継続して提供できた。	210	0	0	スポーツ振興課
274		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	走り方教室	オリンピアン等のトップアスリートが直接指導するスポーツ教室。本事業によりオリンピック等の世界大会を身近に感じてもらいスポーツに対する意識と競技力の向上を図る。	子ども	0	中止	委託	応募者・参加者の人数	200	中止	評価なし	新型コロナウィルスの影響により、中止。オリンピアン級の選手の技術を見て学ぶ機会を継続して提供する。	高める方向で継続		オリンピアン級の選手の技術を見て学ぶ機会を継続して提供できた。	3,000	0	3,000	スポーツ振興課
275		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	野球教室	オリンピアン等のトップアスリートが直接指導するスポーツ教室。本事業によりオリンピック等の世界大会を身近に感じてもらいスポーツに対する意識と競技力の向上を図る。	どなたでも	1	102	委託	応募者・参加者の人数	100	102	B	目標どおり達成できた。	高める方向で継続		元プロ野球選手の技術を見て学ぶ機会を継続して提供できた。	1,500	1,188	1,650	スポーツ振興課
276		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	バドミントン教室	オリンピアン等のトップアスリートが直接指導するスポーツ教室。本事業によりオリンピック等の世界大会を身近に感じてもらいスポーツに対する意識と競技力の向上を図る。	子ども	0	中止	委託	応募者・参加者の人数	100	中止	評価なし	講師との調整がつかなかったため中止。オリンピアン級の選手の技術を見て学ぶ機会を継続して提供する。	高める方向で継続		オリンピアン級の選手の技術を見て学ぶ機会を継続して提供できた。	140	0	0	スポーツ振興課

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
277		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	初級障害者スポーツ指導員養成講習会	東京都障害者スポーツ協会等から講師を招き、初級障害者スポーツ指導員の資格が取得できる講習会を開催する。	成人	1	20	市単独	応募者・参加者の人数	35	20	B	スポーツ推進委員の受講希望者が少なかったが、障がい者スポーツ知識向上に努めた。	廃止・終了	市単独開催が特例であり、今回のみということで開催したため。	障がい者スポーツを体験する機会を継続して提供できた。	250	232	0	スポーツ振興課
278		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市民いきいきリフレッシュ体操	市内の各市民センターで健康体操教室を開催し、市民の健康維持・増進を図る。	成人	141	3,331	市単独	応募者・参加者の人数	4900	3,331	B	2月末から3月まで、新型コロナウィルスの影響により、事業を中止したが、それまでは目標通り達成できた。	高める方向で継続		健康維持・増進のため、運動する機会を継続して提供できた。	3,077	3,058	3,457	スポーツ振興課
279		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	やさしいフィットネス	団体を対象とした、健康体操教室を開催することにより、市民の健康維持・増進を図る。	成人	107	1,732	市単独	応募者・参加者の人数	2400	1,732	B	2月末から3月まで、新型コロナウィルスの影響により、事業を中止したが、それまでは目標通り達成できた。	高める方向で継続		健康維持・増進のため、運動する機会を継続して提供できた。	3,076	3,057	3,456	スポーツ振興課
280		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ヘルシーウォーキング	市内の名所や自然を感じる施設を巡るウォーキング大会。本事業により、市民の体力、健康増進意識の向上を図る。	どなたでも	1	831	実行委員会	応募者・参加者の人数	700	831	B	目標どおり達成できた。	休止	新型コロナウイルス感染症予防のため	八王子市の自然を活かしつつ、健康維持・増進の場を継続して提供できた。	743	743	740	スポーツ振興課
281		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	全関東八王子夢街道駅伝競走大会	公道がコースとなる大会では日本最大級の駅伝大会。本事業により、八王子市の魅力を市内外へ発信し、地域の活性化とスポーツ振興を図る。	どなたでも	1	2,024	実行委員会	応募者・参加者の人数	2000	2,024	B	目標どおり達成できた。	高める方向で継続		交通状況への対応から平成29年度に開催時間を変更したものの参加者数を維持できた。また、交通規制の周知強化、制限時間の変更、大会HP新設といった工夫により、大会の魅力を高めた。	18,429	18,420	23,946	スポーツ振興課
282		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ジュニア育成事業バスケットボール教室	トップアスリート等から指導を受けることにより、子どもたちの競技力と意識の向上を図る。	子ども	1	22	委託	応募者・参加者の人数	40	22	B	目標値には達しなかったが、バスケットボールの普及とジュニア育成に努めた。	広める方向で継続		レベルの高い技術を見て学ぶ機会を継続して提供できた。	300	300	300	スポーツ振興課
283		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ジュニア育成事業コアトレーニング	トップアスリート等から指導を受けることにより、子どもたちの競技力と意識の向上を図る。	子ども	1	56	委託	応募者・参加者の人数	100	56	B	目標値には達しなかったが、ジュニアの体力向上に努めた。	休止	新型コロナウイルス感染症予防のため	レベルの高い技術を見て学ぶ機会を継続して提供できた。	700	700	700	スポーツ振興課
284		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ジュニア育成事業バドミントン教室	トップアスリート等から指導を受けることにより、子どもたちの競技力と意識の向上を図る。	子ども	1	35	委託	応募者・参加者の人数	70	35	B	目標値には達しなかったが、バドミントンの普及とジュニア育成に努めた。	高める方向で継続		レベルの高い技術を見て学ぶ機会を継続して提供できた。	100	100	100	スポーツ振興課
285		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	地区運動会・スポーツ大会	スポーツ大会を通じ、地域コミュニティの活性化やスポーツ実施率の向上を図るため、地域スポーツクラブや旧体力つくりへ補助金を交付する。	どなたでも	15	9,161	補助	応募者・参加者の人数	10000	9,161	B	台風の影響で一部の地区で開催中止となったが、開催できた地区については目標どおり達成できた。	高める方向で継続		スポーツ実施率向上のため、スポーツをする場を継続して提供できた。	2,079	1,485	2,079	スポーツ振興課
286		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	少年野球大会	競技の普及と市民の体力向上を図るため、市内の団体と協働で開催する。	子ども	1	510	共催	応募者・参加者の人数	1000	510	B	目標値には達しなかったが、野球の普及に努めた。	休止	新型コロナウイルス感染症予防のため	市民の日頃の練習の成果を発揮する場を継続して提供できた。	0	0	0	スポーツ振興課

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
287		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	卓球選手権大会	競技の普及と市民の体力向上を図るため、市内の団体と協働で開催する。	どなたでも	1	257	共催	応募者・参加者の人数	300	257	B	目標値には達しなかったが、卓球の普及に努めた。	休止	新型コロナウイルス感染症予防のため	市民の日頃の練習の成果を発揮する場を継続して提供できた。	0	0	0	スポーツ振興課
288		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市民サイクリング	競技の普及と市民の体力向上を図るため、市内の団体と協働で開催する。	どなたでも	1	26	共催	応募者・参加者の人数	50	26	B	目標値には達しなかったが、サイクリングの普及に努めた。	休止	新型コロナウイルス感染症予防のため	市民の日頃の練習の成果を発揮する場を継続して提供できた。	0	0	0	スポーツ振興課
289		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	夏山登山入門	競技の普及と市民の体力向上を図るため、市内の団体と協働で開催する。	成人	1	18	共催	応募者・参加者の人数	50	18	C	目標値に大幅に達していないため、開催方法等を見直し、参加者増加に努める。	休止	新型コロナウイルス感染症予防のため	市民の日頃の練習の成果を発揮する場を継続して提供できた。	0	0	0	スポーツ振興課
290		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市民インディアカ大会	競技の普及と市民の体力向上を図るため、市内の団体と協働で開催する。	成人	1	86	共催	応募者・参加者の人数	100	86	B	目標値には達しなかったが、インディアカの普及に努めた。	休止	新型コロナウイルス感染症予防のため	市民の日頃の練習の成果を発揮する場を継続して提供できた。	0	0	0	スポーツ振興課
291		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市長杯ネオテニス大会	競技の普及と市民の体力向上を図るため、市内の団体と協働で開催する。	どなたでも	1	92	共催	応募者・参加者の人数	100	92	B	目標値には達しなかったが、ネオテニスの普及に努めた。	高める方向で継続		八王子発祥のニュースポーツであるネオテニスを継続して普及することができた。	0	0	0	スポーツ振興課
292		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市民ネオホッケー大会	競技の普及と市民の体力向上を図るため、市内の団体と協働で開催する。	どなたでも	0	中止	共催	応募者・参加者の人数	100	中止	評価なし	新型コロナウィルスの影響により、中止。市民の日頃の練習の成果を発揮する場を継続して提供する。	高める方向で継続		市民の日頃の練習の成果を発揮する場を継続して提供できた。	0	0	0	スポーツ振興課
293		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市民スケート教室	競技の普及と市民の体力向上を図るため、市内の団体と協働で開催する。	親子・保護者	0	中止	共催	応募者・参加者の人数	50	中止	評価なし	新型コロナウィルスの影響により、中止。市民の日頃の練習の成果を発揮する場を継続して提供する。	高める方向で継続		市民の日頃の練習の成果を発揮する場を継続して提供できた。	0	0	0	スポーツ振興課
294		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	TOKYO八峰マウンテントレイル	東京都自然公園利用ルールに基づき、マナー啓発を目的に開催するトレイルランニング大会	成人	0	中止	実行委員会	応募者・参加者の人数	900	中止	評価なし	台風19号の影響により、コースとなる林道等が崩落し使用できなかったため中止とした。八王子市の自然を活かしたコースを設定するとともに、トレイルマナーの啓発・普及に努める。	広める方向で継続		八王子市の自然を活かしたコースを設定するとともに、トレイルマナーの啓発・普及に努めることができた。	0	0	0	スポーツ振興課
295		講座・教室	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	アウトドアフィットネス	公園の様々な場所で、ヨガ、ノルディックウォーキングなど、自然の中で楽しく「生涯スポーツ」を提供します。	成人	29	延べ53	指定管理者	応募者・参加者の人数	120人/年	53人 44%	C	目標の参加人数は未達。令和元年度は全てのプログラムが未達なので、内容を見直し改善していく。	広める方向で継続		自然の中で健康増進、生涯スポーツを目的に実施していたが、時季によっては参加者が少なく5年間の結果が出ていない。今後は開催時季、内容の見直しに取り組む。	60	27	60	公園課（スポーツコミュニティ戸吹）
296		講座・教室	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	各種テニス大会 テニススクール	中高年に多く親しまれているテニス競技を通して生涯スポーツの機会や推進の場を提供します。	成人	215	延べ 2112	指定管理者	応募者・参加者の人数	1500人/年	2112人 141%	A	参加者人数が大幅に上回るとともに、実施回数も上回ったため。令和2年度も大会種目を増やし満足度、参加人数を上げていく。	広める方向で継続		学生大会(中学生)は認知度が低く参加者が定員未達であったが、各学校にDMを発送することにより5年間で毎回男子、女子共に定員の48名以上の申込が得られるようになった。	3,750	5,280	4,500	公園課（スポーツコミュニティ戸吹）

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
297		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ターゲットバードゴルフを楽しもう	ニュースポーツであるターゲットバードゴルフの入門編を初心者を対象に行う。	成人	1	32人	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者延べ40名	32人80%	B	今回、フラワーフェスティバルにて宣伝し反応を得たものの、イベントまでの日数が空いてしまったことで集客に繋げることができなかった。今後は日数を空けないような開催日時を設定するなど、集客に繋げる。	広める方向で継続		協会の協力の下、新聞折り込みや店舗への掲示、フラワーフェスティバルでの宣伝などを行い、参加者を集った。ただその場で申込をされても体験会までの日数が空いてしまい、忘れてしまったようですべてを集客に繋げることができなかった。	33	0	33	公園課（八王子市学園都市文化ふれあい財団）
298		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	春季テニスクリニック（①一般中上級者・②ジュニア初心者）	①テニス経験者の更なる技術向上のためテーマを絞った講座を行う。 ②これからテニスを始めたい、又は始めたばかりの子どもを対象に体験講座を行い、ジュニアテニス人口の更なる拡大を図る。	どなたでも	0	―	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者延べ120名	―	評価なし	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止として、中止	休止	講師の確保が困難となったため	多くの方に参加していただき、少しでも講師に相手してもらえる時間を増やすべく、部を増やし、各部の定員を減らした。また学校運協や前回参加者に向けて開催周知を行った。	194	0	―	公園課（八王子市学園都市文化ふれあい財団）
299		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	秋季テニスクリニック（①一般中上級者・②ジュニア初心者）	①テニス経験者の更なる技術向上のためテーマを絞った講座を行う。 ②これからテニスを始めたい、又は始めたばかりの子どもを対象に体験講座を行い、ジュニアテニス人口の更なる拡大を図る。	どなたでも	2	延べ45	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者各回40名	①30人 ②15人	C	目標の参加人数に届かなかったが、少人数での指導であったため、1人にかける時間が普段より長かったため、参加者から満足の声をいただいた。	休止	講師の確保が困難となったため	多くの方に参加していただき、少しでも講師に相手してもらえる時間を増やすべく、部を増やし、各部の定員を減らした。また学校運協や前回参加者に向けて開催周知を行った。	194	0	―	公園課（八王子市学園都市文化ふれあい財団）
300		イベント等	社会貢献活動	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ジョギング教室	長距離のトップアスリートからの指導により正しい走法技術の取得やジョギングを楽しみ、市民の健康と子供達の心身の育成を図ることを目的とする。	どなたでも	0	―	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者100人以上	―	評価なし	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止として、中止	高める方向で継続		ジュニアジョギングスクールの参加希望者を有料招待することで子どもの参加率、参加人数増に繋げた。	130	0	130	公園課（八王子市学園都市文化ふれあい財団）
301		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ティーボール教室	「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」プレーでき、「打つ」、「投げる」、「捕る」、「走る」動作を比較的短時間に楽しめる野球型ニュースポーツを普及する。	どなたでも	0	―	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者30人	―	評価なし	天候、グラウンド不良により中止	広める方向で継続		障碍者団体への声掛け、学校運協や前回参加者に向けて開催周知を行った。	24	20	24	公園課（八王子市学園都市文化ふれあい財団）
302		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	テニスビギナーズスクール（①大人・②低学年③高学年・全10回）	初心者を対象に連続講座を行い、技術の向上によりテニスの楽しさを知る。	どなたでも	3	延べ349	指定管理者	参加者の満足度	各参加者が最後まで続けて参加すること	達成度100% 満足度100%	A	参加者に対し、アンケートを行ったところ参加した全員から満足回答を得た。その他にも継続希望の声などを多くいただき、講師側も良い社会学習体験ができたとお礼の言葉をいただいた。	広める方向で継続		アンケート集計後に講師へ結果の情報共有を行い、次回への反省を確認しあった。また初回時にメールアドレスの登録（希望者のみ）を行い、中止等の事務連絡をメールで行うことでより早い情報発信に努めた。	110	0	110	公園課（八王子市学園都市文化ふれあい財団）
303		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ウォーキング＆ストレッチ	無理なく歩くためのストレッチ方法とウォーキングのスキルや楽しさを知り、市民の健康と運動促進を目的とする。	どなたでも	1	23	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者50名	23人 46%	C	陸上競技場の貸出状況と大型連休を避けたスケジュール設定により、土日ではなく祝日開催となってしまった。その影響でか、集客が思ったより伸びず、目標の参加者数に届かなかったが、時間ギリギリまで指導を受けられ、教室後も質疑応答をする参加者が多く見受けられた。	広める方向で継続		参加者が参加しやすい午前中、なるべく大型連休を避けた開催日時の設定を行った。	100	100	100	公園課（八王子市学園都市文化ふれあい財団）

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
304		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	太極拳教室（全5回）	年齢関係なく手軽に参加しやすい「太極拳」について市民の健康増進に対する啓発の機会の一助とする。	どなたでも	1	51	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者数延べ100人	51人 51%	C	初めて体験する方でもわかりやすく、気兼ねなく体験できるような指導が提供された。参加者集客が上手くいかない理由に参加料金と徴収方法が考えられるため。次回から見直しを行い、計画する。	広める方向で継続		芝生面横に参加者専用の置場を設置し、参加者の不安を軽減させた。講師の指示を聞こえやすいように別事業で購入したワイヤレスアンプを使用したことで指示がより通りやすくなった。	100	70	100	公園課（八王子市学園都市文化ふれあい財団）
305		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	痛み解消！ストレッチ教室(秋季・2部)	健康増進事業として地域住民に効果的なストレッチの方法を提供する。	どなたでも	2	延べ17	指定管理者	応募者・参加者の人数	各回20名以上	1回目:11人　2回目:6人	C	参加者が17人で目標には届かなかったものの、リピーター制度を導入したお陰もあり、前回の倍の人数の参加があった。部ごとにテーマを変えたため、両部参加する方が多く見受けられた。次回参加する声も多く寄せられた。	広める方向で継続		参加人数が伸び悩んでいるため、公園イベントと同様にリピーター制度を導入した。そのお陰もあって、一定数の参加人数を確保することができた。	25	24	25	公園課（八王子市学園都市文化ふれあい財団）
306		講座・教室	教養的なもの	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	クリスマスリースをつくろう	園内の自然素材を地域住民に提供し、オリジナルリースを制作する	どなたでも	0	－	指定管理者	参加者の満足度	参加者15名	－	評価なし	上柚木公園の自然素材を使ってリースを作るイベントだが、ここ数年は主材料となる上柚木公園の松の実があまりとれていなかった。今回はイベントが開催できるほどの量が取れなかったため、中止とした。	廃止・終了	材料の調達が困難なため	公園の自然素材を用いて作成してリースを作成できることをPRすべく、人の目に留まりやすい陸上、テニスの管理事務所に設置した。	0	0	－	公園課（八王子市学園都市文化ふれあい財団）
307		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	みんなでラジオ体操！	申込み不要で参加でき、自らラジオ体操を行うきっかけづくりと、地域交流の場を提供する。	どなたでも	1	49	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者30人	49人 163%	A	参加者増に繋げるために広報掲載や園内掲示板掲示など行った。ラジオ体操会の会員が夏休みのラジオ体操に通う子どもたちにも直接PRを行ってくれたお陰もあり、子ども～高齢者まで幅広い年齢層の方が参加した。	広める方向で継続		当初は地域住民を対象に行うことを予定していたが、折角大きな陸上競技場の芝生面で行える機会なので周知していく話となり、広報や青少対などへの情報共有などの甲斐があり、参加者増となっている。	0	0	0	公園課（八王子市学園都市文化ふれあい財団）
308		イベント等	健康・スポーツ	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	痛み解消！ストレッチ教室(冬季・2部)	健康増進事業として地域住民に効果的なストレッチの方法を提供する。	どなたでも	2	延べ22	指定管理者	応募者・参加者の人数	各回20名以上	1回目:13人　2回目:9人	C	参加者が22人で目標には届かなかったものの、リピーター制度を導入したお陰もあり、前回の倍の人数の参加があった。部ごとにテーマを変えたため、両部参加する方が多く見受けられた。次回参加する声も多く寄せられた。	広める方向で継続		参加人数が伸び悩んでいるため、公園イベントと同様にリピーター制度を導入した。そのお陰もあって、一定数の参加人数を確保することができた。	25	24	25	公園課（八王子市学園都市文化ふれあい財団）
309		講座・教室	健康・スポーツ	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	健康づくりサポーター養成講座（フォロー講座・スキルアップ講座）	健康づくり活動を支援する地域の人材を育成する。（フォローアップ及びスキルアップ）	健康づくり、介護予防運動ボランティア養成講座登録者	健康政策課 2 大横 5 東浅川5 南大沢5	健康政策課 36 大横 90 東浅川 113 南大沢 125	市単独	応募者・参加者の人数	健康政策課2回、30人 大横 4回、56人 東浅川4回、80人 南大沢3回69人	健康政策課（2回36人） 大横（5回90人） 東浅川（5回113人） 南大沢（5回125人）	B	講座の実施回数17回、参加者364人で目標を達成できた。保健福祉センター合同での講座開催や各保健福祉センターで工夫して講座の実施ができた。	高める方向で継続		参加者の講座満足度は高く、また配布冊子「サポートプログラム」の内容等の充実を図ったことにより、地域での活動に生かせるよう健康づくりサポーターの意識を高めることができた。	健康政策課 712 大横 68 東浅川 122 南大沢 131	健康政策課 196 大横 29 東浅川 48 南大沢 65	健康政策課 266 大横 88 東浅川 106 南大沢 73	健康政策課 大横保健福祉センター 東浅川保健福祉センター 南大沢保健福祉センター

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
310		講座・教室	家庭生活	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	男の料理教室	高齢者の教養の向上･生きがいの高揚･交流の場の提供	高齢者	2	40	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における「満足」の回答割合80%以上	満足94.7%	B	前半の講座は満足度高評価だった。後半の講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中断、アンケートも未実施	休止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため	毎回人気の講座であり、今後も継続が望ましい。料理サークルへの参加にもつながっている。	222	161	222	大横保健福祉センター
311		講座・教室	趣味的なもの	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	おりがみ教室	高齢者の教養の向上･生きがいの高揚･交流の場の提供	高齢者	2	42	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における「満足」の回答割合80%以上	満足100%	B	前期の講座は満足度100%だったが後期の講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中断、アンケートも未実施	休止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため	例年定員以上の応募があり人気の講座である。	100	90	100	大横保健福祉センター
312		講座・教室	健康・スポーツ	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	気軽にヨガ	高齢者の教養の向上･生きがいの高揚･交流の場の提供（27年度から開始）	高齢者	9	134	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における「満足」の回答割合80%以上	単発の講座につきアンケートは未実施	B	単発の講座につきアンケートは未実施だが、毎回人気の講座である。	休止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため	体験的に参加できる単発の講座であり、継続がのぞましい。	60	45	60	大横保健福祉センター
313		講座・教室	健康・スポーツ	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	太極拳教室	高齢者の教養の向上･生きがいの高揚･交流の場の提供	高齢者	1	18	市単独	応募者･参加者の人数	参加者数延べ100人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中断のためアンケートは未実施	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止のためアンケートは未実施だが70%から80%の出席率を保っている。	休止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため	年間コースの長い講座だが人気があり、継続が望ましい。	130	104	130	大横保健福祉センター
314		講座・教室	健康・スポーツ	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	トリム健康体操教室	高齢者の教養の向上･生きがいの高揚･交流の場の提供	高齢者	2	39	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における「満足」の回答割合80%以上	満足100%	B	前期の講座は満足度100%だったが後期の講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中断、アンケートも未実施	休止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため	例年人気の講座であり継続が望ましい。	100	96	100	大横保健福祉センター
315		講座・教室	情報・インターネットに関するもの	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	はじめてのipad教室	高齢者の教養の向上･生きがいの高揚･交流の場の提供	高齢者	4	41	委託	参加者の満足度	アンケート集計結果における「満足」の回答割合80%以上	満足　前期70%後期63.6%	B	満足度が高くないのは、メニューの多さと理解度のギャップと思われる。参加者のレベルにもよるが、講師と調整しながらの実施を検討する。	休止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため	時代の変化からか、抵抗感なく触れている人が多くなっている。	1,090	401	401	大横保健福祉センター
316		講座・教室	健康・スポーツ	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	はつらつトリム	高齢者の教養の向上･生きがいの高揚･交流の場の提供	高齢者	9	134	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における「満足」の回答割合80%以上	単発の講座につきアンケートは未実施	B	単発の講座につきアンケートは未実施だが、人気の講座である。	休止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため	体験的に参加できる単発の講座であり、継続がのぞましい。	60	45	60	大横保健福祉センター
317		講座・教室	趣味的なもの	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	ボールペン習字教室	高齢者の教養の向上･生きがいの高揚･交流の場の提供	高齢者	2	24	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における「満足」の回答割合80%以上	満足93.3%	B	前期講座の満足度は93.3%だった。後期は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中断したためアンケートは未実施。	休止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため	受講申し込みは定員以上あり、人気の講座となっている。	100	90	100	大横保健福祉センター
318		講座・教室	健康・スポーツ	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	らくらくヨガ教室	高齢者の教養の向上･生きがいの高揚･交流の場の提供	高齢者	2	32	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における「満足」の回答割合80%以上	前期94.4%が満足	B	前期の満足度は高かった。後期は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中断のためアンケートは未実施	休止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため	例年人気のこうざであり継続が望ましい。	100	90	100	大横保健福祉センター

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
319		講座・教室	教養的なもの	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	ゆうゆうシニア講座	60歳以上を対象に健康維持やパソコン・タブレットなど生活に必要な学習を提供する。	高齢者	43	1494	市単独	参加者の満足度	満足度85%以上	受講者アンケートでの「大変満足」「満足」の割合82.5%	B	回数の減は現役世代も受講可能なテーマについて、市民自由講座への組み替えを行ったことによる。講座満足度をおおむね達成したため左記評価とする。	広める方向で継続		満足度が目標値に届かない年度もあったが、パソコン講座や体操、料理等、様々なシニア向けの講座を実施し、高齢者の生きがいづくりの機会を充実させることができた。	968	902	1,254	学習支援課
320	◎	その他	社会貢献活動	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	生活支援体制整備事業:生活支援コーディネーターの配置（H27.4.1～）	高齢者が日常生活を元気に過ごせるよう、社会参加できる多様な場の創出や住民主体による活動の支援を行う。	高齢者	1	12	委託	事業の拡大	生活支援コーディネーター(本事業でコーディネート業務を行う者)の配置・充実	12名	B	12名の生活支援コーディネーターを配置し、地域が主体となる助け合い・支えあい活動や趣味・生きがいづくりの活動を側面的に支援した。	高める方向で継続		生活支援コーディネーターを事業開始当初の6名から12名に順次増員し、高齢者が社会参加できる多様な場の創出や住民主体による活動の支援を行った。	54,601	54,020	57,486	高齢者福祉課
321		講座・教室	健康・スポーツ	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	シニア向けいきいき健康講座	高齢者の健康増進に寄与する	高齢者	8	301	指定管理者	応募者・参加者の人数	多くの参加者に参加していただく。効果的なプログラムを提供する。	好評につき参加者を20人⇒ 40人へ増加、37.6人と大幅に参加者を増加出来た。	B	昨年好評の為、定員を倍増した結果、大幅に参加者増に成功した。今後もお客様のニーズを確実にとらえながら今後も増加する高齢者への教室増加を考えていく。	高める方向で継続		法政クラブ(法政大学)と連携し高齢者向けの講座を定期的に実施した結果、2019年度より募集定員を倍増する程、大変好評である。今後も更なる拡大を目指し、より満足度の高い講座を提供していく。	160	150	180	スポーツ施設管理課（八王子ゆめおりサポート株式会社）
322		講座・教室	健康・スポーツ	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	介護予防講座・講演会	介護予防等広く健康づくりに関する知識の普及・啓発をする。	高齢者	2	131	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	「フレイル予防」96%「誤嚥性肺炎」98%	B	目標値を達成 講演会を3回予定していたが、新型コロナ感染拡大防止のため、1回は中止となった。	広める方向で継続		事業後のアンケート結果分析から、テーマ設定や事業内容工夫をしている。また、市として周知していきたいテーマ設定をする等、介護予防に関する知識の普及・啓発ができた。	90	26	78	東浅川保健福祉センター
323		講座・教室	健康・スポーツ	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	健康体操	高齢者・障害者を対象としてストレッチ体操・リズム体操を中心に行い、健康の維持増進と社会参加の促進を図る。	高齢者	2	240	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	アンケート集計結果による満足度90%	B	目標値を達成	休止	コロナ感染症拡大防止対策に伴いR2年度休止	アンケートを実施し、満足度調査をする。	180	150	204	東浅川保健福祉センター
324		講座・教室	健康・スポーツ	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	さわやか運動教室	高齢者・障害者を対象として、ウォーキングやボールを用いた運動を行い、健康の維持増進と社会参加の促進を図る。	高齢者	2	220	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	アンケート集計結果による満足度98%	B	目標値を達成 。	廃止・終了	R2年度から新規体操開始する。	アンケートを実施し、満足度調査をする。	204	187	204	東浅川保健福祉センター
325		講座・教室	健康・スポーツ	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	水中ウォーキング	高齢者に対して、腰や膝への負担が軽い水中運動によって肩こりや腰痛予防につなげると共に、健康の維持増進と社会参加の促進を図る。	高齢者	3	75	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	アンケート集計結果による満足度85%	B	目標値を達成 新型コロナ感染拡大防止のため、1回は中止となった。	休止	令和2年度はプール耐震改修工事にともなう休止。令和3年度から開講予定。	アンケートを実施し、満足度調査をする。	158	158	158	東浅川保健福祉センター
326		講座・教室	教養的なもの	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	スキルアップパソコン教室	高齢者・障害者の生きがいづくりと社会参加の促進	高齢者	2	20	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	アンケート集計結果による満足度85%	B	目標値を達成 応募率が前期6.3倍・後期2.4倍と高かった。	休止	コロナ感染症拡大防止対策に伴いR2年度休止	アンケートを実施し、満足度調査をする。	100	100	100	東浅川保健福祉センター
327		講座・教室	教養的なもの	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	初めてのパソコン教室	高齢者・障害者の生きがいづくりと社会参加の促進	高齢者	2	20	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	アンケート集計結果による満足度85%	B	目標値を達成 応募率が前期3倍・後期1.6倍と高かった。	休止	コロナ感染症拡大防止対策に伴いR2年度休止	アンケートを実施し、満足度調査をする。	100	100	100	東浅川保健福祉センター

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
328		講座・教室	健康・スポーツ	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	はじめてのヨガ教室	高齢者の生きがいの高揚や社会参加の促進、健康の維持増進を図る。	高齢者	2	50	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	アンケート集計結果による満足度85%	B	目標値を達成 新型コロナ感染拡大防止のため、1回は中止となった。	休止	コロナ感染症拡大防止対策に伴いR2年度休止	アンケートを実施し、満足度調査をする。	100	100	100	東浅川保健福祉センター
329	◎	講座・教室	健康・スポーツ	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	フレイル予防講座	高齢者の身体機能を高め、要介護に陥ることを防ぐ。	高齢者	2	30	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	アンケート集計結果における満足度100%	B	専門職による「フレイル」についての講話と調理実習を行う2日コースの講座で「フレイル」満足度は高かった。	高める方向で継続		R1年度から開始の事業のため本年度のみの評価となるが、要介護を防ぐための知識普及の機会となった。	14	14	14	東浅川保健福祉センター
330	◎	講座・教室	育児・教育	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	勉強お助けサポーター養成講座	シニア世代の社会参加として勉強お助けサポーターを養成し、地域で子どもの学習支援・世代交流の場を作る。	高齢者	3	35	補助	応募者・参加者の人数	学習支援サポーター団体数を、2021年度に6団体にする	2	B	講座内容について7割の人が満足と回答。 学習サポーター団体が新たに1団体創出された。 既存の団体へ加入した人も含めて8割以上の人が講座終了後も実際の活動に結び付き、地域で学習支援活動を実施。	高める方向で継続		講座を土曜日や市内全域で実施してほしいという意見があった。その意見を反映し、開催場所を市内の中で点在させ、土曜日にも実施することで参加者が増えた。	事業単独での予算なし	事業単独での予算なし	事業単独での予算なし	福祉政策課（八王子市社会福祉協議会支えあい推進課）
331		講座・教室	健康・スポーツ	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	音楽療法で健康づくり（前期・後期）	音楽療法を通して、一般高齢者の心身の健康を高め、要介護に陥ることを防ぐ。	高齢者	3	398	市単独	参加者の満足度	一般高齢者の心身の健康を高め、介護予防への意識を高める。	参加者アンケートから満足度概ね94%	B	教室に通うことで参加者同士の交流も生まれ、アンケートからも満足度も高かったことから目標は概ね達成できたと考える。	廃止・終了	参加者が来館できる方に限られるため、今後運動のきっかけ作りを行い地域への活動を支援する。	例年の参加者が来館できる高齢者に限られることからメンバーが固定化しやすい傾向があった。今後、さらなる普及啓発のために地域で活動を行う体制づくりが必要と思われる。	288	252	144	南大沢保健福祉センター
332		講座・教室	健康・スポーツ	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	介護予防講座・講演会	介護予防等広く健康づくりに関する知識の普及・啓発をする。	高齢者	17	616	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	参加者アンケートから満足度86%	B	参加者は自分の健康に不安がある方が多く、実生活を踏まえた講和は分かりやすくフレイルを理解することに繋がり、満足度が高かったと思われ、今後も継続していく。	広める方向で継続		健康を維持する概念がより予防的になっており、要介護状況に陥ることを防ぐため社会背景を踏まえた普及啓発を行うことが必要。	130	62	130	南大沢保健福祉センター
333		講座・教室	教養的なもの	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	シニアボランティアレクリエーション	市民と協働で技能を持つ高齢者をシニアボランティア講師として活用し、高齢者・障害者の教養の向上、生きがいの高揚、交流を促進することにより地域の活性化を図る	・高齢者（60歳以上） ・障害者	10	112	市単独	参加者の満足度	高齢者・障害者の生きがいづくり	10回 112人	C	参加者が112名で目標を達成できなかった。次年度は、広報だけでなく他の事業時にチラシを作製し、配布する。	休止	コロナ感染防止のため	高齢者や障害者の方が、簡単に運動を取り入れられるようレクワーカー会が毎月内容を変え取り組んでいるため、毎回参加しても楽しめる内容となっている。	9	8	7	南大沢保健福祉センター
334		講座・教室	教養的なもの	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	シニアボランティア子ども将棋教室	市民と協働で技能を持つ高齢者をシニアボランティア講師として活用し、高齢者の生きがいの高揚、また小学生に将棋を教えることにより交流を促進する。	子ども	20	109	市単独	参加者の満足度	高齢者と子供の交流と将棋の普及。	109人 20回	C	参加者が109人で目標を達成できなかった。次年度は、広報だけでなく広く学校への提示など広く募集を募る。	休止	コロナ感染防止のため	世代間交流の一環として行っている市の事業。将棋指導員とともにボランティアが子供たちに将棋の楽しさを知ってもらうための教室として実施している。	155	137	144	南大沢保健福祉センター
335	◎	講座・教室	教養的なもの	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	夏休み親子将棋入門教室	将棋普及指導員を講師として活用し、夏休みを利用し親子で将棋を楽しむことで、多世代交流事業の促進を図る。	子ども	3	6	市単独	参加者の満足度	高齢者と子供の交流と将棋の普及。	6人　3回 満足と回答した人100%	C	応募人数6組に対し、申込者が2組であった。生涯学習センターで同じ事業を行っているため、期間など調整を図るとともに、募集の周知方法について改善を図る。	休止	コロナ感染防止のため	平成30年度より、世代間交流の一環として開始した市の新規事業。夏休みを利用して親子で参加できる教室として実施。	18	18	18	南大沢保健福祉センター

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
336		講座・教室	健康・スポーツ	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	体力アップ運動教室（前期・中期・後期）	一般高齢者の身体機能を高め、要介護に陥ることを防ぐ。	高齢者	3	619	市単独	参加者の満足度	一般高齢者の心身の健康を高め、介護予防への意識を高める。	参加者アンケートより満足度100%	B	教室に通うことで参加者同士の交流も生まれ、アンケートからも満足度も高かったことから目標は概ね達成できたと考える。	廃止・終了	参加者が来館できる方に限られるため、今後運動のきっかけ作りを行い地域への活動を支援する。	例年の参加者が来館できる高齢者に限られることからメンバーが固定化しやすい傾向があった。今後、さらなる普及啓発のために地域で活動を行う体制づくりが必要と思われる。	396	372	ー	南大沢保健福祉センター
337		講座・教室	健康・スポーツ	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	トリム体操教室	高齢者・障害者の生きがい事業教室として、教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	・高齢者（60歳以上） ・障害者	3	56	市単独	参加者の満足度	高齢者・障害者の生きがいづくり	56人　3回	C	参加者が56名で目標を達成できなかった。コロナ感染拡大防止のため、中止にせざるおえなかった。毎回同じ参加者が多かったため、広報やチラシでの周知により、新規利用者を取り込みたい。	休止	コロナ感染防止のため	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	22	17	20	南大沢保健福祉センター
338		講座・教室	健康・スポーツ	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	らくらくヨガ	高齢者・障害者の生きがい事業教室として、教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	・高齢者（60歳以上） ・障害者	4	75	市単独	参加者の満足度	高齢者・障害者の生きがいづくり	4回　75人	B	参加者が75名で目標には達成できなかったものの、初めての参加者が多かった。	休止	コロナ感染防止のため	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	25	25	20	南大沢保健福祉センター
339		講座・教室	健康・スポーツ	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	若さアップ運動教室（前期・中期・後期）	一般高齢者の身体機能を高め、要介護に陥ることを防ぐ。	高齢者	3	603	市単独	参加者の満足度	一般高齢者の心身の健康を高め、介護予防への意識を高める。	参加者アンケートより満足度100%	B	教室に通うことで参加者同士の交流も生まれ、アンケートからも満足度も高かったことから目標は概ね達成できたと考える。	廃止・終了	参加者が来館できる方に限られるため、今後運動のきっかけ作りを行い地域への活動を支援する。	例年の参加者が来館できる高齢者に限られることからメンバーが固定化しやすい傾向があった。今後、さらなる普及啓発のために地域で活動を行う体制づくりが必要と思われる。	231	217	ー	南大沢保健福祉センター
340		講座・教室	社会貢献活動	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	シニア元気塾 ボランティア入門講座	ボランティア活動のきっかけをつくり、高齢者の社会参加促進を図る。	高齢者	8	31	委託	応募者・参加者の人数	修了者50人	修了者28名	B	修了者が28名であり、目標を達成できなかったものの、参加者に対しての修了者率が90%と高い数値だった。また、受講者アンケートでも好評だった。	広める方向で継続		平成27年度から令和元年度までに、修了者数143人を輩出し、高齢者の社会参加促進を図ることができた。	3,771（他事業あり）	3,771（他事業あり）	3,899（他事業あり）	高齢者いきいき課（八王子センター元気）
341		講座・教室	社会貢献活動	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	シニア元気塾 コーディネーター養成講座	高齢者活動コーディネーターを養成し、高齢者の社会参加促進を図る。	高齢者	3	31	委託	応募者・参加者の人数	修了者50人	修了者見込29名 ※新型コロナウィルス感染症の影響で令和2年度にかけて講座が延びたため	B	修了者見込が29名であり、目標を達成できなかったものの、参加者に対しての修了者見込率94%と高い数値だった。	広める方向で継続		平成27年度から令和元年度までに、修了者数155人（うち29人は修了者見込）を輩出し、高齢者の社会参加促進を図ることができた。	3,771（他事業あり）	3,771（他事業あり）	3,899（他事業あり）	高齢者いきいき課（八王子センター元気）

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
342		講座・教室	社会貢献活動	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	いきいき体操教室	高齢者の教養の向上、生きがいの高揚	高齢者	18	301(延べ)	委託	参加者の満足度	施設利用者満足度3.4点(4点満点中)	施設利用者満足度97.8%	A	満足度は97.8%(利用者アンケートによる、大いに満足・満足を足した割合、無回答を除く)となり、高齢者の教養の向上、生きがいの高揚につながったと考えられる。	広める方向で継続		施設利用者満足度は年々増加傾向にあり、教室の種類も年々増加しているため、高齢者の教養の向上、生きがいの高揚につながっている。	10,500(令和元年度(2019年度)指定管理料)	10,500(令和元年度(2019年度)指定管理料)	10,500(令和2年度(2020年度)指定管理料)	高齢者いきいき課(八王子市社会福祉協議会)
343		講座・教室	社会貢献活動	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	フラダンス教室	高齢者の教養の向上、生きがいの高揚	高齢者	22	199(延べ)	委託	参加者の満足度	施設利用者満足度3.4点(4点満点中)	施設利用者満足度97.8%	A	満足度は97.8%(利用者アンケートによる、大いに満足・満足を足した割合、無回答を除く)となり、高齢者の教養の向上、生きがいの高揚につながったと考えられる。	広める方向で継続		施設利用者満足度は年々増加傾向にあり、教室の種類も年々増加しているため、高齢者の教養の向上、生きがいの高揚につながっている。	10,500(令和元年度(2019年度)指定管理料)	10,500(令和元年度(2019年度)指定管理料)	10,500(令和2年度(2020年度)指定管理料)	高齢者いきいき課(八王子市社会福祉協議会)
344		講座・教室	社会貢献活動	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	健康体操教室	高齢者の教養の向上、生きがいの高揚	高齢者	18	340(延べ)	委託	参加者の満足度	施設利用者満足度3.4点(4点満点中)	施設利用者満足度97.8%	A	満足度は97.8%(利用者アンケートによる、大いに満足・満足を足した割合、無回答を除く)となり、高齢者の教養の向上、生きがいの高揚につながったと考えられる。	広める方向で継続		施設利用者満足度は年々増加傾向にあり、教室の種類も年々増加しているため、高齢者の教養の向上、生きがいの高揚につながっている。	10,500(令和元年度(2019年度)指定管理料)	10,500(令和元年度(2019年度)指定管理料)	10,500(令和2年度(2020年度)指定管理料)	高齢者いきいき課(八王子市社会福祉協議会)
345		講座・教室	社会貢献活動	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	写仏入門教室	高齢者の教養の向上、生きがいの高揚	高齢者	18	178(延べ)	委託	参加者の満足度	施設利用者満足度3.4点(4点満点中)	施設利用者満足度97.8%	A	満足度は97.8%(利用者アンケートによる、大いに満足・満足を足した割合、無回答を除く)となり、高齢者の教養の向上、生きがいの高揚につながったと考えられる。	広める方向で継続		施設利用者満足度は年々増加傾向にあり、教室の種類も年々増加しているため、高齢者の教養の向上、生きがいの高揚につながっている。	10,500(令和元年度(2019年度)指定管理料)	10,500(令和元年度(2019年度)指定管理料)	10,500(令和2年度(2020年度)指定管理料)	高齢者いきいき課(八王子市社会福祉協議会)
346		講座・教室	社会貢献活動	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	初級ウクレレ教室	高齢者の教養の向上、生きがいの高揚	高齢者	18	265(延べ)	委託	参加者の満足度	施設利用者満足度3.4点(4点満点中)	施設利用者満足度97.8%	A	満足度は97.8%(利用者アンケートによる、大いに満足・満足を足した割合、無回答を除く)となり、高齢者の教養の向上、生きがいの高揚につながったと考えられる。	広める方向で継続		施設利用者満足度は年々増加傾向にあり、教室の種類も年々増加しているため、高齢者の教養の向上、生きがいの高揚につながっている。	10,500(令和元年度(2019年度)指定管理料)	10,500(令和元年度(2019年度)指定管理料)	10,500(令和2年度(2020年度)指定管理料)	高齢者いきいき課(八王子市社会福祉協議会)
347		講座・教室	社会貢献活動	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	書道教室	高齢者の教養の向上、生きがいの高揚	高齢者	18	394(延べ)	委託	参加者の満足度	施設利用者満足度3.4点(4点満点中)	施設利用者満足度97.8%	A	満足度は97.8%(利用者アンケートによる、大いに満足・満足を足した割合、無回答を除く)となり、高齢者の教養の向上、生きがいの高揚につながったと考えられる。	広める方向で継続		施設利用者満足度は年々増加傾向にあり、教室の種類も年々増加しているため、高齢者の教養の向上、生きがいの高揚につながっている。	10,500(令和元年度(2019年度)指定管理料)	10,500(令和元年度(2019年度)指定管理料)	10,500(令和2年度(2020年度)指定管理料)	高齢者いきいき課(八王子市社会福祉協議会)
348		講座・教室	社会貢献活動	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	将棋入門教室	高齢者の教養の向上、生きがいの高揚	高齢者	18	176(延べ)	委託	参加者の満足度	施設利用者満足度3.4点(4点満点中)	施設利用者満足度97.8%	A	満足度は97.8%(利用者アンケートによる、大いに満足・満足を足した割合、無回答を除く)となり、高齢者の教養の向上、生きがいの高揚につながったと考えられる。	広める方向で継続		施設利用者満足度は年々増加傾向にあり、教室の種類も年々増加しているため、高齢者の教養の向上、生きがいの高揚につながっている。	10,500(令和元年度(2019年度)指定管理料)	10,500(令和元年度(2019年度)指定管理料)	10,500(令和2年度(2020年度)指定管理料)	高齢者いきいき課(八王子市社会福祉協議会)
349		講座・教室	社会貢献活動	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	編み物教室	高齢者の教養の向上、生きがいの高揚	高齢者	18	254(延べ)	委託	参加者の満足度	施設利用者満足度3.4点(4点満点中)	施設利用者満足度97.8%	A	満足度は97.8%(利用者アンケートによる、大いに満足・満足を足した割合、無回答を除く)となり、高齢者の教養の向上、生きがいの高揚につながったと考えられる。	広める方向で継続		施設利用者満足度は年々増加傾向にあり、教室の種類も年々増加しているため、高齢者の教養の向上、生きがいの高揚につながっている。	10,500(令和元年度(2019年度)指定管理料)	10,500(令和元年度(2019年度)指定管理料)	10,500(令和2年度(2020年度)指定管理料)	高齢者いきいき課(八王子市社会福祉協議会)

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
350		講座・教室	健康・スポーツ	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	介護予防運動教室	フレイル予防のための知識や、運動を学び実践することで、要介護状態にならないように予防する。	高齢者	4	104	市単独	応募者・参加者の人数	定員に対して70%の参加者数	参加人数104人、参加率95.2%	A	参加人数104人、参加率は95.2%で、アンケート結果でフレイルの理解度は98.8%であった。今年度はフレイル予防をテーマに、介護予防の運動だけでなく専門職による講話も組み込み、高い満足度と理解度を得ることができ、目標を達成できた。	広める方向で継続		経年的にみると定員に対する参加率は、80.5%であるが、令和元年度は教室の内容を改善することで95.5%へ増加した。	606（番号349・350・527と同一予算）	498（番号349・350・527と同一予算）	741（番号349・350・527と同一予算）	大横保健福祉センター
351		講座・教室	健康・スポーツ	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	介護予防講座	介護予防等広く健康づくりに関する知識の普及・啓発をする。	高齢者	5	234	市単独	応募者・参加者の人数	定員に対して70%の参加者数	参加人数177人、参加率88.5%(3講座)	A	参加人数177人、参加率は88.5%で、アンケート結果で満足度は98%であった。対象は参加者が生活習慣を振り返り介護予防への動機付けとなり、高い満足度が得られ、目標を達成した。令和2年度は保健福祉センターから出向き、各市民センターで講座を実施する。	広める方向で継続		平成30年度までは1講座の参加者数は40人弱であったが、高齢者のニーズに合わせたテーマ設定と周知の拡大により、参加者数が約50人と増加した。	606（番号349・350・527と同一予算）	498（番号349・350・527と同一予算）	741（番号349・350・527と同一予算）	大横保健福祉センター
352		講座・教室	教養的なもの	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	シニアボランティア囲碁入門(前期・後期)	市民と協働で技能を持つ高齢者をシニアボランティア講師として活用し、高齢者・障害者の教養の向上、生きがいの高揚、交流を促進することにより地域の活性化を図る	・高齢者（60歳以上） ・障害者	19	59	市単独	参加者の満足度	高齢者・障害者の生きがいづくり	59名　19回 満足と回答した人75%	B	参加者が59人であった。参加者の満足度を上げるため、講師と調整を図り、教材の作成など改善する必要がある。	休止	コロナ感染防止のため	毎回、参加申し込み者が定員を上回り、人気がある教室。講師が囲碁連盟に加盟しており、初心者から経験者まで幅広く教えてもられる教室。	0	0	0	南大沢保健福祉センター
353		講座・教室	教養的なもの	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	シニアボランティア絵手紙教室（前期・後期）	市民と協働で技能を持つ高齢者をシニアボランティア講師として活用し、高齢者・障害者の教養の向上、生きがいの高揚、交流を促進することにより地域の活性化を図る	・高齢者（60歳以上） ・障害者	20	50	市単独	参加者の満足度	高齢者・障害者の生きがいづくり	50名　20回 満足と回答した人80%	B	参加者が50人であった。参加者の満足度も高く、生きがいづくりの場として交流も図れ、再受講の希望も多い。	休止	コロナ感染防止のため	教室で制作した作品を、年に一度のセンターまつりや春の展示会に展示することにより、受講者の意欲向上に繋がった。	12	11	28	南大沢保健福祉センター
354		講座・教室	教養的なもの	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	シニアボランティアパソコン初級教室	市民と協働で技能を持つ高齢者をシニアボランティア講師として活用し、高齢者・障害者の教養の向上、生きがいの高揚、交流を促進することにより地域の活性化を図る	・高齢者（60歳以上） ・障害者	8	10	市単独	参加者の満足度	高齢者・障害者の生きがいづくり	10名　8回 満足と回答した人70%	B	参加者が10人で、目標を達成できなったものの、受講者からの満足度も高く、ボランティアアシスタントにより手厚い指導を行ったため、満足度も高かった。	休止	ボランティア講師の事情により、令和2年度は休止（令和3年度は実施予定）	初心者へパソコンの楽しさを知ってもらうための講座を心掛け、受講者の交流の場の提供を図れた。	0	0	0	南大沢保健福祉センター
355		講座・教室	教養的なもの	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	楽しい歌声教室	高齢者・障害者の生きがい事業教室として、教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	・高齢者（60歳以上） ・障害者	11	646	市単独	参加者の満足度	高齢者・障害者の生きがいづくり	646名 11回	A	定員の60名を上回る月が多く、教室の人気が非常に高い。ボランティアの協力体制も構築されている。1時間前から並んでいる人も多いため、受付時間を早めるなどの工夫が必要と思われる。	休止	コロナ感染防止のため	唱歌などを歌う毎月1回の教室で、参加者も増え続けており、人気の高い教室である。	63	58	60	南大沢保健福祉センター
356		講座・教室	教養的なもの	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	初めてのパソコン教室	高齢者・障害者の生きがい事業教室として、教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	・高齢者（60歳以上） ・障害者	38	31	市単独	参加者の満足度	高齢者・障害者の生きがいづくり	31名　38回 満足と回答した人82%	B	参加者の満足度も高く、全7回の継続教室のため、パソコン初心者が学びやすい内容となっている。申込者が定員を下回る時もあったため、周知方法を改善する必要がある。	休止	コロナ感染防止のため	パソコン入門として、ワードやエクセルを使って毎回テーマに沿った内容を基礎から覚えるための教室。	661	585	707	南大沢保健福祉センター

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
357		イベント等	健康・スポーツ	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	ターゲットバードゴルフ練習会・大会	近年、高齢者に多く親しまれてきているターゲット・バードゴルフ競技を通して高齢者にも身近でできる生涯スポーツの機会や推進の場を提供します。	高齢者	練習会27 大会5	平均練習会30人/回 大会132人/回	補助	参加者の人数・満足度	練習会20人/回 大会100人/回	練習会20人以上:22回 大会100人以上:4回	B	参加人数も減少せず、利用者から満足度の高い評価を得ている。	高める方向で継続		スポーツコミュニティ戸吹主催の大会参加者は年々増え、健康増進、地域の交流の活性化につながり参加者からは評価を得られ目標達成。	0	0	0	公園課（スポーツコミュニティ戸吹）
358		講座・教室	教養的なもの	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	松竹梅の花あそび教室	園内の環境資源である竹や花を活用した花器づくりや生け花をすることで上柚木公園の魅力を伝える。	どなたでも	1	12	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者15人	12人 80%	B	園内の自然材料を提供することは大変好評であった。前日までに切り出し、提供するものを可能な限り人数分に分けたことで教室進行もスムーズに進み、終了時間の30分前には教室を終了することができた。来年度は参加者が目標に届くよう努力する。	高める方向で継続		サポートの職員を増やし、参加者のサポートを行った。当日、欠席して材料提供を求める声があった場合、参加料支払いを条件に材料の提供を別途行った。	10	10	10	公園課（八王子市学園都市文化ふれあい財団）
359		イベント等	健康・スポーツ	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	ターゲットバードゴルフ競技会	近年、高齢者に多く親しまれてきているターゲット・バードゴルフ競技を通して高齢者にも身近でできる生涯スポーツの機会や推進の場を提供します。	高齢者	1	71	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者70人	71人 101%	A	普段から公園内美化に協力いただいている団体であるため、競技会の機会を設けた。前回ゴミの散乱、備品の出しっ放しについては会長より会員に話をしてくれ、改善された。	高める方向で継続		事前集金に変えたことから受付業務がスムーズになり、参加者を待たせる時間を軽減することができた。また賃借時間を半分にすることで賃借料の削減、行動のメリハリがつき、賃借料削減分賞を増やして参加者に還元した。	80	61	80	公園課（八王子市学園都市文化ふれあい財団）
360		講座・教室	教養的なもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	国際理解講座	外国の文化への理解と外国人との交流を深め、多文化共生の推進を図る。	どなたでも	5	296	市単独	協働事業の推進	協働体制づくり	市内団体と協働した講座数 4	B	市内団体から講師を紹介してもらう国際理解講座の数を増やした。また、市で重点をおくSDGsをテーマに、新たに団体と共催で講座を実施し、協働の取組みを推進した。	広める方向で継続		満足度が目標値に届かない年度もあったが、様々な国の歴史や文化を学ぶことができる講座を実施し、外国人への理解を深める機会を充実させることができた。	114	67	124	学習支援課
361		講座・教室	教養的なもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	外国人のための日本語教室	市内在住・在勤・在学の外国人に初級の日本語を学ぶ機会を提供し、共生社会の推進を図る。	外国人	3	1247	共催	協働事業の推進	協働体制づくり	昨年度と同様市内団体から講師を派遣してもらい、協働を深めた。	B	昨年度と比べると参加者数が増加しており、市内の団体と協働することによって、より多くの外国人に日本語学習の機会を提供することができた。	広める方向で継続		市内在住・在勤・在学の外国人に対し、5年間継続した日本語を学ぶ機会を提供することで、共生社会の実現に向けて、取組を推進することができた。	484	423	513	学習支援課
362		その他	健康・スポーツ	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	機能回復訓練	身体障害者の四肢体幹機能の回復・維持を専門的に指導訓練する。	障害者	88	713	指定管理者	訓練の実施回数	前年度と同等の回数	前年度 90回 前年度比 97%	B	参加者数が予定を下回ったが、リハビリを受ける利用者の体調等によるものであり、本事業を必要とする利用者は多い。	高める方向で継続		医療・介護保険等によるリハビリテーションの継続が困難な方の受け入れを積極的に行なった	2,657	2,628	2,744	障害者福祉課
363		その他	育児・教育	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	ことばの教室	基本的言語発声を軌道に載せる助けとなることばの訓練	障害者	22	247	指定管理者	訓練の実施回数	前年度と同等の回数	前年度 22回 前年度比 100%	B	前年度と同回数を実施した。利用者への説明等をしっかりと行った。	高める方向で継続		ことばの発達を促す事の他、保護者の不安や悩みを相談する場としての機能も果たしている。	450	367	467	障害者福祉課
364		その他	健康・スポーツ	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	失語症言語リハビリ教室	言語機能の障害を受けた人に対して言語訓練を実施する	障害者	58	304	指定管理者	訓練の実施回数	前年度と同等の回数	前年度 60回 前年度比 96%	B	実施回数は昨年度に比べ減少したが、失語症者にとって必要な場となっており、当事者のみならず、家族支援も行った。	高める方向で継続		個別・グループリハビリを実施する中で、当事者が声を上げて活動を開始した会もあり(カラオケ会・おしゃべり会)、自主性が生まれていると感じる。	1,840	1,781	1,871	障害者福祉課

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
365		情報提供※環境整備	教養的なもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	聴覚障害者の集い	聴覚障害者の交流と情報交換の場として開催し、併せて教養の向上を図る	障害者	3	232	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度270名前年度比85%	B	参加者数が昨年度に比べ減少したものの、年4回講師を招き、時事的な話題をテーマとした講演と交流会を開催し、聴覚障害者の交流と教養の向上を図った。	休止	会場が手狭であり、密の状況が避けられないため、新型コロナウイルスの感染防止を考慮し全回中止とした。	当事者団体の推薦により講師を選定している。デフリンピック代表選手、健聴の歯科医師による講演などを実施し、聴障者の皆さんの情報保障の一助となった。	184	135	176	障害者福祉課
366		講座・教室	教養的なもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	七宝焼教室	豊かな色彩感覚と指先の細かな動作を通して、手先を訓練するとともに豊かな生活を築く	障害者	20	158	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度181名前年度比87%	B	前年度に比べ、利用者が減少したが、機能回復を意識した指先の細かな作業と作品作りを通じたコミュニケーションを提供できた。	広める方向で継続		障害のある方、無い方が共通の目的で集まり、障害の有無を超えて関係性を築きあげている。	36	60	63	障害者福祉課
367		講座・教室	教養的なもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	陶芸教室	てびねりによる和陶芸を行うことで、手先の巧緻性を養うと共に土の感触を通して、情緒の安定を図る。また、色付けや絵付けを通して創造の喜びを味わう。	障害者	24	287	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度252名前年度比113%	B	前年度に比べ、参加者数は増加。機能回復を意識した指先の細かな作業と作品作りを通じたコミュニケーションを提供できた。	広める方向で継続		障害のある方、無い方が共通の目的で集まり、障害の有無を超えて関係性を築きあげている。	169	156	169	障害者福祉課
368		講座・教室	教養的なもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	折り紙教室	指先の細かな動作を必要とするため、目と手の供応動作の訓練になると共に、つくりあげる楽しさを味わう。	障害者	10	126	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度126名前年度比100%	B	機能回復を意識した指先の細かな作業と作品作りを通じたコミュニケーションを提供できた。	広める方向で継続		障害のある方、無い方が共通の目的で集まり、障害の有無を超えて関係性を築きあげている。	0	0	0	障害者福祉課
369		講座・教室	教養的なもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	染め紙教室	指先の細かな動作を必要とするため、手先の良い訓練になると共に、偶然にできる模様の面白さ、色彩の組み合わせを楽しむ。	障害者	10	64	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度94名前年度比68%	B	前年度に比べ、利用者が減少したが、機能回復を意識した指先の細かな作業と作品作りを通じたコミュニケーションを提供でき、好評であった。	広める方向で継続		障害のある方、無い方が共通の目的で集まり、障害の有無を超えて関係性を築きあげている。	0	0	0	障害者福祉課
370		講座・教室	教養的なもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	ちりめん細工教室	伝統的な手芸である、ちりめん細工に親しみながら、小物などの創作活動に取組むことで、指先の訓練と集中力や色彩感覚を養う。	障害者	4	41	指定管理者	応募者・参加者の人数	17	前年度37名前年度比110%	B	前年度に比べ、参加者数は微増。機能回復を意識した指先の細かな作業と作品作りを通じたコミュニケーションを提供できた。	広める方向で継続		障害のある方、無い方が共通の目的で集まり、障害の有無を超えて関係性を築きあげている。	78	65	78	障害者福祉課
371		講座・教室	教養的なもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	囲碁教室	囲碁という知的ゲームを通し、知的操作力を維持、向上させる。加えて孤独になりがちな障害者に交流の場を提供し、社会性の向上に寄与する。	障害者	22	263	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度293名前年度比89%	B	前年度に比べ、参加者数は減少したが、碁を通じた交流機会の提供により、豊かなコミュニケーションを図ることができた。	休止	囲碁の特性上、距離を保って対局することが困難であり、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、令和2年度は休止とする	障害のある方、無い方が共通の目的で集まり、障害の有無を超えて関係性を築きあげている。	72	66	66	障害者福祉課
372		講座・教室	教養的なもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	精神障害者の絵画教室	絵画制作を通じて、自然な形で話し合ったり、行動を共にすることで孤独がちであった人が再び元の生活へと自信を取り戻していくための支援をしていく	障害者	20	87	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度100名前年度比87%	B	前年度に比べ、参加者数は減少したが、「障害者文化展」に作品を出展するなど、参加者は意欲的である。他者との関わりが少ない精神障害者にコミュニケーションの場を提供できた。	広める方向で継続		自身のペースに合わせ参加・創作活動を行うことが出来る場となっている。講師との会話を楽しみに参加されている方も多くいらっしゃる。	149	130	143	障害者福祉課
373		講座・教室	教養的なもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	フラワーアレンジメント教室	フラワーアレンジメントを通じて、生活に潤いと明るさをもたせる。	障害者	9	166	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度168名前年度比98%	B	参加者はほぼ前年度と同様。内容は好評であり、満足度が高かった。	広める方向で継続		障害のある方、無い方が共通の目的で集まり、障害の有無を超えて関係性を築きあげている。	143	137	143	障害者福祉課

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
374		講座・教室	教養的なもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	リリアン編み教室	手製の道具を使ってリリアンを編み、小物を制作し、手先の細かな動作訓練を行う。	障害者	10	40	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度62名前年度比64%	B	前年度に比べ参加者は減少してしまったが、障害の有無に関係なく、作品作りを通して、豊かなコミュニケーションを図ることができた。	広める方向で継続		障害のある方、無い方が共通の目的で集まり、障害の有無を超えて関係性を築きあげている。	0	0	0	障害者福祉課
375		講座・教室	教養的なもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	茶道教室（江戸千家）	日本の伝統文化にふれながら、礼儀作法や日常のマナーを身につけて、生活にゆとりと豊かさをもてるように茶の精神と技を学ぶ。	障害者	16	205	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度275名前年度比74%	B	前年度に比べ参加者は減少してしまったが、肢体の不自由な障害者も参加できるよう、座ってお茶を点てられる、「立礼棚」を活用し、肢体不自由者の参加があった。	広める方向で継続		障害のある方、無い方が共通の目的で集まり、障害の有無を超えて関係性を築きあげている。	120	80	110	障害者福祉課
376		講座・教室	教養的なもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	書道教室	かな書道の基礎を着実に学習し、更に創造性と表現力を会得することで心豊かな生活を築けるよう書の心と技を学ぶ。	障害者	10	137	指定管理者	参加者の満足度	施設利用者満足度3.4点(4点満点中)	前年度162名前年度比84%	B	前年度に比べ参加者は減少してしまった。参加者の障害は様々であるが、講師と調整し、本人の障害特性、レベルに合わせた事業実施に努めた。	広める方向で継続		障害のある方、無い方が共通の目的で集まり、障害の有無を超えて関係性を築きあげている。	78	65	78	障害者福祉課
377		講座・教室	教養的なもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	ハーモニーの夕べ	市民と障害者の「ふれあいの場」として行い、障害者福祉に対する理解を深めると共に、正しい発声と唱歌の技術を身につけ、日本の四季を折り込んだ心に沁みる歌をうたうことで、生活の一部として豊かな音楽性を学ぶ。	どなたでも	29	351	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度343名前年度比102%	B	前年度に比べ参加者は増加。障害の有無に囚われず、歌を通して、コミュニケーションを図ることができた。	広める方向で継続		障害のある方、無い方が共通の目的で集まり、障害の有無を超えて関係性を築きあげている。	264	242	264	障害者福祉課
378		講座・教室	教養的なもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	中途失聴・難聴者のための手話講習会	中途で失聴した人や難聴者がコミュニケーションの一手段として手話を習得し生活の中で生かしていく	障害者	69	731	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度841名前年度比86%今年度1クラス増設（初級）	B	前年度に比べ参加者は減少してしまった。講師と調整し、手話によるコミュニケーション方法の習得に加え、生活上の不安や悩みについても相談できる環境整備に努めた。	休止	新型コロナウイルスの感染拡大により、講師および会場の確保が出来ないと判断したため	繰り返し受講することが可能な講座であり、受講生は継続的に学習に励んでいる。手話を学ぶことが目的の講座であるが、同障害者との交流、仲間作りにも大きな役割を果たしている。	876	985	1,142	障害者福祉課
379		講座・教室	教養的なもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	見えにくくなった方の学習	中途で視覚に障害を負った方を主な対象として、点字の学習、歩行訓練、ADL訓練を行い、日常生活の向上を図る	障害者	29	457	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度499名前年度比91%	B	前年度に比べ参加者は減少してしまったが、継続的に点字の学習を希望する受講生の声に応えた。	広める方向で継続		中途視覚障害者の方を対象に点字・歩行・生活福祉情報の提供を行なった。外部から歩行訓練士を講師にお呼びし、白杖の使い方等のご指導をいただいた。	463	393	433	障害者福祉課
380		講座・教室	インターネットに関するもの・情報	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	パソコン・タブレット教室	障害者の情報収集手段としてITの有効活用が望まれており、これにより障害者の情報不足が改善されるものと考えられる。障害者の生活の質の向上、就労支援を目指す	障害者	41	706	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度725名前年度比97%	B	前年度に比べ参加者は減少してしまったが、IT機器の活用方法を知りたいという障害者のニーズに対応できた。利用者からも好評であった。	広める方向で継続		パソコンの技術向上を目的に、基礎的な内容から応用的な内容にを変更して実施した(プログラミングやパワーポイントなど)。	1,164	1,046	1,164	障害者福祉課
381		イベント等	社会貢献活動	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	福祉講演会	講演会や映画上映会などを通して、障害者の福祉に貢献をしている方々を講演者として招き、障害者福祉の向上に寄与する	どなたでも	1	35	指定管理者	応募者・参加者の人数	45	前年度22名前年度比159%	B	日本語字幕、音声ガイド付きで映画上映を行い、障害者福祉の啓発に努めた。	休止	新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たないことから令和2年度は休止とする	聴覚、盲ろう、東日本大震災時の障害のある方のおかれた状況等に関する映画の上映を行なった。近場では観る事が出来ない映画ばかりで、来場者の皆様には大変好評だった。	79	54	79	障害者福祉課

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
382		各種相談	情報・インターネットに関するもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	パソコン訪問相談	障害者の情報収集手段としてITの有効活用が望まれており、これにより障害者の情報不足が改善されるものと考えられる。障害者の生活の質の向上、就労支援を目指す。 実施場所(心身障害者福祉センター)への来所が困難な障害者に対応し、ご自宅へ訪問する。	八王子市心身障害者福祉センターへの来所が困難な障害者	9	25	指定管理者	0	0	前年度18名前年度比138%	A	来所が困難な方のご自宅等へ伺っての本事業は、利用者にとって必要であり、また満足度が高い。	広める方向で継続		視覚障害、難病指定の疾患をお持ちの方のご自宅に訪問するなど、依頼者の状況に合わせた丁寧な対応が出来た。	84	45	84	障害者福祉課
383		イベント等	趣味的なもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	ふれあいコンサート	「障害者週間」のイベントとして、障害者の音楽愛好家の発表の場として、また一般からの参加も促し、広く交流することで障害者福祉の啓発を図る	障害者	1	125	指定管理者	応募者・参加者の人数	132	前年度110名前年度比113%	B	前年度に比べ参加者は増加。音楽愛好家の障害者、福祉施設利用者、健常者等が出演し、音楽を通して交流を図った。	休止	新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たないことから令和2年度は休止とする	障害のある方、無い方が音楽を通じて交流することの出来る場となった。	35	35	35	障害者福祉課
384		イベント等	社会貢献活動	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	夕涼み会	すぎな愛育園と共催で実施、それぞれの施設の事業と障害者福祉に果たす役割を地域に伝え、障害児・者を交えて交流を図る	どなたでも	1	392	指定管理者	応募者・参加者の人数	440	前年度365名前年度比107%	B	前年度に比べ参加者は増加した。天候にも恵まれ、大変好評であった。	休止	地域住民の皆様、心障センター、すぎな愛育園の利用者が多く参加されるため、密の状況が避けられないと判断し、令和2年度は休止とする	地域にお住まいの皆様にも広くご参加いただき、センターの活動を知っていただく良い機会となった。	40	44	40	障害者福祉課
385		イベント等	社会貢献活動	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	障害者作業所等作品展示即売会	市内作業所等の作品を展示・紹介をしながら福祉作業所等について理解を深めてもらう。また、施設で製作されたお菓子や小物の販売も行う。	どなたでも	1	-	指定管理者	協働事業の推進	障害者施設、ボランティア団体との協力により事業周知をはかり、来場者数の増大を図る	予定通り実施(13日間)	B	開催が毎年楽しみという、市民が多数いる。出店施設の作品も多様である。	休止	焼き菓子等の食品が多数出品される頒布会であり、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、更なる衛生管理の徹底が求められたことから、令和2年度は休止とした	センター利用者の皆様が毎年楽しみにしている行事であり、例年約30の市内福祉施設から出展申し込みをいただいている。売り上げは施設に分配し、弁償金は精算後日本赤十字社に寄付している。	0	0	0	障害者福祉課
386		イベント等	教養的なもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	障害者文化展	障害当事者に対し作品発表の機会を提供すると共に、広く障害者福祉の啓発につなげる。また賞を贈り、今後の創作を奨励する	障害者	1	707	指定管理者	応募者・参加者の人数	660	前年度618名前年度比114%	B	前年度に比べ参加者は増加。出展作品は学園都市センターにて5日間展示し、707名が来場した。	休止	新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たないことから令和2年度は休止とする	学園都市センターを会場に、約1週間展示する。令和元年度は200点を超える作品が集まり、障害者の方が制作された芸術作品に対する関心が高まっていると感じる。	136	131	139	障害者福祉課
387		イベント等	健康・スポーツ	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	プール開放	プールを一日開放し、盛夏のひとときを楽しく過ごし、心身障害者(児)およびその介助者等の交流を深める。	障害者	1	130	市単独	応募者・参加者の人数	165	78.8%	B	目標に比べ、参加者は減少となった。毎年楽しみにしている障害者が多く、「来年も楽しみにしている」「続けてほしい」との声が多数挙がっている。	休止	プール内や着替えなどは特に介助が必要であり、ソーシャルディスタンスを保てない状況が考えられるため、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、令和2年度は休止とする	継続的に実施することを望まれている事業でもあり、また実際に毎年多くの方が参加されている。 障害者施設はもとより、施設には通所していない障害者にも認知が広がっている。	7	7	7	障害者福祉課

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
388		イベント等	健康・スポーツ	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	ふれあい運動会	障害者と市民との交流を通して、障害に関する理解を促進する。	障害者	1	1,200	指定管理者	応募者・参加者の人数	1,320	約1200名	B	多くの障害者、ボランティアが参加し、目標を上回った。平成29年度からエスフォルタアリーナでの開催となっているが、雨天の心配がなく安心という声もあった。	休止	新型コロナウイルス感染拡大により、開催条件が厳しく、延期や会場変更の見通しが立たないため、令和2年度は休止とした	実施会場を、富士森陸上競技場からエスフォルタアリーナに変更して行なった。市内福祉施設の職員を中心に構成された実行委員が、会議を重ね実施準備を進める。	400	400	400	障害者福祉課
389		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	日本語ボランティア養成講座	外国人市民の日本語学習支援のための支援者を要請する。	日本語ボランティア希望者・活動者	3	60	委託	応募者・参加者の人数	参加者数延45人	60人	B	参加者数が目標を上回ったほか、講座修了者の多くを日本語ボランティアへの参画につなげることができた。	高める方向で継続		5年間継続して満足度の高い講座を実施し、日本語ボランティアを育成することができたため、外国人市民への日本語学習の機会の提供につながった。	404	475	469	多文化共生推進課
390		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	学習支援事業	学習支援指導者等に対し、基本的な知識の習得及び指導力の向上に資するために研修会を実施する。	学習支援指導者等	1	68人	委託	応募者・参加者の人数	参加者数30人	68人	B	目標の倍以上の人数が研修に参加し、多くの方の基本的な知識、指導力のレベルアップを図ることができた。	高める方向で継続		5年間継続して満足度の高い講座を実施し、学習支援者の基本的な知識、指導力のレベルアップを図るとができたため、質の高い学習機会を提供できるようになった。	94	92	103	多文化共生推進課
391		講座・教室	健康・スポーツ	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	障害者のための教室（きらきら）	障害者の生きがいと社会参加を促進する。	障害者	1	53	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	アンケート集計結果による満足度100%	B	目標値を達成 参加者の社会参加への意欲を高めることができた。新規参加者が少なく、周知方法を見直した。	広める方向で継続		参加者の満足度は高く、社会参加への機会となっている。	174	130	174	東浅川保健福祉センター
392		講座・教室	健康・スポーツ	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	トリム体操	障害者の生きがいづくりと社会参加を促進する。	障害者	23	延べ1,711人	市単独	参加者の満足度	継続して利用したい団体の割合80%	継続して利用したい団体の割合90%	B	目標値を達成 新型コロナ感染拡大防止のため、1回は中止となった。	休止	コロナ感染症拡大防止対策に伴いR2年度休止	ほとんどの団体が教室継続利用を希望している。	180	150	204	東浅川保健福祉センター
393		講座・教室	教養的なもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	図画工作（知的障害者・児教室）	絵画・工作を通して仲間づくりとコミュニケーションを図り、知的障害者・児の生きがいと自立支援を促進する。	愛の手帳をお持ちで6歳以上の方	7	19	市単独	参加者の満足度	障害を持つ方々の地域参加と自立支援を促す。	19人 7回	B	参加者及び保護者の満足度も高く、例年リピーターの参加者が多くみられる。 参加者の生きがいづくりに寄与している事業で、9月に開催するセンターまつりでは、作品の発表の機会を設けており、来館者から高い評価を得ている。	休止	コロナ感染防止のため	障害をお持ちの方々の社会参加の機会となり、保護者からも例年開催に関しての問い合わせが多く、事業開催が期待されている事業である。	94	46	97	南大沢保健福祉センター
394		講座・教室	健康・スポーツ	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	ぶるーむ（身体障害者運動教室）	運動を通して仲間づくりとコミュニケーションを図り、障害者の生きがいと自立支援を促進する。	障害者	32	124	市単独	参加者の満足度	障害を持つ方々の地域参加と自立支援を促す。	コロナウィルスの影響でアンケート実施できずであったが、概ねの参加者から満足との声あり。	B	目標値を達成したため、継続して実施する。	広める方向で継続		参加者の入れ替わりが年1-2回となっているが、仲間づくりとコミュニケーションの場として機能している。	180	160	180	南大沢保健福祉センター

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
395		講座・教室	教養的なもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	リズム(知的障害者教室)	音楽療法を通して仲間づくりとコミュニケーションを図り、知的障害者・児の生きがいと自立支援を促進する。	愛の手帳をお持ちで18～40歳の方	10	17	市単独	参加者の満足度	障害を持つ方々の地域参加と自立支援を促す。	17名 10回	B	参加者及び保護者の満足度も高く、例年リピーターの参加者が多くみられる。 参加者の生きがいづくりに寄与している事業で、9月に開催するセンターまつりでは、舞台での成果発表の機会を設けており、来館者に感動を与えている。	休止	コロナ感染防止のため	障害をお持ちの方々の社会参加の機会となり、保護者からも例年開催に関しての問い合わせが多く、事業開催が期待されている事業である。	110	100	110	南大沢保健福祉センター
396	◎	講座・教室	教養的なもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	外国人介護従事者等に対する日本語学習支援事業	市内介護事業所に就労している、又は就労する意欲のある在日外国人等に対し、日本語教室を実施する。	外国人	27（春期:12、秋期:17）	春期:40人 秋期:47人	委託	応募者・参加者の人数	参加者30人	参加者87人（春期:40人 秋期:47人）	A	参加者が87人であった。加えて、受講後のアンケートの回答でも、「とても向上した」「少し向上した」と回答した方が100%を達成した。	広める方向で継続		令和元年度からの取組であるが、市内大学への周知や外国人向け情報誌「Ginkgo」に掲載など、多方面に周知することで、目標以上の参加者数となった。	2,800	2,800	2,800	高齢者いきいき課
397		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	男女共同参画週間記念講演会	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講演会	どなたでも	1	158人	市単独	参加者の満足度	市民に男女共同参画について啓発する	158人	B	参加者が158人であり、目標を達成できなかったものの、アンケート集計結果における満足度は91%を達成した。	高める方向で継続		社会問題・市民生活にかかわるテーマの講演会を開催し、広く市民に男女共同参画について啓発した。	49	195	125	男女共同参画課
398		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	「女性に対する暴力をなくす運動」講演会	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講演会	どなたでも	1	31人	市単独	参加者の満足度	市民に男女共同参画及びDVについて啓発する	31人	B	参加者が31人であり、目標を達成できなかったものの、アンケート集計結果における満足度は85%を達成した。	高める方向で継続		社会問題・市民生活にかかわるテーマの講演会を開催し、広く市民に男女共同参画について啓発した。	38	27	98	男女共同参画課
399		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	男女共同参画の啓発	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講座	どなたでも	3	110人	市単独	参加者の満足度	市民に男女共同参画について啓発する	110人	B	参加者が110人であり、目標を達成できなかったものの、アンケート集計結果における満足度96%を達成した。	高める方向で継続		社会問題・市民生活にかかわるテーマの講座を開催し、広く市民に男女共同参画について啓発した。	193	116	159	男女共同参画課
400		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	DVの啓発	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講座	DVの被害から離れて暮らしている女性	6	26人	市単独	参加者の満足度	市民に男女共同参画及びDVについて啓発する	26人	B	参加者が26人であり、目標を達成できなかったものの、アンケート集計結果における満足度は100%を達成した。	高める方向で継続		社会問題・市民生活にかかわるテーマの講座を開催し、広く市民に男女共同参画について啓発した。	182	138	308	男女共同参画課
401		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	健康・メディア	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講座	どなたでも・親子・保護者	3	94人	市単独	参加者の満足度	市民に男女共同参画について啓発する	94人	B	参加者が94人であり、目標を達成できなかったものの、アンケート集計結果における満足度は96%を達成した。	高める方向で継続		社会問題・市民生活にかかわるテーマの講座を開催し、広く市民に男女共同参画について啓発した。	141	52	165	男女共同参画課
402		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	ワーク・ライフ・バランスの啓発	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講座	どなたでも・高齢者・親子	3	81人	市単独	参加者の満足度	市民に男女共同参画及びワーク・ライフ・バランスについて啓発する	81人	B	参加者が81人であり、目標を達成できなかったものの、アンケート集計結果における満足度は96%を達成した。	高める方向で継続		社会問題・市民生活にかかわるテーマの講座を開催し、広く市民に男女共同参画について啓発した。	166	65	127	男女共同参画課

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
403		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	就労支援	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講座	どなたでも	7	206人	市単独	参加者の満足度	市民に男女共同参画について啓発する	206人	B	参加者が206人であり、目標を達成できなかったものの、アンケート集計結果における満足度は96%を達成した。	高める方向で継続		社会問題・市民生活にかかわるテーマの講座を開催し、広く市民に男女共同参画について啓発した。	419	198	308	男女共同参画課
404		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	市民団体による講座	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講座	－	－	－	－	協働事業の推進	市民団体が主体となり、市民に男女共同参画について啓発する	－	評価なし	講座の企画・運営を担う市民団体の募集を行ったが、応募がなく未実施のため評価しない。	高める方向で継続		企画・運営を市民団体が主体的に担う講座を開催し、協働事業の推進につとめた。	48	0	0	男女共同参画課
405		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	「チャレンジ企画」支援事業	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講座	親子・保護者	1	30名	補助	協働事業の推進	市民団体が主体となり、市民に男女共同参画について啓発する	30人	B	参加者が30人であり、目標を達成できなかったものの、アンケート集計結果における満足度は89%を達成した。	高める方向で継続		企画・運営を市民団体が主体的に担う講座を開催し、協働事業の推進につとめた。	32	16	16	男女共同参画課
406		情報提供※環境整備	社会問題・市民生活に関するもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	男女共同参画情報紙「ぱれっと」の発行	男女共同参画に関する認識や理解を深めるための情報を提供	どなたでも	1	－	市単独	男女共同参画についての啓発	「ぱれっと」を通して、市民に男女共同参画について啓発する	男女共同参画情報紙「ぱれっと」の発行を通して、広く市民に男女共同参画に関する認識や理解を深めるための情報を提供した。	B	広報はちおうじに折り込み、282,495部を発行した。広く市民に男女共同参画に関する認識や理解を深めるための情報を提供した。	高める方向で継続		社会問題・市民生活にかかわるテーマを特集し、男女共同参画について広く啓発した。	1,342	1,355	1,372	男女共同参画課
407		情報提供※環境整備	社会問題・市民生活に関するもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	「男女共同参画センターだより」の発行	男女共同参画に関する認識や理解を深めるための情報を提供	どなたでも	3	－	市単独	男女共同参画についての啓発	「センターだより」を通して、市民に男女共同参画について啓発する	「男女共同参画センターだより」の発行を通して広く市民に男女共同参画に関する認識や理解を深めるための情報を提供した。	B	講座の参加者や託児利用者に配布するなどし、広く市民に男女共同参画に関する認識や理解を深めるための情報を提供した。	高める方向で継続		社会問題・市民生活にかかわるテーマを特集し、男女共同参画について広く啓発した。	－	－	－	男女共同参画課
408		その他	社会問題・市民生活に関するもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	学習支援のための託児	育児中の市民等の学習支援として、満1歳～未就学児の託児サービスを提供し、特に女性の社会参画の促進を図る。	親子・保護者	243	576人（保護者）	市単独	乳幼児を育児中の保護者の学習機会を拡充	乳幼児を育児中の保護者の学習機会を拡充	576人（保護者）	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から図書館及び生涯学習センター利用者による託児の利用が減少し、目標を達成することができなかったものの、平均2.4人/回の保護者の利用があり、乳幼児を育児中の保護者の学習機会を拡充した。	広める方向で継続		乳幼児を育児中の保護者の学習機会を拡充した。	6,793	6,341	7,429	男女共同参画課
409		イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	第29回女と男のいきいきフォーラム八王子	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すためのフォーラム	成人・親子	1	44人	補助	協働事業の推進	市民に男女共同参画について啓発する	44人	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から映画会を実施することができず、目標を達成できなかったものの実施した2講座におけるアンケート集計結果の満足度は98%を達成した。	高める方向で継続		企画・運営は、原則市民により構成されている実行委員会が主体的に担い、協働事業の推進につとめた。	289	135	289	男女共同参画課（女と男のいきいきフォーラム八王子実行委員会）

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
410		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	生涯学習コーディネーター養成講座	市民の生涯学習活動を支援する人材を養成する。	どなたでも	1	11	共催	参加者の満足度	受講者が満足する講座を提供し、また生涯学習活動支援への意欲を高める。	修了者9名中、「やや満足」「満足」が計7名	B	ほぼ全ての受講者に満足度の高い講座を提供できた。	広める方向で継続		5年間で計80人の受講者に対し「生涯学習コーディネーター」として必要な知識・技能の教示できた。	82	81	82	生涯学習政策課
411		講座・教室	社会貢献活動	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	里山サポーター育成講座	戸吹第二最終処分場用地を、環境意識啓発の学習の場として活用し、環境保全活動に携わる人材育成を行う。	どなたでも	9	15	委託	協働事業の推進	講座修了者の里山保全活動の継続	環境保全団体新規加入者6人 フォロー講座2回、ステップアップ講座1回実施	A	修了者向けのフォロー講座を2回、ステップアップ講座を1回実施し、里山保全活動の継続を促した。来年度も修了者向けの講座を開催し修了生の更なる技術向上を図る。	広める方向で継続		62人の受講生が修了し、里山サポーターとして市内の緑地で里山保全活動を行っている。	1,788	1,788	1,615	環境政策課
412		その他	育児・教育	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	あったかホール職場体験	館内施設スタッフの就業体験を通じて、働く事の意義や尊さを学び、社会性、協調性を養う場を提供する。	中学生等	8	28	指定管理者	応募者・参加者の人数	40人	28%	B	あったかホールにおける接客を通して社会経験を積んでもらうとともに、施設に対する愛着を持ってもらうことができた。令和5年以降のあったかホールの存廃が決まっておらずさらなる拡充が見通せないため、現状の規模で継続する。	高める方向で継続		将来必要な社会経験を養う貴重な機会を提供できた。	－	－	－	北野清掃工場
413		講座・教室	社会貢献活動	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	はちおうじ志民塾	これから定年される方や定年を迎えた方を対象に、退職後地域で活動するきっかけづくりとする。	概ね50歳以上の方	1	22	委託	応募者・参加者の人数	25人	22	B	目標参加者数は、下回ったため。 事業実施にあたり、広く周知を図る。	広める方向で継続		参加者からは、好評の評価を得ており、その後の市民活動につながっている。	3,779	3,765	3,770	協働推進課
414		イベント等	社会貢献活動	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	お父さんお帰りなさいパーティー	主にシニア世代を対象に、市民活動に関する講演や団体の紹介を行うなど、地域での活動に参加するきっかけづくりとする。	どなたでも	0	0	実行委員会	参加者のうち、興味を持った団体があった人数	100人	－	C	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となった。	広める方向で継続		地域活動を探す目的で実施するイベントで、例年多くの参加者があった。令和元年度は中止となったが、継続実施とする。	200	180	200	協働推進課（八王子市民活動協議会、市民活動団体等）
415		講座・教室	社会貢献活動	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	サタデーパークボランティア	幅広い世代を対象に里山の管理体験を経験してもらい、みどりの保全管理技術の習得を目指す。	成人	20	延べ142	指定管理者	協働事業の推進	市民との協働を通じて、里山管理の課題を共有する市民を育成すること。	達成度80%	B	ボランティアは最大12名登録しているが、各活動平均7名の参加があった。参加者は自身の活動場所や環境保全活動を行い、当プログラムで学ぶ管理ノウハウを生かしていると聞く。事業目標である技術の習得及び市民の育成という面で成果が得られたといえる。来年度は満足度100%を目指す。	高める方向で継続		環境保全管理技術の習得及び人材育成を行うことで他のフィールドの保全の促進に繋がった。さらに教育機関や他の環境保全団体との連携を図り、地域一体で課題共有の意識を高めることができた。	2	30	30	公園課（ひとまちみどり由木）
416		イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	交通安全市民の集い	全国交通安全運動の一環として開催し、交通安全意識の高揚を図るとともに、交通事故防止を図る。	どなたでも	1	参加者数800人	共催	協働事業の推進	前年度以上の参加者とする（前年度実績値600人）	参加者800人	B	交通安全協会及び警察署と協働して開催することで、高齢者の事故など最近の交通事故状況が共有でき、その対策を集い参加者をはじめ多くの市民に伝えることができた。	広める方向で継続		協働してイベントを開催することで、最近の交通事故状況を把握し、共有することにより、交通安全活動に生かすことができ、多くの市民に事故防止対策を発信することができた。	153	153	160	交通事業課

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
417		講座・教室	社会貢献活動	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	中級手話講習会	手話ボランティア養成	成人	34	876名 修了者 25名	指定管理者	修了者の人数（70%以上の出席で修了）	前年度の修了者数の95%以上の修了者数	前年度修了者 17名 前年度比 147%	B	地域の手話ボランティアを増やすため実施した。受講者からは好評で、続けて受講したいとの声があった。	休止	新型コロナウイルスの感染拡大により、講師および授業時間数の確保が出来ないと判断したため	保健福祉センターでの学習を終えた受講生等が申し込みをされ、毎年25名程の受講生が参加されている。iPadや大型モニターを活用し、効果的な学習方法を、講師からの提案を参考に検討してきた。	537	537	537	障害者福祉課
418		講座・教室	社会貢献活動	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	手話通訳者養成講座入門	手話通訳者を目指すボランティア養成	成人	68	1175名 修了者 29名	指定管理者	修了者の人数（70%以上の出席で修了）	前年度の修了者数の95%以上の修了者数	前年度修了者 46名 前年度比 63%	B	昨年度に比べ、修了者は減少した。理由としては、受講者の仕事の都合や引っ越しなどが理由で、途中で受講を辞めざるを得ない方が複数名いたためである。	休止	新型コロナウイルスの感染拡大により、講師および授業時間数の確保が出来ないと判断したため	地域の手話通訳者を目指すクラスであり、講座内容のレベルも高くなる。そのため、受講生のサポートや講師からの要望に応える努力をしてきた。	700	700	700	障害者福祉課
419		講座・教室	社会貢献活動	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	手話通訳者養成講座	手話通訳者統一試験合格を目指す方のための講座	手話通訳者養成入門修了者であり、選考試験に合格した人	30	336名 修了者 9名	指定管理者	修了者の人数（70%以上の出席で修了）	前年度の修了者数の95%以上の修了者数	前年度修了者 7名 前年度比 128%	B	前年より2名多い修了者がおり、手話通訳者統一試験の合格者も輩出した。	休止	新型コロナウイルスの感染拡大により、講師および授業時間数の確保が出来ないと判断したため	市内手話講習会の最上級クラスであり、全国手話統一試験の合格を目指す内容になっている。例年受講生の約1/3が合格しており、地域の手話通訳者として市に登録している。	285	285	285	障害者福祉課
420		講座・教室	社会貢献活動	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	点字講習会	視覚障害者への理解を深め、視覚障害者のための点字本等の製作の要望に応えられるボランティアを養成する(昼の部と夜の部あり)	成人	60	485名 修了者 15名	指定管理者	修了者の人数（70%以上の出席で修了）	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度修了者 7名 前年度比 128%	B	前年を上回る方が受講、修了した。	広める方向で継続		受講者数の減少が続き、講座内容の再編などが必要だと感じている。点字を読む・書く視覚障害者の方が減っている現状はあるが、一方点字発行物を必要としている方もいらっしゃるため、講座は継続して実施していきたい。	986	986	986	障害者福祉課
421		講座・教室	社会貢献活動	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	音訳講習会（初級）	視覚障害者が利用する録音図書や対面朗読で対応できる朗読ボランティアの養成（初級と中級を隔年で実施）	成人	―	―	指定管理者	修了者の人数（70%以上の出席で修了）	前年度の修了者数の95%以上の修了者数	―	B	市内の音訳サークルの協力のもと、講習会を実施した。	休止	初級・中級隔年実施のため	-	0	0	97	障害者福祉課
422		講座・教室	社会貢献活動	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	音訳講習会（中級）	視覚障害者が利用する録音図書や対面朗読で対応できる朗読ボランティアの養成（初級と中級を隔年で実施）	成人	7	67名 修了者9名	指定管理者	修了者の人数（70%以上の出席で修了）	前年度の修了者数の95%以上の修了者数	前年度初級コース実施	評価なし	音訳講習会の初級と中級を隔年で実施。令和元年度は初級を開講したため、中級は実施せず。	休止	新型コロナウイルスの感染拡大により、講師および会場の確保が出来ないと判断したため	都内の複数の図書館で音訳講習会の講師を担当する技術力の高い講師をお迎えし、実施した。近場でレベルの高い講義を受けられると受講生の皆様からは大変好評であった。	120	136	―	障害者福祉課
423		講座・教室	社会貢献活動	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	要約筆記者養成講習会	手話を使えない中途失聴・難聴者の通訳手段である要約筆記技術の習得	成人	40	492名 修了者10名	指定管理者	修了者の人数（70%以上の出席で修了）	前年度の修了者数の95%以上の修了者数	前年度実績　なし	B	二カ年にわたる講座のため、目標値に対する実績が出ないが、他自治体からも問合せがあるほど、高評価の講座である。	休止	新型コロナウイルスの感染拡大により、講師および授業時間数の確保が出来ないと判断したため	全国同日日に行なわれる「要約筆記者全国認定統一試験」を当センターで実施するなど、養成から登録までのプロセスを市内で行うことが可能となっていることは、受講生にとっても大きなメリットであると感じる。	1,333	1,451	1,550	障害者福祉課

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
424		講座・教室	社会貢献活動	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	盲ろう通訳者･介助者養成講座	盲ろう通訳介助者の養成	成人	7	42	指定管理者	応募者･参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度28名前年度比150%	B	昨年度に比べ、参加者が増加した。盲ろう者支援者養成のための重要な講習となっている。	広める方向で継続		盲ろう者の方とのコミュニケーション手段は複数あるが、八王子では「指点字」「ローマ字式指文字」の講座を実施した。今後は講座修了者の活躍の場を提供することが必要だと感じている。	633	534	633	障害者福祉課
425		講座・教室	社会貢献活動	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	初級手話講習会（夜間）	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進。	どなたでも	34	46	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	アンケート集計結果による満足度91%	B	目標値を達成	休止	コロナ感染症拡大防止対策に伴いR2年度休止	アンケートを実施し、満足度調査をする。	537	537	537	東浅川保健福祉センター
426		講座・教室	社会貢献活動	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	中級手話講習会	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進。	どなたでも	34	28	市単独	修了者の人数（70%以上の出席で修了）	前年度の修了者数の95%以上の修了者数	アンケート集計結果による満足度87%	B	目標値を達成	休止	コロナ感染症拡大防止対策に伴いR2年度休止	アンケートを実施し、満足度調査をする。	537	537	537	東浅川保健福祉センター
427		その他	教養的なもの	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	八王子城跡ガイドボランティア	郷土の歴史を学んだ市民に実践の場を提供し、郷土愛の醸成を図るとともに、市民との協働による史跡の活用を行う。	どなたでも	ー	4,910	共催	協働事業の推進	案内人数5,000人	案内人数4,910人	B	今年度は自然災害や復旧工事等の影響を受け、ガイド実施日数･案内人数が昨年度を下回る結果となったが、6月に実施した八王子城跡まつりをはじめ各講座等においてもガイドが主となり活躍する機会が増えたことによりガイド活動のさらなる展開と周知に手ごたえを感じている。	高める方向で継続		令和元年度(2019年度)4月より、新たに加入した4期ガイドの5名が活動を開始した。先輩ガイドとの連携を図り、積極的に活動されている。4期生のなかには地方の来場者から指名をいただいたり、来場者の年齢層を問わずガイドに対する評価が高い。	13	10	10	文化財課
428		その他	教養的なもの	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	ガイドボランティアによる自主事業	ガイドボランティアが中心となり、館内展示･イベントの充実を図る。	どなたでも	14	324	市単独	協働事業の推進	ボランティアとの協働事業を増やす	ボランティアにより多くの活動の場を提供した。	B	ボランティアの有志が結成している紙芝居団体が館内及び出張し日々の活動で得た知識やスキルを発揮して八王子の歴史について紙芝居の上演を行った。	広める方向で継続		ボランティア有志による「氏照年表」の作成(H27)、紙芝居「北条氏照」「大久保長安」の作成(R1新作作成中)、その他、展示手伝いを行った。	0	0	0	文化財課（郷土資料館）
429		講座・教室	社会貢献活動	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	地域防犯リーダー養成講習会（フォローアップ研修会）	地域の防犯活動の充実	成人	2	本講習：71 フォロー：21	委託	応募者･参加者の人数	町会等当たりの平均防犯リーダー数がH34年までに3人	1町会あたりのリーダー数2.1人(2019年開催終了時)	A	防犯に関する基礎的知識を学び、防犯リーダーとして地域で防犯活動を広めるためのノウハウを習得できたため。	高める方向で継続		5年間で420名の防犯リーダーを養成した。近年の犯罪発生被害発生件数の減少は、地域の防犯活動の高まりによるものであり、防犯リーダーの役割は大きい。引き続き、地域の防犯力向上を図るため、本講習会を継続する。	477	384	510	防犯課
430		講座・教室	社会貢献活動	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	音訳講習会	音訳ボランティアの養成及び視覚障害者に対する理解の促進を図る。	市内在住･在勤･在学者	13	12	市単独	参加者の満足度	音訳ボランティアの養成及び視覚障害者に対する理解の促進を図る。	12人 13回 満足と回答した人58%	B	募集人数16名に対し、12名の参加であった。今後は広報での周知方法の改善の必要もあると思われる。	休止	コロナ感染防止のため	視覚障害者向けの音訳を行うボランティアを育成することを目的に実施しており、修了後は音訳活動を行う市民団体に参画するなどで、ボランティアを多く輩出しており、障害者団体からも開催が期待されている事業である。	124	124	124	南大沢保健福祉センター

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
431		講座・教室	社会貢献活動	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	初級手話講習会	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進を図る。	・高齢者（60歳以上） ・障害者	34	19	市単独	参加者の満足度	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進を図る。	19名 34回	B	募集人数48名に対し、19名の参加であった。 今後は広報での周知方法の改善の必要もあると思われる。	休止	コロナ感染防止のため	聴覚障害者向けの手話通訳を行うボランティアを育成することを目的に実施しており、修了後は手話活動を行う市民団体に参画するなどで、ボランティアを多く輩出しており、障害者団体からも開催が期待されている事業である。	537	537	537	南大沢保健福祉センター

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
432		講座・教室	社会貢献活動	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	中級手話講習会	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進を図る。	市内在住・在勤・在学者	34	17	市単独	修了者の人数（70%以上の出席で修了）	前年度の修了者数の95%以上の修了者数	17人 34回	B	募集人数24名に対し、17名の参加であった。今後は広報での周知方法の改善の必要もあると思われる。前年度の修了者数17名に対し、今年度の修了者数は11名であった。	休止	コロナ感染防止のため	聴覚障害者向けの手話通訳を行うボランティアを育成することを目的に実施しており、修了後は手話活動を行う市民団体に参画するなどで、ボランティアを多く輩出しており、障害者団体からも開催が期待されている事業である。	350	350	350	南大沢保健福祉センター
433		講座・教室	教養的なもの	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	コミュニティ講座	地域住民の交流の場づくり、地域コミュニティの育成を図る。	成人	4	218	補助	応募者・参加者の人数	前年度より参加人数を増やす	4回 218人	C	3月に実施予定であった2講座が、コロナウィルス感染拡大防止により中止となった。なお、中止となった講座については、令和2年度に実施する予定のため、参加人数も増となる見込み。	広める方向で継続		引き続き住民協議会と連携を図り、地域コミュニティの育成を図る。	216	184	216	協働推進課（学園都市文化ふれあい財団）
434		イベント等	教養的なもの	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	各地域住民協議会運営助成	センターまつり等を通じ、コミュニティ活動の育成・活性化を目指す。	どなたでも	18	103,628	補助	応募者・参加者の人数	17協議会 90,000人	18センター 103,628人	A	10月の台風や3月のコロナウィルス感染拡大防止のため、中止した催しがあったが、目標値より上回ることができた。	広める方向で継続		引き続き住民協議会と連携を図り、地域住民との交流の場をつくり、交流促進を目指す。	14,794	14,794	14,794	協働推進課（各地域住民協議会）
435		講座・教室	教養的なもの	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	地区図書室運営事業	地域の住民参加により、読書活動と地域住民の交流促進を目指す。	どなたでも	ー	ー	補助	応募者・参加者の人数	前年度より参加人数を増やす。	36,964人	C	年度前半はほぼ前年並みの利用者数を維持したが、後半は徐々に落ち込み、新型コロナウィルス感染拡大防止に伴う利用休止や休室により大幅な減少となった。	広める方向で継続		図書館の分室化が進む中、小規模な地区図書室の利用者数を増やすための工夫や取り組みにより、子どもから高齢者まで地域の人に親しまれ、読書活動の推進に貢献した。	14,145	14,145	12,994	協働推進課（各地域住民協議会等）
436		イベント等	社会貢献活動	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	市民活動実践講座	市民活動に対する理解を深め、市民活動を促進する。	どなたでも	1	72	指定管理者	応募者・参加者の人数	50人	72	A	目標参加者を上回り、参加者から好評を得た。引き続き、市民活動団体、市民を対象に団体活動のスキルアップと市民活動への理解と関心を高める。	高める方向で継続		講座のテーマにより集客数は異なるが、参加者からは公表を得ており、継続実施とする。	指定管理料の中で実施	指定管理料の中で実施	指定管理料の中で実施	協働推進課(市民活動支援センター)
437		イベント等	社会貢献活動	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	市民活動入門講座(アクティブ市民塾)	市民活動に対する理解を深め、市民活動を促進する。	どなたでも	6	180	指定管理者	応募者・参加者の人数	150	180	A	目標参加者を上回り、参加者から好評を得た。引き続き、市内で活動する市民活動団体を紹介し、市民活動に対する理解を深める。	広める方向で継続		例年、多数の参加者がある事業であり、市民活動団体の周知、市民への市民活動への理解につながっている。	指定管理料の中で実施	指定管理料の中で実施	指定管理料の中で実施	協働推進課(市民活動支援センター)
438		イベント等	社会貢献活動	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	市民活動支援講座	市民活動に対する理解を深め、市民活動を促進する。	どなたでも	2	44	指定管理者	その他	受講者のレベルアップを図る	受講者のレベルアップを図った	A	市民活動団体のニーズに応えた講座開催により、団体のレベルアップが図られた。	高める方向で継続		団体からの要望も踏まえた講座を開催しており、参加者から好評を得ている。	指定管理料の中で実施	指定管理料の中で実施	指定管理料の中で実施	協働推進課(市民活動支援センター)
439		講座・教室	社会貢献活動	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	災害ボランティアリーダー養成講座	災害ボランティアセンターの円滑な運営	どなたでも	1回	26人	補助	応募者・参加者の人数	町会・自治会へのPRを行う	26人（前年度88人）	評価なし	台風19号災害により災害ボランティアセンターを設置、運営したことにより全3回のうち2回分が中止になり、町会・自治会へのPRもできなかった。	高める方向で継続		台風19号の際、災害ボランティアリーダーの協力を得て災害ボランティアセンターを開設・運営することができた。講座を通じて訓練ができたことで、災害ボランティアセンターの円滑な運営という目標を達成できた。	71	83	81	福祉政策課（八王子市社会福祉協議会市民力支援課）
440		講座・教室	社会貢献活動	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	傾聴ボランティア講座	傾聴ボランティアの養成	どなたでも	5回	232人	補助	参加者の満足度	アンケート集計結果における「講座内容」について「よい」の回答90%以上	79.4%	C	アンケートにおいては、目標の90%以上を達成することはできなかったが、高齢者施設での活動希望者向けの講座を新設し、満足度の向上に向けて工夫した。	高める方向で継続		受講者のニーズに応えられるよう高齢者施設での活動希望者向けの講座を新設し、5年間で延べ1,150人以上の傾聴ボランティアの養成をすることができた。	478	382	594	福祉政策課（八王子市社会福祉協議会市民力支援課）

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
441		イベント等	社会貢献活動	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	市民センターまつり、いちょうまつり、福祉まつり、手作り作品展への参加	ボランティア活動をPRし、活動に対する市民の関心と参加を高める	どなたでも	4回	約600人	補助	応募者・参加者の人数	PRグッズを充実させる	ボランティアグループの手芸作品の作品展数を増やした	B	ボランティアグループの手芸作品の作品展数を増やし、PRに努め市民の関心を高めるということを達成した。ただ、台風19号や新型コロナウィルスの影響で回数は4回に留まってしまった。	高める方向で継続		年々、参加イベントを増やし、PRグッズを増やしたことで、ボランティア活動に対する市民の関心と参加を高めるという目標を達成した。	10	11	10	福祉政策課（八王子市社会福祉協議会市民力支援課）
442		講座・教室	社会貢献活動	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	精神保健福祉ボランティア講座	精神障害者を支援するボランティアの養成	どなたでも	2回	50人	補助	参加者の満足度	アンケート集計結果における「講座内容」について「よい」の回答90%以上	81.8%	C	全2回のうち1回は新型コロナウィルスの影響で講座途中回で中止となった。アンケートにおいては1回分のみの結果だが、目標の90%以上を達成することはできなかった。令和2年度は、基礎編とスキルアップ編に分けて実施し、満足度の向上に努めたい。	高める方向で継続		受講者ごとに、講座に期待する内容が異なり、十分に満足度を高めることができなかった。	176	100	125	福祉政策課（八王子市社会福祉協議会市民力支援課）
443		講座・教室	社会貢献活動	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	住民主体サービス担い手養成研修	地域の互助による生活支援を推進するため、その担い手となる住民を対象に、前提となる基礎知識等を習得する研修を実施することで、安心かつ信頼性のあるサービス提供を行うとともに、活動の周知や担い手の拡充を図る。	どなたでも	3	27	市単独	応募者・参加者の人数	・養成研修4回　40人 ・フォローアップ研修1回　100人	27	B	前年度受講者からの意見を参考に、プログラム内容の見直しを図った。経験の少ない担い手を対象に基礎知識の習得を目的とした活動者向け講座(3回)と互助意識の醸成を目的とした普及啓発講座(1回)を設定し、互助活動への参加や活動内容の充実を図った。(普及啓発講座は新型コロナウイルス感染拡大の観点から中止)	高める方向で継続		講座受講者へのアンケート等を参考に、プログラムの内容を見直しながら、地域の互助による生活支援を行ううえで必要な基礎知識の習得や自助･互助意識の醸成を行った。	765	82	677	高齢者福祉課
444		イベント等	社会貢献活動	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	地域包括ケアシステムシンポジウム	シンポジウムの開催を通じて地域の自助･互助による生活支援体制の必要性について普及啓発するとともに、住民の地域活動への参加意識の醸成を図り、地域包括ケアシステムを推進する。	どなたでも	1	112名	市単独	応募者・参加者の人数	1回　150名	112名	B	目標値を下回る参加者数であったが、アンケート結果から多くの参加者が内容に満足しており、地域包括ケアシステムの理解や自助･互助に関する意識の醸成につながった。	高める方向で継続		地域で活躍する住民や学生等にパネルディスカッションに登壇いただくことで、幅広い年代の意識醸成を図るとともに地域の自助･互助による生活支援体制の必要性について普及啓発を行った。	120	55	120	高齢者福祉課
445		イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	外国人のための防災訓練(立川防災館)	地震などの災害に不慣れな外国人に、防災訓練を体験し、災害への対応を身につける機会を提供する。	外国人	1	3人	市単独	応募者・参加者の人数	参加者数23人	3人	D	日本語学校や日本語教室等にも周知を図ったが、新型コロナウイルスに関する報道等の影響もあり、キャンセルが相次いだため参加者数が少なくなった。実施時期も含め、周知方法を検討していく。	広める方向で継続		毎年参加者数が少ない結果となった。近年、風水害などの災害が多く発生し、外国人への防災意識の啓発は重要と考えるため、実施時期や周知方法の見直しを図る必要がある。	0	0	0	多文化共生推進課
446		イベント等	趣味的なもの	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	第8回東京都高等学校吹奏楽の響演“響き渡る”	都内の高校を代表する吹奏楽団を有する街、八王子。その高校生達と協働して質の高い音楽公演の提供をする。	どなたでも	1	1.872名	指定管理者	参加者の満足度	80%以上	98.6%	A	工夫を凝らした事業を行い、目標を大きく上回る満足度となったため。 都内に限らず神奈川県、埼玉県、千葉県在住の参加者がいることから、人気の高さがうかがえる。 次年度も引き続き、質の高い事業を行う。	高める方向で継続		高校生たちの若さあふれる元気いっぱいの演奏で、毎年たくさんの方にご満足いただいている。次回の開催を期待される方も多く、「響き渡る」がオリンパスホール八王子の企画として定着している。	1,613	1,630	1,613	学園都市文化課（共立･NTTファシリティーズ共同事業体）
447		イベント等	育児・教育	3-②	学びの成果を活かす機会の充実	こども将棋大会	日本の伝統文化である「将棋」に親しみ、大会を通じてコミュニケーションや礼儀作法の修得など子どもたちの健全育成を図る。	子ども	1	125	共催	応募者・参加者の人数	128人	125 ※応募者数は131	A	各学校から集まった参加者と対局することにより、勝つ喜び、負けるくやしさ、相手を思いやる気持ちや礼儀作法を体得するとともに、伝統文化普及の一助を担った。	広める方向で継続		5年間で計657人のこども達(※)に日本の伝統文化である将棋に親しむ機会を提供することができた。 ※例年参加の重複者含む	484	475	510	生涯学習政策課

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
448		イベント等	趣味的なもの	3-②	学びの成果を活かす機会の充実	第16回生涯学習フェスティバル	市民が自ら学習活動を行うきっかけづくりと、学びあう交流の場を提供する。	どなたでも	1	3,883	共催	応募者・参加者の人数	5,500人	3,883	C	来場した参加者が、館全体にうまく流れていないと考えられる。 館内の催し情報を簡易に見られるチラシを配布するなど、人の流れを促す工夫が必要。	広める方向で継続		多くの市民活動団体に、日頃の学習成果を発表する機会を提供できたほか、来場者に対しても、学びのきっかけづくりの場を提供できた。	63	42	50	生涯学習政策課
449		イベント等	趣味的なもの	3-②	学びの成果を活かす機会の充実	八王子市内高等学校吹奏楽フェスティバル	市内高等学校吹奏楽部等の練習成果の発表会を市民を対象に実施し市民文化活動・文化交流の一助とする。	どなたでも	1	来場者約2,500名 出演者約1,000名	共催	応募者・参加者の人数	2,700人	2,500	B	おおよそ目標通りの集客ができた。	広める方向で継続		青少年の練習成果発表の場とできたとともに、市民が身近な場所で音楽に触れる機会を提供できた。	321	315	320	生涯学習政策課
450		イベント等	趣味的なもの	3-②	学びの成果を活かす機会の充実	クリエイトライブステージ	若者が日頃取り組んでいる音楽活動などの学びの成果の発表をとおし、団体や来場者との交流を深める。	青年	1	568	実行委員会	参加団体数 参加者数	20団体以上の参加、800人以上のイベント参加	参加18団体136名、観覧者432名）	B	参加団体はおおむね目標値を達成できたが、観覧者数が今後の課題である。	広める方向で継続		毎年出演を楽しみにしている団体もあり、地域のイベントとして根付きつつある。出演団体の年齢層の変化に合わせて令和元年度から名称を変更し、より幅広い年齢層への参加を促した。	0	0	0	学習支援課
451		イベント等	趣味的なもの	3-②	学びの成果を活かす機会の充実	フレスコギャラリー	生涯学習センター南大沢分館を利用している団体が日頃の成果を発表するとともに、来館者の生きがいにつなげる。	どなたでも	展示スペース2か所で7団体が延べ88日間利用。	7団体	市単独	応募者・参加者の人数	前年度と同程度。	展示スペース2か所で7団体が延べ88日間利用。	B	新型コロナウィルス感染予防対策としての施設利用中止がなければ、昨年実績と同程度の予定であったため。 来年度以降もサークル、団体にギャラリーを有効に活用いただけるよう、引き続き周知を図っていく。	広める方向で継続		施設を利用する多くの方に作品を見てもらうことで、製作者本人がやりがいを感じてもらえるようになった。 見ていただいた方には、自分も作りたいと思ってもらい、学習の場が広がった。	0	0	0	学習支援課
452		イベント等	趣味的なもの	3-②	学びの成果を活かす機会の充実	ギャラリー川口	主に生涯学習センター川口分館を利用している団体が日頃の学習成果を発表することで、生きがいにつなげるとともに、来館者の学習のきっかけづくりを図る。	どなたでも	展示スペース2か所18団体延べ482日利用	18団体	市単独	応募者・参加者の人数	前年度と同程度。	18団体延べ482日利用 【参考】昨年度19団体　年間延439日利用）	B	施設利用者の学習成果発表の場として、前年度と同様の事業水準を維持したため。 課題：施設の利用者が高齢化してきており、応募者の減少が想定される。利用者に積極的に声掛けを行い、ギャラリーの利用を促していく。	広める方向で継続		学習の成果を発表する場としてサークル及び市民に有効に活用されている。	0	0	0	学習支援課
453	◎	講座・教室	健康・スポーツ	3-②	学びの成果を活かす機会の充実	在宅で行う清拭援助	在宅で療養されている皆様に、自宅にある物品を使って身体を拭いたり、髪を洗ったりする援助の方法を学ぶ。	どなたでも	1	6	市単独	参加者の満足度	アンケート集計からの評価	参加者全員(6名中6名)が「満足」と回答	A	介護を在宅で看る機会が増加している中、タイムリーな事業であった。 参加者は、予定者数と比べ少なかったがアンケート調査では、参加者全員が「満足」との回答であった。 今後も市民のニーズに合った事業を実施するとともに、参加者数の確保に努める。	広める方向で継続		毎年度、市民ニーズに合った事業を実施している。	計上無	計上無	計上無	八王子市立看護専門学校
454		イベント等	趣味的なもの	3-②	学びの成果を活かす機会の充実	シアターPJ演劇公演	財団のワークショップから誕生した市民劇団を支援する。	どなたでも	2	来場者284	補助	応募者・参加者の人数	来場者400名以上	達成率71%（284/400人）	C	目標を達成することができなかったため。 次年度は、さらにPRをして市民のファン層を広げる。	広める方向で継続		市民劇団として支援をしてきているが、若手の担い手があまり増えず年齢の高い劇団員の体力やモチベーションを維持するのがやっとという現状もあり、SNSなど新しいPRの取り組みができていない。	268	219	268	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
455		イベント等	趣味的なもの	3-②	学びの成果を活かす機会の充実	いちょうホールロビーコンサート	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	44	来場者延3,001 参加者221	指定管理者	応募者・参加者の人数	来場者数2000名以上	達成率150%（3001/2000人）	A	目標値を達成することができたため。 リピーターが増え、定着化が進んだ。 次年度は、コロナウィルスの影響により既に中止が決定している月もあるが、オンラインでの実施を検討するなど、市民の成果を発表できる機会を創出する。	広める方向で継続		観客はリピーターが多く気軽な鑑賞の機会として市民に定着しており、プロアマ問わず出演者の参加ニーズも高い。アーティストの発掘や交流の場所ともなっている。	147	106	100	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
456		イベント等	社会貢献活動	3-②	学びの成果を活かす機会の充実	ステップアップコンサート	ロビーコンサート出演者の活動の場を広げる一助とするとともに、市民に様々なジャンルの音楽に親しめる機会を提供する。	どなたでも	1	来場者175 参加者4	指定管理者	応募者・参加者の人数	来場者200/288以上（65%)以上	達成率87%（175/200人）	B	目標をわずかに達成することができなかったが、ロビーコンサートのリピーターも多く、満足度は高かったと考えられる。 次年度も、市民の芸術活動を発表する機会として引き続き実施していく。	広める方向で継続		ロビーコンサートとの関連性から観客やアーティストに十分PRを行い、ステップアップコンサートへの集客を運ぶことができてきている。多様な楽器やピアノの聞き比べなど、企画を楽しむことの提示もできた。	142	241	297	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
457		イベント等	社会貢献活動	3-②	学びの成果を活かす機会の充実	水墨画展示会	市民の芸術活動の発表の場を提供する。	どなたでも	1回（3日間）	来場者355	指定管理者	応募者・参加者の人数	来場者数100名以上	参加者数3,001名	A	コロナウイルス感染症の影響により、3月のコンサートは中止になったが、2月までに目標人数を大きく上回る実績をあげた。 演奏者に活動の場を提供するとともに、市民が気軽に良質な音楽を楽しめる機会を提供した。	休止	主催の市民団体による実行委員会の体制が整わず、休止する。	毎年、地域の芸術文化の拠点の場として月に3～4回のロビーコンサートを開催。 演奏者に活動の場を提供するだけではなく、日常の中で市民が音楽に触れる機会を提供した。	156	46	0	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
458		イベント等	育児・教育	3-②	学びの成果を活かす機会の充実	八王子市立小中学校合同作品展「おおるり展」	児童・生徒の作品の発表を通して、豊かな心情を培い、創造的な能力の向上を図る。	どなたでも	1	来場者12,500人程度	共催	参加者の満足度	95%	99%	B	参加者からのアンケートによると、目標を達成できたものの、依然として、配置の工夫を求める声が多数あったため、次年度に向けて、工夫し、参加者からの改善を求める声が少なくなるようにしたい。	広める方向で継続		見ごたえのある作品が多数展示され、アンケートの結果から、長期間開催を求める声や開催の継続を希望する声が多い。	2,772	2,875	2,794	指導課
459		講座・教室	情報・インターネットに関するもの	3-②	学びの成果を活かす機会の充実	スマホ・タブレットとパソコン祭り	ボランティア団体と連携して初心者向けの講座を実施することにより、市民のICT利活用促進を図る。	どなたでも	1	101	共催	応募者・参加者の人数	参加者数200人	101	B	本イベントの開催日時が天皇陛下の即位祝賀パレードと同日時であったため、想定よりイベント全体の参加人数が少なかった。 一方で、台風第19号の影響で市の防災メールのコーナーは例年より参加者が大幅に増加したため、令和2年度も市民ニーズを捉えた講座を検討する。	高める方向で継続		平成29年(2017年)までを計画期間とした「八王子市地域情報化計画」の目標の一つであるデジタル・デバイドの解消に資する事業として本イベントを開催し、市民団体と連携しながら市民の情報化を推進した。	36	36	36	情報管理課（ボランティア団体）
460		講座・教室	教養的なもの	3-②	学びの成果を活かす機会の充実	農業体験事業（①親子農業ツアー、②じゃがいも掘り、③さつまいも掘り、④農業にふれあ	農業にふれあう場を提供し生産者と市民との交流促進を図り、都市農業に対する理解を深める。	親子・保護者	1	①64人 ②129人 ③66人 ④28人	①補助 ②市単独 ③市単独 ④市単独	応募者・参加者の人数	①40 ②60 ③60 ④50	①64人 ②129人 ③66人 ④28人	B	概ね目標を達成できたが、稲作体験については負担金の値上げ等により、希望者が減少している。希望者が増加するよう周知方法を検討する。	広める方向で継続		目標を達成できた。	197	177	503	農林課
461		講座・教室	教養的なもの	3-②	学びの成果を活かす機会の充実	林業体験事業	林業にふれあう場を提供し、八王子市林業研究会と市民との交流促進を図り、林業に対する理解を深める。	どなたでも	1	22人	委託	参加者の満足度	参加者へのアンケートにより満足度を確認	ほぼ全員が満足したと回答	A	アンケートを実施した結果、ほぼ全員が次回も参加したいと回答しており、事業に対して満足していると考えられる。	高める方向で継続		目標を達成できた。	132	132	132	農林課

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
462		イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	3-②	学びの成果を活かす機会の充実	八王子市総合防災訓練	各相互期間相互の協力体制確立及び地域住民の防災対策の向上を図る。	―	―	―	―	事業の拡大	地域住民の防災意識の向上を図る。	―	評価なし	令和元年台風第19号による災害対応のため中止。	高める方向で継続		本訓練実施翌年度から地域において防災訓練をしていくような防災活動普及の契機となっている。 また、本市職員にとっても災害に備えた訓練をできる良い機会となっている。	2,243	1,648	2,743	防災課
463		イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	3-②	学びの成果を活かす機会の充実	八王子市防犯防災フェア	市民の防犯防災意識向上を目的として開催する。	―	―	―	―	応募者・参加者の人数	1600名	―	評価なし	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。	広める方向で継続		防犯課、防災課をはじめ、警察署や消防署等の関係機関によるブース出展や消防署・警察署の訓練演習や消防庁音楽隊の演奏等のイベント実施をとおして、市民の防犯防災意識の向上を図り、啓発を行った。	339	95	560	防災課
464		イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	3-②	学びの成果を活かす機会の充実	八王子市消防団音楽隊演奏会	消防団員の日頃の訓練成果を披露し、消防・防災意識の高揚を図る。	どなたでも	1	800	市単独	応募者・参加者の人数	800名	800	A	いちょうホールで満員の入場があった	広める方向で継続	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で音楽隊隊員の練習時間が確保できないため、中止。	演奏活動を通じて消防・防災意識・消防団活動の普及を図り、その啓発を行った。	1,618	1,554	2,826	防災課 八王子市消防団
465		イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	3-②	学びの成果を活かす機会の充実	八王子市消防団出初式	消防団員の日頃の訓練成果を披露し、消防・防災意識の高揚を図る。	どなたでも	1	1,800	市単独	応募者・参加者の人数	2000名	1,800	A	天気が曇りだったため、目標値には届かなかったが、9割は集められた。	広める方向で継続		消防団をPRするのに絶好の場。毎年楽しみにしている市民等から注目されている。無形民俗文化財の木遣りや、梯子乗りなども近隣では八王子市ならではのため、多くの来客あった。	4,057	3,903	4,707	防災課 八王子市消防団
466		イベント等	趣味的なもの	3-②	学びの成果を活かす機会の充実	あさかわ写真コンクール	浅川の魅力についての認知度向上及び水辺に近づく動機づけ	どなたでも	1	108	共催	応募者・参加者の人数	200	108	C	目標値(200)に対し実績値(108)は約半数で目標を達成できなかった。 課題として応募人数が減少していることから、イベント周知活動に注力し、応募人数の増加を目指す。	広める方向で継続		入選作品の展示のほか、入選作品を活用したカレンダーの作成・配布を通じて、浅川の魅力を伝えることができた。	650	465	579	水環境整備課
467		イベント等	趣味的なもの	3-②	学びの成果を活かす機会の充実	南大沢文化会館ロビーコンサート	日頃より研鑽を積んでいる演奏者に活動の場を提供するとともに、市民に気軽に良質な音楽を楽しめる機会を提供する。	どなたでも	44	3001	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者数延べ2,000人以上	参加者数3,001名	A	コロナウイルス感染症の影響により、3月のコンサートは中止になったが、2月までに目標人数を大きく上回る実績をあげた。 演奏者に活動の場を提供するとともに、市民が気軽に良質な音楽を楽しめる機会を提供した。	広める方向で継続		毎年、地域の芸術文化発信の拠点として月に3～4回のロビーコンサートを開催。 演奏者に活動の場を提供するだけではなく、日常の中で市民が音楽に触れる機会を提供した。	0	0	0	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
468		イベント等	社会貢献活動	3-②	学びの成果を活かす機会の充実	青少年のための南大沢音楽祭	地域の児童・学生に日頃の音楽活動の発表の場を提供し、地域の住民に芸術文化を鑑賞する機会を提供する。 また、ホール舞台上での演奏体験により文化芸術への意識醸成を図る。	どなたでも	1	1,850	指定管理者	参加者の満足度	アンケート満足度90%以上	アンケート満足度90%	B	参加者アンケートの満足度は目標を達成することができた。 地域の児童・学生に日頃の音楽活動の発表の場を提供し、地域住民に音楽を鑑賞する機会を提供することができた。 また、ホール舞台上での演奏体験を行うことにより文化芸術への意識醸成を図ることができた。	高める方向で継続		毎年行うことで事業が定着してきている。 観客からも高評価をいただき、子どもたちの発表の場の確保として継続を希望する声も多かった。	392	389	392	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
469		イベント等	社会貢献活動	3-②	学びの成果を活かす機会の充実	八王子地域合同学園祭学生天国	大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の学生で構成する学生委員会が、学生同士や市民の方々との交流を目的とし開催する。	どなたでも	1	来場者数33,000	補助	応募者・参加者の人数	来場者数30,000人以上	来場者数33,000	A	例年同様、コンソーシアムのWebサイトの他、フェイスブック等のSNSで周知、前回参加団体に参加依頼を行うとともに、加盟校、市関係施設、町会、商店街等にポスター・チラシを配布した他、大学等連携部会や産学公連携部会で各大学に案内した。	広める方向で継続		コンソーシアムのWebサイトやフェイスブック、各部会等での案内のほか、加盟校、市関係施設、町会、商店街等にポスター・チラシを配布するなど積極的な周知を行った結果、参加学生がH27年度の37団体363名からR1年度の40団体652名に増加した。各年度の来場者数は、30,000名から33,000名で推移している。	2,588	2,588	2,588	学園都市文化課（八王子学生委員会）
470		イベント等	趣味的なもの	3-③	市民との協働による地域の活性化	南大沢総合センターまつり	生涯学習センター南大沢分館を利用している団体と協働して日頃の学習の成果を発表することで、地域の活性化につなげる。	どなたでも	1(2日間)	1,756	共催	応募者・参加者の人数	前年度と同程度。	2日間開催 延べ1,756名	A	新たな取り組みとして、子どもたちが製作した作品を展示することなどで、昨年を大きく上回る来館者数となったため。まだまだ当館の存在を知らない方も多くいらっしゃるので、まずは知っていただくための集客に力を入れて、さらに多くの方に来館していただき、多くの方に更なる学びの場を提供する。	広める方向で継続		施設を利用している団体と協働で運営を行いながら、まつりを作り上げていることから、多くの方に喜んでいただけるイベントとして定着した。	0	0	0	学習支援課
471		イベント等	趣味的なもの	3-③	市民との協働による地域の活性化	川口やまゆり館まつり	生涯学習センター川口分館を利用している団体と協働して日頃の学習の成果を発表することで、地域の活性化につなげる。	どなたでも	1（2日間）	2日間開催 延べ1716人	共催	応募者・参加者の人数	前年度と同程度。	2日間開催 延べ1716人【参考】昨年度1840人	B	施設利用者の学習成果発表の場として、前年度と同様の事業水準を維持したため。 課題：施設の利用者が高齢化しており、参加者の減少が想定される。利用者に積極的に声掛けを行い、やまゆり館まつりの参加を促していく。	広める方向で継続		川口やまゆり住民協議会と協働でイベントを行うことにより市民との交流が図られ、地域の活性化につながっている。	0	0	0	学習支援課
472		イベント等	社会貢献活動	3-③	市民との協働による地域の活性化	あったかホールまつり	あったかホールまつりに参加し見学や工場の仕組み等(廃棄物の処理)について環境教育全般(社会・自然環境)について学習機会の提供を図る。	どなたでも	0	0	実行委員会	応募者・参加者の人数	18,000人	0	C	開催直前に台風19号が直撃し、被害状況を鑑み中止となった。例年は2万人弱の市民が来場し、北野地区最大規模の環境イベントでもあるため、今後も継続する。	休止	令和2年度は新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止が決定している。令和3年度は開催予定。	令和元年度は中止となったが、地元と協働しイベントを成功させることで信頼関係を構築することもできた。	0	0	0	北野清掃工場
473		イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	3-③	市民との協働による地域の活性化	あったかホールフリーマーケット	出品物を家庭の不用品のみとすることで、市内のごみ削減を目指し、市民の自主的なリユースを推進。	どなたでも	13	6,217	指定管理者	応募者・参加者の人数	10,000人	6,217	C	台風19号などの悪天候、新型コロナウィルス感染症の影響で屋外フリーマーケットが4回中止になったことにより、前年より来場者数は落ち込んだ。令和5年以降のあったかホールの存廃が決まっておらずさらなる拡充が見通せないため、現状の規模で継続する。	広める方向で継続		毎月定期的に開催することで市民にも定着し、リサイクルの意識づけ・来館増に貢献している。	－	－	－	北野清掃工場

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
474		イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	3-③	市民との協働による地域の活性化	踊れ西八夏まつり	商店会、町会が一体となり、地域コミュニティの育成・活性化を目指す	どなたでも	1	35,000	補助	応募者・参加者の人数	前年度より参加人数を増やす。	35,000	B	2日目の台風による中止にもかかわらず、前年比75%の来場者数は評価できる。	広める方向で継続		この5年間の中で、平成29年度は二日間で65,000人の来場者数となった。平成30年・令和元年は台風による影響で1日限りの開催となった。平均して50,000人を超える来場者数となっている。	1,500	1,500	1,500	協働推進課(学園都市文化ふれあい財団・踊れ西八夏祭り実行委員会)
475		イベント等	教養的なもの	3-③	市民との協働による地域の活性化	住民協議会連携事業	地域住民協議会の活動を周知し、地域の活性化を目指す。	成人	1	75	共催	応募者・参加者の人数	前年度より参加人数を増やす。	1回 75人	C	3月に実施予定であった講座が、コロナウィルス感染拡大防止により中止となった。なお、中止となった講座については、令和2年度に実施する予定のため、参加人数や回数増と見込まれる予定。	広める方向で継続		引き続き住民協議会連絡協議会と連携を図り、次世代リーダーを養成しながら、住民協の活動の場を広げ、地域の活性化を目指す。	261	87	246	協働推進課(各地域住民協議会・学園都市文化ふれあい財団)
476		イベント等	教養的なもの	3-③	市民との協働による地域の活性化	野草写真・イラスト展	小仏川沿いの野草の写真・イラスト原画の展示を通して、野草の保護活動の推進、地域活性化の推進を図る	どなたでも	1	389	共催	協働事業の推進	市民団体との協働事業の継続	達成度80%	B	周辺地域の豊かな自然遺産を伝える機会となるため、今後もできる限り継続して、貴重な野草などへの興味や保護意識の向上に貢献していく。	高める方向で継続		展示のたびに、新しく描きおろし、撮り下ろされた作品が展示される。その年に地域で実測された様子を展示するため、自然愛好や地域振興に大いに貢献している。	0	0	0	公園課（駒木野/野草を守る会）
477		イベント等	教養的なもの	3-③	市民との協働による地域の活性化	野草観察会	小仏川沿いの野草の観察を通して、野草の保護活動の推進、地域活性化の推進を図る	どなたでも	0	0	共催	応募者・参加者の人数	合計60人	―	評価なし	新型コロナウイルス対策のため中止となったので、令和元年度は評価できない。無事に終息すれば令和2年度3月に、今まで同様実施したい。	高める方向で継続		裏高尾特融の種類豊富な野草を講師とともに鑑賞観察できる企画、大変好評いただいている。参加者も講師も地域愛、自然愛にあふれ、保護活動や地に対して大変良い意識付けができている。	30	30	30	公園課（駒木野/野草を守る会）
478		イベント等	社会貢献活動	3-③	市民との協働による地域の活性化	こまぎのフェスティバル	地域交流の推進	どなたでも	0	0	共催	協働事業の推進	地域団体との関係維持、協働事業の継続	―	評価なし	10月の台風を懸念して主催者(駒木野病院)の意向で中止となった。	高める方向で継続		催事の第2会場として旧民家内で楽器演奏などを行う企画である。演奏者に発表機会を、来園者には芸術鑑賞機会を提供して好評いただいている。継続するごとに隣接する主催の病院とも親交を深まっている。	0	0	0	公園課（駒木野病院）
479		イベント等	趣味的なもの	3-③	市民との協働による地域の活性化	ジャズコンサート	音楽鑑賞と地域住民の交流	どなたでも	1	63	指定管理者	参加者の満足度	アンケート集計結果における「満足」度80%以上	満足度100%	A	参加者全員一致で大満足の回答をいただいた。古民家で夕涼みの時間にジャズ演奏を提供する企画は、ハイレベルな演奏だけでなく、舞台の雰囲気も大変評価いただいている。2020年度は夏開催が危ぶまれるが、終息したころ合いで、実施したい。	高める方向で継続		古民家で夕方に聞くジャズの生演奏ということで、開催初期から大変な好評をいただいている。演奏者には発表機会、観客には鑑賞機会を手協して、文化への興味関心など向上できている。	60	60	60	公園課（高尾駒木野庭園）
480		イベント等	教養的なもの	3-③	市民との協働による地域の活性化	高尾の花を描く展	市民団体の作品展を通して、高尾の魅力を伝え、地域活性化を図る。	どなたでも	1	383	共催	協働事業の推進	市民団体との協働事業の継続	達成度80%	B	周辺地域住民による創作発表と、地域の豊かな自然を伝える機会となるため、今後もできる限り継続して、地域振興や自然保護意識の向上に貢献していく。	高める方向で継続		淡く優しい水彩による、高尾地域の植物画の展示お披露目である。展示者も鑑賞者も作品を通じて地域・自然への愛情を深め、かつ人々の交流も起こっている。	0	0	0	公園課（高尾花を描く会）

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
481		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	3-③	市民との協働による地域の活性化	ダンボールコンポスト講習会の開催	可燃ごみの約半分を占める生ごみの減量･資源化を図る。	どなたでも	32	446	委託	応募者･参加者の人数	年間30回開催 参加者400人	年間32回開催 参加者446人	B	目標の講座開催回数、参加者数を達成できた。	広める方向で継続		毎年、目標を達成してきているが、広く市民への広がりまで至っていない。	5,670	5,670	6,106	ごみ減量対策課
482		イベント等	家庭生活	3-③	市民との協働による地域の活性化	消費生活フェスティバル	消費生活に関する情報を体験や遊びを通して消費者に提供し、消費者団体等とともに交流と啓発を図る。	どなたでも	1	300	共催	協働事業の推進	関係団体と連携し、効果的な啓発を実施する。	アンケート回答者の85%が高評価	B	関係団体と連携し、充実した内容となったが、コロナウィルス感染症拡大防止のため、来場者はかなり減った。こういった状況でも安全に配慮し可能な限り実施できるよう努める。	広める方向で継続		関係団体の掘り起こしを続けながら、少ない人員体制で工夫しながら実施してきた。様々な団体との協力体制も構築でき、市民へのPR方法も確立できた。	169	78	131	消費生活センター
483		イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	3-③	市民との協働による地域の活性化	外国人留学生の高齢者施設訪問	外国人留学生が高齢者施設を訪問し、自国の文化を紹介しながら交流を深める。	外国人留学生	2	10人	市単独	応募者･参加者の人数	参加者数15人	10人	B	高齢者施設のイベント日数が減ったことに伴い参加者数が減少したが、施設の方々から楽しい時間を過ごすことができたとの声もあり、留学生と施設利用者の双方から好評であった。	高める方向で継続		参加者が少ない年もあったが、外国人留学生と高齢者の双方に好評であった。近年では、介護職への就職を目指す留学生の参加も増え、良い機会になっている。	4	3	0	多文化共生推進課
484		イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	3-③	市民との協働による地域の活性化	海外友好交流都市写真展	本市の海外友好交流都市の写真等の展示により、各友好交流都市について、市民へ周知を図り、知識を深める。	どなたでも	1	2,677人	市単独	応募者･参加者の人数	来場者数4,000人	2,677人	C	周知期間が短くなたことから参加者数が目標を下回ったが、来場者からはドイツ･ヴリーツェン市の魅力を知る機会になったとの感想があった。	広める方向で継続		市制100周年の記念事業の一つとして四都市合同写真展を開催したほか、多くの方に海外友好交流都市である各都市の魅力を知っていただくことができた。	129	116	138	多文化共生推進課
485		イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	3-③	市民との協働による地域の活性化	八王子国際交流フェスティバル	国際理解を深めることを目的に、気軽な国際交流の場として、多くの方に異文化に接する機会を提供する。	どなたでも	1	1,260人	補助	応募者･参加者の人数	来場者数1,350人	1,260人	C	当日は雨の影響もあり来場者数が目標を下回ったが、外国人と日本人ともに多くの方が参加し、ステージパフォーマンスや様々な国を紹介する展示ブースをなど、異文化交流を通じて国際理解を深めることができた。	広める方向で継続		毎年1,000人以上が来場し、多くの方が異文化に触れる機会となり、国際理解についての関心と理解を深めることができた。	330	424	360	多文化共生推進課（八王子国際協会）
486		イベント等	教養的なもの	3-③	市民との協働による地域の活性化	地区まちづくりフォーラム	「地区まちづくり推進条例」の周知及び条例の活用促進を図る。	―	―	―	―	その他（地区まちづくりについて、協議会等が成果を発表し、相互交流する機会の獲得を含む）	参加予定者のうち、半分程度新規参加者の獲得増	―	評価なし	コロナウイルス感染拡大防止のために、実施できなかった。令和2年度は、コロナウイルス感染拡大が収まった時点で、令和元年度(2019年度)実施予定の内容で再調整する予定。	広める方向で継続		例年、アンケートにおける満足度は高く、平成30年度は参加予定数を大幅に上回る参加があったため、計画･目標どおりに達成できた。	87	0	87	まちなみ景観課
487		イベント等	教養的なもの	3-③	市民との協働による地域の活性化	都市景観セミナー	市民と行政の協働による魅力ある景観づくりを推進する。	成人	1	20	市単独	参加者の満足度	参加予定者のうち、半分程度新規参加者の獲得増	新規参加者15人 アンケート満足度100%	A	電子申請による受付を導入し、27名の方にお申込みいただき、当日は残念ながら20名の参加となってしまったが。アンケートにおける満足度は大変高く、屋外広告物について楽しく学ぶことが出来たとの意見が多くあったため。	広める方向で継続		毎年、参加予定者の半数程度は新規参加者となっており、目標値を達成した。 企画によって異なるが、おおむねアンケートにおける満足度は高く、楽しめながら学べ、景観への理解が深まったとの意見を多くいただいた。	47	40	235	まちなみ景観課

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
488		イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	3-③	市民との協働による地域の活性化	八王子環境フェスティバル	市民及び事業者の間に広く環境の保全についての関心と理解を深めるとともに、その活動を行う意欲を高める	どなたでも	1	56,000	実行委員会	応募者・参加者の人数	58,000人	56,000人	B	来場者数が目標より下回ったが、多くの方に環境について関心を持つ機会を提供できた。	広める方向で継続		毎年55,000人以上が来場し、多くの方に環境の保全についての関心と理解を深める機会を提供できた。	700	700	700	環境政策課（八王子環境フェスティバル実行委員会）
489		講座・教室	教養的なもの	3-③	市民との協働による地域の活性化	地区図書室運営研修講座	中央図書館と連携(共催)し、地区図書室の活性化を図る。	地区図書室担当者	コロナウィルス感染拡大防止のため中止	-	補助	その他	レベルアップを図る	―	C	3月実施予定であったが、コロナウィルス感染拡大防止のため中止。	広める方向で継続		この5年間、中央図書館と連携しながら、毎年図書部員に向けて研修を行っている。引き続き継続し地区図書室の活性化を図る。	2	2	4	協働推進課（学園都市文化ふれあい財団）
490		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	3-③	市民との協働による地域の活性化	住民協議会主催講座等助成	講座の開催を助成し、コミュニティの活性化につなげる。	どなたでも	8	316	補助	応募者・参加者の人数	前年度より参加人数を増やす。	8回 316人	C	3月に2講座を予定していた行事が、コロナウィルス感染拡大防止により、中止となったため、目標は達成できなかった。令和2年度は実施回数を増やし、参加人数も増やしていく。	広める方向で継続		引き続き住民協議会と連携を図り、地域コミュニティの育成を図る	211	118	243	協働推進課（各地域住民協議会）
491		イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	3-③	市民との協働による地域の活性化	八王子いちょう祭り	地域の発展と社会的な広がりを目指した有志市民によるまつり	どなたでも	1	5E+05	補助	応募者・参加者の人数	前年度より参加人数を増やす。	497,000	B	ほぼ前年と同様の集客が出来ている。	広める方向で継続		この5年間の中で、平成27年度は二日間で522,000人の来場者数となった。令和元年は天候による影響で1日目は前年度を下回ったが、2日目は前年度を上回る305,000人の来場者数となった。平均して500,000人を超える来場者数となっている。	6,000	6,000	6,301	協働推進課(学園都市文化ふれあい財団・いちょう祭り祭典委員会)
492		イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	3-③	市民との協働による地域の活性化	八王子まつり	地域文化の創造と継承、市民相互の連帯と融和、観光都市八王子のイメージの高揚	どなたでも	1	800,000	補助	応募者・参加者の人数	前年度より参加人数を増やす。	800,000	B	記録的な猛暑が続く中、前年と同様の集客が出来た。	広める方向で継続		この5年間の中で、平成29年度は三日間で850,000人の来場者数となった。平均して791,000人の来場者数となっている。	41,950	41,950	45,900	協働推進課(学園都市文化ふれあい財団・八王子まつり実行委員会)
493		イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	3-③	市民との協働による地域の活性化	フラワーフェスティバル由木	由木地域の活性化とコミュニティづくり	どなたでも	1	97,400	補助	応募者・参加者の人数	前年度より参加人数を増やす。	97,400	B	荒天による原因となったが、前年比80%を超えることが出来ている。	広める方向で継続	令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み中止となった。	この5年間の中で、平成27年度は二日間で119,000人の来場者数となった。令和元年は天候による影響で1日目は正午前から雨天となり、前年度を下回る97,400人の来場者数となった。平均して11万人を超える来場者数となっている。	4,000	4,000	750	協働推進課(学園都市文化ふれあい財団・フラワーフェスティバル由木祭典委員会)
494		イベント等	社会貢献活動	3-③	市民との協働による地域の活性化	戸吹クリーンフェスタ	地元企業・町会、地域関連所管が一体となり環境啓発を行い、清掃処理施設への理解を深める機会を提供する。	どなたでも	台風の影響による中止	―	実行委員会	応募者・参加者の人数	参加者の増加	―	評価なし	台風の影響による中止のため評価なしとする。	広める方向で継続		平成30年度よりステージを設置しイベントを行った点や地域の企業や学校等を新たに出展者とするなどし、年度ごとにイベントへの参加者を増やすことができた。	216	65	231	戸吹クリーンセンター(戸吹クリーンフェスタ実行委員会)

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標 ※前回照会時設定	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
495		情報提供※環境整備	社会問題・市民生活に関するもの	4-①	生涯学習情報の収集と発信	広報「はちおうじの教育」の発行	市の教育行政情報や学校、教育施設の情報を提供し、市民に教育施策を周知する。	どなたでも	4	282,120部	委託	学校教育から生涯学習情報まで、教育情報を幅広く掲載し充実化を図る	具体的な目標値はなし	具体的な目標値はなし	B	学校教育から生涯学習情報まで、教育情報を幅広く掲載し、充実化を図ることができたため。	高める方向で継続		学校教育から生涯学習情報まで、教育情報を幅広く掲載し、充実化を図ることができた。	4,071	3,388	4,228	学校教育政策課
496		情報提供※環境整備	社会問題・市民生活に関するもの	4-①	生涯学習情報の収集と発信	学校フォトニュースの更新	市の教育行政情報や学校、教育施設の情報を提供し、市民に教育施策を周知する。	どなたでも	随時	ホームページ、学校ホームページ、教育委員会フェイスブックページでの提供	市単独	更新回数	月2回以上	月1回	B	更新回数月2回以上の目標値については、達することができなかったが、教育情報を幅広く掲載し充実化を図ることができたため。	高める方向で継続		学校教育から生涯学習情報まで、教育情報を幅広く掲載し、充実化を図ることができた。	0	0	0	学校教育政策課
497		情報提供※環境整備	社会問題・市民生活に関するもの	4-①	生涯学習情報の収集と発信	はちおうじっ子フォトニュースの更新	子ども向けに、市の教育行政情報や学校、教育施設の情報提供し、教育施策を周知する。	どなたでも	随時	ホームページ、学校ホームページ、教育委員会フェイスブックページでの提供	市単独	更新回数	月2回以上	月1回	B	更新回数月2回以上の目標値については、達することができなかったが、教育情報を幅広く掲載し充実化を図ることができたため。	高める方向で継続		学校教育から生涯学習情報まで、教育情報を幅広く掲載し、充実化を図ることができた。	0	0	0	学校教育政策課
498		情報提供※環境整備	社会問題・市民生活に関するもの	4-①	生涯学習情報の収集と発信	環境報告書	事業概要、環境への取り組み及び環境コミュニケーションの社会的な公表、説明責任を果たし、住民との信頼関係を築く。	どなたでも	1	100部	市単独	事業の拡大	配布数100部	100	B	継続的に報告書を公開することで社会的責任を果たし、市民との信頼関係を構築した。令和4年度に工場休炉が決まっておりそれ以降の発行は未定、組織縮小などにより発行数の拡充も難しいため現状の規模で継続していく。	高める方向で継続		市民・地元と信頼関係を構築し、工場を安定稼働させることができた。	0	0	0	北野清掃工場
499		情報提供※環境整備	社会貢献活動	4-①	生涯学習情報の収集と発信	「SUPPORT802」の発行	市民活動に関する情報発信を行う。	どなたでも	6	5000部/1回あたり	指定管理者	紙面の充実	市民活動支援センターの広報担当と協力して紙面の充実をはかる。	広報部会を月に1回開催するなど、紙面の充実を図った。	A	様々な分野の市民活動団体への取材、助成金情報や市民活動イベントの掲載など、読み手が興味を持つ紙面づくりができた。	広める方向で継続		市民の目を引き、手に取っていただけるような紙面づくりの検討を行い、市民活動への関心を高めている。	指定管理料の中で実施	指定管理料の中で実施	指定管理料の中で実施	協働推進課(市民活動支援センター)
500	◎	情報提供※環境整備	社会貢献活動	4-①	生涯学習情報の収集と発信	生活支援体制整備事業:地域包括ケア情報サイトの公開（H30.8.1～）	医療や介護施設、生涯学習情報等、高齢者の日常生活に必要な情報をまとめて検索できるWebサイトの公開。	どなたでも	1	69,895アクセス	委託	応募者・参加者の人数	アクセス数の増	69,895アクセス	B	関係者や地域活動団体への周知や研修会等で本ウェブサイトについて情報提供を積極的に行った結果、月のアクセス数は増加傾向にある。今後もウェブサイトの周知を行うとともに、掲載情報の充実を図る。	広める方向で継続		開設当初から関係者や地域住民に周知を行い、アクセス数の増加を図るとともに、掲載情報について、高齢者の社会参加に資する多様な情報を随時追加し、サイト利用者の利便性を高めた。	54,601	54,020	57,486	高齢者福祉課
501		情報提供※環境整備	社会問題・市民生活に関するもの	4-①	生涯学習情報の収集と発信	広報「ごみゼロ通信」の発行	ごみの減量・リサイクルについて、市民に周知・意識啓発を行う	どなたでも	1	282,304部	委託	ごみの減量・リサイクルについての市民意識の高揚	ごみの減量・リサイクルについての市民意識の高揚	―	B	予定どおりに市内全域に周知することができた。	高める方向で継続		主に「食品ロス削減」を目指して「3キリ運動」をテーマに広報してきて、着実に市民周知が広がっていると感じている。	847	582	877	ごみ減量対策課

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
502		情報提供※ 環境整備	社会問題・市民生活に関するもの	4-①	生涯学習情報の収集と発信	消費生活ニュース･くらしのレポートの発行	消費者問題や環境など消費生活に関わる情報提供を行う。	どなたでも	15	4,500	共催	協働事業の推進	関係団体と共同でタイムリーな情報を提供する。	消費生活ニュース月1回･くらしのレポート年3回発行	B	定期的に消費生活に関する情報提供を行い、消費者に啓発が図られた。センターに寄せられる相談の分析等を行い、より安心･安全な消費行動が行えるよう啓発(情報発信)を行う。	広める方向で継続		職員が日々、消費者を取り巻く様々な情報を精査し、注意喚起を地道に行ってきた。職員の消費生活に対する姿勢も醸造できている。	0	0	0	消費生活センター
503		情報提供※ 環境整備	社会問題・市民生活に関するもの	4-①	生涯学習情報の収集と発信	「市税白書」の発行	市税の状況について、市民の理解を深める。	どなたでも	―	600部	市単独	本事業は、税に関する市民の理解を深めることを目的に冊子を発行しているため、具体的な数値目標はそぐわない。	市税の状況について、市民の理解を深める。	―	B	見やすいものとするための項目ごとの要旨を記載した。また、令和2年度以降、新たに分析項目を追加する。	高める方向で継続		データの集約だけではなく、より見やすく使いやすいものにするため、検討を重ねた。今後も随時見直しを行い、よりデータを活用しやすいものを目指す。	0	0	0	税制課
504		情報提供※ 環境整備	社会問題・市民生活に関するもの	4-①	生涯学習情報の収集と発信	「税金の手びき」の発行	税金のしくみなどについて、市民の理解を深める。	どなたでも	―	950部	市単独	税金のしくみについての市民の理解	税金のしくみなどについて、市民の理解を深める。	―	B	内容を確認し、計画通り作成、配布することができた。	広める方向で継続		毎年度、内容の確認を行い、計画通りの日程及び冊数を作成することで、税金のしくみをわかりやすく情報提供することができた。	0	0	0	税制課
505		情報提供※ 環境整備	社会問題・市民生活に関するもの	4-①	生涯学習情報の収集と発信	外国人向け情報誌「Ginkgo」の発行	外国人のニーズに合わせた行政情報の提供の充実をめざす。	どなたでも	6	延13,368部	市単独	掲載内容の充実	掲載内容の充実を図るため、各所管からの記事掲載希望の収集に努める。	―	B	ごみの出し方や税金、防災など、外国人市民の生活に必要な情報や市政情報など、外国語で情報を得られる機会を提供し、日本語がわからない外国人市民の暮らしの向上につながった。	高める方向で継続		外国人市民も暮らしやすいまちづくりのため、外国語での情報提供を不可欠と考える。引き続き、市政情報、外国人市民の生活に必要な情報の提供を図る。	480	200	385	多文化共生推進課
506		情報提供※ 環境整備	社会問題・市民生活に関するもの	4-①	生涯学習情報の収集と発信	「らいぶらりい」の発行	図書館のイベントやお知らせなどの最新情報を、図書館の窓口で、利用者に提供する。	どなたでも	4	2,300	市単独	配布数	図書館のイベントやお知らせなどの最新情報を提供することで、利用者の促進を目指す。	9,200	B	市民センター図書館の開館など最新の図書館情報を発信することができた。また、ホームページに掲載することで、多くの利用者に情報を提供することができた。	広める方向で継続		年4回の発行を遅らせることなく継続して行うことができた。読みやすい紙面を心がけ各種イベントをはじめ新しいサービスに関するPRを行うことができた。	0	0	0	中央図書館
507		各種相談	健康・スポーツ	4-①	生涯学習情報の収集と発信	歯の健康相談	歯周病の予防や口腔機能の維持、低下予防のための正しい知識の普及と、健康増進意識を併発する。	どなたでも	25	71	市単独	参加者の満足度	相談対応に対する満足度の向上	個別対応することにより満足度は高い。	B	センターまつり等で事業の周知を行ったため、相談者が増加した。	高める方向で継続		周知方法を工夫することにより、相談利用者が増加し、正しい知識の普及ができた。	0	0	0	東浅川保健福祉センター

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
508		情報提供※環境整備	社会問題・市民生活に関するもの	4-①	生涯学習情報の収集と発信	小冊子「国民健康保険のしおり」	国民健康保険制度の趣旨を普及・啓発すること。	どなたでも	1	20,000部	市単独	制度の趣旨の普及・啓発	設定なし（情報提供）	―	B	本市の国民健康保険に加入する方等に対し、小冊子「国民健康保険のしおり」を作成・配布することで、国民健康保険制度に係る賦課や給付等の内容の趣旨普及を図ることができた。次年度以降も引き続き制度改正等を反映し、当該取り組みを実施していく。	高める方向で継続		本市の国民健康保険に加入する方等に対し、小冊子「国民健康保険のしおり」を作成・配布することで、国民健康保険制度の趣旨普及を図ることができた。	864	849	1,012	保険年金課
509		各種相談	健康・スポーツ	4-①	生涯学習情報の収集と発信	歯の健康相談	歯周病の予防や口腔機能の維持、低下予防のための正しい知識の普及と、健康増進意識を併発する。	どなたでも	5	9	市単独	参加者の満足度	相談対応に対する満足度の向上	100%	B	う蝕や歯周病予防などお口の健康相談に個別で対応しており、満足度尾高い相談事業である。今後も市民ニーズの高い事業である。	広める方向で継続		個別対応で実施しており、満足度の高い事業である。	30	30	31	南大沢保健福祉センター
510		情報提供※環境整備	育児・教育	4-①	生涯学習情報の収集と発信	夏休みイベントカレンダー	各所管で夏休み期間中に実施する小学生を対象とした事業について集約した小冊子を作成し、各市立小学校を通じて児童へ配布する。	子ども	1	22,490	市単独	事業の実施	わかりやすい情報の提供	多くの講座情報を一括して提供できた	B	市の所管だけではなく、外部団体の催しも掲載するなど、市内児童に分かりやすい情報の提供ができた。	高める方向で継続		夏休み期間における催し情報を一元化し、子どもたちの学びの支援ができたとともに、広報に必要な資源の削減に貢献できた。	0	0	0	生涯学習政策課
511		情報提供※環境整備	社会貢献活動	4-①	生涯学習情報の収集と発信	はちコミねっと	市民活動に関する情報発信を行う。	どなたでも	通年	439団体	指定管理者	登録件数	前年度より登録団体数を増やす	22団体増	A	通年で市民活動団体への周知を図り、団体の情報発信の場の提供となった。	広める方向で継続		指定管理者及び契約業者を含め意見交換を行い、見やすく使いやすいサイトとなるよう検討を進める。	1,483	1,483	1,496	協働推進課(市民活動支援センター)
512		情報提供※環境整備	教養的なもの	4-①	生涯学習情報の収集と発信	市民センターだより発行助成	各地域住民協議会の活動を周知し、地域の活性化を目指す。	どなたでも	32	―	指定管理者	紙面の充実	住民協議会の広報担当と協力して紙面の充実をはかる。	32	A	各住民協議会の特色ある紙面づくりを行い、目標どおり発行することができた。	高める方向で継続		5年間、毎年年2回、住民協議会や地域の様々な情報を地域住民へ発信し、周知を図った。引き続き住民協議会と連携しよりよい紙面づくりを目指す。	1,252	1,252	1,252	協働推進課(学園都市文化ふれあい財団)
513		各種相談	健康・スポーツ	4-①	生涯学習情報の収集と発信	歯の健康相談	歯周病の予防や口腔機能の維持、低下予防のための正しい知識の普及と、健康増進意識を啓発する。	どなたでも	2	5人	市単独	参加者の満足度	相談対応に対する満足度の向上	90%	B	アンケートの結果より満足度は90%であり、目標を達成できた。個別で相談できることから相談者の満足度は高い。相談日だけで見ると参加者は少ないが、相談日以外にも所内相談はあり、保健福祉センターで歯科相談ができる仕組みになっている。	広める方向で継続		個別対応も十分されて、満足度の高い事業である。	155	75	4,850	大横保健福祉センター
514		情報提供※環境整備	社会問題・市民生活に関するもの	4-①	生涯学習情報の収集と発信	「八王子市図書館」(利用案内)の発行	図書館を利用するための案内	どなたでも	随時	20,000	市単独	配布数	配布を通じて、利用者の、より有効な図書館利用を促進する。	20,000	B	図書館の利用案内を配布しホームページにも掲載することで、図書館の利用促進を図ることができた。今後もわかりやすく便利な案内となるよう内容の見直しを積極的に行い、配布等により周知を図る。	広める方向で継続		図書館の利用案内は、大きさを見直したほか、図やQRコードの記載などにより、わかりやすく便利な案内となるような改善を随時図ることができた。	0	0	0	中央図書館
515		情報提供※環境整備	社会問題・市民生活に関するもの	4-①	生涯学習情報の収集と発信	新着図書案内の発行	利用者に図書館の新着図書情報を提供する。	どなたでも	12	4,185	市単独	参加者の満足度	新着図書の最新情報を提供することで、利用の促進を図る。	4,185	B	利用者に、定期的に図書館の新着図書情報を提供することにより、資料の利用促進を図ることが出来た。今後も音訳や点訳を合わせて行うことで、多くの市民へのさらなる情報発信に取り組んでいく。	広める方向で継続		毎月新しく図書館で所蔵することになった図書の情報を継続して市民に広く提供することができた。	0	0	0	中央図書館

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
516		情報提供※ 環境整備	社会貢献活動	4-①	生涯学習情報の収集と発信	ボランティアセンターだよりの発行	登録ボランティアや市民に対し、ボランティア活動の情報提供や啓発を目的に発行する	どなたでも	5回	32,500部	補助	発行部数	誌面をカラー印刷し、PR効果を高める	紙面をカラー印刷し、PR効果を高めた	B	誌面をカラー印刷し、読みやすい・見やすい誌面作成に努め、ボランティア活動の情報提供や啓発を行うという成果が得られた。	高める方向で継続		白黒印刷だった紙面をカラー印刷に切り替え、読みやすい・見やすい誌面作成に努め、ボランティア活動の情報提供や啓発を行うという成果が得られた。	1,880	1,181	1,573	福祉政策課（八王子市社会福祉協議会市民力支援課）
517		情報提供※ 環境整備	社会問題・市民生活に関するもの	4-①	生涯学習情報の収集と発信	パンフレット「成年後見制度を活用しよう」	成年後見制度の知識・普及啓発を行う	どなたでも	1	2,000部/1回あたり	委託	発行部数	成年後見制度の普及・利用促進	制度の普及促進に有効	B	パンフレット2,000部を発行し、成年後見制度の普及・利用促進のために活用することができた。また内容の一部を改訂し、令和元年度新たに追加された書式や信託の仕組みについても記載した。	広める方向で継続		市民及び関係機関に配布しており、制度についてわかりやすく記載されているとの声をいただいている。継続したパンフレット配布による関係機関への周知が進み、相談件数の増加にもつながっている。	135	171	200	福祉政策課（八王子市社会福祉協議会成年後見・あんしん相談センター八王子）
518		情報提供※ 環境整備	情報・インターネットに関するもの	4-①	生涯学習情報の収集と発信	SNSによる「八王子市の生涯学習講座・イベント情報」の発信	講座・イベント・フリースペースの情報について、SNS（facebookとtwitter）を通じて発信する・	どなたでも	随時	―	市単独	更新回数	180回/年	facebook 122回/年 twitter 380回/年	A	投稿数・閲覧数が大幅に増加し、多数の人に情報発信をすることができた。	広める方向で継続		講座やイベント、フリースペース等の情報を積極的にSNS（Facebook・Twitter）を通じて多くの人に発信することができた。	0	0	0	学習支援課
519		情報提供※ 環境整備	情報・インターネットに関するもの	4-①	生涯学習情報の収集と発信	サークル・講師情報「情報広場」の発信	八王子市ホームページにおいて、サークル・団体、講師・指導者情報のデータベースを公開する。	どなたでも	随時	―	市単独	事業の継続実施と随時更新	事業の継続実施と随時更新	目標どおり達成した	B	サークル・団体及び講師・指導者情報の新規・変更受付を随時行い、常に最新の生涯学習情報を公開できた。令和2年度も継続して実施する。	広める方向で継続		5年間事業を継続実施し、市民へ生涯学習情報を発信することができた。	0	0	0	学習支援課
520		情報提供※ 環境整備	情報・インターネットに関するもの	4-①	生涯学習情報の収集と発信	閲覧用冊子「サークル・団体のご案内」の配布	サークル・講師情報「情報広場」のデータを製本し、、市民センター、市民部事務所、保健福祉センター、体育館などに閲覧用冊子として配架する。	どなたでも	随時	―	市単独	事業の継続実施	事業の継続実施	目標どおり達成した	B	「サークル・団体のご案内」の閲覧用冊子を市内各施設に配架し、生涯学習情報を広く公開できた。令和2年度も継続して実施する。	広める方向で継続		5年間事業を継続実施し、市民へ生涯学習情報を発信することができた。	0	0	0	学習支援課
521		講座・教室	健康・スポーツ	4-②	相談体制の拡充	保健福祉・栄養・歯科相談	健康でいきいきした生活が送れるよう、個別相談に応じ健康づくり支援をする。	成人	295	3,437	市単独	参加者の満足度	生活習慣の改善	80%	B	相談者の生活習慣改善、健康への意識向上の言葉が多く聞かれ、健診データも改善がみられている。ただし、来所者に地域の偏りがあるため、地域に出向き、意識づけを図るなどの工夫は必要。	広める方向で継続		健診データが、基準値内からやや高めの市民が来所されている。相談により、生活習慣の改善がみられているが、相談来所者の地域別偏りがある。	0	0	0	南大沢保健福祉センター

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
522		各種相談	教養的なもの	4-②	相談体制の拡充	生涯学習相談	生涯学習情報を提供するほか、個々の学習要望に対して団体の紹介や施設利用法を助言する。	どなたでも	随時	ー	市単独	その他	相談体制の構築	開館日の窓口において随時実施	B	新設サークルに対する利用案内、市内のイベント講座情報等の相談に対応していく。	広める方向で継続		5年間事業を継続実施し、市民へ生涯学習相談を実施することができた。	0	0	0	学習支援課
523		各種相談	社会貢献活動	4-②	相談体制の拡充	地域参加等支援デスク	定年を迎えた方などに、生きがいを持ちながら地域活動をしていただくため、総合的な情報提供や相談により支援を行う。	どなたでも	随時	3	市単独	応募者・参加者の人数	10人	3	C	「広報はちおうじ」の毎月1日号に「地域参加等に関する相談」として相談カレンダーに掲載しているが、相談件数は低迷している。	廃止・終了	当事業は、団塊世代の大量退職を見据え、平成18年度に開始したが、相談件数は、年々減少している。電話と窓口という媒体では需要が無くなってきていると推察されることから、事業の形態を見直す必要があると考える。	相談件数は、年々減少している。	0	0	0	協働推進課
524		各種相談	健康・スポーツ	4-②	相談体制の拡充	保健福祉・栄養・歯科相談	健康でいきいきした生活が送れるよう、個別相談に応じ健康づくり支援をする。	どなたでも	346	4,647	市単独	参加者の満足度	生活習慣の改善	アンケート集計結果による満足度100%	B	相談者の生活改善・意識向上につなげた。	広める方向で継続		生活習慣病予防に重要な40～64歳の成人期層でみると平成27年に比べ相談数が増加し、高齢期に至る前の年齢層から健康づくり支援につなげることができた。	0	0	0	東浅川保健福祉センター
525		各種相談	健康・スポーツ	4-②	相談体制の拡充	理学療法士による健康相談	高齢者の介護予防及びQOL向上の一助とする。	高齢者	12	48	市単独	参加者の満足度	相談対応に対する満足度の向上	個別相談により、相談者の状況に合った指導を実施	B	個別相談を通し、対象者に合わせた具体的なアドバイスを行い、意識を高めることができた。広報での周知だけでなく、チラシの掲示や配布の工夫を行った。	広める方向で継続		相談者数は、年間50人前後で推移しており、高齢者の個別相談のニーズとQOL向上に対応できた。	240	235	180	東浅川保健福祉センター
526		講座・教室	教養的なもの	4-②	相談体制の拡充	理学療法士による健康相談	高齢者の介護予防及びQOL向上の一助とする。	高齢者	12	49	市単独	参加者の満足度	相談対応に対する満足度の向上	相談の満足度が80%以上あった為	B	目標値を達成したので来年度も継続して行う	広める方向で継続		概ね毎回相談がある状況が続いており、高齢者のQOL向上の一助とする需要がある。	180	165	180	南大沢保健福祉センター
527		各種相談	健康・スポーツ	4-②	相談体制の拡充	保健福祉・栄養・歯科相談	健康でいきいきした生活が送れるよう、個別相談に応じ、健康づくりを支援する。	成人	330	333	市単独	応募者・参加者の人数（参加者の満足度から変更）	相談件数（生活習慣改善より変更）	相談件数333 前年度より低下、過去5年間ではほぼ横ばい	B	前年度は464件で全体相談件数は低下したが、経年的にみるとほぼ横ばいで大幅な減少はなかった。次年度は事業等でより積極的に周知し、相談導入につなげていきたい。	広める方向で継続		全体の相談者数はほぼ横ばいであったが、生活習慣病予防に重要な40～64歳の成人期層でみると平成27年に比べ令和元年度では2.7倍に増加し、高齢期に至る前の年齢層から健康づくり支援につなげることができた。	155	97	4,850	大横保健福祉センター
528		各種相談	健康・スポーツ	4-②	相談体制の拡充	理学療法士による健康相談	高齢者の介護予防及びQOL向上の一助とする。	高齢者	12	46	市単独	応募者・参加者の人数	相談者数40人以上	相談者46人、うち再度相談を希望した者7名	B	相談者46名で、目標を達成した。相談を通し個別性のある指導を行い、必要時受診を促した。個別相談のため相談者の満足度は高く再相談も行った。	広める方向で継続		相談者数は、40人台で推移しており、高齢者の個別相談のニーズとQOL向上に対応できた。	606（番号349・350・527と同一予算）	498（番号349・350・527と同一予算）	741（番号349・350・527と同一予算）	大横保健福祉センター

令和元年度(2019年度)　生涯学習関連事業　自己評価一覧

	A	B	C	D		E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
								令和元年度　実績				令和元年度【評価】											
番号	新規事業	種類	分野	基本施策・施策の展開 旧プラン（平成27年度～令和元年度） NO	施策名	事　業名	事業目標（５０文字以内）	対象者	回　数	参加者数（人）等	実施形態	評価指標項目 ※前回照会時設定	目標	目標値に対する実績値	所管課事業評価	所管課事業評価の理由、令和2年度(2020年度)の課題と方向および改善案を具体的に（120字程度）	今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	平成27年度から令和元年度までの5年間の取組の成果および評価（80字程度）	令和元年度予算（千円）	令和元年度決算（千円）	令和２年度予算（千円）	担当課（実施主体）
529		各種相談	社会問題・市民生活に関するもの	4-②	相談体制の拡充	権利擁護相談・成年後見制度利用相談	認知症高齢者や知的障害者等で判断能力の不十分な方への権利擁護・成年後見の相談を行う	どなたでも	20	34	委託	利用者の満足度	成年後見制度の普及・利用促進	34人 20回	B	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3月は1回中止となったが、相談者は前年度を超える34人となった。 利用者の中には、その後の継続相談となり、適切な制度利用につながった。	広める方向で継続		弁護士・司法書士による相談については、毎年30件を超える相談が寄せられている。専門的な助言により、市民の権利擁護や成年後見制度の利用促進につながっている。	463	432	495	福祉政策課（八王子市社会福祉協議会成年後見・あんしん相談セ
530		その他	社会問題・市民生活に関するもの	4-③	施設の有効活用と開放	姫木平自然の家運営	恵まれた自然環境の中で、自然探究や様々な野外活動と集団生活を通じて、青少年の心身の健全な育成を図る	どなたでも	―	11,790	指定管理者	応募者・参加者の人数	延べ利用人数 16,000人	11,790	C	施設の利用を促すため、さらなる周知が必要。	広める方向で継続		小中学校の移動教室を中心に、体験活動の場を提供できた。	48,651	48,618	48,652	生涯学習政策課
531		情報提供※環境整備	社会問題・市民生活に関するもの	4-③	施設の有効活用と開放	八王子市立学校内開放教室の試行開放	生涯学習、地域コミュニティ活動等を行う団体に対して活動の場を提供する	どなたでも	―	549	市単独	応募者・参加者の人数	延べ利用人数 1,800人	549	C	昨年から登録団体が1団体減少したため、利用者数も減少したと考えられる。 多くの市民に活用してもらうため、さらなる周知が必要。	広める方向で継続		市内の市民団体に対して、小学校の余裕教室を活用し、活動場所を提供できた。	0	0	0	生涯学習政策課
532		その他	教養的なもの	4-③	施設の有効活用と開放	学習室の貸し出し	生涯学習の充実を図るため、利用したい団体・個人に利用可能な学習室を貸し出し、来館者の学習意欲を支援する。	どなたでも	22,511	236,771	市単独	利用者数	前年度と同程度。	3館合計 22, 511件 236, 771人	B	概ね前年度と同様の利用状況であったため。	広める方向で継続		5年間事業を継続実施し、市民へ生涯学習相談を実施することができた。	0	0	0	学習支援課
533		その他	教養的なもの	4-③	施設の有効活用と開放	フリースペース	空き学習室を自習スペースとして活用し、学生の学習を支援するとともに、若年層の施設利用促進を図る。	学生	808	20,935	市単独	利用者数	土・日・祝、学校の長期休業期間に実施	3館延参加数 20,935人	A	平日の夜間の開催日数を拡大し、大幅な利用者の増、学習室を自習スペースとして活用し、学生の学習需要にこたえることができた。	広める方向で継続		土日祝日、平日夜間の空き学習室を学生等の自習スペースとして開放することで、施設を有効活用するとともに、学生の学習を支援することができた。	0	0	0	学習支援課